

特記仕様書

工事名称	本郷人権文化センター耐震改修等工事（建築主体工事）
工事場所	三原市本郷北三丁目
工事内容	本郷人権文化センター（昭和55年建築、平成12年一部増築改修）を増築し、改修する。 [工事概要] ・エレベーター棟増築 ・鉄骨造2階建て ・床面積 58.74㎡ ・内装改修工事 ・外装改修工事 ・屋上防水改修工事 ・付属棟解体工事
準 則	公共建築工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、建築物解体工事共通仕様書（各 令和7年版 国土交通省官房官庁営繕部監修）に基づき施工する。
別途発注工事	・本郷人権文化センター耐震改修等工事（電気設備工事） ・本郷人権文化センター耐震改修等工事（機械設備工事） ・三原市・本郷人権文化センター舗装改修工事
関係法令等	本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。 ・建築基準法、同施行令、同施行規則 ・消防法、同施行令 ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同法施行令、同法施行規則 ・労働安全衛生法、同法施行令、同法施行規則 ・建設業法、同施行令、同施行規則 ・建設工事公衆災害防止対策要綱 ・石綿障害予防規則 ・大気汚染防止法、振動規制法及び土壌汚染対策法 ・建設工事に係る再資源化等に関する法律、同法施行令 ・その他関係法令
疑義変更	本設計図書は、設計の概要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。 施工に際して疑義が生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議後、監督員の指示により施工すること。ただし、これらに於いて請負金額の増減はなきものとする。 本設計図書と不整合が確認されて設計変更（増額）が必要な場合は、その変更数量が確認できる根拠としての写真などの記録が存在し、かつ監督員に承認されたもの以外は認められない。
提出書類	施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。 商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けること。 設計図書に定める品質及び性能を有することについて、証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けること。
工 期	本工事は請負契約締結の後、令和9年2月25日をもって工期とする。 このうち検査期間として13日間を見込んでいる。（工事の完成通知予定日は令和9年2月12日。）
留意事項	・入札に先立ち、現地調査を十分に行うこと。質疑がある場合は入札前に確認すること。 ・図面について、設計者からの設計意図等の説明が必要な場合は申し出ること。

- ・図面に明示されていない事項であっても、工事に必要とされる事は工事範囲とする。
- ・作業日は、原則、月曜日から金曜日とし、土曜日及び日曜日は休工期とすること。
- ・行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
- ・本工事は「発注者指定型」による週休2日適用工事の対象工事であり、「三原市週休2日適用工事等実施要領（建築工事）」（令和7年6月24日改定）により工事を行うこと。
- ・工事着手前に「週休2日適用工事」または「週休2日交代制適用工事」に取り組むことを工事打合せ簿にて提出すること。
- ・「週休2日適用工事」または「週休2日交代制適用工事」である旨の表示を工事現場に設置すること。
- ・月単位の週休2日適用工事を達成できなくなった場合は、対象期間中の現場閉所（現場休息）の状況に応じた補正係数により労務費を減額する。
- ・デジタル化を積極的に推進すること。
- ・定例会議の頻度と方法は協議による。方法は現場事務所での現地開催を基本とし、一部Web会議（現場事務所と市役所を想定）併用とする。現場でのWeb会議の環境設定（受注者側がホスト。Web会議の使用料、現場の通信費等を含む。Web会議用カメラ、マイク、スピーカーなどの周辺機器を含む。）は、工事を含む。
- ・紙資料の削減を目的として、電子機器の利用を主とすること。
- ・定例会の資料は、電子データを原則とすること。
- ・受注者は各定例会の前日までに必要な資料を所定の場所に提出すること。
- ・受注者は各定例会後の5日以内に議事録を作成して、所定の場所に提出して出席者に内容を共有すること。
- ・現場事務所には、HDMI規格により出力できるモニター（50インチ以上）を設置すること。
- ・現場事務所内は、無線通信（会議にて同時接続10台以上）が可能な環境とすること。
- ・工事着手の10日より前に住民説明会を開催し、工事の概要を説明すること。日時や場所等については発注者との協議により決定する。
- ・着手にあたり、工事着手前の周辺道路や近隣敷地の状況を写真等により記録しておくこと。
- ・近隣住民等の安全はもとより、丁寧な説明と施工により、関係者の理解と協力を得ながら実施すること。苦情等が発生した場合には誠意をもってこれに対応すること。
- ・近隣において、その他の工事が行われている場合は、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
- ・近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音・振動・粉塵等の対策については最大限配慮した施工方法を採用すること。
- ・使用する建設機械については、原則、「低騒音型、低振動型建設機械」として国土交通省の指定を受けた機械を選定して使用すること。これが確認できる資料を施工計画書で示すこと。なお、事情により使用が難しい場合は監督員との協議を行うこと。
- ・解体工事・アンカー工事等の騒音・振動・粉じん等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法等を最大限配慮した計画により作業を行うこと。
- ・粉塵の発生が予想される工事は、確実に散水を行う等して、周辺環境への粉塵飛散がないように作業をすること。
- ・施工箇所周囲の備品・機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実に行うこと。養生や移動を行う場合は、事前に施設管理者または所有者に連絡すること。
- ・近隣家屋・敷地または周辺道路に対して、工事による汚れ・損傷・粉じん等を与えた場合は、受注者が責任をもって、速やかに清掃及び補修等を行うこと。誠意をもって対応し、原状復旧に努めること。
- ・周辺道路の保全及び清掃については常に注意を払って監視をし、定期的に清掃を行うこと。
- ・敷地境界付近には仮囲い（高さ3m以上）を設置すること。
- ・第三者災害防止及び飛散防止対策のために、必要に応じて監督員が指示する範囲にバリケード等を設置すること。
- ・工事期間中は、工事用出入口に交通誘導員を常時配置し、付近の交通の安全を図ること。その他、必要な場所に交通誘導員を配置し、事故及び危険防止に努めること。
- ・交通誘導員は本工事で見込んでいる。実施数量が設計数量に満たない場合は設計変更（減額）の対象とする。
- ・工事車両の通行については、近隣住民及び通学児童等の安全を最優先すること。
- ・工事車両は、幅員の広い道路の通行を基本とし、住宅地内などの狭い道を抜け道として使用しないこと。工事車両の周辺の通行経路については、工事着手前に発注者の了承を得ること。
- ・特殊車両の搬出入の有無については、工事着手前に発注者と確認すること。
- ・特殊車両の搬出入を夜間や早朝に行う必要がある場合は、発注者との協議の上で、事前に近隣住民等へ案内文のポスティング等を行うこと。
- ・工事車両は、場内を5km/h以下で徐行すること。場内に注意喚起表示を行うこと。
- ・場内に喫煙所を設ける場合は、施設使用者と近隣住民へ配慮し、設置位置と使用方法を協議してから設けること。使用方法を作業員に周知徹底すること。

- ・工事区域内の残置する設備配管・配線等については、事前に位置を確認してから作業を行うこと。事前調査記録を作成すること。
- ・記念碑等の移設が必要な場合は、事前に関係者と移設場所・方法・時期等を協議の上で実施すること。
- ・監視カメラ・仮設照明・養生用鉄板を適切に設置すること。
- ・敷地の出入口付近には、敷鉄板（下部に砕石敷）を敷き、高圧洗浄機・水中ポンプ・ノッチタンク等を適切に設置すること。工事車両のタイヤ洗浄等により、道路を汚さないように配慮すること。
- ・工事中の雨水・湧水・洗浄水等の排水については、ノッチタンクによる汚泥等の処理を行う等した上で、適切に排水すること。定期的にpHを測定し、必要に応じて適宜中和を行うこと。
- ・受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- ・仮囲い、足場、山留、型枠支保工、構台等の仮設については、施工者が計算等により責任をもって決定し、計画通りに施工すること。仮設置期間は日常点検を行い、記録に残すこと。
- ・図面等に示されている仮設等についても、必ず受注者で安全性や施工性等を検証すること。受注者が責任をもって設置、施工すること。
- ・足場設置期間中は、シート等の飛散が無いように定期的に点検を行うこと。
- ・台風等の強風等異常気象が見込まれる場合は、事前に足場等の養生シートを折りたたむなど対策を施すこと。また、必要に応じて現場巡視と災害防止対策を行うこと。
- ・足場については、交差筋交い及び外部シートとは別に、高さ15センチメートル以上の幅木を外部・内部の両側に設置すること。（※労働安全衛生法の基準以上の足場とし、安全に配慮する。）
- ・足場については「手すり先行工法等に関するガイドライン」における「手すり先行工法等に関する基準」、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する施工方法にて設置、解体をすること。（親綱は手摺とは扱わない。）
- ・外部足場等に過剰な宣伝広告はしないこと。
- ・工事に係る電気、水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
- ・工事の要求に必要な仮設は、工事に含むものとする。
- ・重機が転倒しないように事前検討を行い、安全に作業を行うこと。
- ・配筋検査は、受注者による自主検査を行ったうえ、監理者及び監督員による検査を受検すること。なお、これらの検査は、種類・径・数量についての全数検査を行うこと。
- ・配筋検査前に、上記内容はもとより、継手定着長さ・位置、かぶり厚さ、鉄筋のあき寸法など、設計図書通りに施工されていることを確認してから検査に臨むこと。
- ・コンクリートの調合は、標準仕様書に基づき構造体強度補正を見込む。（原則、外構工事を含む。無筋コンクリートは除く。）
- ・コンクリート打設後の所定期間中は、散水等による湿潤養生を適切に行うこと。
- ・木工事で使用する木材の産出地は、原則、広島県産材（可能な範囲で三原市産材）とすること。
- ・工事完了後に、木工事で使用する木材の産出地について、数量を整理して提出すること。
- ・家具については転倒防止対策のため、床及び壁へ固定すること。
- ・雨水の浸入を防止する部分、屋根、外壁又はこれらの開口部に設ける戸、枠その他の建具周り等からの雨水の浸入に関する瑕疵については、引渡しの日から10年間責任を負うこと。このことについて、保証書を作成して提出すること。（改修工事については、本工事の範囲）
- ・機械的固定方法を行う施工箇所については、事前に引き抜き試験にて引き抜き強度を測定し、耐風圧性能の検証を行うこと。
- ・自動ドアについては、JIS4722に適合させること。（改修工事については、改修する自動ドアに限る。）
- ・鍵のプランについては、協議の上で同一キーとする箇所を確認すること。
- ・シリンダーキーについては、既存のグランドマスターキー及びマスターキーに取り込むこと。
- ・既存壁紙(クロス)撤去については、既存壁紙(クロス)の裏紙が残らないように処理し、完全に撤去すること。
- ・「①建築物を解体する作業を伴う建設工事であって、当該作業の対象となる床面積の合計が80㎡以上であるもの」、「②建築物を改造し、または補修する作業を伴う建設工事であって、当該作業の請負代金の合計額が100万円以上であるもの」、「③工作物を解体し、改造し、または補修する作業を伴う建設工事であって、当該作業の請負代金の合計額が100万円以上であるもの」については、事前調査結果を労働基準監督署及び広島県東部厚生環境事務所環境管理課に報告すること。
- ・石綿含有建材の調査（書面・目視調査、分析調査調査及び検体採取を含む）について、工事着手前までに一般建築物石綿含有建材調査者、または特定建築物石綿含有建材調査者が行うこと。
- ・その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令（令和3年4月1日施行）に基づくこと。
- ・石綿含有分析調査は試料採取と分析調査費を見込んでいる。分析は定性（JIS A 1481-1。含有の場合は、含有する層の判定も行う。）による。

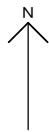
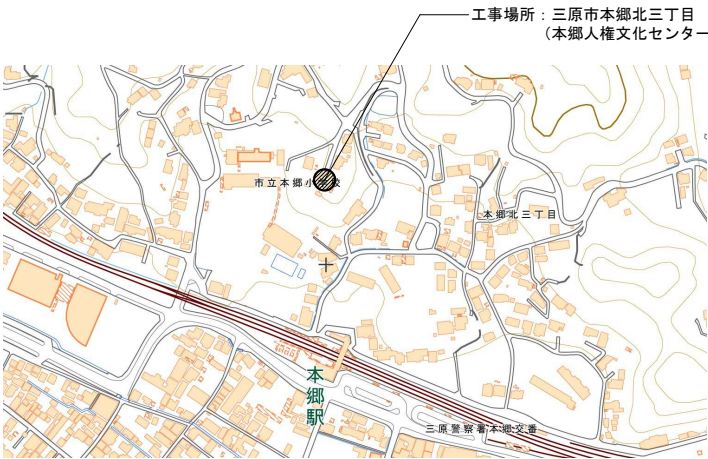
- ・石綿含有塗材除去作業に当たっては、原則として事前に試験施工を行い、除去後の検体を採取することによって、石綿が除去されることを確認すること。分析調査費等は見込んでいる。
- ・作業員に対して、新規入場教育時に石綿含有建材の位置を確認させること。
- ・石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル(最新版)に基づくこと。
- ・既存照明機器（安定器等）又はシーリング材等のPCB含有調査を見込んでいる。
- ・仮使用申請、道路使用、道路改築申請等の工事に必要な各種手続きは、受注者の負担により遅滞なく行うこと。
- ・昇降機その他の建築設備について、計画通知等の申請手続き等を行うこと。
- ・その他、工事に伴う官公庁等への手続きは、受注者により遅滞なく行うこと。この時、各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- ・本工事は別途契約の工事と施工上密接に関連するため、本工事の受注者が調整を行うこと。
- ・工程計画、取り扱い工事及び工事用車両の出入り等については、当該別途契約の工事関係者と互いに協力し合い、相互の工事を考慮した上で十分調整し、工事の円滑な施工に務めること。
- ・足場、交通誘導員、工事関係者駐車場用地等は、建築主体工事に見込んでいるが、別途発注工事業者も使用できるものとする。（維持管理上必要な費用は、各業者で協議の上分担すること。）
- ・品質について、社内検査員(当該工事に従事していない者)を定め、設計図書に基づき社内検査を実施し、書類等の記録に残すこと。
- ・大雨等の警報が発令した場合、また台風及び強風等による自然災害の発生が予測される場合は、現場代理人等は現場事務所等へ待機のうち、現場及び周囲の巡回を行うとともに必要に応じて対策を講じ報告すること。
- ・本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ理由を添えて発注者の承認を受けること。（理由については、三原市内三原市内に主たる営業所を有する業者に発注できない具体的な理由を明記すること。）
- ・熱中症対策として、従業員及び作業員が必要に応じて水分を補給できるよう作業所に給水設備を設置すること。
- ・広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。
- ・各工程の状況（写真、進捗率等を月2回程度）を工事中情報共有システムの連絡事項にて報告すること。
- ・書面での提出が必要なもの（建退共の掛金収納書、試験結果、保証書 等）については、PDFを工事中情報共有システムで提出し、別に書面提出ファイルとしてまとめて提出すること。
（2部）にて提出すること。
- ・工期から10日以内に、製本図面（A3縮小版・二つ折り）として完成図を3部提出すること。
- ・以下の設計図面は、A2判をA3判に縮小している。（縮小率約70.7%）

本郷人権文化センター耐震改修等工事（建築主体工事）

図 面 リ ス ト											
図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺
A－0	表紙・図面リスト	――	A－40	2階平面詳細図（改修後）	1/50	S－1	構造特記仕様書	――	E V－1	昇降機設備図（1）	――
A－1	建築改修工事特記仕様書（1）	――	A－41	展開図1（改修前）	1/50	S－2	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（1）	――	E V－2	昇降機設備図（2）	1/30
A－2	建築改修工事特記仕様書（2）	――	A－42	展開図2（改修前）	1/50	S－3	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（2）	――	E V－3	昇降機設備図（3）	1/30
A－3	建築改修工事特記仕様書（3）	――	A－43	展開図3（改修前）	1/50	S－4	鉄骨構造標準図（1）	――	E V－4	昇降機設備図（4）	1/50
A－4	建築改修工事特記仕様書（4）	――	A－44	展開図4（改修前）	1/50	S－5	鉄骨構造標準図（2）	――	E V－5	昇降機設備図（5）	1/30
A－5	建築改修工事特記仕様書（5）	――	A－45	展開図5（改修前）	1/50	S－6	ダイヤレンS設計・施工標準仕様	――			
A－6	建築改修工事特記仕様書（6）	――	A－46	展開図1（改修後）	1/50	S－7	スーパーエデッキ設計・施工標準図	――			
A－7	建築改修工事特記仕様書（7）	――	A－47	展開図2（改修後）	1/50	S－8	H R C構法 設計施工標準図	――			
A－8	建築改修工事特記仕様書（8）	――	A－48	展開図3（改修後）	1/50	S－9	ボーリング柱状図	1/50			
A－9	建築改修工事特記仕様書（9）	――	A－49	展開図4（改修後）	1/50	S－10	伏図	1/100			
A－10	工事区分表	――	A－50	展開図5（改修後）	1/50	S－11	軸組図	1/100			
A－11	敷地案内図、配置図	1/200	A－51	1・2階天井伏図（改修前）	1/100	S－12	柱脚リスト・地中梁リスト 基礎スラブリスト・E Vビット配筋図	1/40・1/30			
A－12	敷地求積図	1/200	A－52	1・2階天井伏図（改修後）	1/100	S－13	鉄骨リスト	1/30			
A－13	面積表及び求積図	1/200	A－53	1階建具位置図	1/100	S－14	鉄骨継手リスト	1/20			
A－14	仕上表（1）	――	A－54	2階建具位置図	1/100	S－15	鉄骨詳細図	1/30			
A－15	仕上表（2）	――	A－55	建具表（1）	1/100						
A－16	仕上表（3）	――	A－56	建具表（2）	1/100						
A－17	仕上表（4）	――	A－57	建具表（3）	1/100						
A－18	1階平面図	1/100	A－58	法規チェックリスト	――						
A－19	2階平面図	1/100	A－59	部分詳細図1	1/20						
A－20	3階平面図	1/100	A－60	部分詳細図2	1/20						
A－21	屋根伏図	1/100	A－61	1階・2階 中軽量棚・軽量棚 配置図	1/50						
A－22	立面図（改修前）	1/100	A－62	1階・2階 中軽量棚・軽量棚 姿図	1/30						
A－23	立面図（改修後）	1/100	A－63	1階・2階 中軽量棚 姿図	1/30						
A－24	断面図	1/100	A－64	解体建物詳細図（カーポート、車庫倉庫）	1/100						
A－25	矩計図（改修前）	1/50	A－65	解体建物詳細図（ほんごう子ども広場棟）	1/30、1/50						
A－26	矩計図（改修後）	1/50	A－66	外構配置図（改修前）	1/50、1/100						
A－27	断面詳細図1（改修前）	1/50	A－67	外構詳細図（改修前）	1/100						
A－28	断面詳細図1（改修後）	1/50	A－68	外構配置図（改修後）	1/30						
A－29	断面詳細図2（改修前）	1/50	A－69	外構詳細図（改修後）	1/100						
A－30	断面詳細図2（改修後）	1/50	A－70	（参考）仮設計画配置図							
A－31	断面詳細図3（改修前）	1/50									
A－32	断面詳細図3（改修後）	1/50									
A－33	断面詳細図4（改修前）	1/50									
A－34	断面詳細図4（改修後）	1/50									
A－35	1階便所廻り平面詳細図	1/50									
A－36	1階平面詳細図（改修前）	1/50									
A－37	1階平面詳細図（改修後）	1/50									
A－38	2階ホール廻り平面詳細図	1/50									
A－39	2階平面詳細図（改修前）	1/50									

5	改修工法	[5 . 1 . 3] 建具の種類 ・アルミ製建具 ・樹脂製建具 ・鋼製建具 ・外側 ・内部 ※ 建具表による ※ 建具表による 新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※ 図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※ 図示 ・適用する 指定箇所（※ 建具表による） 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ※連動させる 適用箇所（・建具表による） ※連動させない 建具見本の製作 ・行う（建具符号： ） ○行わない 特殊な建具の取組 ・行う（建具符号： ） ○行わない 性能値等 ・耐風圧性の等級（ ）、気密性の等級（ ）、水密性の等級（ ） ※ 改修標準仕様書表5.2.1による種別 外部に面する建具の種別 ○ A種（建具符号：・全て ・建具表による ・ ） ・ B種（建具符号：・全て ・建具表による ・ ） ・ C種（建具符号：・全て ・建具表による ・ ） 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ） （建具符号：・ 建具表による ） 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ） （建具符号：・ 建具表による ・ ） 耐火性能 建築非構造部材の耐火性能に係る特記事項による ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 形状及び仕上げ 枠の見込み寸法 ※ 建具表による 表面処理 外部に面する建具 種別 ○ BB-1種 ・ BB-2種 ・ 色合等 ※ 標準色（ ） ・ 特注色（ ） 屋内の建具 種別 ・ BC-1種 ・ BC-2種 ・ 色合等 ※ 標準色（ ） ・ 特注色（ ） 結露水の処理方法 ※ 図示 取付工法 木切り板、ぜん板 ※ 図示 木下地の場合の内付け建具 ・適用しない ・適用する
6	網戸等	[5 . 2 . 3][5 . 3 . 3] 種類 材質 線径 綱目 ・防虫網 ※合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス（SUS316）製 ・防鳥網 ステンレス（SUS304）線材 1.5mm 綱目寸法15mm
7	樹脂製建具	[5 . 2 . 2] [5 . 3 . 2～5] 性能値等 ・耐風圧性の等級（ ）、気密性の等級（ ）、水密性の等級（ ） ※ 改修標準仕様書表5.3.1による種別 外部に面する建具 ・A種（建具符号：・全て ・建具表による ・ ） ・ B種（建具符号：・全て ・建具表による ・ ） ・ C種（建具符号：・全て ・建具表による ・ ） 防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2 （建具符号：・ 建具表による ） 断熱ドア、断熱サッシ の断熱性の等級 ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ H-7 ・ H-8 （建具符号：・ 建具表による ） 外部に面する建具の日射取得率等の等級 形状及び仕上げ 枠の見込み寸法 ※ 建具表による 表面色 ※標準色 ・ 特注色 取付工法 木切り板、ぜん板 ※ 図示 木下地の場合の内付け建具 ・適用しない ・適用する ガラス ※ 複層ガラス
8	鋼製建具	[5 . 2 . 2] [5 . 4 . 2～4] [表5.4.2] 性能値等（建具符号：・ 建具表による ・ ） 簡易気密型ドアセット 気密性の等級 ・ A-3 水密性の等級 ・ W-1 外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ） 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ） 耐震ドア 面内変形追従性の等級（ ） 耐火性能 建築非構造部材の耐火性能に係る特記事項による ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 くつずりの仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 ※ HL以上 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※ 改修標準仕様書表5.4.2による 使用箇所（ ） 標準型鋼製建具の形状及び寸法 ※建具表による
9	鋼製軽量建具	性能値等（建具符号：・ 建具表による ・ ） [5 . 2 . 2] [5 . 5 . 2～4] 簡易気密型ドアセット ・適用する 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ） 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ） 耐震ドア 面内変形追従性の等級（ ） 耐火性能 建築非構造部材の耐火性能に係る特記事項による 鋼板の材料 ※ 垂れめっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※ 改修標準仕様書表5.5.1による 使用箇所（ ） 召合せ、縦小口包み板の材質 ※ 鋼板 標準型鋼製建具の形状及び寸法 ※建具表による
10	ステンレス製建具	[5 . 2 . 2] [5 . 4 . 2] [5 . 6 . 2～5] 性能値等（建具符号：・ 建具表による ・ ） [5 . 7 . 2、3] 簡易気密型ドアセット ・適用する 外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S-4 ・ S-5 ・ S-6 防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ） 断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ） 耐震ドア 面内変形追従性の等級（ ） 耐火性能 建築非構造部材の耐火性能に係る特記事項による ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 くつずりの仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 ※ HL以上 表面仕上げ ※ HL ・ 鏡面仕上げ 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ（・ α角 ・ β角 ・ γ角） 金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※ 改修標準仕様書表5.8.1及び適用は建具表による 金属製建具に使用する丁番の数及び大きさ ※ 改修標準仕様書表5.8.2による 樹脂製建具に使用する丁番の数及び大きさ ※ 標準仕様書表5.8.3による 木製建具に使用する丁番の数及び大きさ ※標準仕様書表5.8.4による 木製建具に使用する戸玉及びレール ※標準仕様書表5.8.5による 握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ※ 建具表による 錠前類 【シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠】 （品質） デッドボルトの出寸法は17mm以上とする。鍵付きのものはマスターキー、グラندマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。 （性能） ＜使用頻度による性能＞ 1) （シリンダ箱錠のみ）ラッチボルトの開閉繰り返し試験（40万回）を行った後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。 2) キーによるデッドボルトの旋解錠繰り返し試験（10万回）を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、旋解錠操作に支障がない。（シリンダ本締り錠のみ）シリンダ単体の旋解錠繰り返し回しの評価は、シリンダ だけの回転トルクが10N・cm以下とする。 3) キーによる旋解錠機構の旋解錠繰り返し試験（10万回）を行なった後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、旋解錠操作に支障がない。 4) キーの抜き差し繰り返し試験（10万回）を行なった後、キーの抜き差しに要する荷重は10N以下である。また、未使用の合鍵でシリンダが回転でき、かつ、1箇所1段差浅い刻みをもつ異なるキーでは、シリンダが回転しないこと。（キーに加えるトルクは、150N・cmとする） ＜外力に対する性能＞ 1) デッドボルトの押し込み強度試験（10KN）を行なった後、荷重を除いたときのデッドボルトの出寸法は8mm以上であること。 2) デッドボルトの側圧強度試験（10KN）を行なった際、加圧板がデッドボルトを通過しない。 3) デッドボルトの押し込み強度（衝撃荷重）試験（58.8J）の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態（デッドボルトの突出量が8mm未満）にならないこと。 4) デッドボルトの側圧強度（衝撃荷重）試験（58.5J）の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態（加圧板がデッドボルトを通過した状態）にならないこと。 5) （シリンダ本締り錠はグレード3以上の形込錠の場合）ストライクプレートの厚さ1.5mm以上のステンレス鋼製とし、トロヨケは厚さ1.6mm以上の鋼製の一体絞りとする。又はストライクの強度と同等以上の強度をもつものとする。 ＜使用原の質量に対する性能（シリンダ箱錠のみ）＞ 1) ラッチボルトの側圧強度試験（4KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がない。 2) レバーハンドルのねじり強度試験（3.5KN・cm）を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、旋錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、旋解錠操作に支障がない。 3) 握り玉のねじり強度試験（3KN・cm）を行なった後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、旋錠時握り玉が固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、旋解錠操作に支障がない。 4) ハンドルの引張強度試験（2KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、旋錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、旋解錠操作に支障がない。 5) ハンドルの垂直荷重強度試験（2KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、旋錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、旋解錠操作に支障がない。 ＜鍵＞ 1) かぎ（鍵）数は、1.5万以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効かぎ（鍵）違い数とみなさないものとする。 2) 同一タンブラーの使用数は、60％以下とする。また、6本タンブラーにおいては、キーの同一割合は、最大2連続までとしていること。 試験方法は、JIS A 1541-1（建築物金物―錠―第1部：試験方法）による。
11	建具用金物	【レバーハンドル】 （性能） ＜ねじり強度＞ レバーハンドルのねじり強度試験（3.5KN・cm）を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、旋錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、旋解錠操作に支障がないこと。 ＜垂直荷重強度＞ ハンドルの垂直荷重強度試験（2KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、旋錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、旋解錠操作に支障がないこと。 試験方法は、JIS A 1541-1（建築物金物―錠―第1部：試験方法）による。
12	鍵	[5 . 8 . 4] マスターキー ※ 製作する（ 組） ・ 製作しない ○ 既存に絡込む 錠の製作本数 ※ 各室3本1組（室名札付き） 錠箱 ・ 設ける（ 個用 組） ○ 設けない
13	自動ドア開閉装置	[5 . 9 . 2、3] 引き戸用駆動装置 性能 ※ 改修標準仕様書表5.9.1による 種類 ・ SSLD-1 ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2 車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置 性能 ※ 改修標準仕様書表5.9.2による 引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目 引き戸用検出装 性能 ※ 改修標準仕様書表5.9.3による 種類 ・ 光線（反射）センサー ・ 熱線センサー ・ 音波センサー ・ 光電センサー ・ 電波センサー ・ タッチスイッチ ・ 押しボタンスイッチ タッチスイッチの種類 ・ 無線式タッチスイッチ ・ 光線式タッチスイッチ 車椅子使用者用便所スイッチの種類 ・ 大型（開・閉）押しボタンスイッチ ・ 非接触スイッチ 戸の開閉方式 ※ 建具表による 防錆 ・ 適用する ・ 適用しない 凍結防止措置 ・ 適用する ・ 適用しない
14	自閉式上吊り引戸装置	[5 . 1 0 . 3] 性能値等 ※ 標準仕様書表5.10.1による （試験方法） （１）耐久性（開閉繰り返し）試験 閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制御装置のみにより戸を開端位置から閉端位置までの動作を確認できる試験を行う。同試験に用いる試験体は片引戸とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。通戸戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回以上の時点て1回のみ調整を行えるものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性試験成績証書において2万回以上の耐久性能を確認することで、試験に代えることができるものとする。 （２）耐衝撃性試験 落下高さ17cmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。 耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効法は高さ2,000mm、幅900mmとする。 通戸戸総質量の区分毎に試験を行う。 （３）





出典：国土地理院
No Scale

敷地案内図

建築物概要

・施設名称	本郷人権文化センター（集会所：1室の床面積が200㎡未満）		
・施設用途	人権文化センター		
・構造・規模	既存部分	今回増築部分	合 計
	鉄筋コンクリート造	鉄骨造 2階建	
	一部 鉄骨造、 地上3階建		
	建築面積 254.01 ㎡	29.37 ㎡	283.38㎡
	延べ面積 392.30 ㎡	58.74 ㎡	451.04㎡
・耐火性能	その他建築物		

敷地概要

・工事場所	本郷北三丁目
・敷地面積	1,677.36 ㎡
・都市計画区域	区域内（区域区分非設定）
・用途地域	第二種中高層住居専用地域
・防火地域等	法22条指定区域
・その他の地域地区	なし
・建ぺい率	60 %
・容積率	200 %

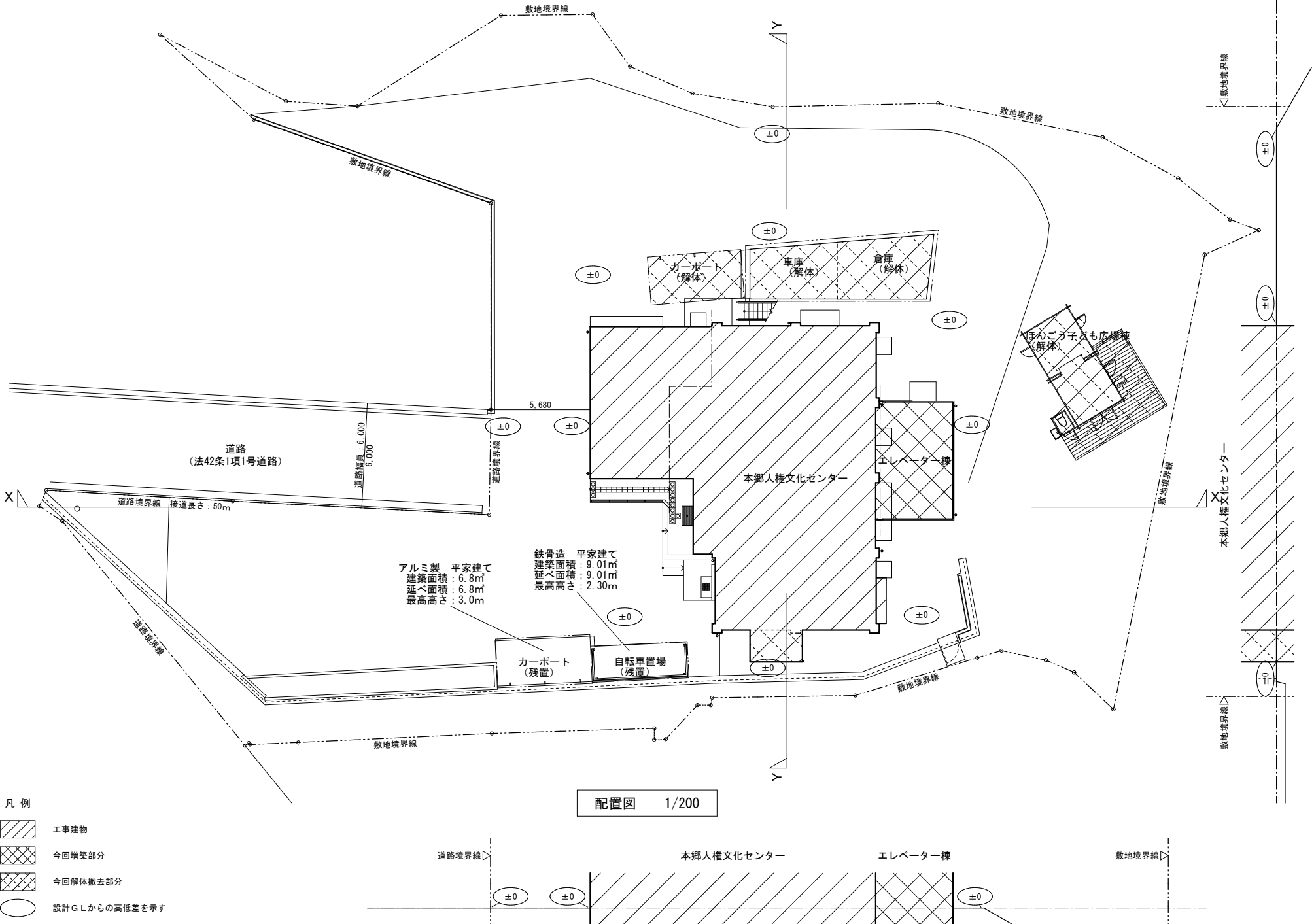
工事内容

- ・エレベーターの設置
- ・エレベーター棟の増築
- ・上記に伴う内部改修
- ・1階便所廻り並びに2階多目的便所及び湯沸室新設改修
- ・外壁改修
- ・屋上防水改修
- ・耐震改修（1階女子便所（増築）部分、倉庫車庫棟、ほんごう子ども広場棟の解体）
- ・既存階段昇降機の撤去

	用途／規模	建築面積（㎡）	延べ面積（㎡）	備考（申請履歴等）
（申請建物）	本郷人権文化センター（エレベーター棟）（今回増築部分）	29.37	58.74	
	鉄骨造 2階建			
	本郷人権文化センター（既存部分）	254.01	392.30	新築当初時 確認済： 昭和55年9月16日 第7078号 検査済： 無し
	鉄筋コンクリート造 一部 鉄骨造 3階建			増築時 確認済： 平成12年 8月 2日 第H12認建三土000361号 検査済： 平成12年12月14日 第H12証建三土000433号
合 計		283.38	451.04	
（既存建物）	カーポート	6.80	6.80	10㎡以下の増築で申請していない
	アルミ製 平家建て			
	自転車置場	9.01	9.01	
	鉄骨造 平家建て			
	ほんごう子ども広場棟	18.45	18.45	
	木造 平家建て			
合 計	（既存部分）	288.27	426.56	
		299.19	466.85	

隣地斜線について
建物高さが20mを超えていない為、検討不要

日影について
建物高さが10mを超えていない為、検討不要



- 凡 例
- 工事建物
 - 今回増築部分
 - 今回解体撤去部分
 - 設計G.L.からの高低差を示す

配置図 1/200



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

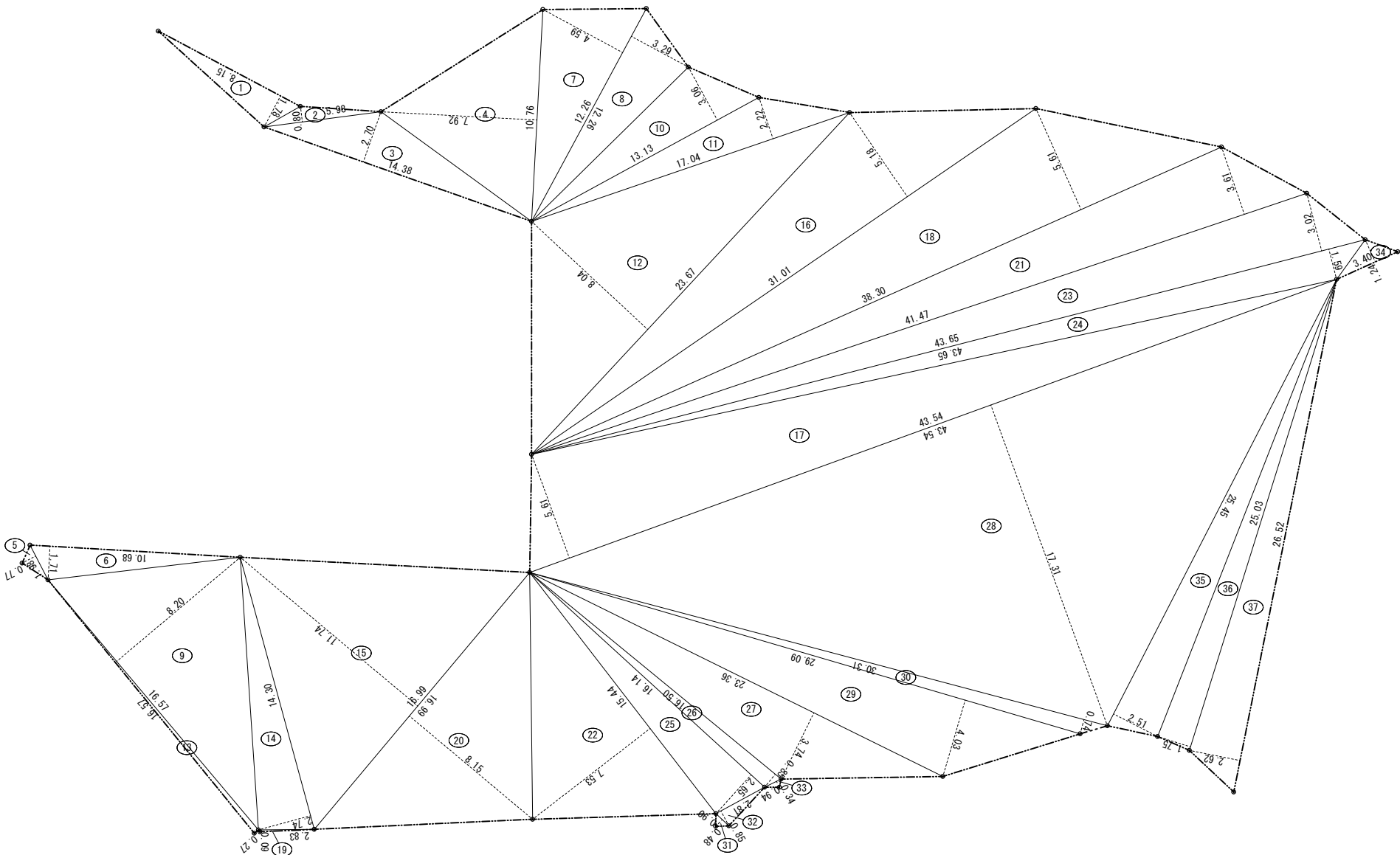
工事名：
本郷人権文化センター耐震改修等工事

図面名：
敷地案内図，配置図

縮尺：
1/200
A2版：100%
A3版：71%

査図： 部長： 課長： 主任： 担当：

日付：
R 7 年
図番：
A - 11

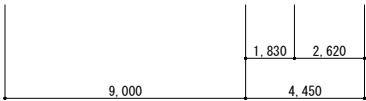
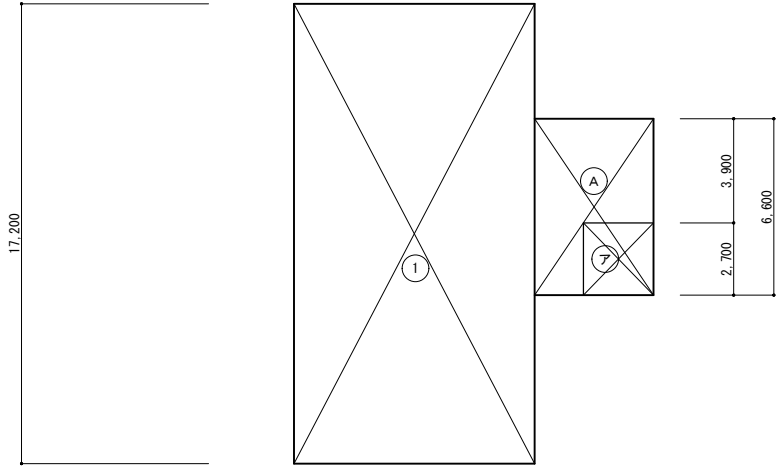


敷地求積表

番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	8.15	1.78	14.5070	7.25350
2	5.98	0.80	4.7840	2.39200
3	14.38	2.70	38.8260	19.41300
4	10.76	7.92	85.2192	42.60960
5	1.98	0.77	1.5246	0.76230
6	10.68	1.71	18.2628	9.13140
7	12.26	4.59	56.2734	28.13670
8	12.26	3.29	40.3354	20.16770
9	16.57	8.20	135.8740	67.93700
10	13.13	3.06	40.1778	20.08890
11	17.04	2.22	37.8288	18.91440
12	23.67	8.04	190.3068	95.15340
13	16.57	0.27	4.4739	2.23695
14	14.30	2.74	39.1820	19.59100
15	16.99	11.74	199.4626	99.73130
16	31.01	5.18	160.6318	80.31590
17	43.54	5.61	244.2594	122.12970
18	38.30	5.61	214.8630	107.43150
19	2.83	0.09	0.2547	0.12735
20	16.99	8.15	138.4685	69.23425
21	41.47	3.61	149.7067	74.85335
22	15.44	7.53	116.2632	58.13160
23	43.65	3.02	131.8230	65.91150
24	43.65	1.59	69.4035	34.70175
25	16.14	2.65	42.7710	21.38550
26	16.50	0.85	14.0250	7.01250
27	23.36	3.74	87.3664	43.68320
28	43.54	17.31	753.6774	376.83870
29	29.09	4.03	117.2327	58.61635
30	30.31	0.74	22.4294	11.21470
31	0.90	0.48	0.4320	0.21600
32	2.81	0.85	2.3885	1.19425
33	0.94	0.34	0.3196	0.15980
34	3.40	1.24	4.2160	2.10800
35	25.45	2.51	63.8795	31.93975
36	25.03	1.75	43.8025	21.90125
37	26.52	2.62	69.4824	34.74120
合 計				1,677.36725
敷 地 面 積				1,677.36 m ²

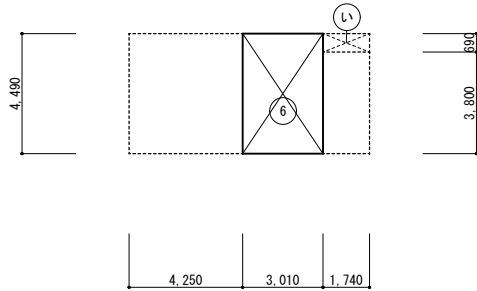
敷地 求積図 1/250





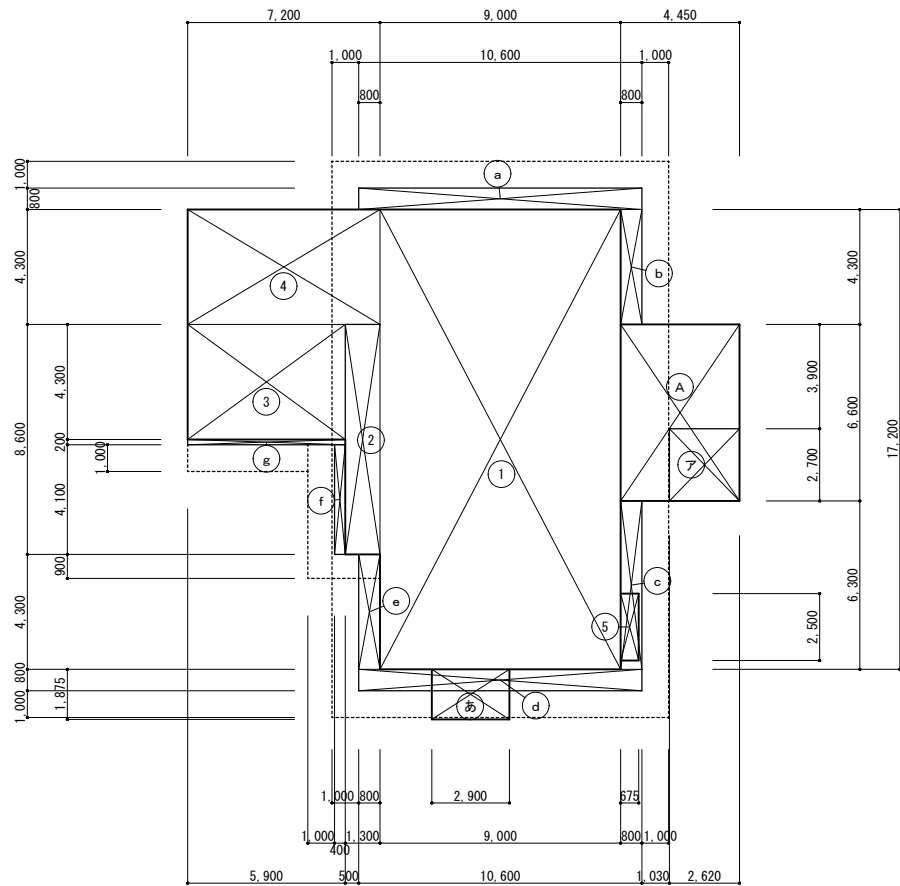
2 階求積図 1/200

2 階床面積				
既存部分				
①	9.000	x	17.200	= 154.80
計	154.80 m ²			
今回増築部分				
Ⓐ	4.450	x	6.600	= 29.37
計	29.37 m ²			
(容積対象外) 床面積				
Ⓐ	2.620	x	2.700	= 7.07
(容積対象) 床面積				
	29.37	-	7.07	= 22.30



3 階求積図 1/200

3 階床面積				
既存部分				
⑥	3.010	x	4.490	= 13.51
計	13.51 m ²			
既存部分（減築部分）				
⑥い	1.740	x	0.690	= 1.20
計	1.20 m ²			



1 階求積図 1/200

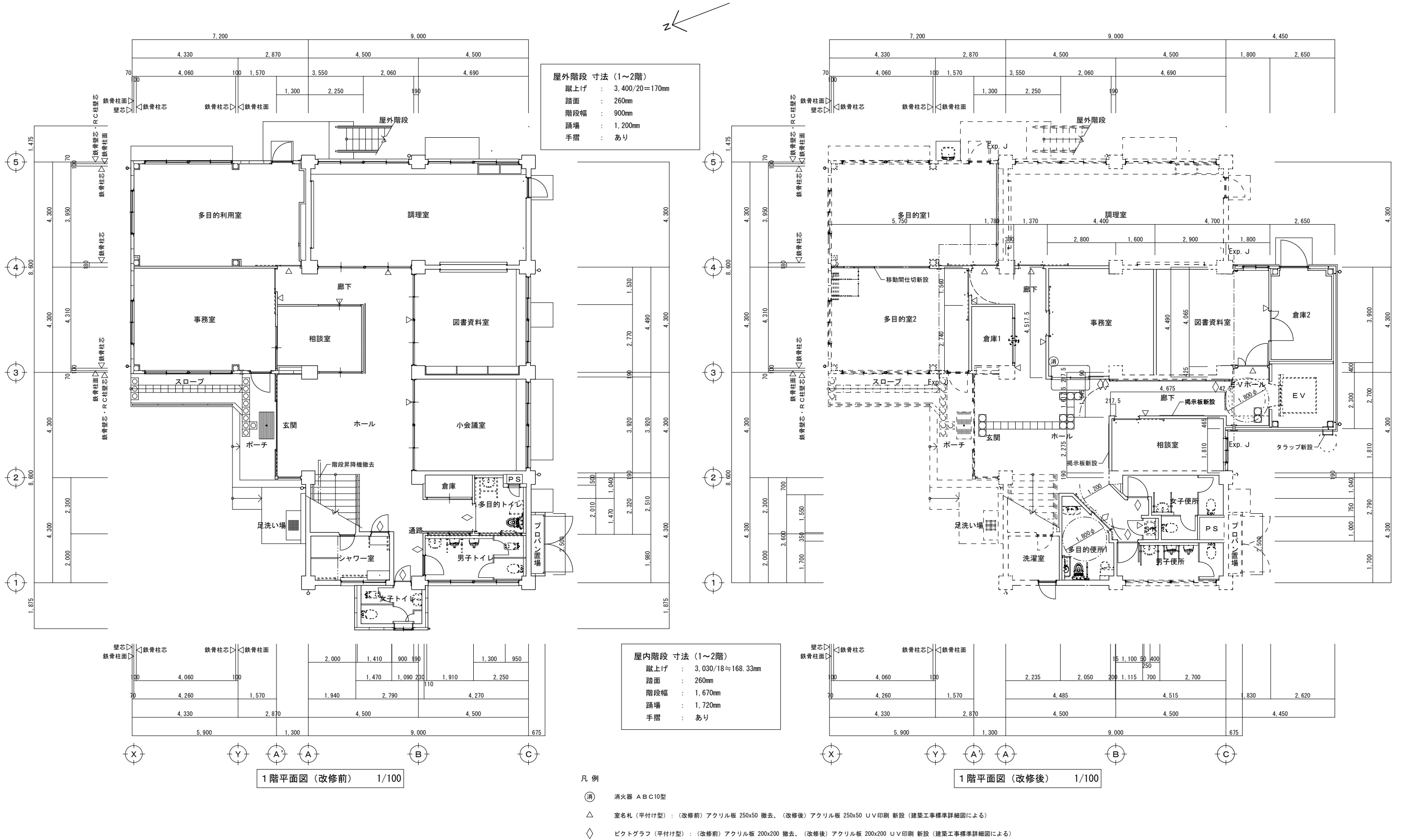
1 階床面積				
既存部分				
①	9.000	x	17.200	= 154.80
②	1.300	x	8.600	= 11.18
③	5.900	x	4.300	= 25.37
④	7.200	x	4.300	= 30.96
⑤	0.675	x	2.500	= 1.68
計	223.99 m ²			
既存部分 (減築部分)				
Ⓐ	2.900	x	1.875	= 5.43
計	5.43 m ²			
今回増築部分				
Ⓐ	4.450	x	6.600	= 29.37
計	29.37 m ²			
(容積対象外) 床面積				
Ⓐ	2.620	x	2.700	= 7.07
(容積対象) 床面積				
	29.37	-	7.07	= 22.30

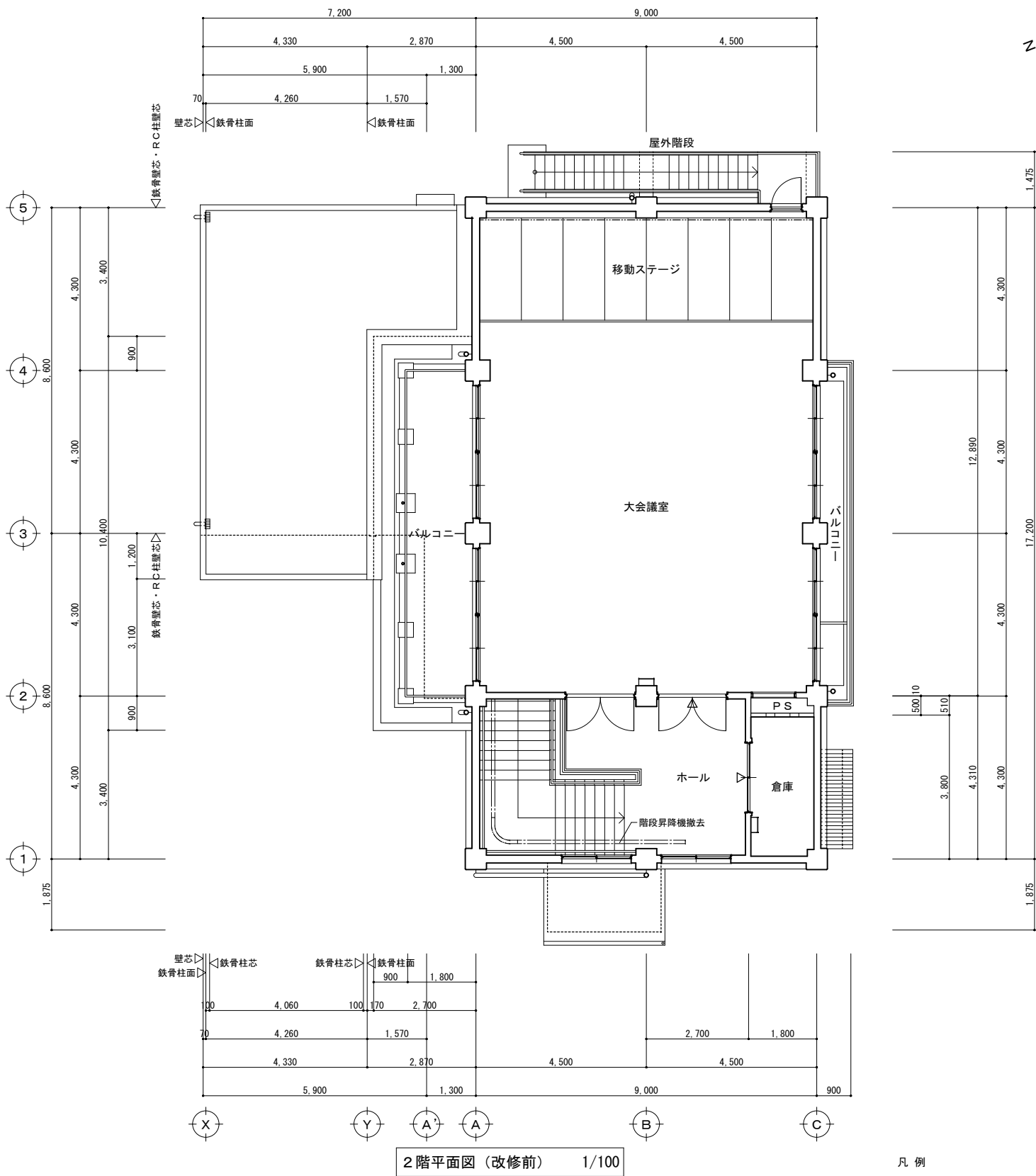
建築面積				
既存部分				
	1階床面積より			223.99
	△	⑤	△	1.68
Ⓐ	10.600	x	0.800	= 8.48
Ⓑ	0.800	x	4.300	= 3.44
Ⓒ	0.800	x	6.300	= 5.04
Ⓓ	10.600	x	0.800	= 8.48
Ⓔ	0.800	x	4.300	= 3.44
Ⓕ	0.400	x	4.100	= 1.64
Ⓖ	5.900	x	0.200	= 1.18
計				254.01 m [㎡]
今回増築部分				
Ⓐ	4.450	x	6.600	= 29.37
計				29.37 m [㎡]

	既存部分	今回増築部分	合 計	容積対象外			容積対象			減築部分
建築面積	254.01 m ²	29.37 m ²	283.38 m ²	既存部分	今回増築部分	合 計	既存部分	今回増築部分	合 計	
3階床面積	13.51 m ²	—	13.51 m ²	—	—	—	13.51 m ²	—	13.51 m ²	1.20 m ²
2階床面積	154.80 m ²	29.37 m ²	184.17 m ²	—	7.07 m ²	7.07 m ²	154.80 m ²	22.30 m ²	177.10 m ²	—
1階床面積	223.99 m ²	29.37 m ²	253.36 m ²	—	7.07 m ²	7.07 m ²	223.99 m ²	22.30 m ²	246.29 m ²	5.43 m ²
延べ面積	392.30 m ²	58.74 m ²	451.04 m ²	—	14.14 m ²	14.14 m ²	392.30 m ²	44.60 m ²	436.90 m ²	6.63 m ²



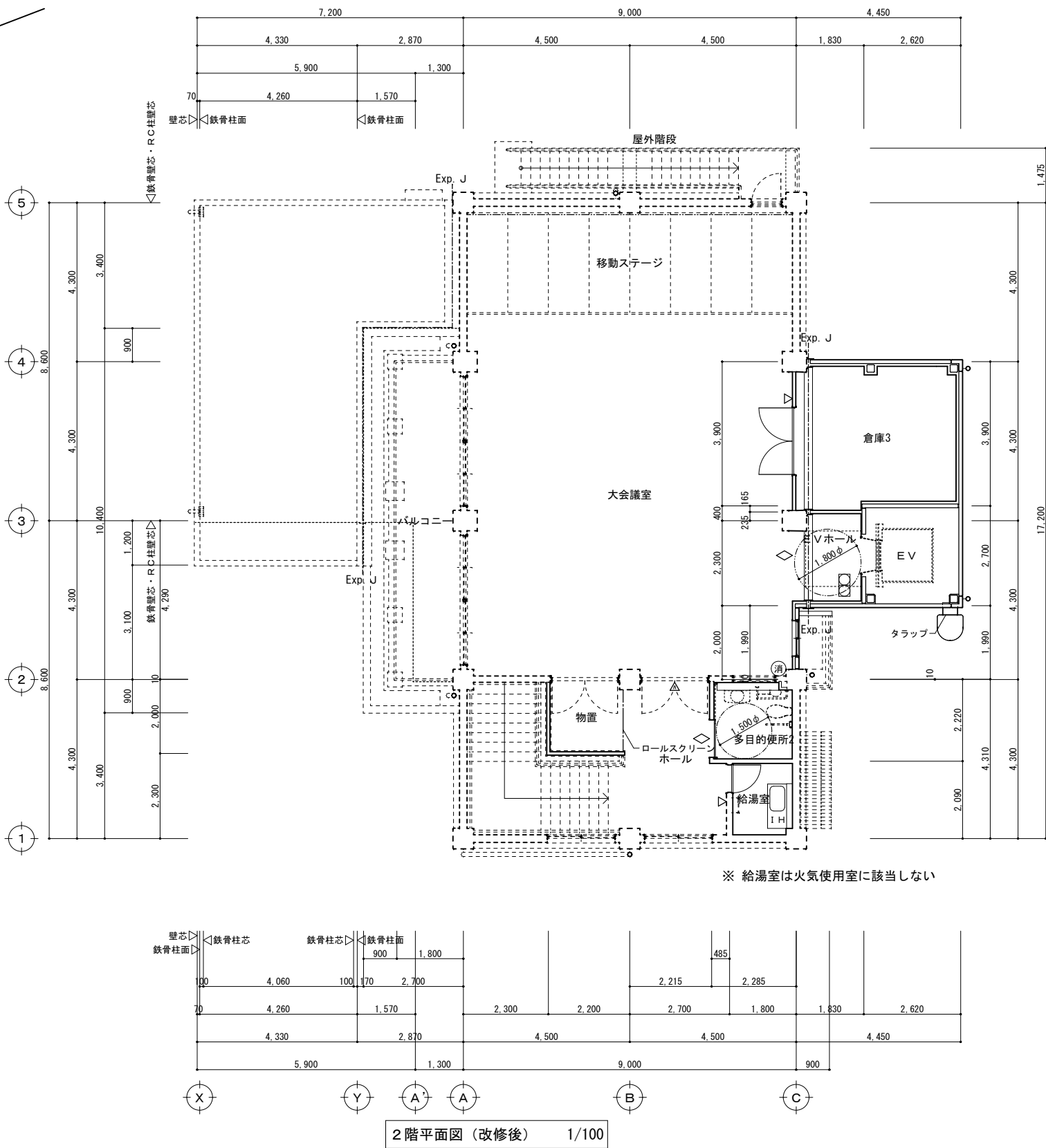
内部仕上表（既存改修部）																	
階	室 名	改修種別	床		幅木・腰		壁		天 井				化学物質の 濃度測定 （測定箇所数）	備 考			
			下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	廻縁	天井高					
1 ～ 2 階	階段	改修前	C	モルタルの上 ビニル床タイル t=2.0〔石綿含有〕撤去	C	モルタルの上 ビニル幅木 H=75〔石綿含有〕一部撤去	C	モルタル VE	S 撤去	大平板 t=5〔石綿含有〕（目透し工法）EP 撤去	塩ビ製 撤去	2,450		階段昇降機撤去			
		改修後	C 既存のまま	モルタルの上 ビニル床タイル t=2.0 新設	C 既存のまま	モルタルの上 ビニル幅木 H=75 一部新設	C 既存のまま	モルタル VE 既存のまま	S 新設	けい酸カルシウム板 t=6（目透し工法）EP-G 新設	塩ビ製 新設	2,450					
2 階	ホール	改修前	C	モルタルの上 ビニル床タイル t=2.0〔石綿含有〕撤去	C 一部撤去	モルタルの上 ビニル幅木 H=75〔石綿含有〕一部撤去	C 一部撤去	モルタル VE 一部撤去	C	コンクリート打放し仕上げの上 パーライト 撤去	――	直天					
									S撤去	大平板 t=5〔石綿含有〕（目透し工法）EP 撤去	塩ビ製 撤去	2,450					
		改修後	C 既存のまま	モルタルの上 ビニル床タイル t=2.0 新設	C 既存のまま	モルタルの上 ビニル幅木 H=75 一部新設	C 既存のまま	モルタル EP-G 新設	C 既存のまま	既存コンクリート打放し仕上げの上 内装薄塗材E 新設	――	直天					
					S新設	ビニル幅木 H=75 一部新設	S新設	せっこうボード t=12.5+12.5 EP-G 新設 せっこうボード t=12.5 EP-G 新設									
	物置	改修後	C 既存のまま	モルタルの上 ビニル床タイル t=2.0 新設	C 既存のまま	モルタルの上 ビニル幅木 H=75 新設	C 既存のまま	モルタル EP-G 新設	S 新設	けい酸カルシウム板 t=6（目透し工法）EP-G 新設	塩ビ製 新設	2,450		ロールスクリーン新設			
					S新設	ビニル幅木 H=75 新設	S新設	せっこうボード t=12.5 EP-G 新設									
	多目的便所2	改修後	C 既存のまま	モルタルの上 防滑性ビニル床シート t=2.5 新設	C 既存のまま	モルタルの上 ビニル幅木 H=75 新設	C 既存のまま	シージングせっこうボード t=12.5（直張り工法）の上 化粧ケイカル板 t=6 新設	S 新設	けい酸カルシウム板 t=6（目透し工法）EP-G 新設	塩ビ製 新設	2,450					
					S新設	ビニル幅木 H=75 新設	S新設	シージングせっこうボード t=12.5+12.5の上 化粧ケイカル板 t=6 新設									
	倉庫	改修前	C	モルタル	C 一部撤去	モルタル幅木 H=100	C 一部撤去	コンクリート打放し仕上げ 一部撤去		吹抜け							
					CB 撤去		CB t=120 化粧積み 撤去										
	湯沸室	改修後	C 既存のまま	モルタルの上 ビニル床シート t=2.0 新設	C 既存のまま	モルタルの上 ビニル幅木 H=75 新設	C 既存のまま	せっこうボード t=12.5（直張り工法）の上 壁紙 新設		吹抜け							
					S新設	ビニル幅木 H=75 新設	S新設	せっこうボード t=12.5+12.5の上 壁紙 新設									
	多目的便所2	改修後	C 既存のまま	モルタルの上 防滑性ビニル床シート t=2.5 新設	C 既存のまま	モルタルの上 ビニル幅木 H=75 新設	C 既存のまま	シージングせっこうボード t=12.5（直張り工法）の上 化粧ケイカル板 t=6 新設	S 新設	けい酸カルシウム板 t=6（目透し工法）EP-G 新設	塩ビ製 新設	2,450					
					S新設	ビニル幅木 H=75 新設	S新設	シージングせっこうボード t=12.5+12.5の上 化粧ケイカル板 t=6 新設									
	大会議室	改修前	C	モルタルの上 ビニル床シート t=2.0 一部撤去	C	木製幅木 SOP H=175	C	モルタル VE 一部撤去	S 撤去	化粧せっこうボード（トラバーチン）t=9.5〔石綿含有〕撤去	塩ビ製 撤去	3,950		ギャラリー 撤去			
		改修後	C 既存のまま	モルタルの上 ビニル床シート t=2.0 一部新設	C 既存のまま	木製幅木 SOP H=175	C 既存のまま	モルタル EP-G 新設	S 新設	化粧せっこうボード（スクエア）t=9.5 新設	塩ビ製 新設	3,950 3,140	○ (2)				
					S新設	ビニル幅木 H=75 新設	S新設	せっこうボード t=12.5 EP-G 新設									
3 階	機械室	改修前	C	モルタル	C	モルタル幅木 H=100	C	コンクリート打放し仕上げ	C	コンクリート打放し仕上げ	――	直天					
		改修後	C 既存のまま	モルタル 既存のまま	C 既存のまま	モルタル幅木 H=100 既存のまま	C 既存のまま	コンクリート打放し仕上げ 既存のまま	C 既存のまま	コンクリート打放し仕上げ 既存のまま	――	直天					
有限会社 元廣建築設計事務所 一級建築士事務所広島県登録 23(1) 第 0951 号					工事名：本郷人権文化センター耐震改修等工事		図面名：仕上表（４）		縮尺：+1/100- A2版：100% A3版：71%		査図： 部長： 課長： 主任： 担当：			日付：R7年		図番：A－17	
																	



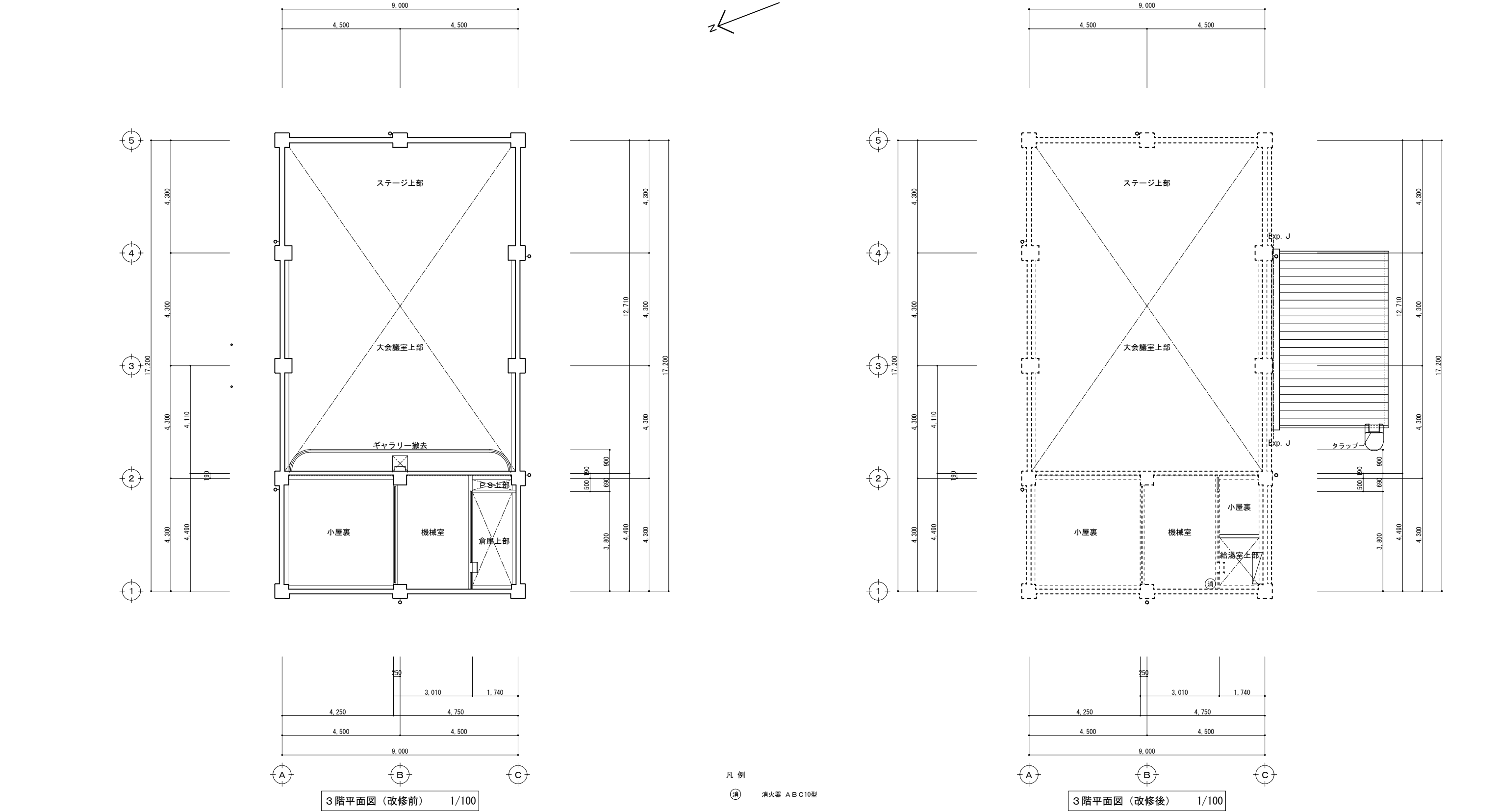


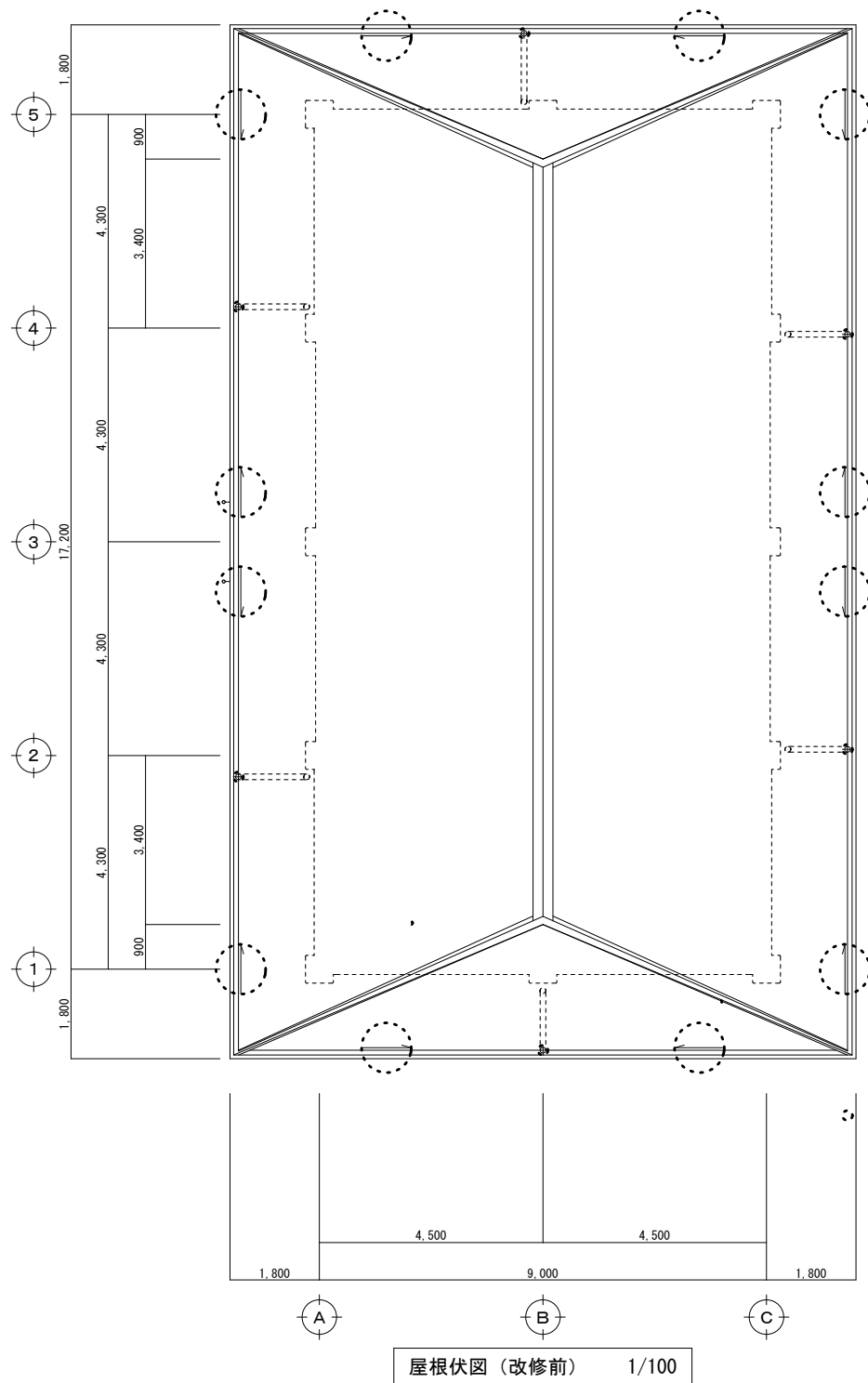
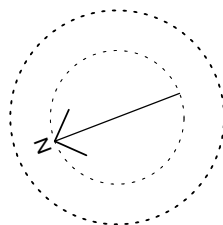
凡 例

- 消 火 器 A B C 10 型
- 室 名 札 (平 付 け 型) : (改 修 前) ア ク リ ル 板 250x50 撤 去、(改 修 後) ア ク リ ル 板 250x50 U V 印 刷 新 設 (建 築 工 事 標 準 詳 細 図 に よ る)
- ビ ク ト グ ラ フ (平 付 け 型) : (改 修 前) ア ク リ ル 板 200x200 撤 去、(改 修 後) ア ク リ ル 板 200x200 U V 印 刷 新 設 (建 築 工 事 標 準 詳 細 図 に よ る)

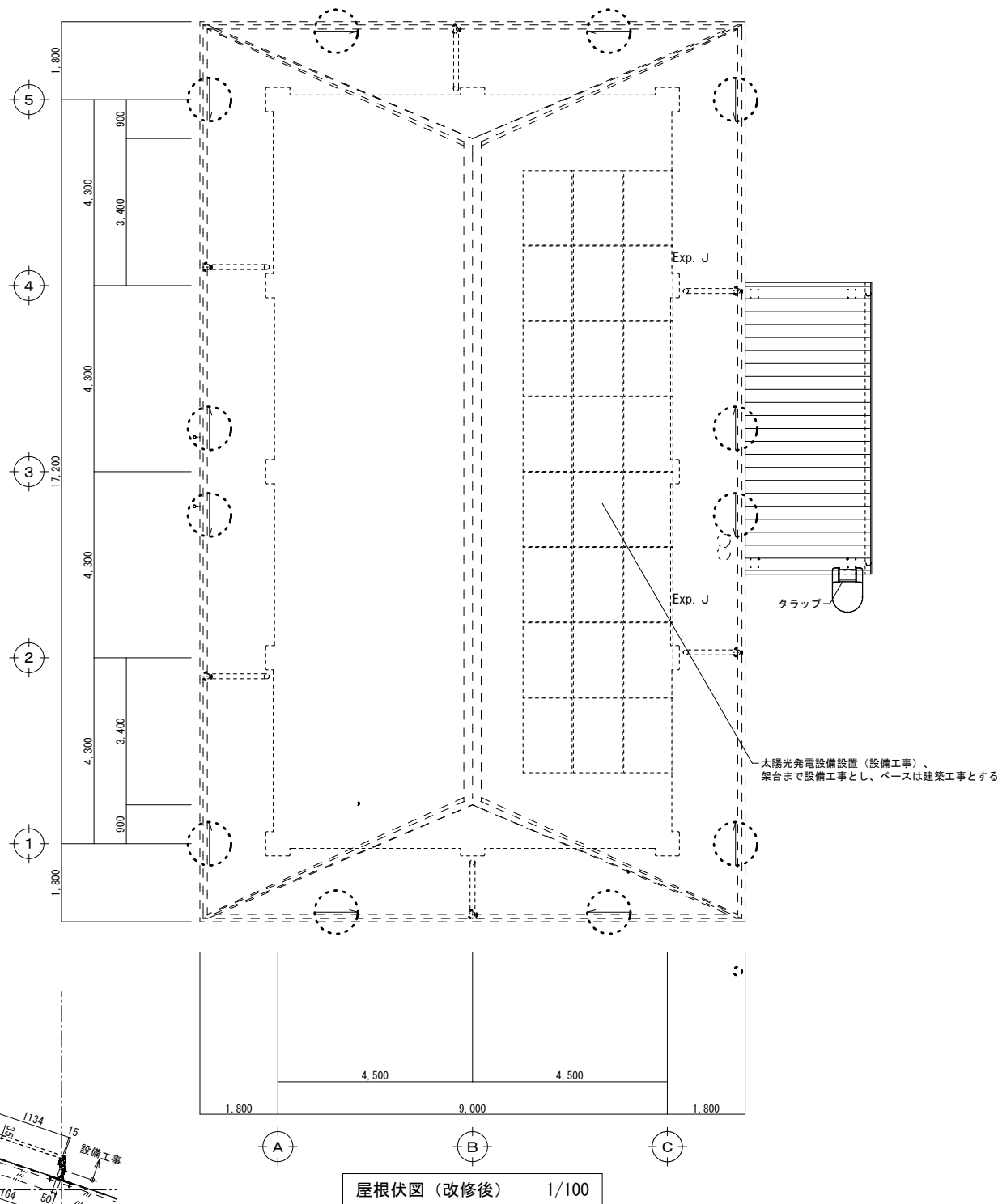
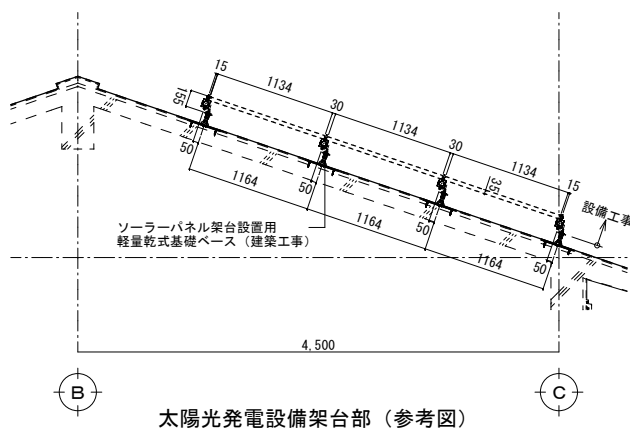


※ 給湯室は火気使用室に該当しない





【建築工事】
ソーラーパネル架台設置用 軽量乾式基礎
【別途電気設備工事】
太陽電池モジュール : 410W×24枚
太陽電池アレイ重量 : 21.5kg×24枚(516kg)
太陽電池架台 : 横型(3段×8列 -1基)
太陽電池架台傾斜角度 : 0°
太陽電池架台重量 : 180kg



太陽光発電設備設置（設備工事）、
架台まで設備工事とし、ベースは建築工事とする



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

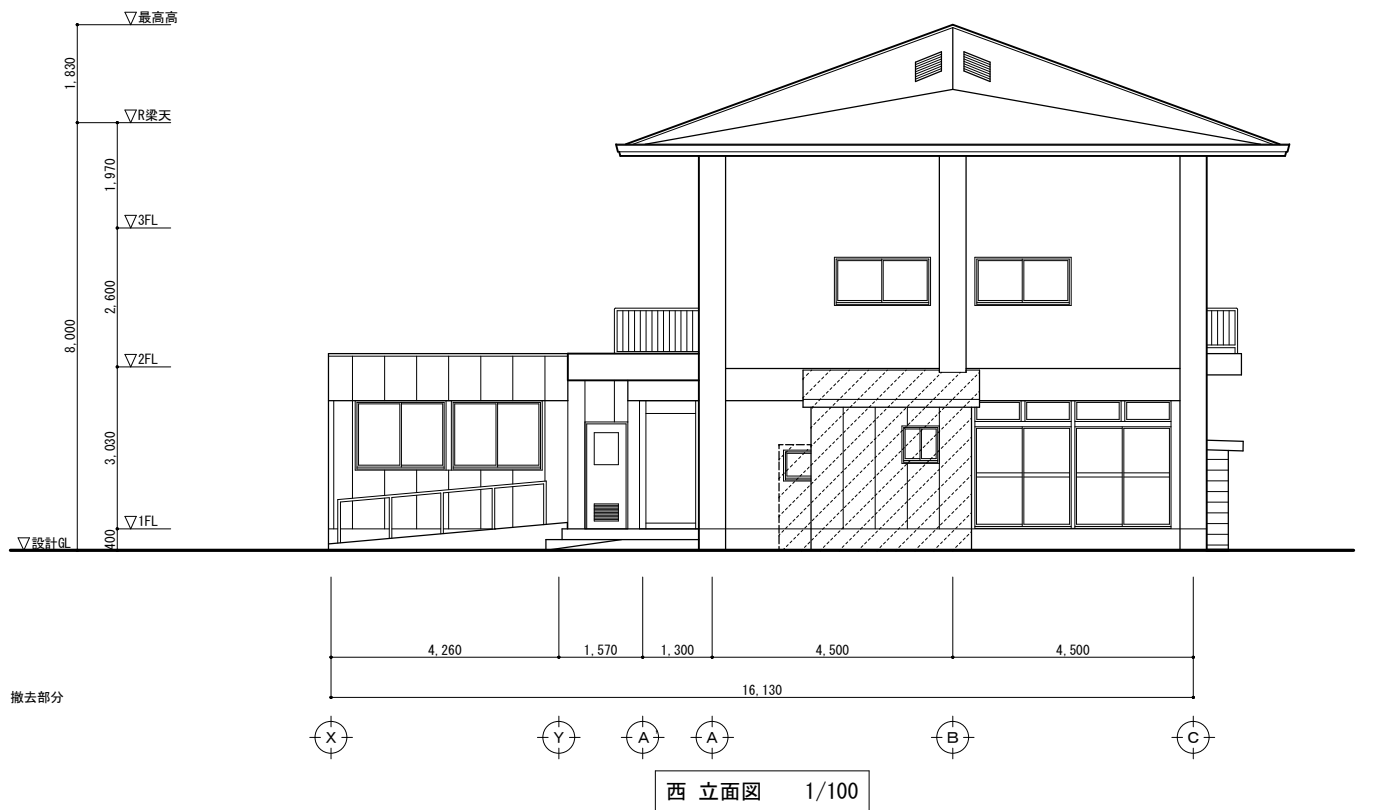
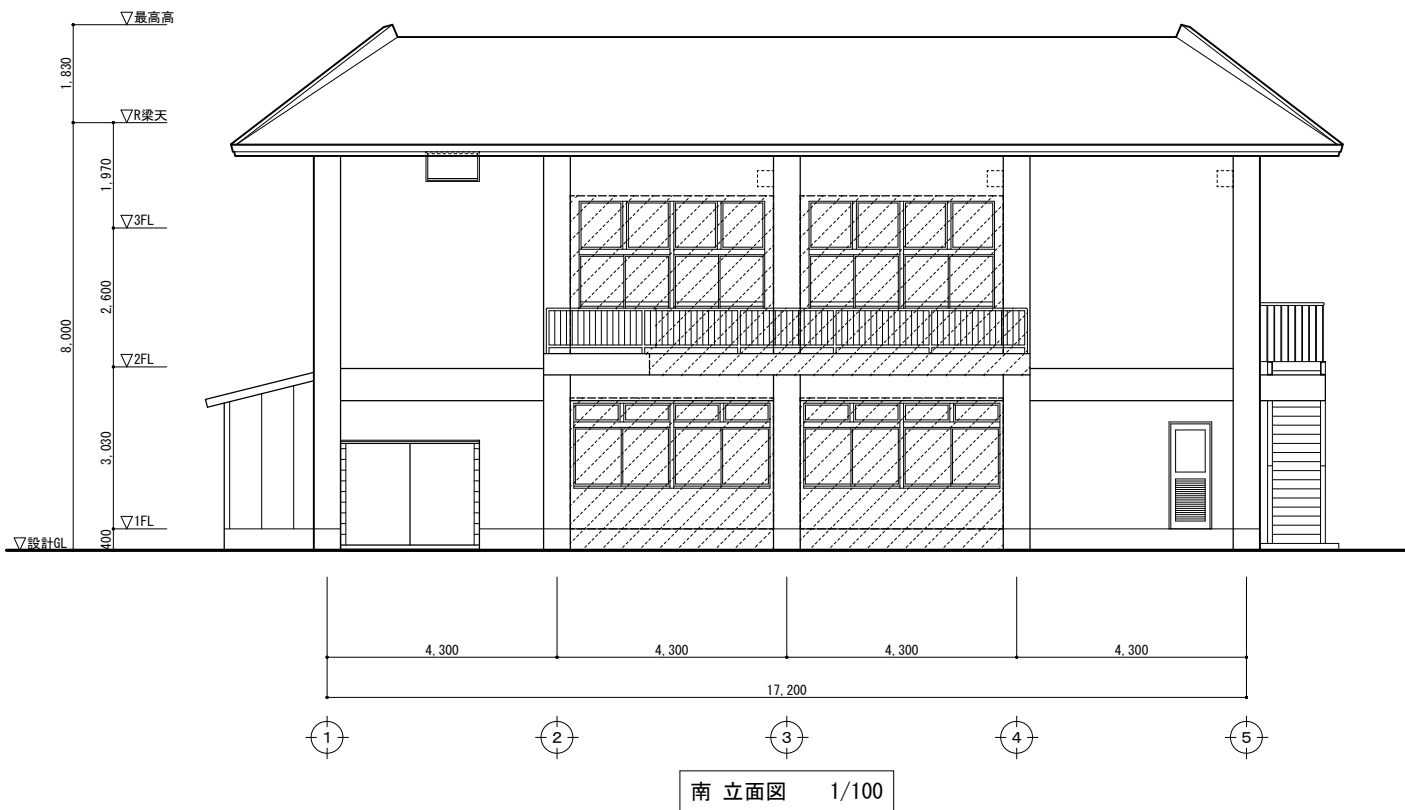
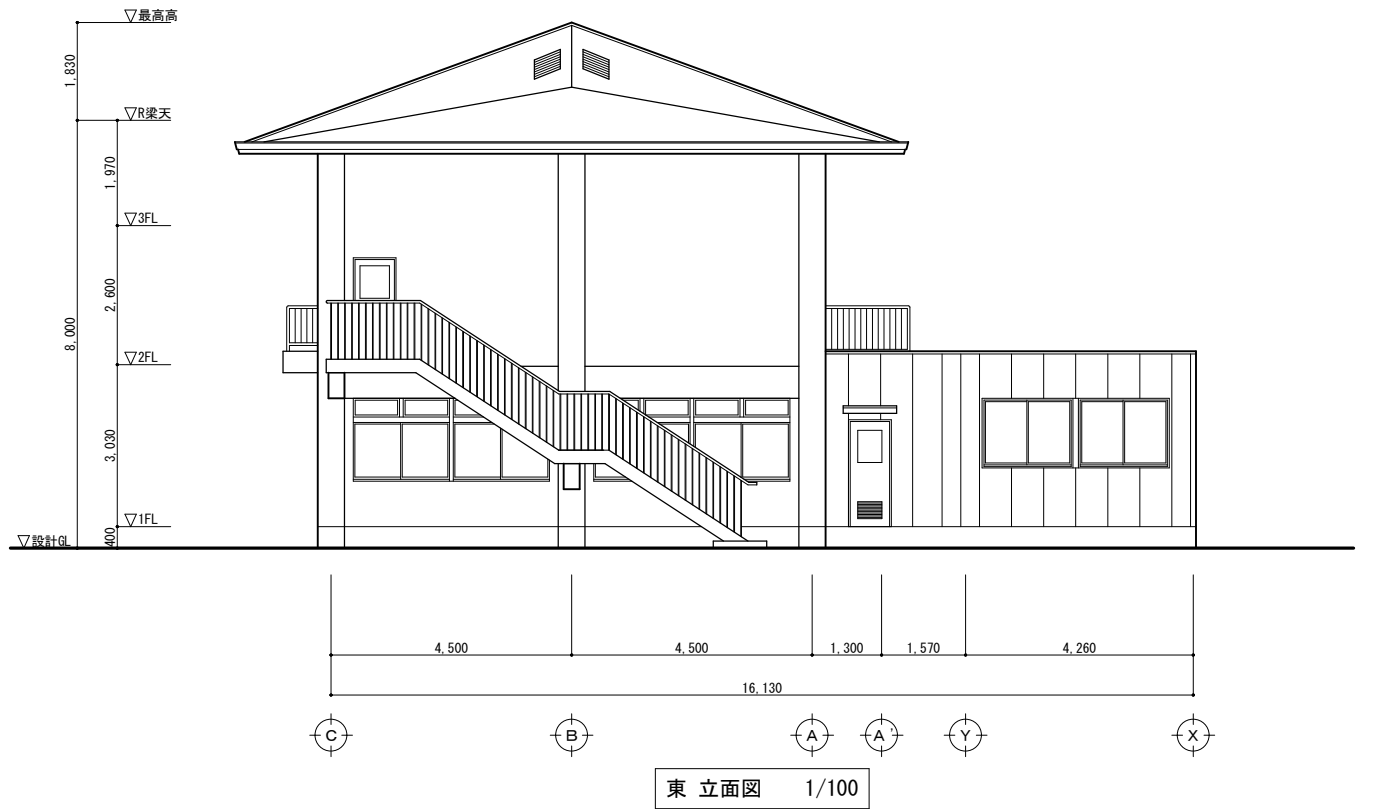
工事名 :
本郷人権文化センター耐震改修等工事

図面名 :
屋根伏図

縮尺 :
1/100
A2版 : 100%
A3版 : 71%

査図 : 部長 : 課長 : 主任 : 担当 :

日付 :
R 7 年
図番 :
A - 21



凡 例
撤去部分



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

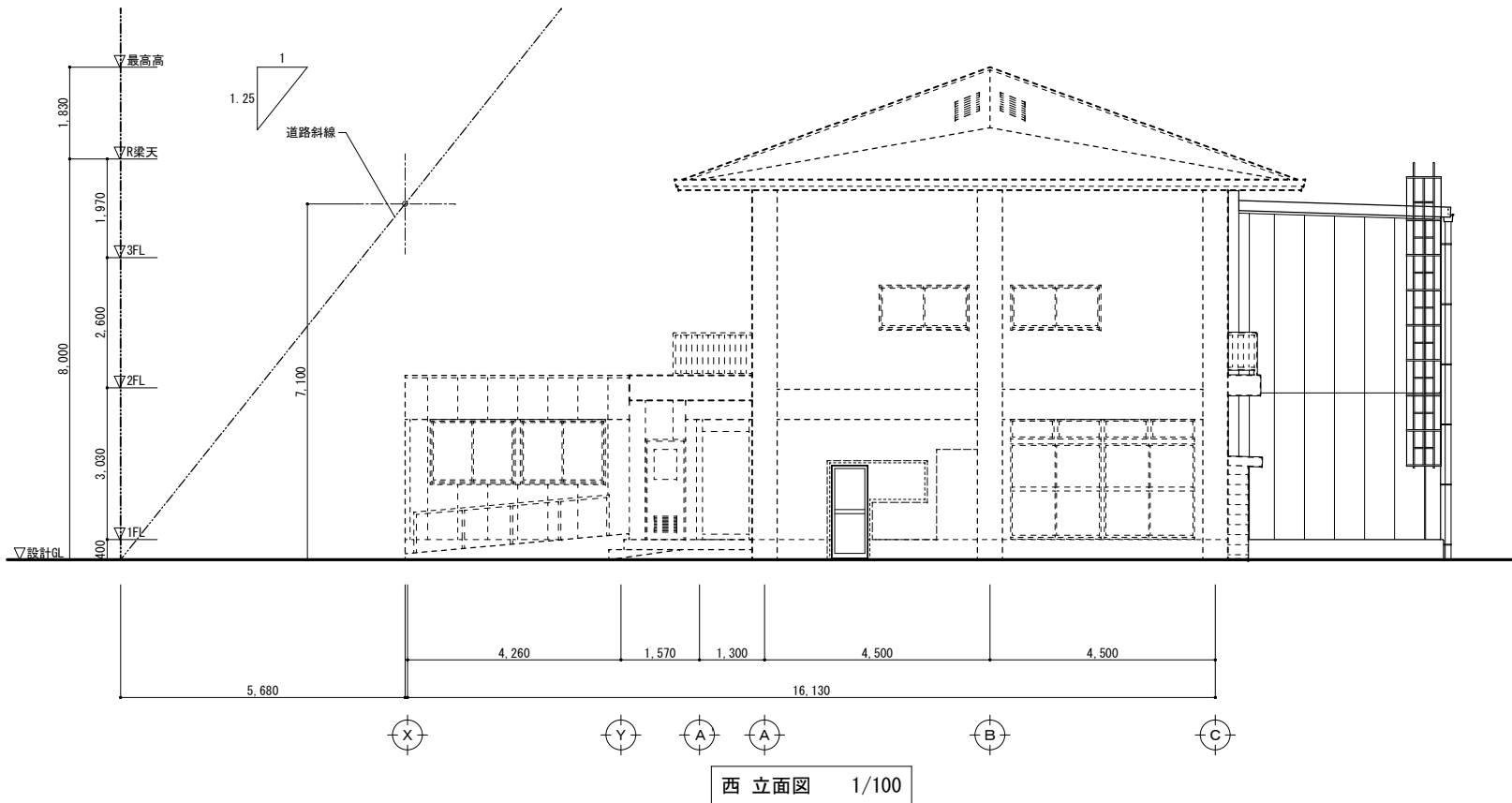
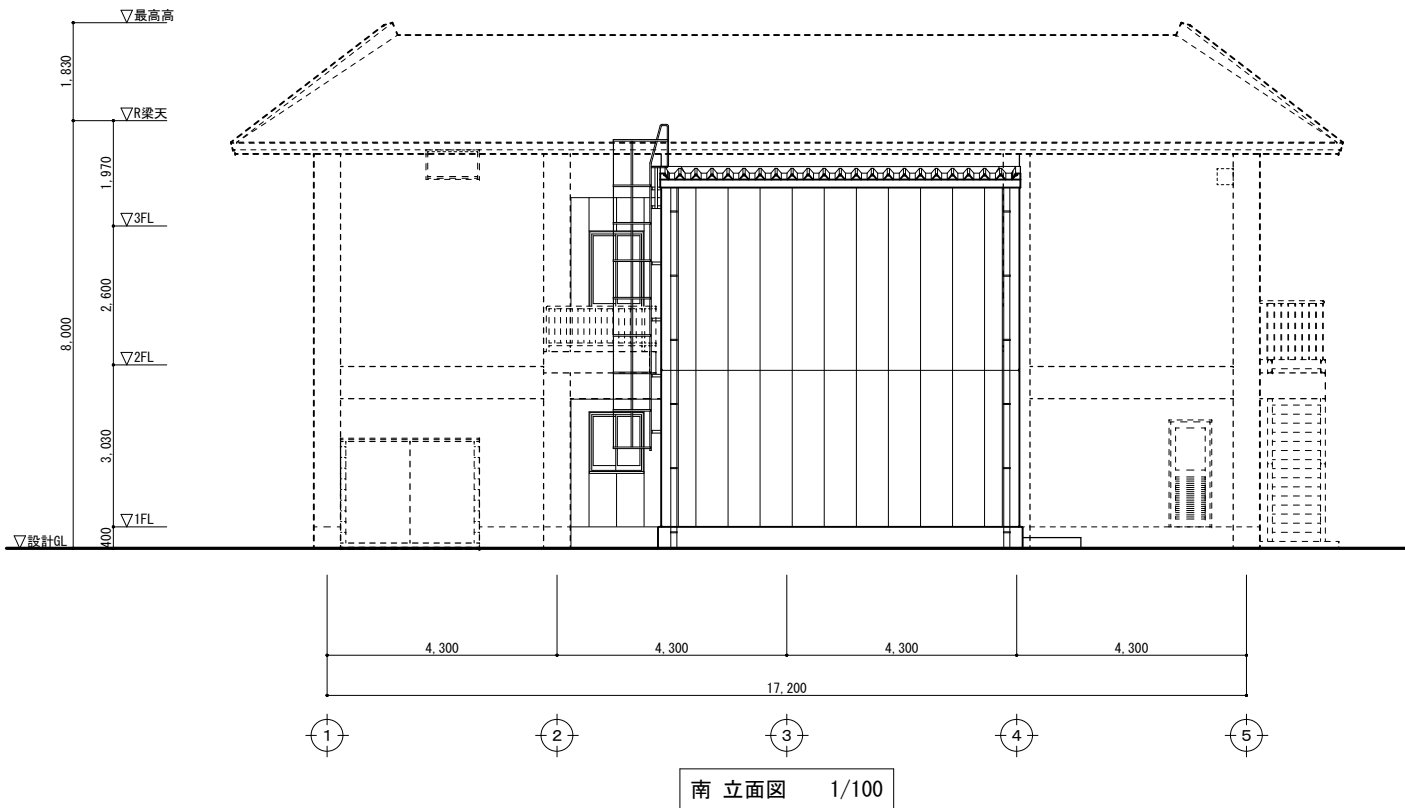
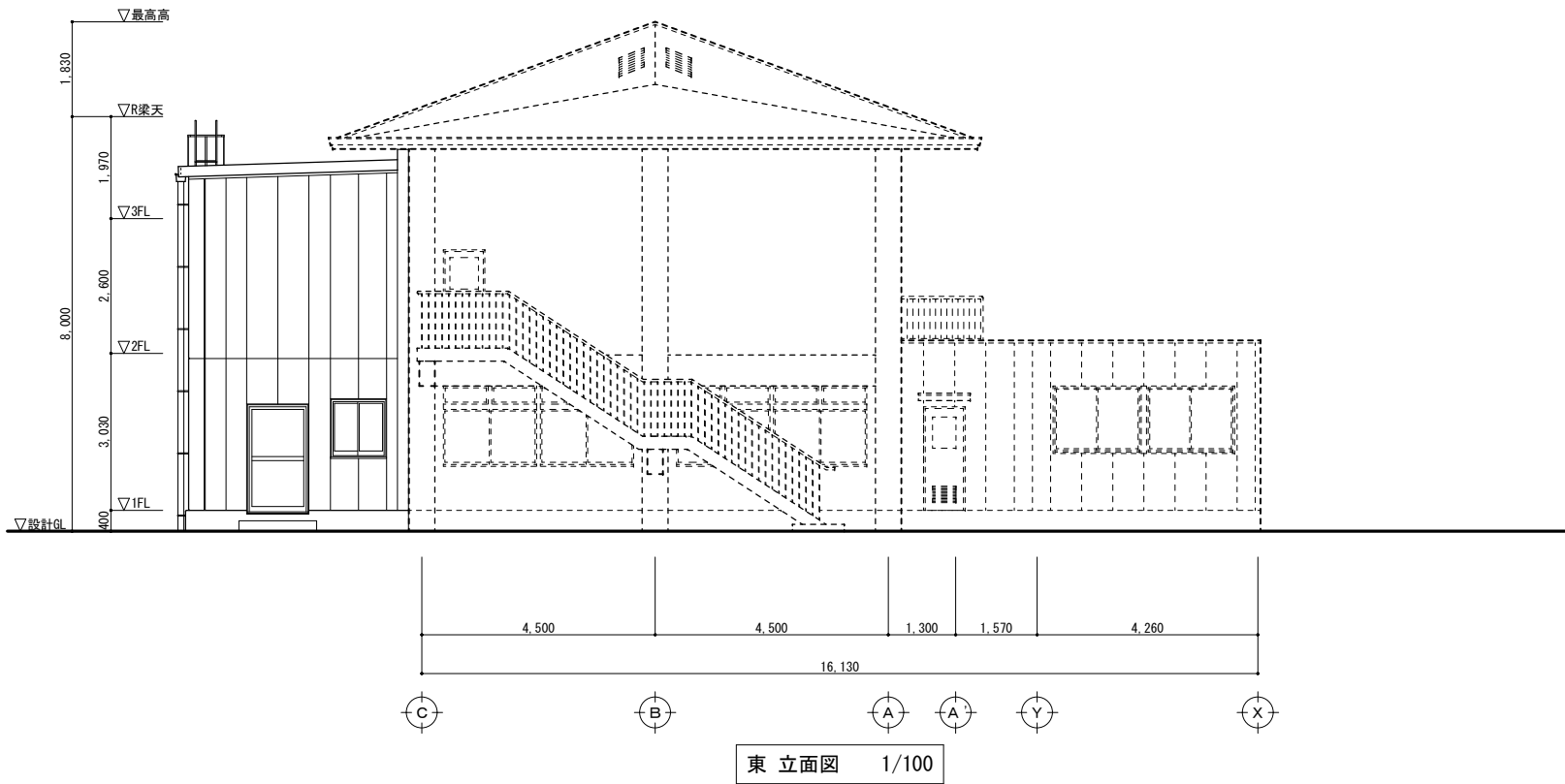
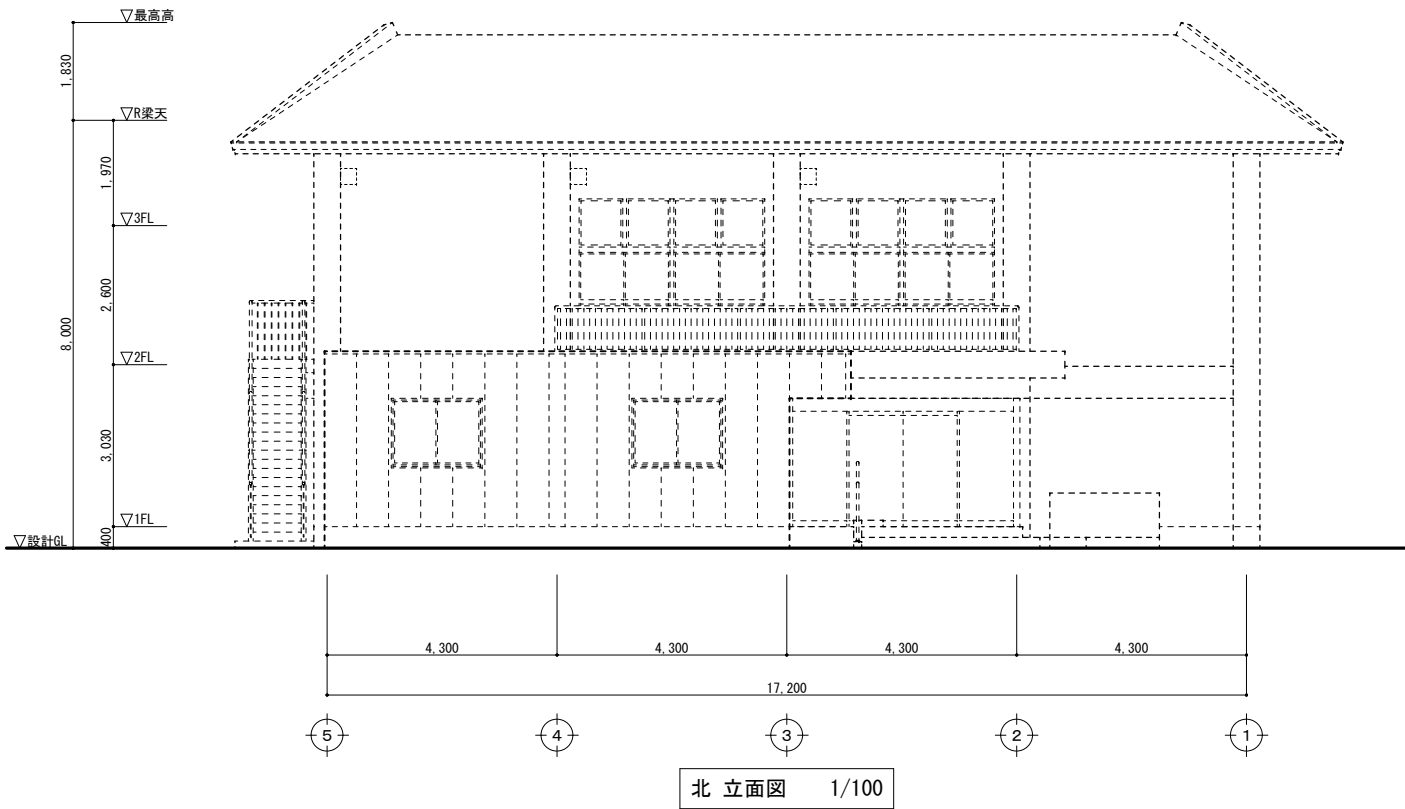
工事名 :
本郷人権文化センター耐震改修等工事

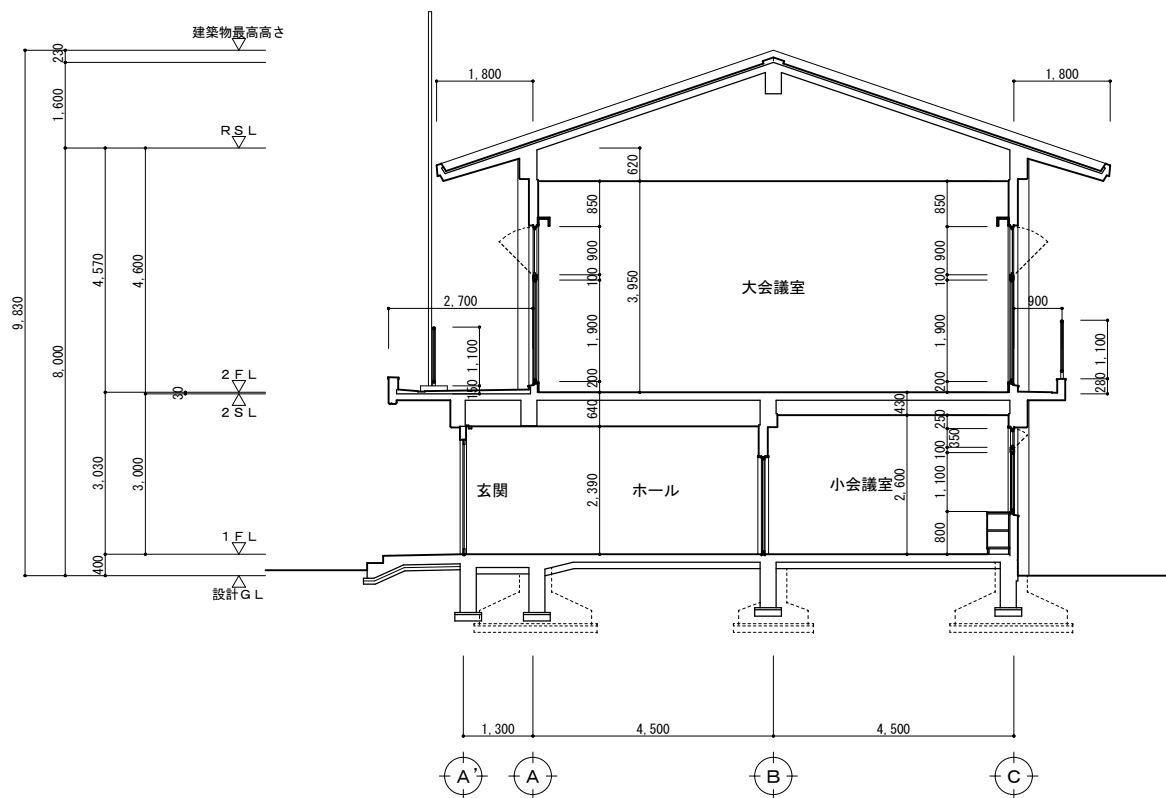
図面名 :
立面図 (改修前)

縮尺 :
1/100
A2版 : 100%
A3版 : 71%

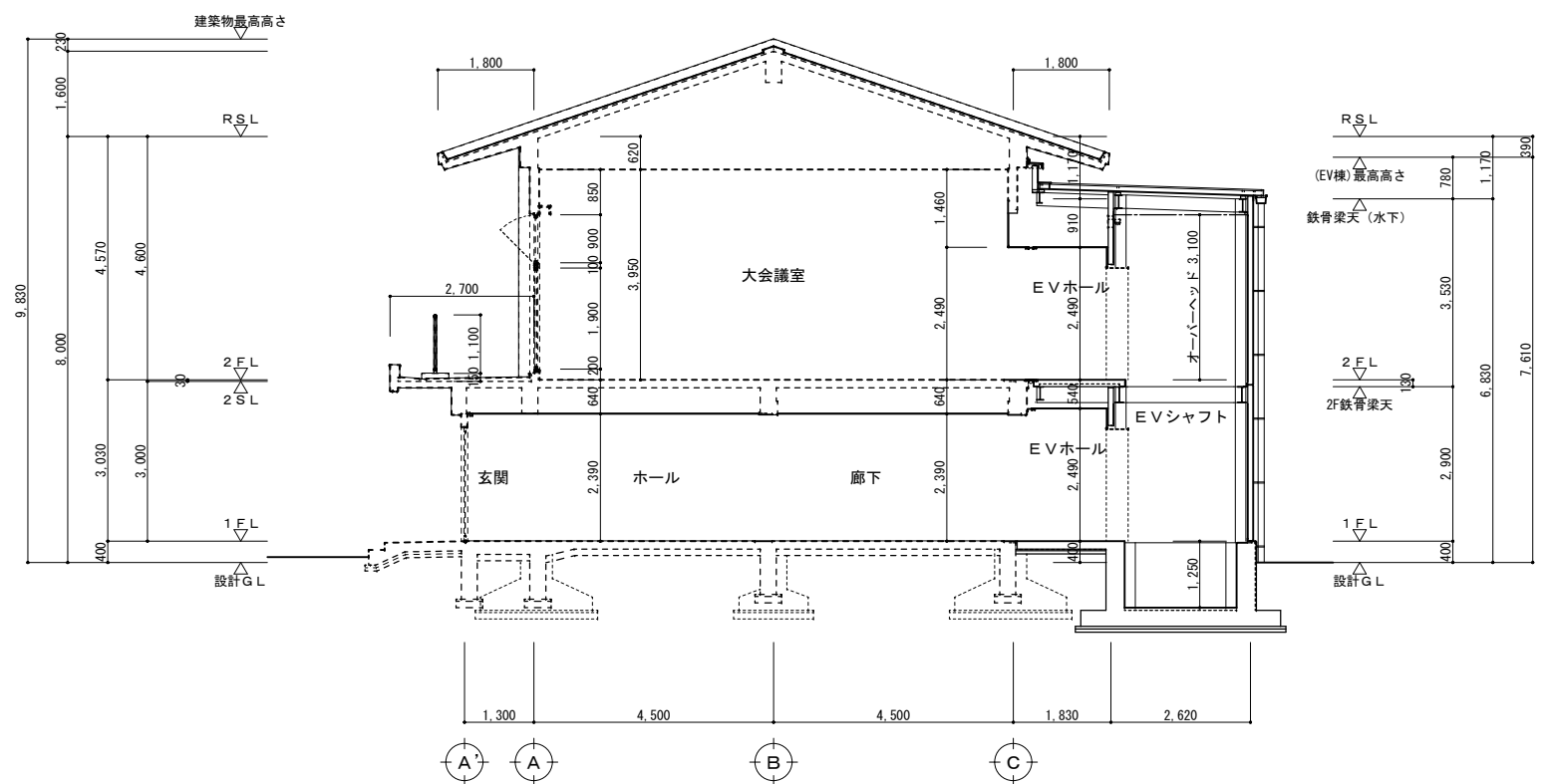
査図 : 部長 : 課長 : 主任 : 担当 :

日付 :
R 7 年
図番 :
A - 22





断面図（改修前） 1/100



断面図（改修後） 1/100



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名：

本郷人権文化センター耐震改修等工事

図面名：

断面図

縮尺：
1/100
A2版：100%
A3版：71%

査図：

部長：

課長：

主任：

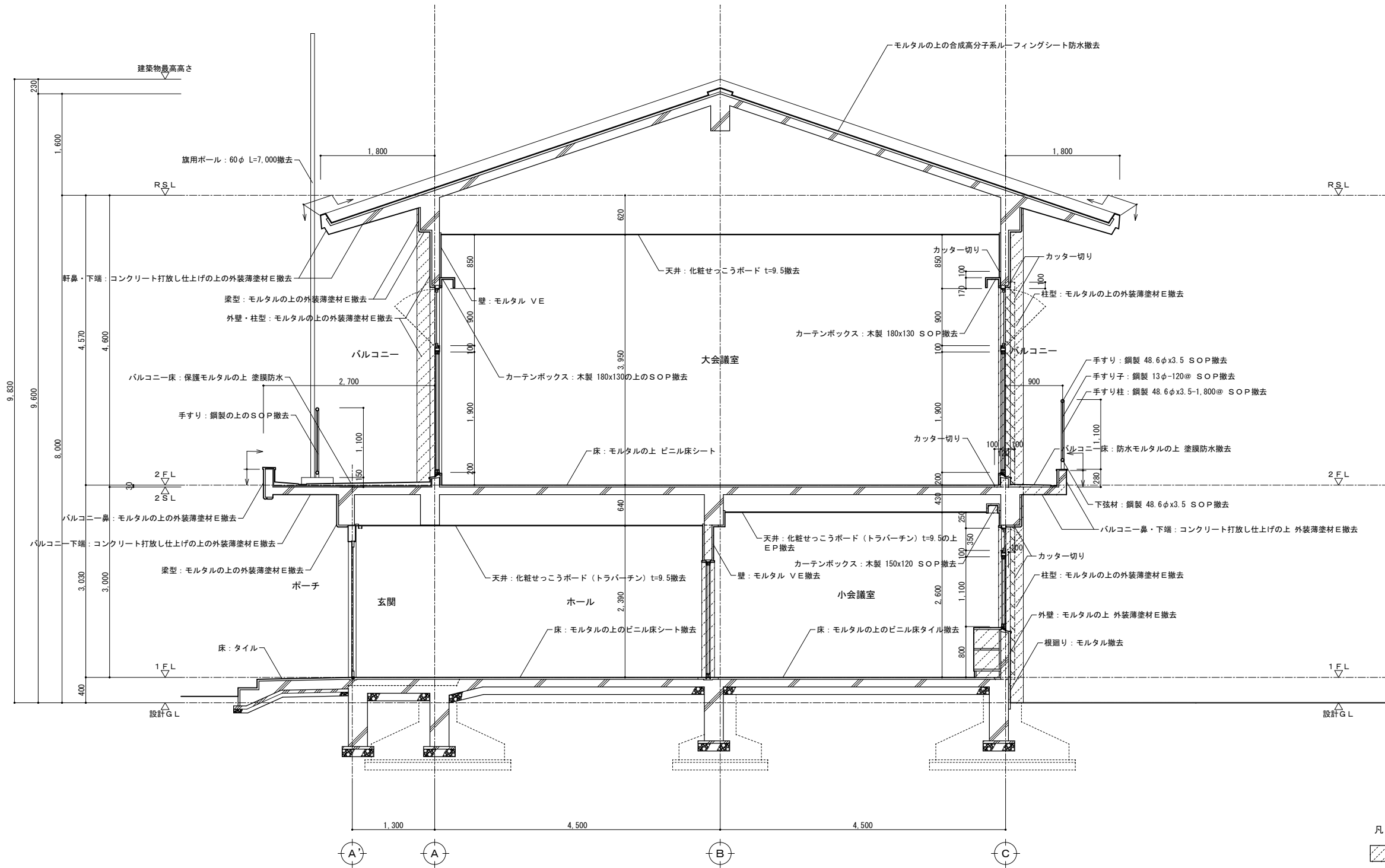
担当：

日付：

R 7 年

図番：

A - 24



矩計図（改修前） 1/50



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 23245 号
元 廣 匡 伸

工事名：

本郷人権文化センター耐震改修等工事

図面名：

矩計図（改修前）

縮尺：

1/50
A2版：100%
A3版：71%

査図：

部長：

課長：

主任：

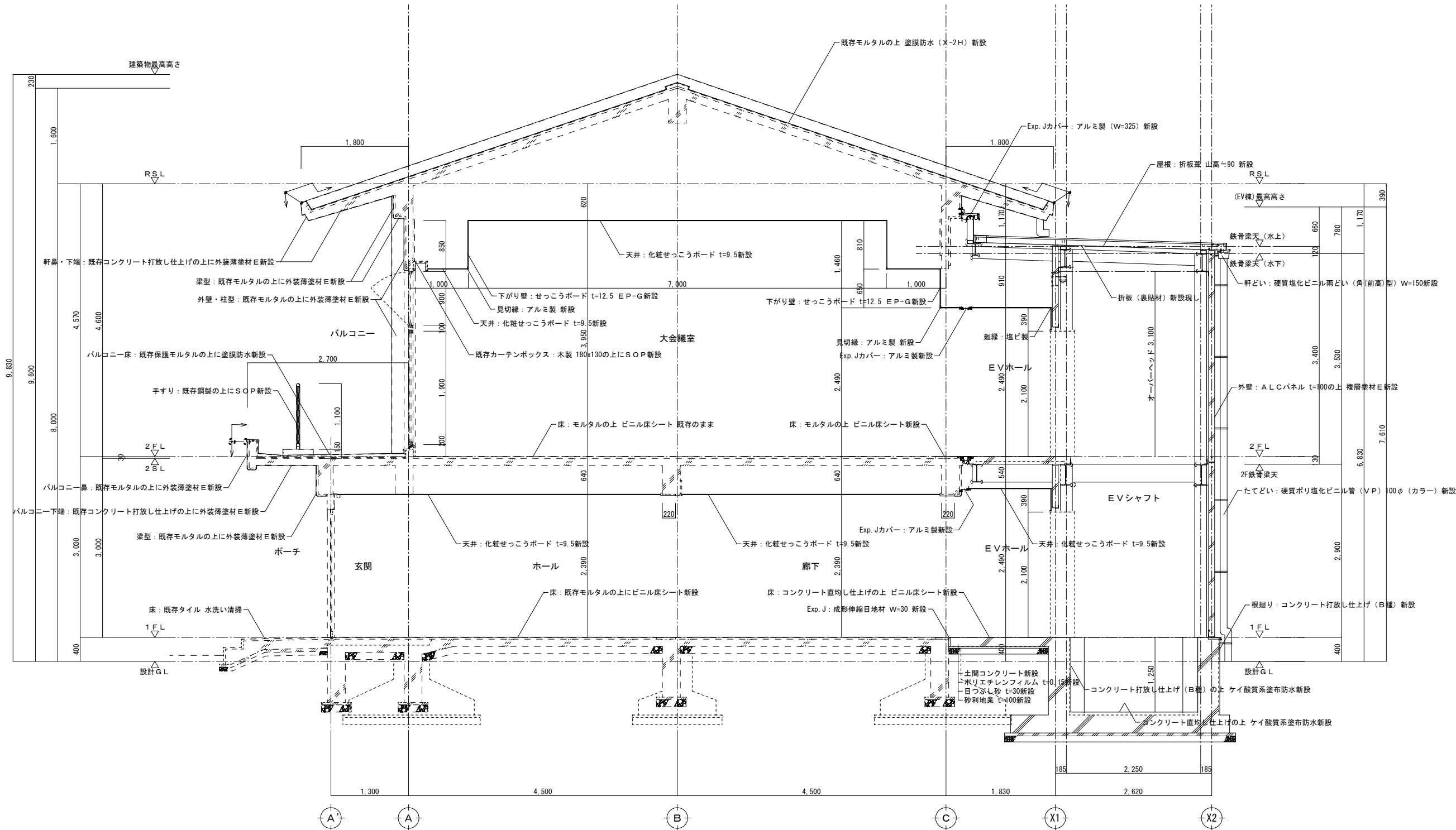
担当：

日付：

R 7 年

図番：

A - 25



矩計図 (改修後) 1/50



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

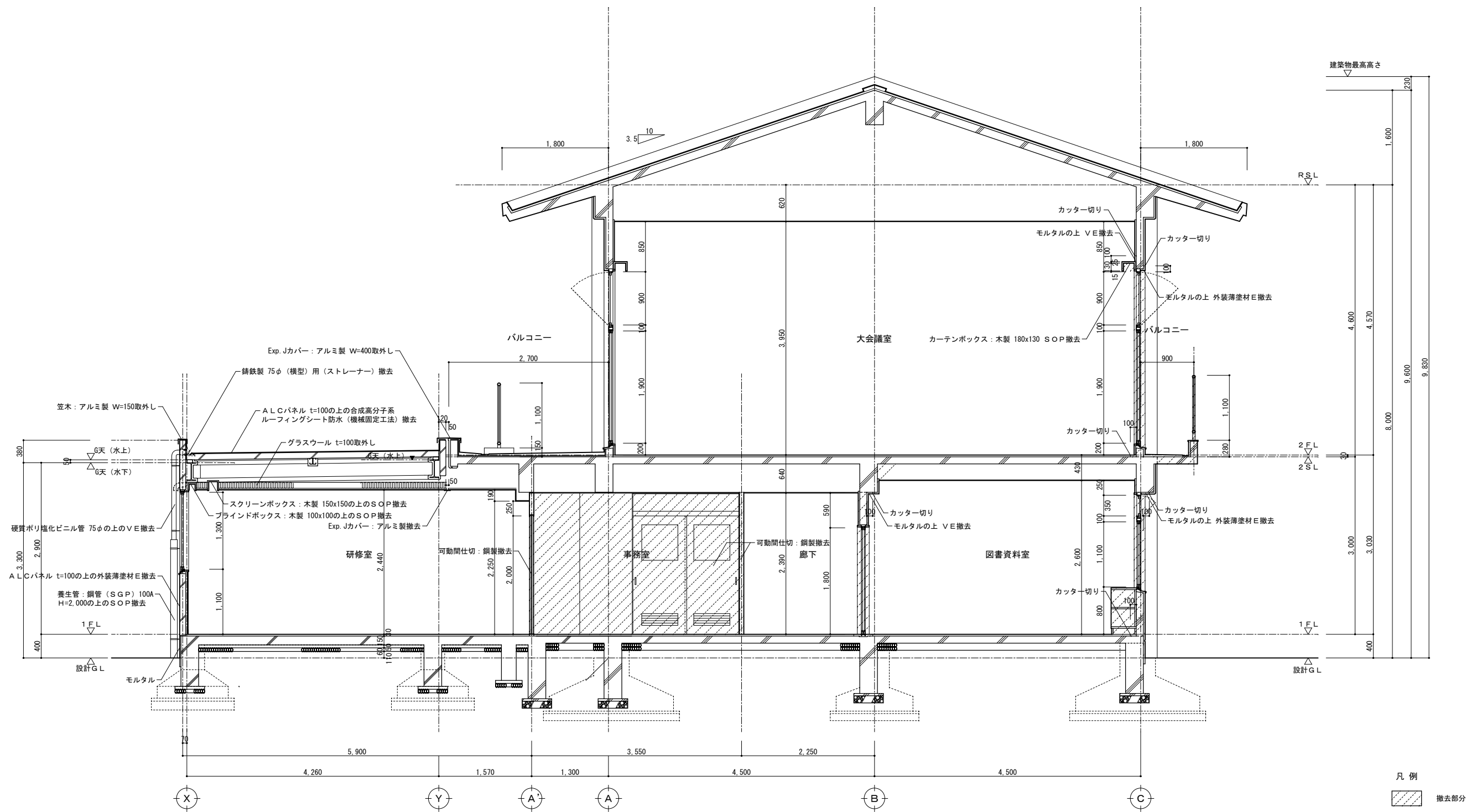
工事名: 本郷人権文化センター耐震改修等工事

図面名: 矩計図 (改修後)

縮尺: 1/50
A2版: 100%
A3版: 71%

査図: 部長: 課長: 主任: 担当:

日付: R 7 年
図番: A - 26



断面詳細図 (改修前) 1/50

凡例
撤去部分



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

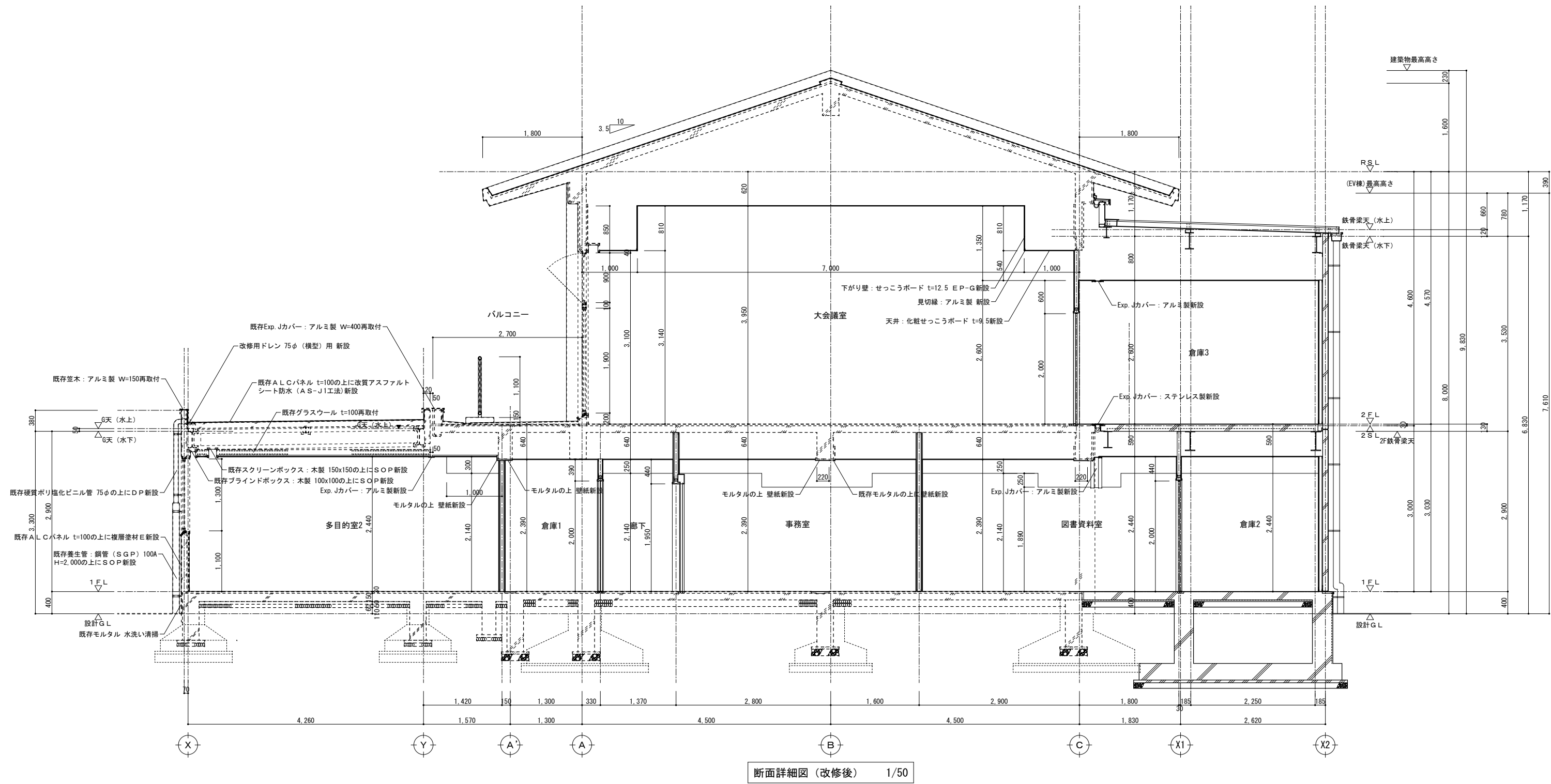
工事名 :
本郷人権文化センター耐震改修等工事

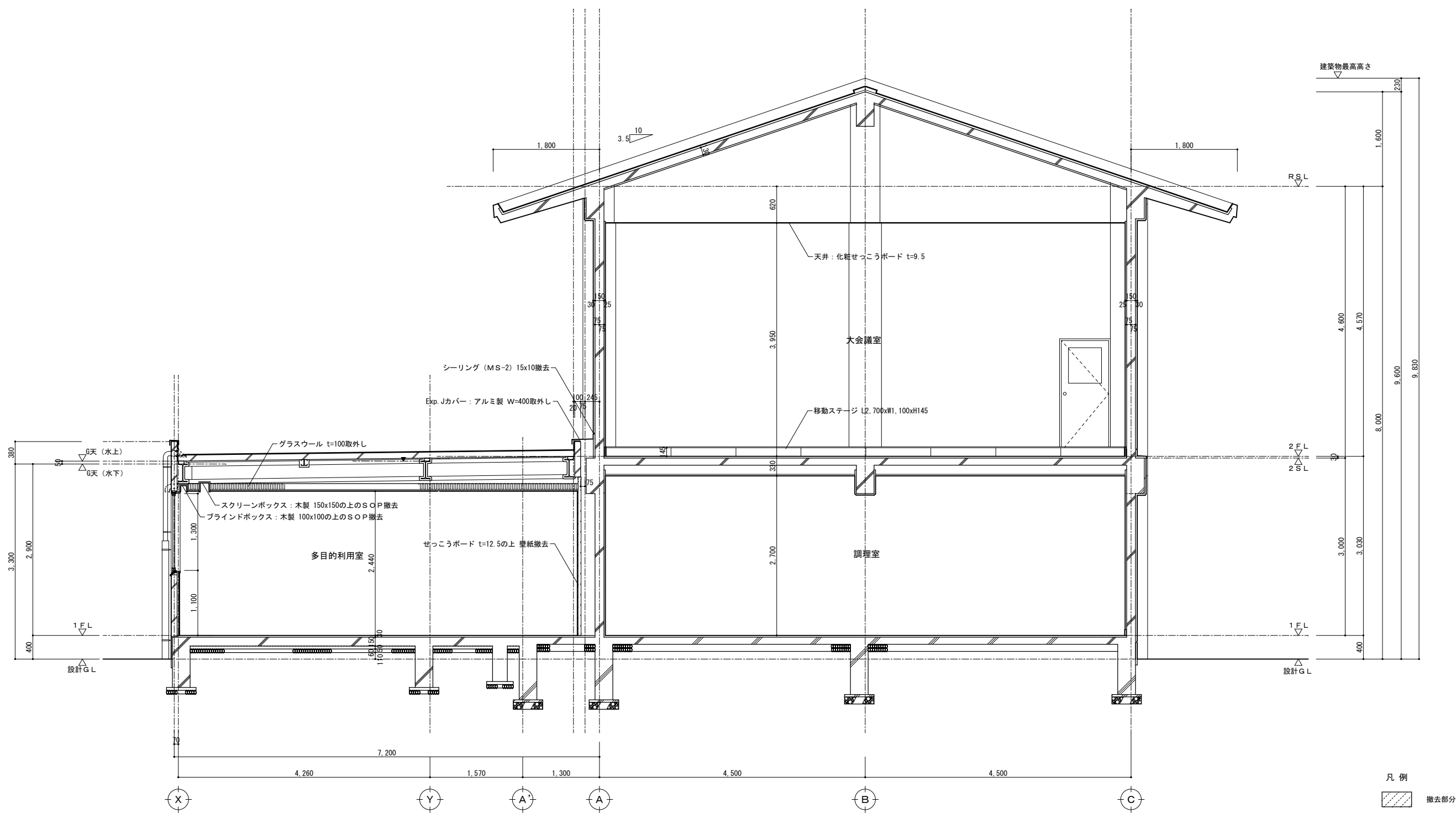
図面名 :
断面詳細図 1 (改修前)

縮尺 :
1/50
A2版 : 100%
A3版 : 71%

査図 : 部長 : 課長 : 主任 : 担当 :

日付 :
R 7 年
図番 :
A - 27





断面詳細図 (改修前) 1/50



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名:

本郷人権文化センター耐震改修等工事

図面名:

断面詳細図 2 (改修前)

縮尺:

1/50
A2版: 100%
A3版: 71%

査図:

部長:

課長:

主任:

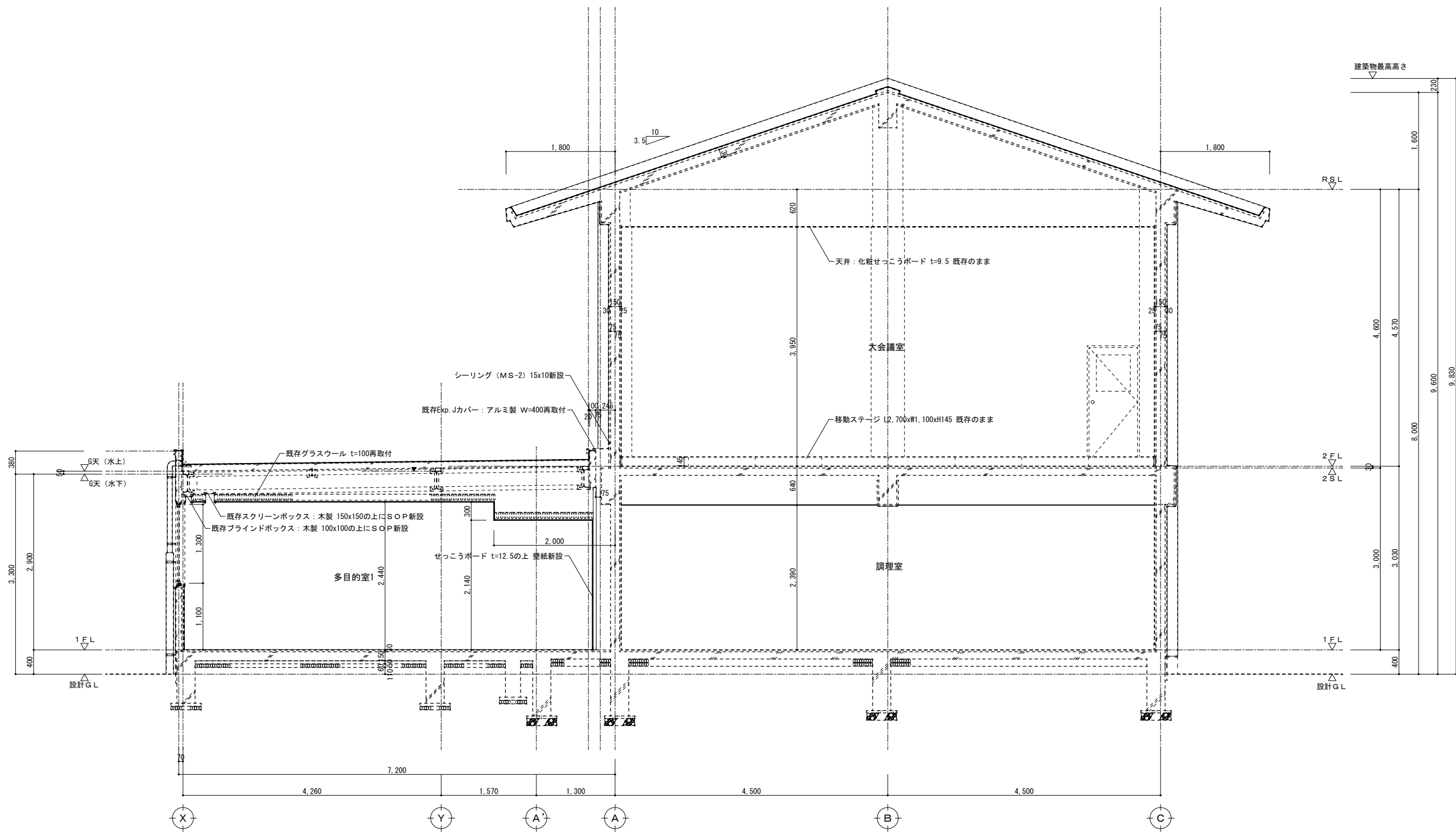
担当:

日付:

R 7 年

図番:

A - 29



断面詳細図 (改修後) 1/50



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名:

本郷人権文化センター耐震改修等工事

図面名:

断面詳細図 2 (改修後)

縮尺:

1/50
A2版: 100%
A3版: 71%

査図:

部長:

課長:

主任:

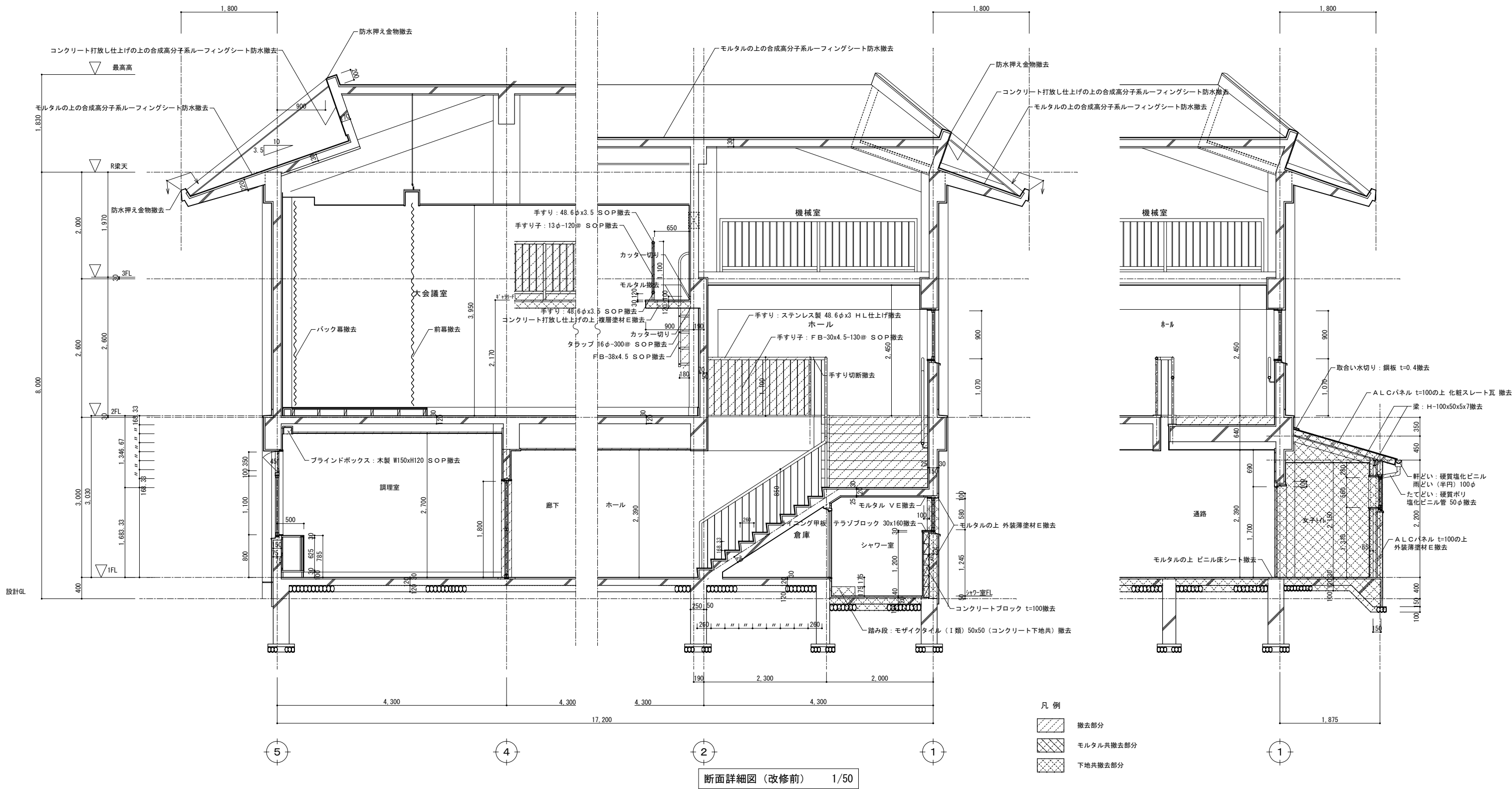
担当:

日付:

R 7 年

図番:

A - 30



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名：

本郷人権文化センター耐震改修等工事

図面名：

断面詳細図 3 (改修前)

縮尺：

1/50

A2版：100%

A3版：71%

査図：

部長：

課長：

主任：

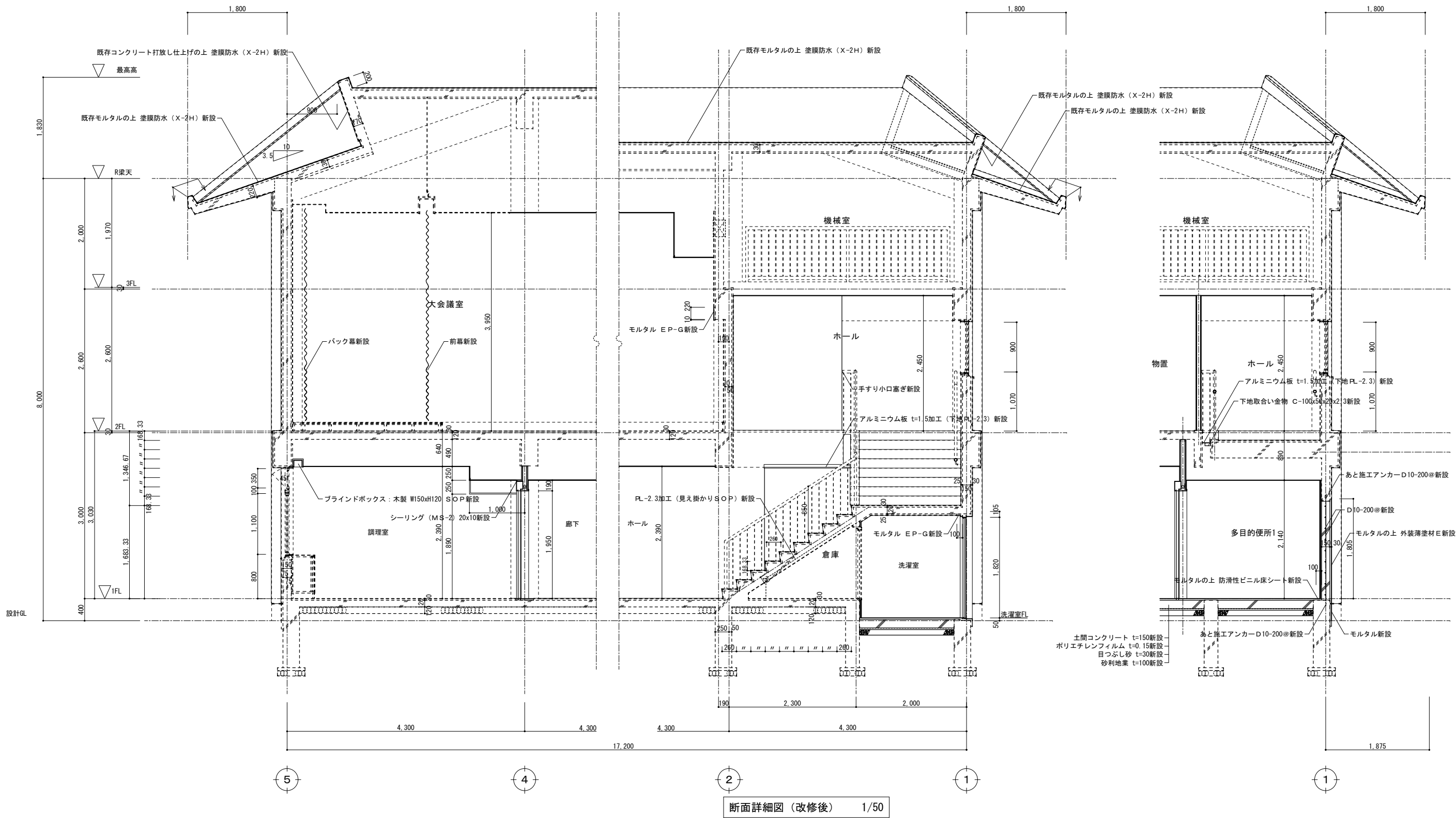
担当：

日付：

R 7 年

図番：

A - 31



断面詳細図 (改修後) 1/50



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名:

本郷人権文化センター耐震改修等工事

図面名:

断面詳細図 3 (改修後)

縮尺:

1/50
A2版: 100%
A3版: 71%

査図:

部長:

課長:

主任:

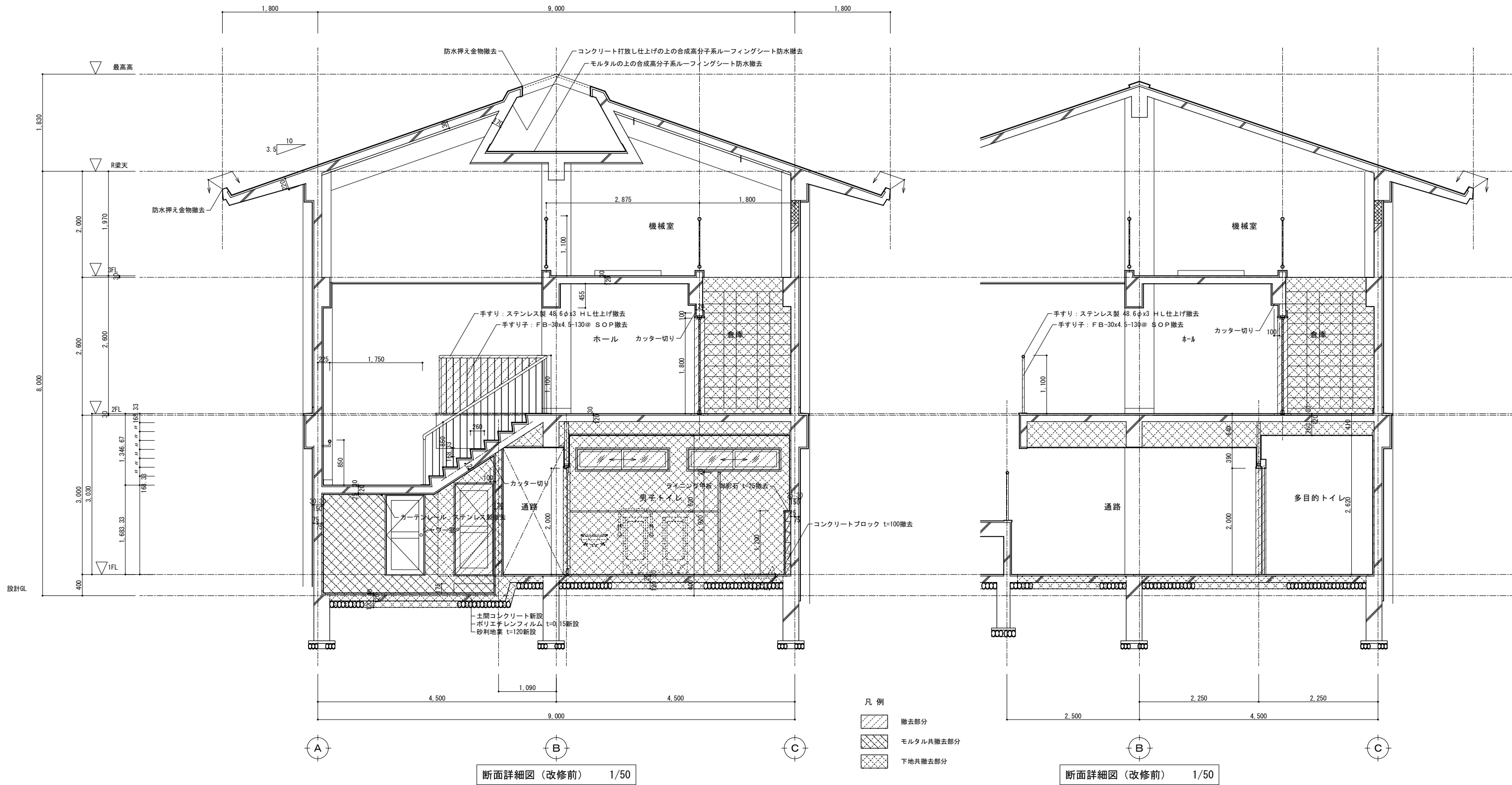
担当:

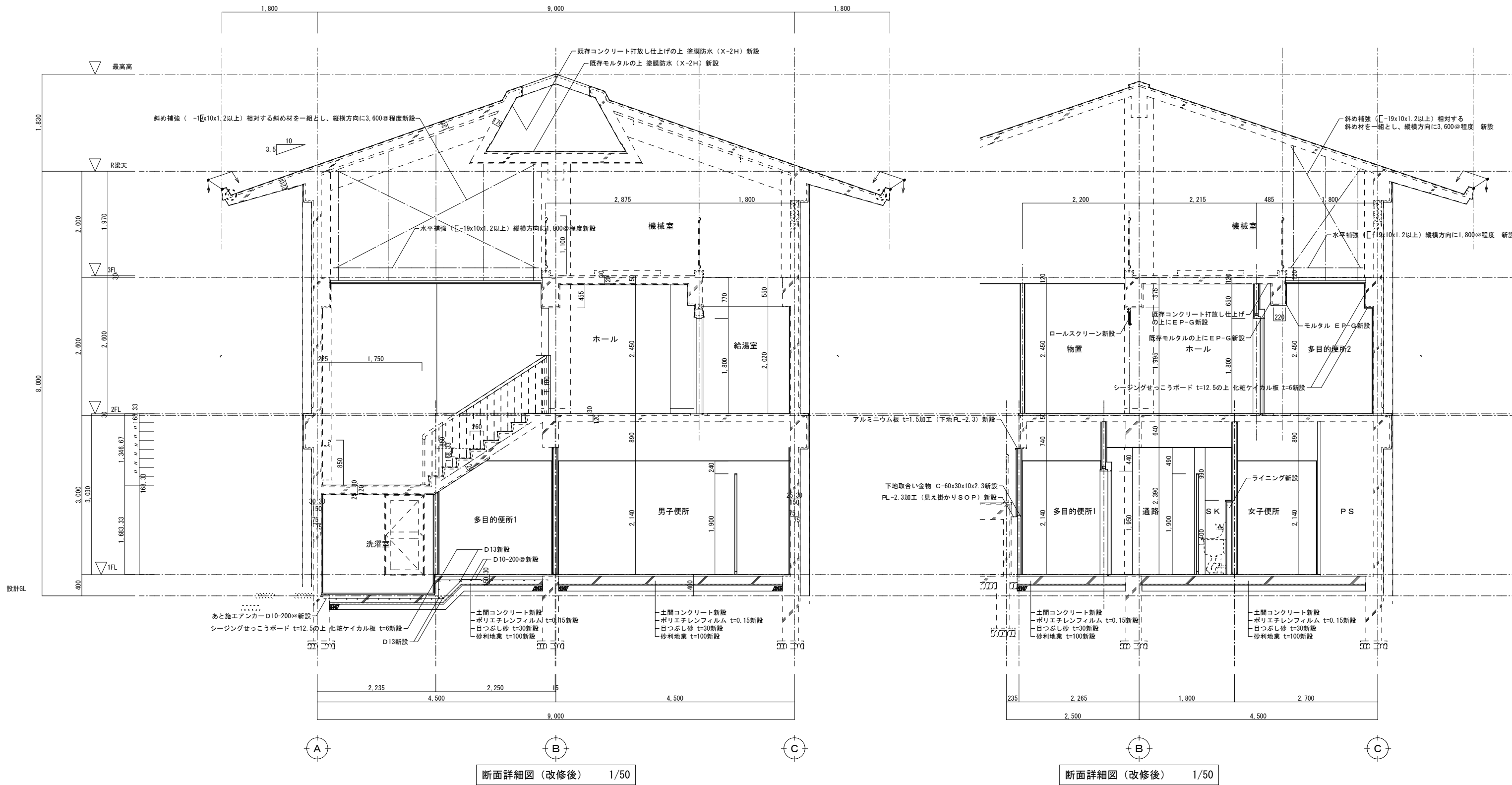
日付:

R 7 年

図番:

A - 32





有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名:

本郷人権文化センター耐震改修等工事

図面名:

断面詳細図 4 (改修後)

縮尺:

1/50

A2版: 100%
A3版: 71%

査図:

部長:

課長:

主任:

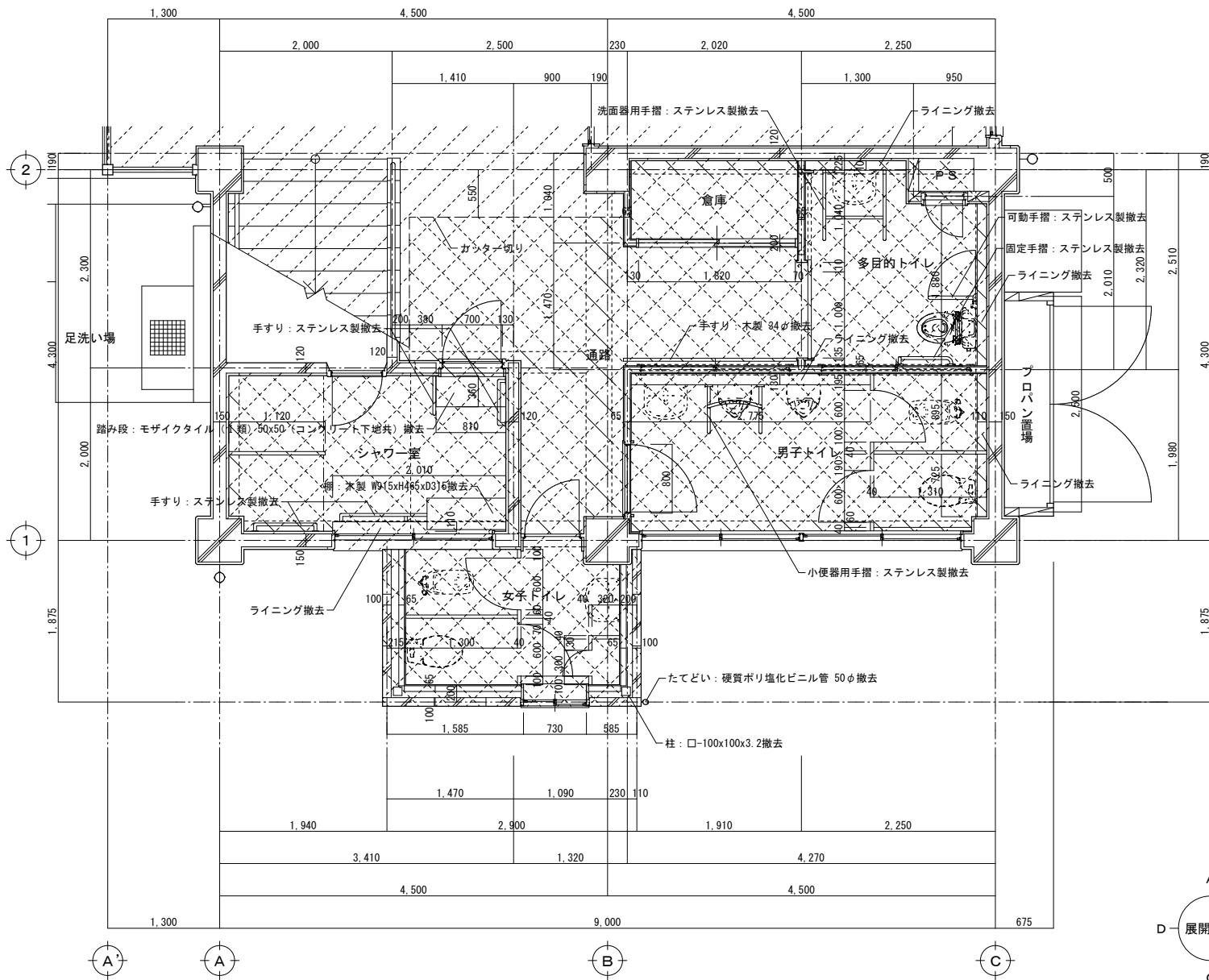
担当:

日付:

R 7 年

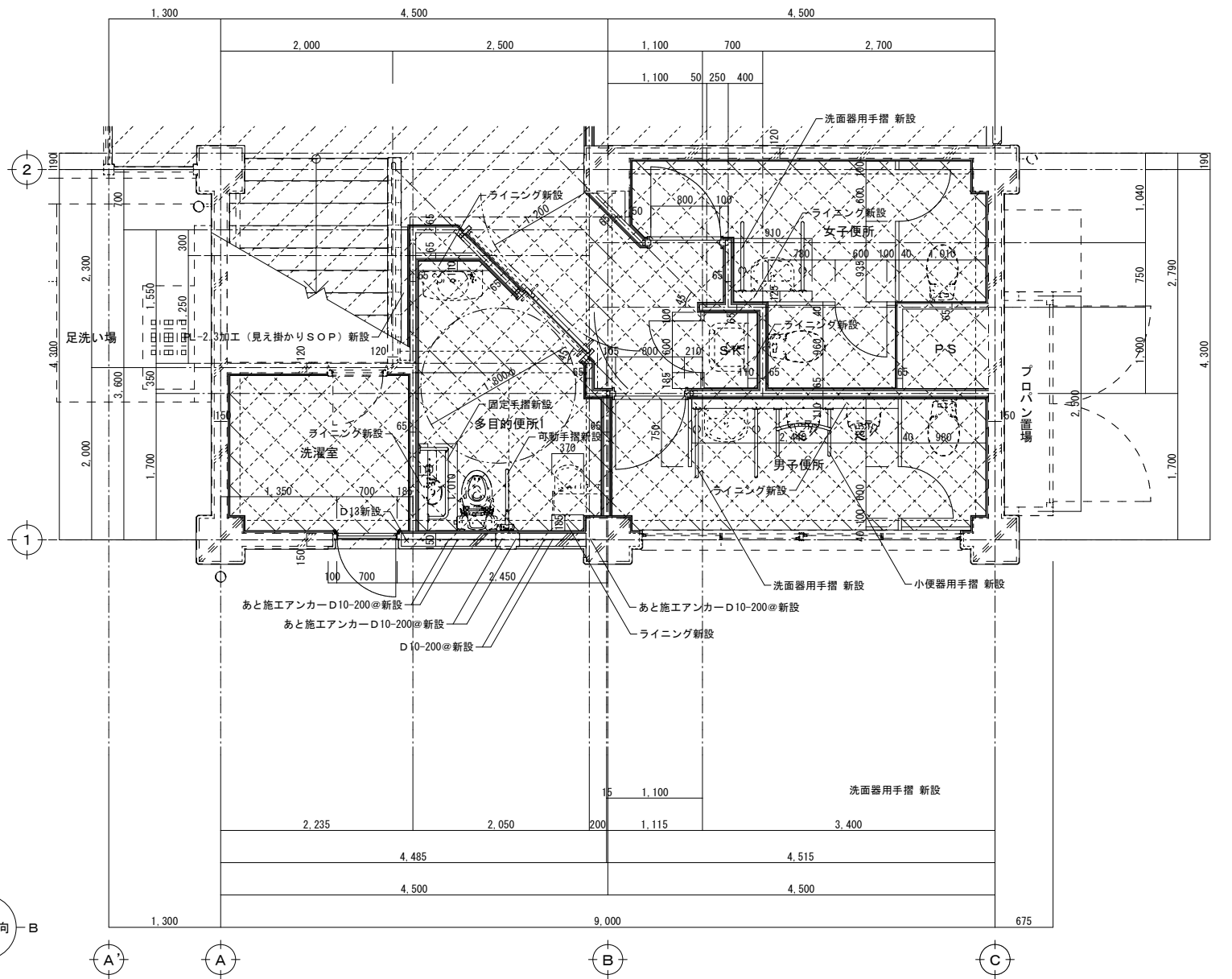
図番:

A - 34



1 階平面詳細図 (改修前) 1/50

- 凡 例
- 撤去又は新設部分
 - モルタル共撤去又は新設部分
 - 下地共撤去又は新設部分



1 階平面詳細図 (改修後) 1/50

※ 土間コンクリート新設部は、厚さ150、鉄筋 D10-200@シングルクロスとし、既存部との取り合いはあと施工アンカーを入れ、土間コンクリート下部は、ポリエチレンフィルム t=0.15、目つぶし砂 t=30、砂利地業 t=100を行うこと。



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名：

本郷人権文化センター耐震改修等工事

図面名：

1 階便所廻り平面詳細図

縮尺：

1/50
A2版：100%
A3版：71%

査図：

部長：

課長：

主任：

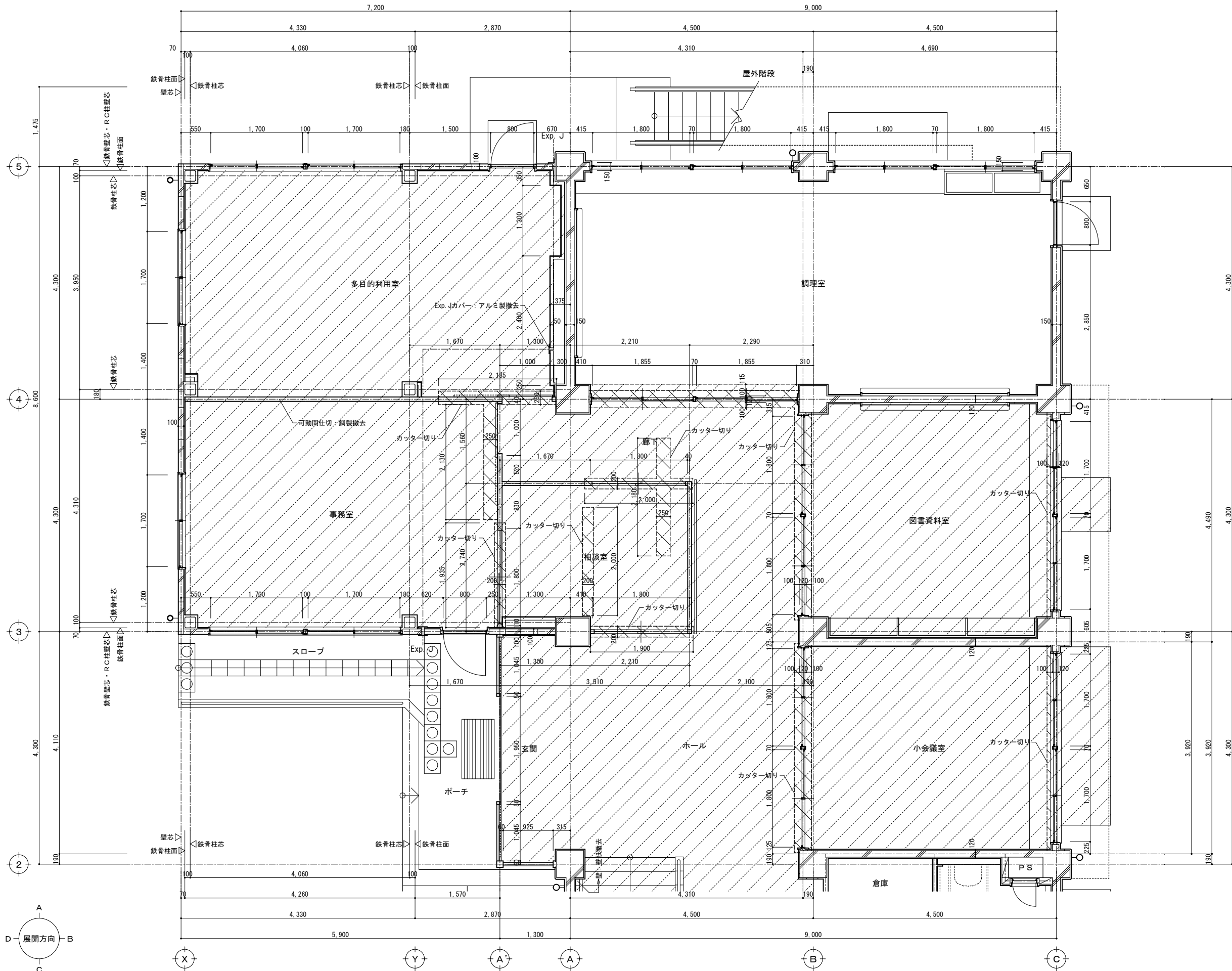
担当：

日付：

R 7 年

図番：

A - 35



- 凡 例
- 撤去部分
 - モルタル共撤去部分
 - 下地共撤去部分

1階平面詳細図（改修前） 1/50



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名：

本郷人権文化センター耐震改修等工事

図面名：

1階平面詳細図（改修前）

縮尺：

1/50
A2版：100%
A3版：71%

査図：

部長：

課長：

主任：

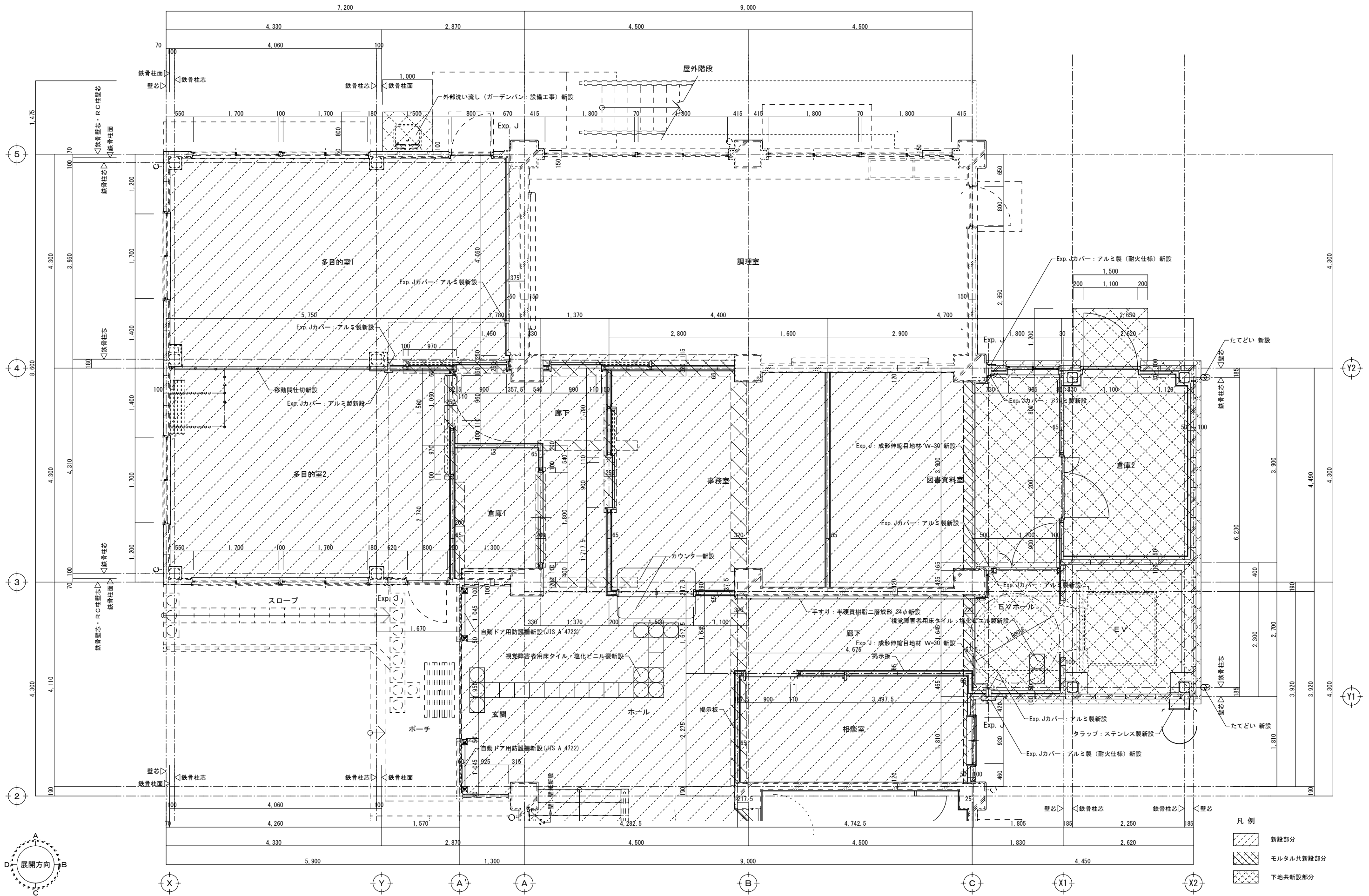
担当：

日付：

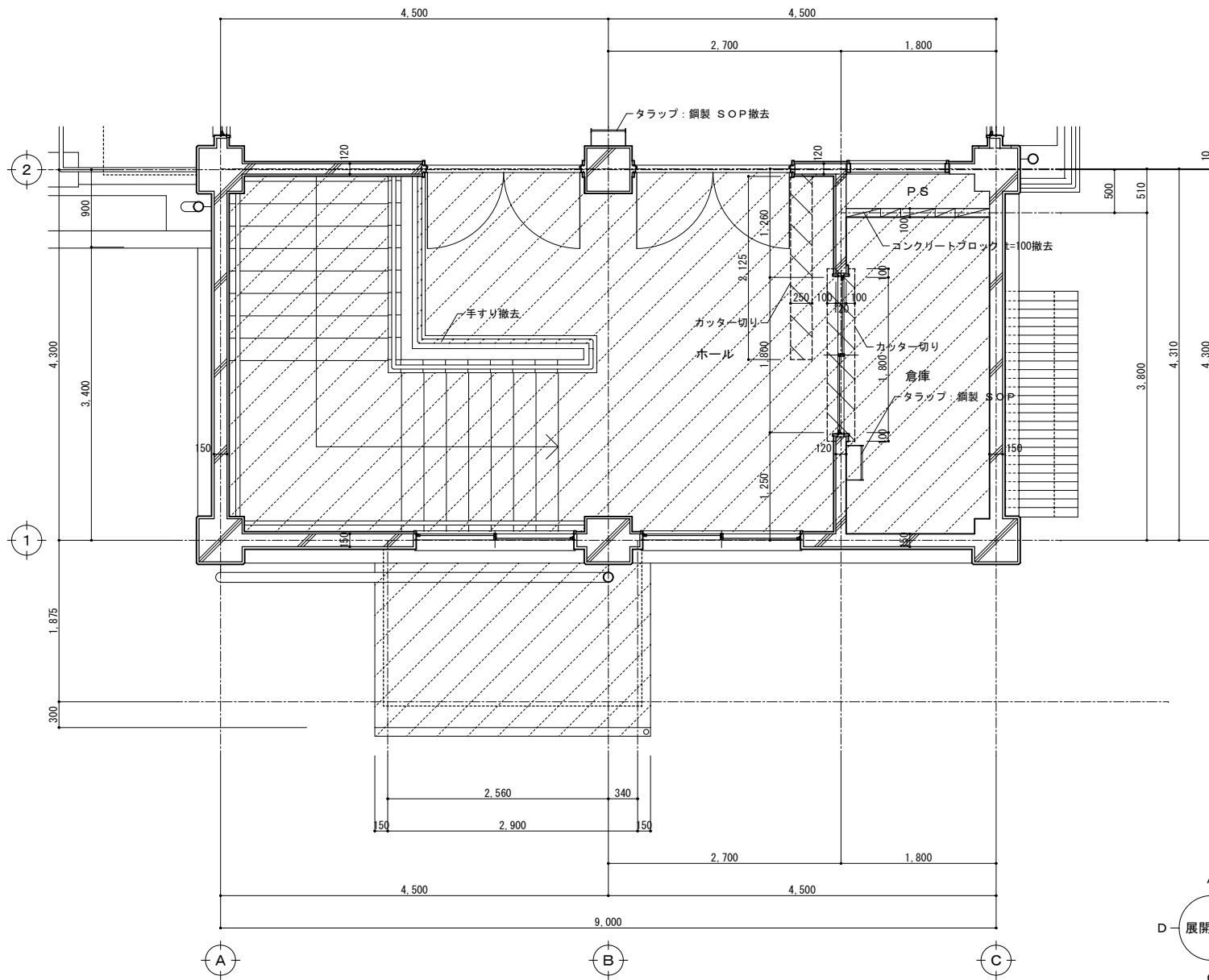
R 7 年

図番：

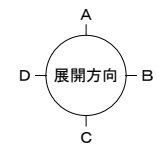
A - 36



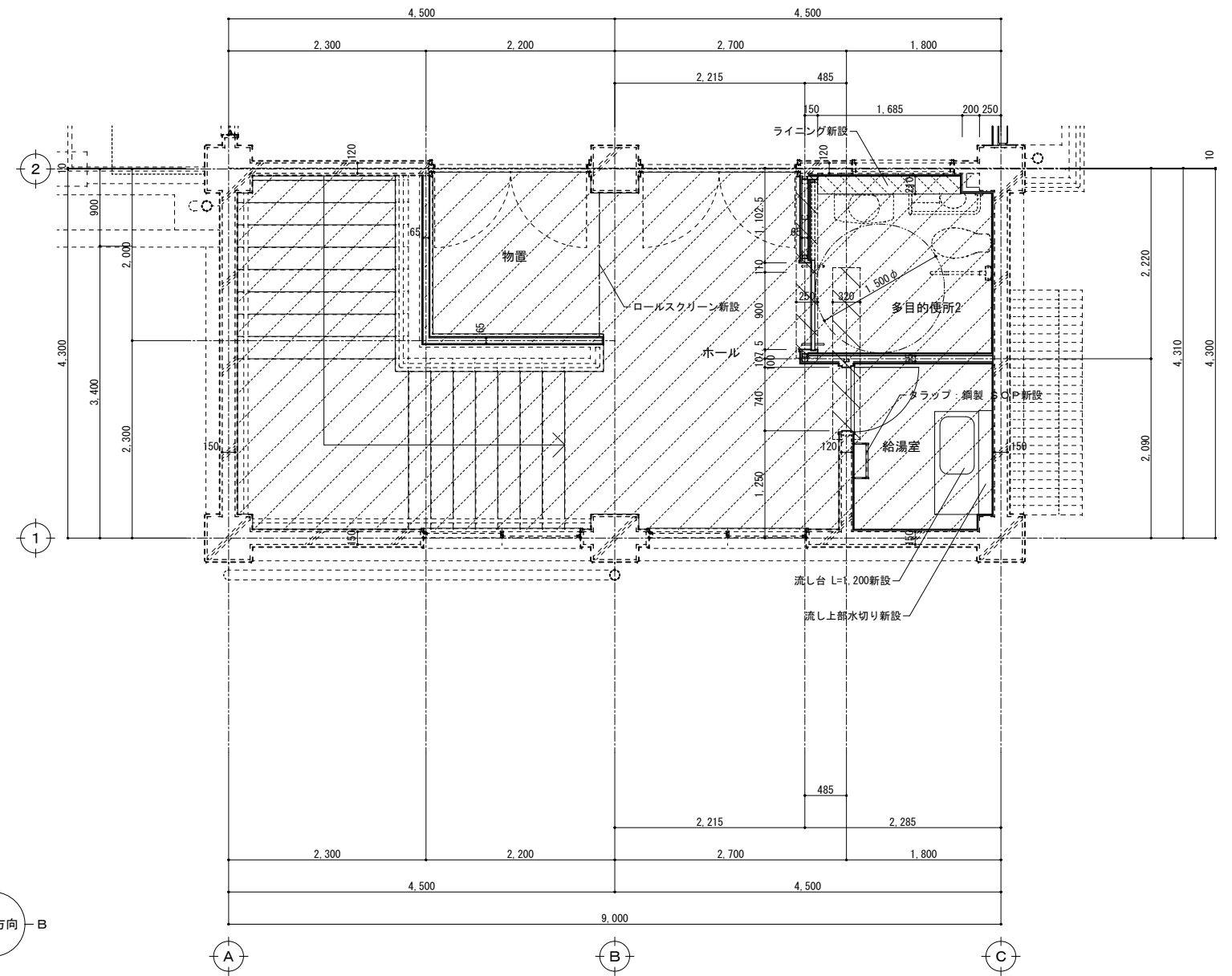
1階平面詳細図 (改修後) 1/50



2階平面詳細図 (改修前) 1/50



- 凡 例
- 撤去又は新設部分
 - モルタル共撤去又は新設部分
 - 下地共撤去又は新設部分



2階平面詳細図 (改修後) 1/50



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

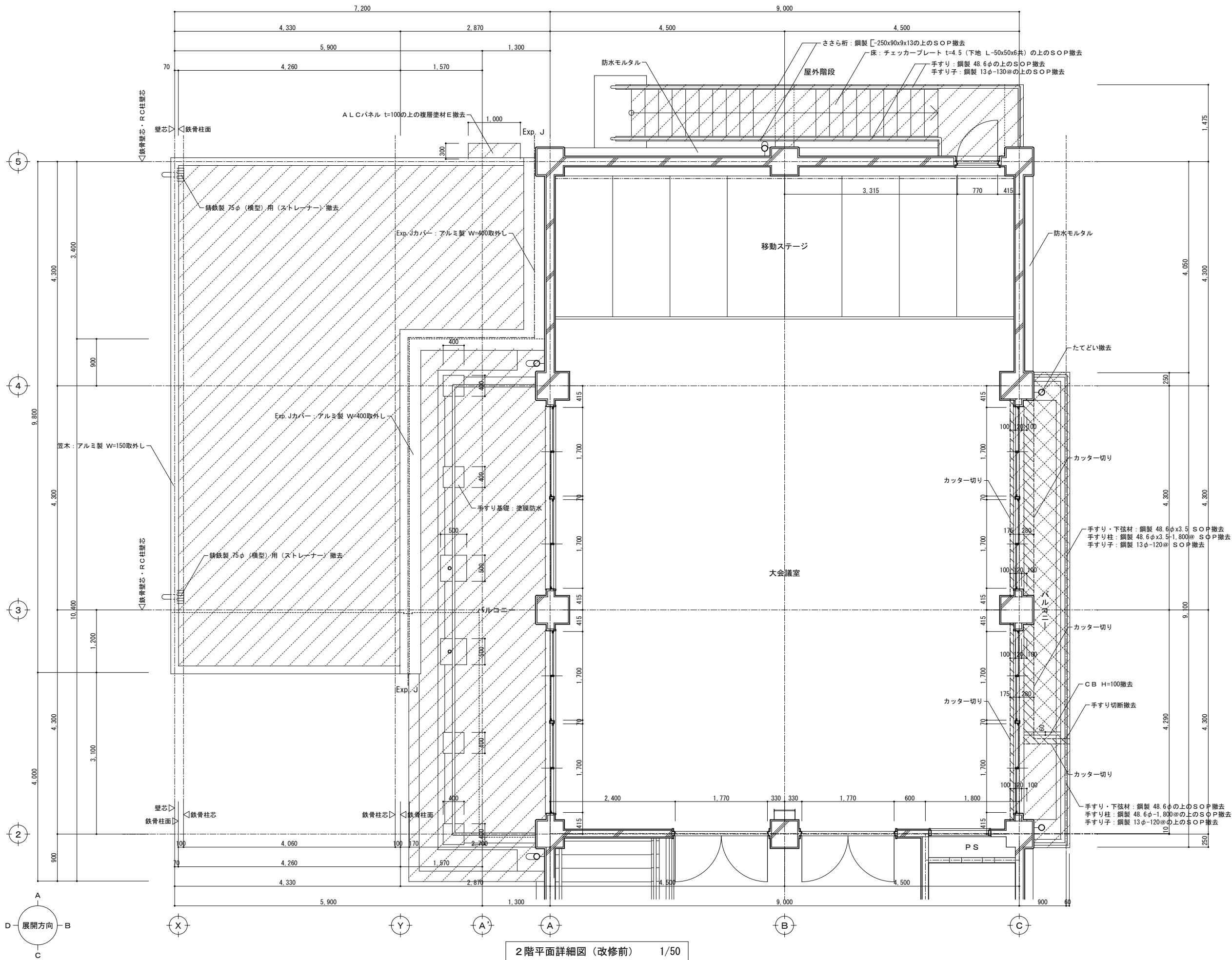
工事名 :
本郷人権文化センター耐震改修等工事

図面名 :
2階ホール廻り平面詳細図

縮尺 :
1/50
A2版 : 100%
A3版 : 71%

査図 : 部長 : 課長 : 主任 : 担当 :

日付 :
R 7 年
図番 :
A - 38



2階平面詳細図（改修前） 1/50

- 凡 例
- 撤去部分
 - モルタル共撤去部分
 - 下地共撤去部分



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所所広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名：

本郷人権文化センター耐震改修等工事

図面名：

2階平面詳細図（改修前）

縮尺：

1/50
A2版：100%
A3版：71%

査図：

部長：

課長：

主任：

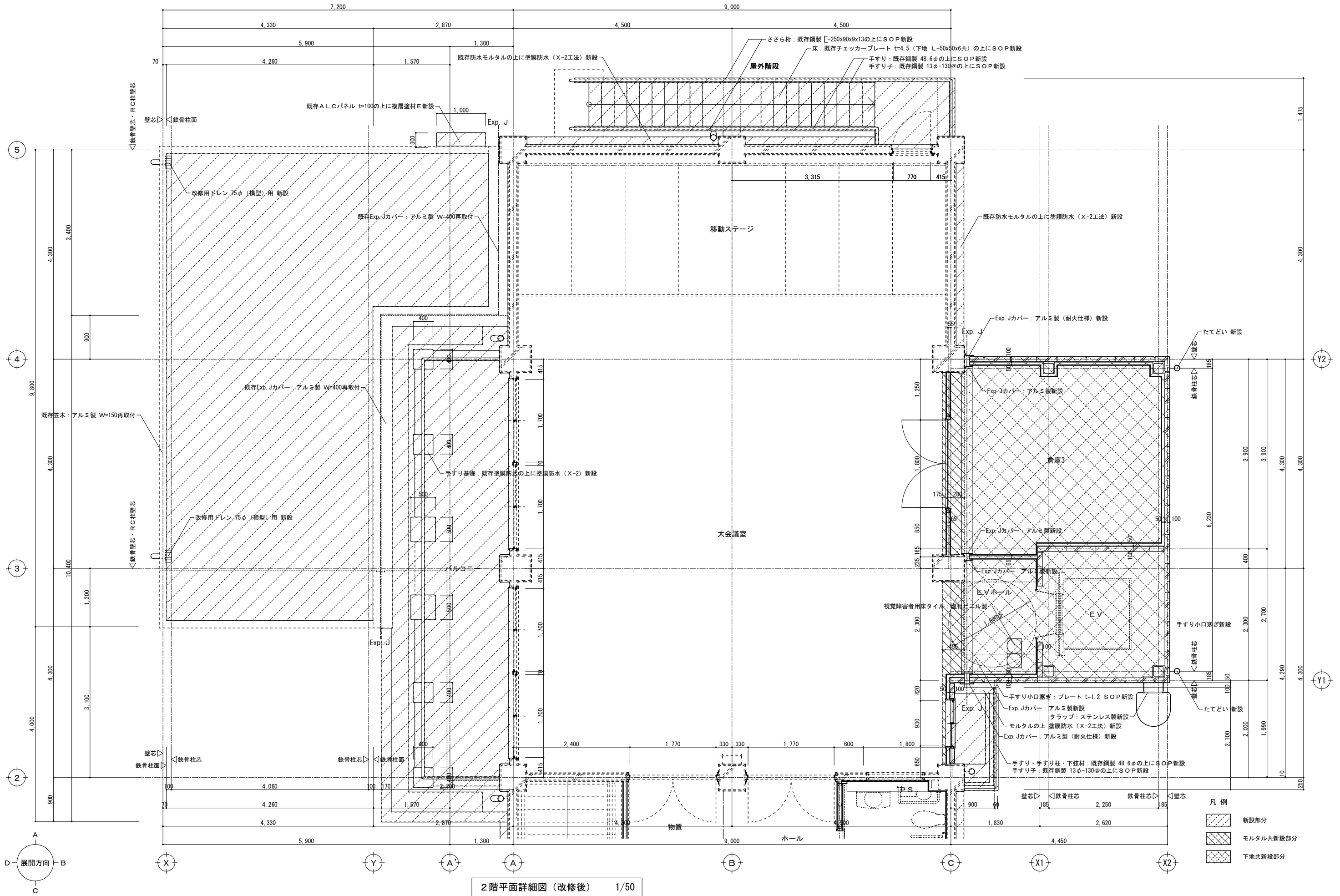
担当：

日付：

R 7 年

図番：

A - 39



2階平面詳細図（改修後） 1/50



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所所広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名：

本郷人権文化センター耐震改修等工事

図面名：

2階平面詳細図（改修後）

縮尺：

1/50
A2版：100%
A3版：71%

査図：

部長：

課長：

主任：

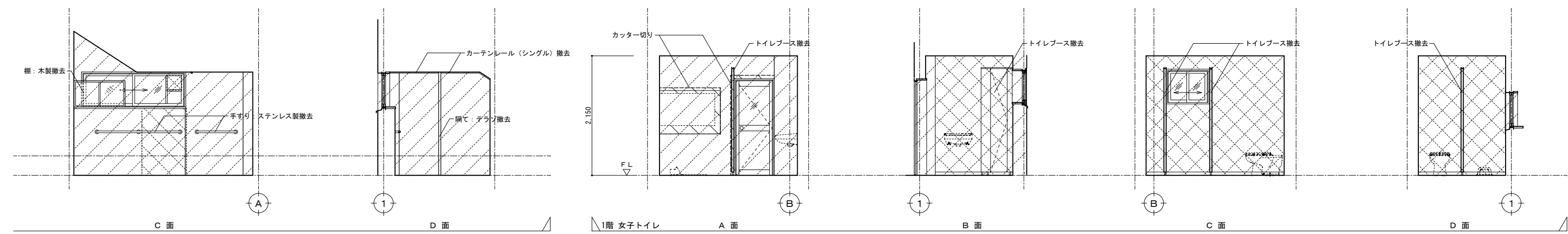
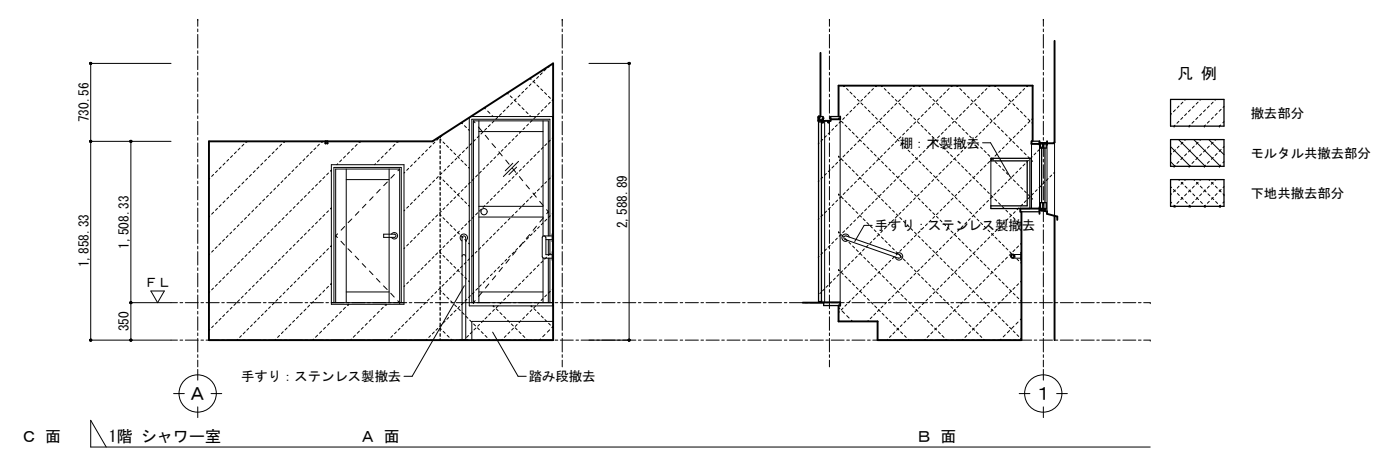
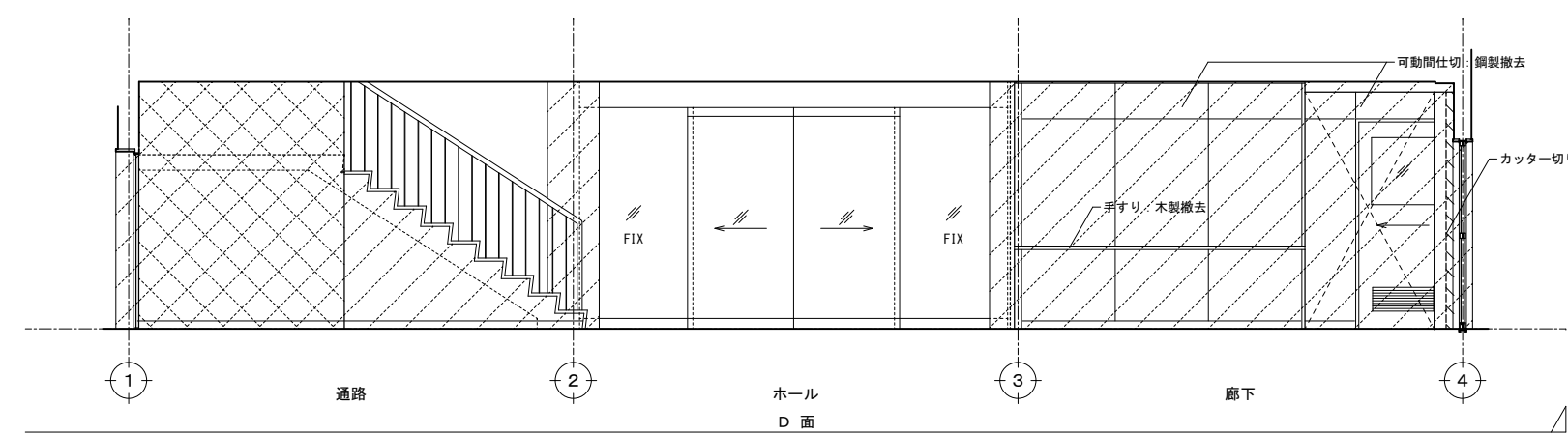
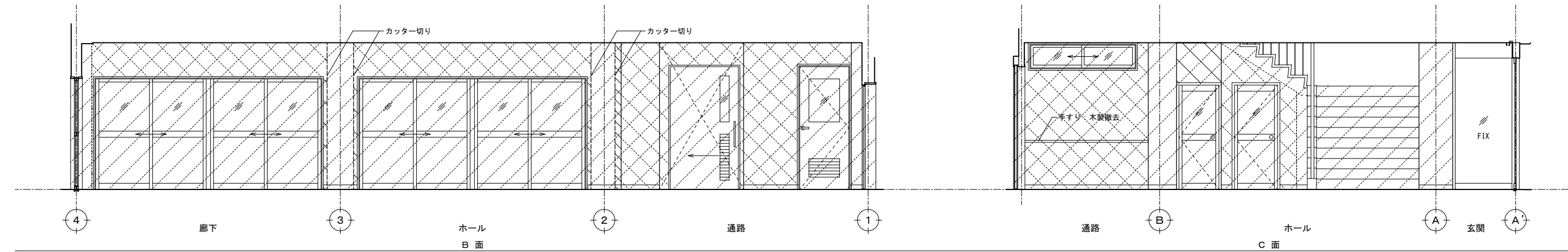
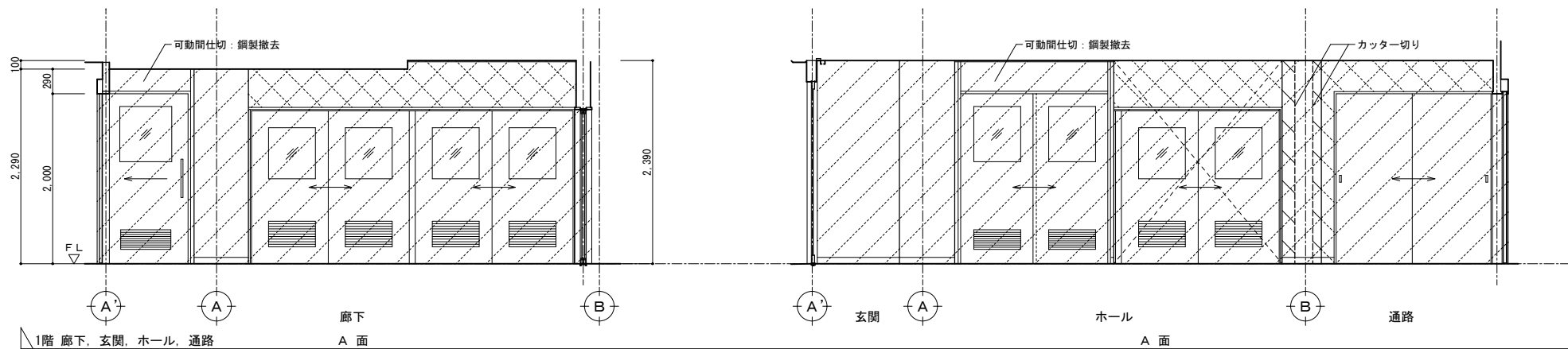
担当：

日付：

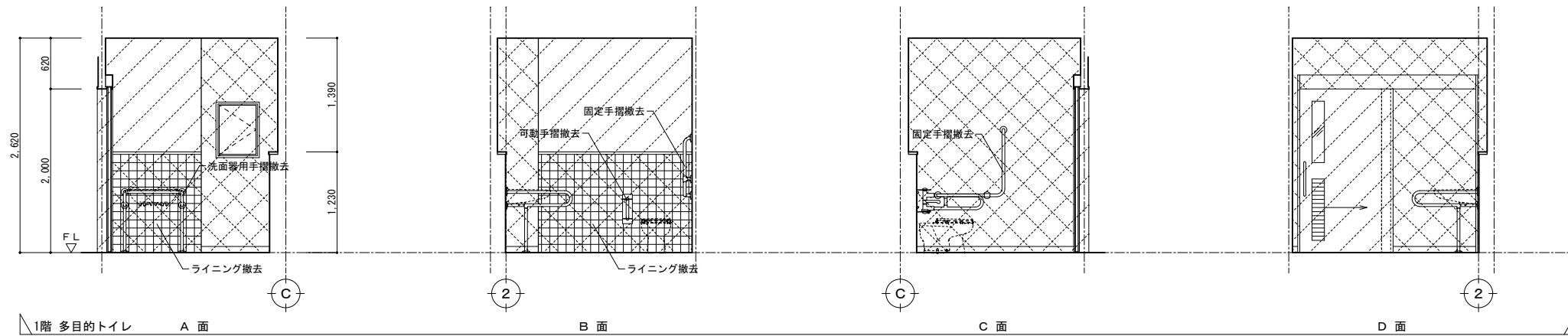
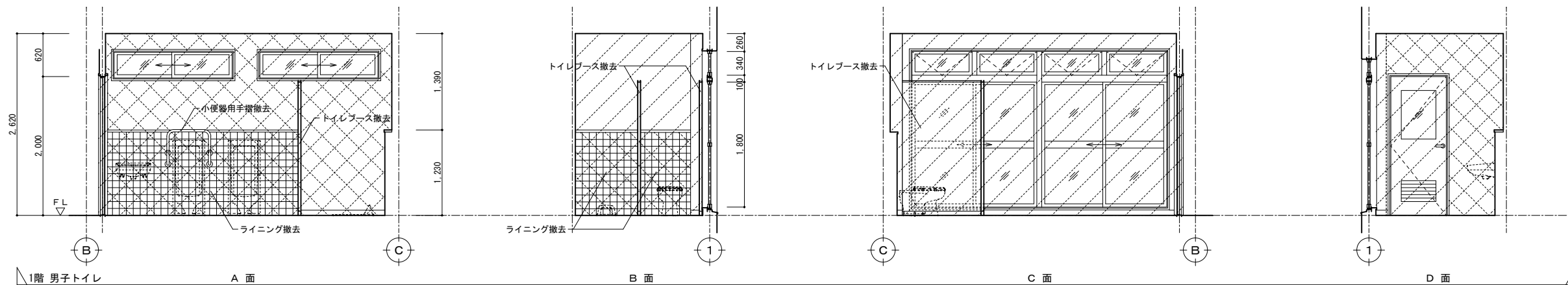
R 7 年

図番：

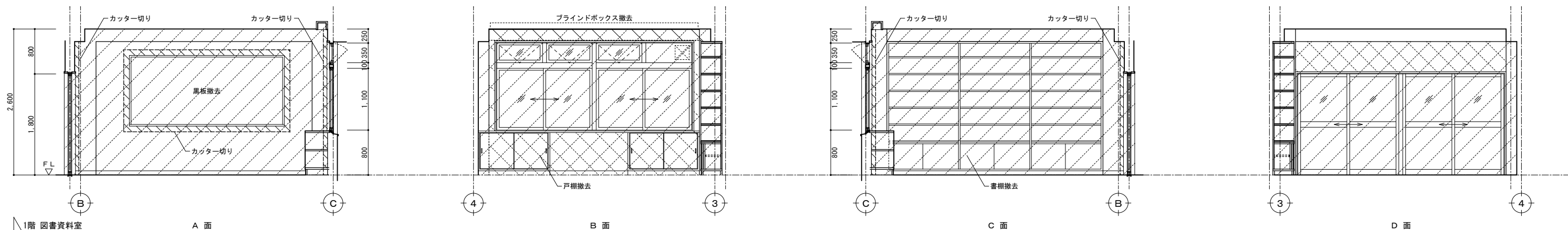
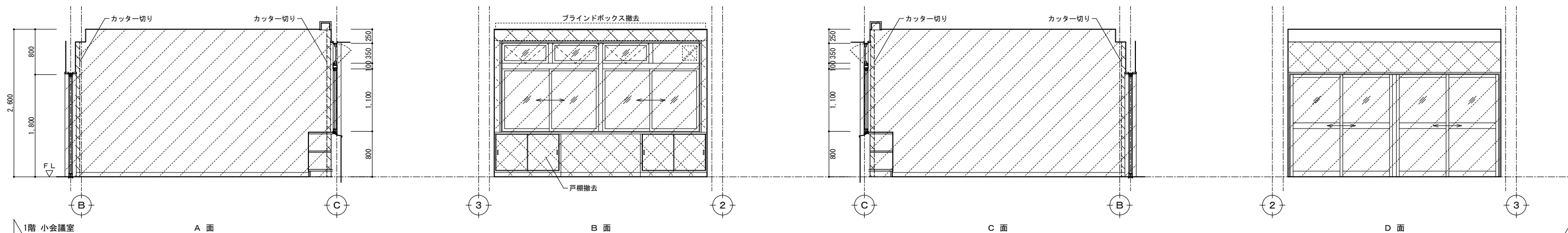
A - 40



展開図 1/50



- 凡 例
- 撤去部分
 - モルタル共撤去部分
 - 下地共撤去部分



展開図 1/50



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名：

本郷人権文化センター耐震改修等工事

図面名：

展開図 2 (改修前)

縮尺：

1/50
A2版：100%
A3版：71%

査図：

部長：

課長：

主任：

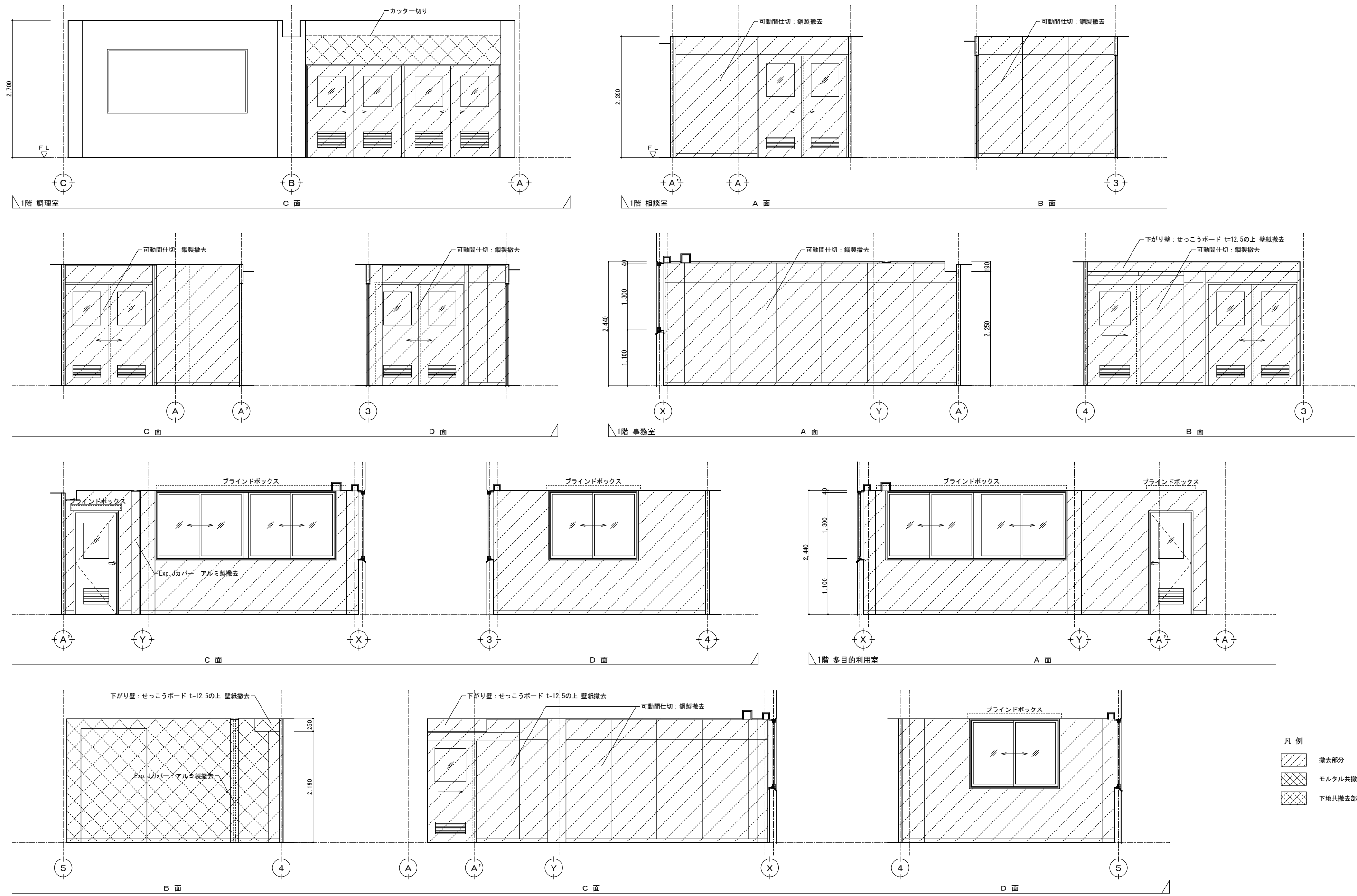
担当：

日付：

R 7 年

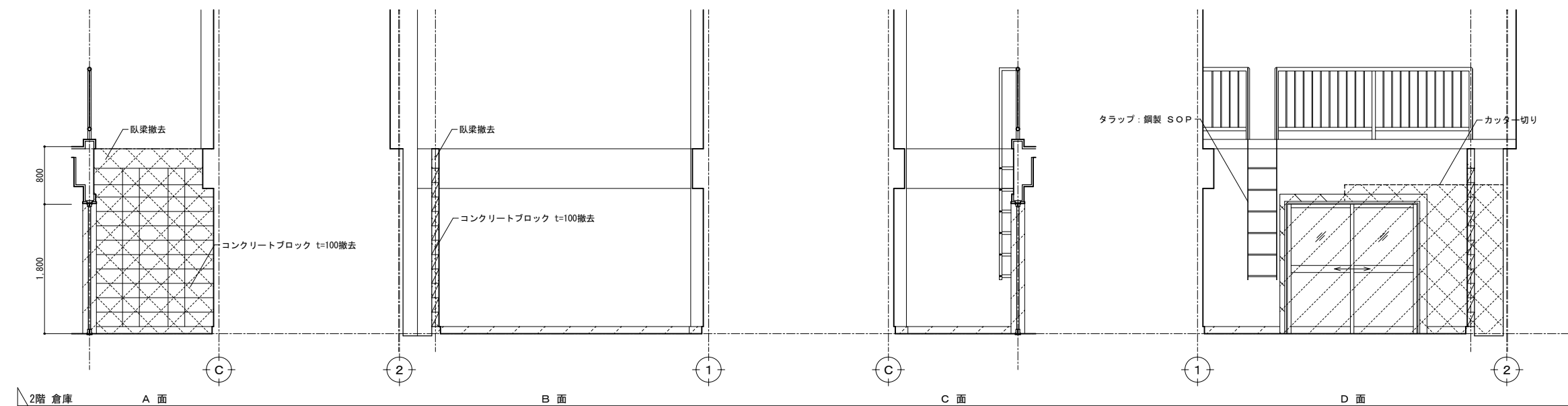
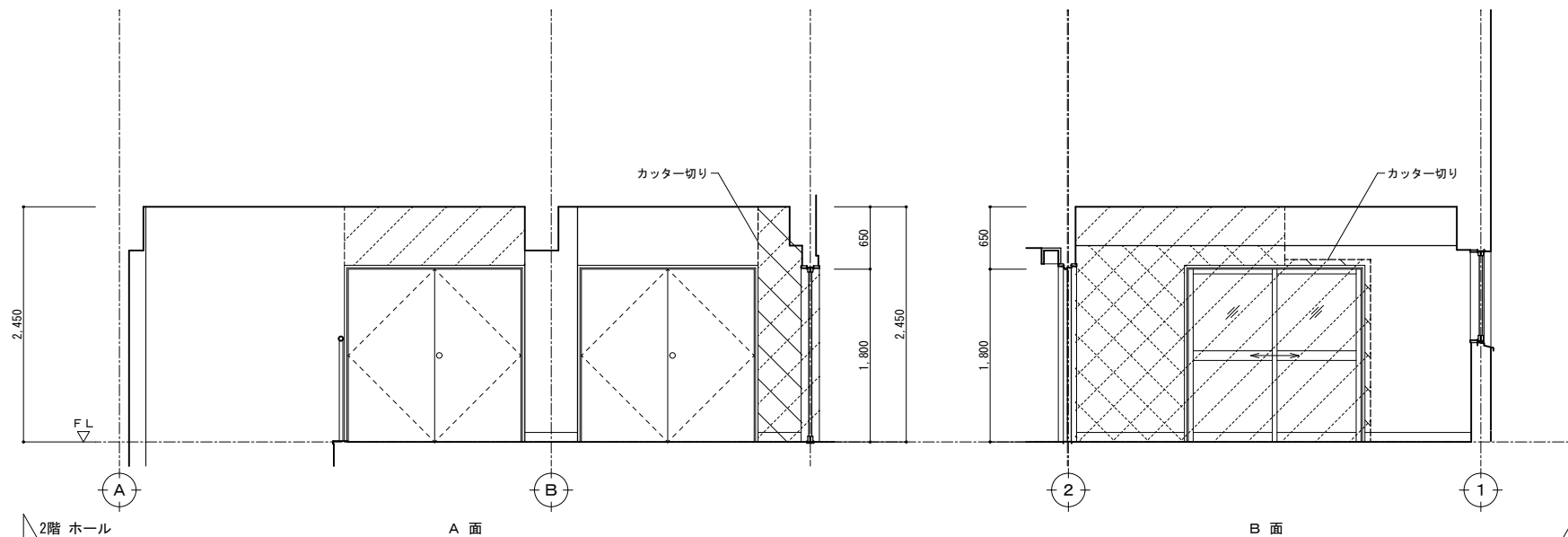
図番：

A - 42

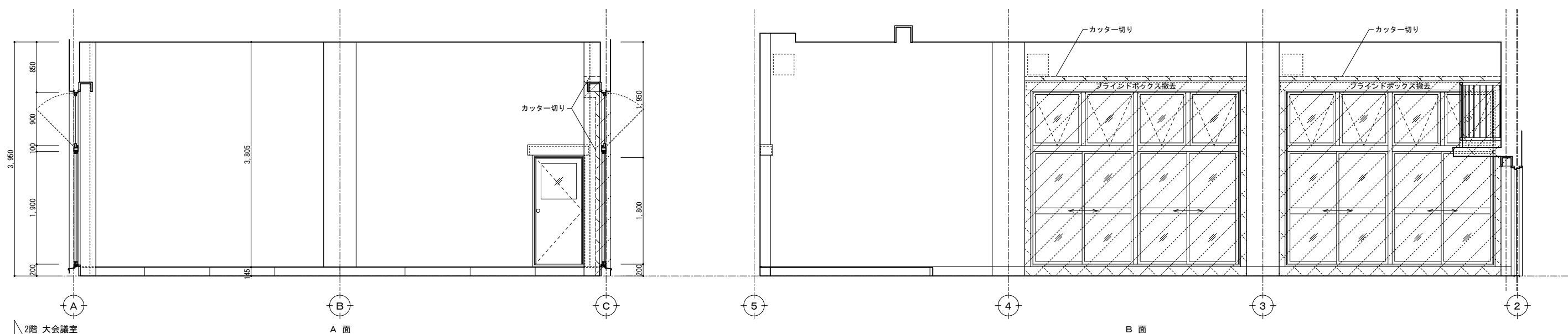


- 凡 例
- 撤去部分
 - モルタル共撤去部分
 - 下地共撤去部分

展開図 1/50



- 凡 例
- 撤去部分
 - モルタル共撤去部分
 - 下地共撤去部分



展開図 1/50



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名：

本郷人権文化センター耐震改修等工事

図面名：

展開図 4 (改修前)

縮尺：

1/50
A2版：100%
A3版：71%

査図：

部長：

課長：

主任：

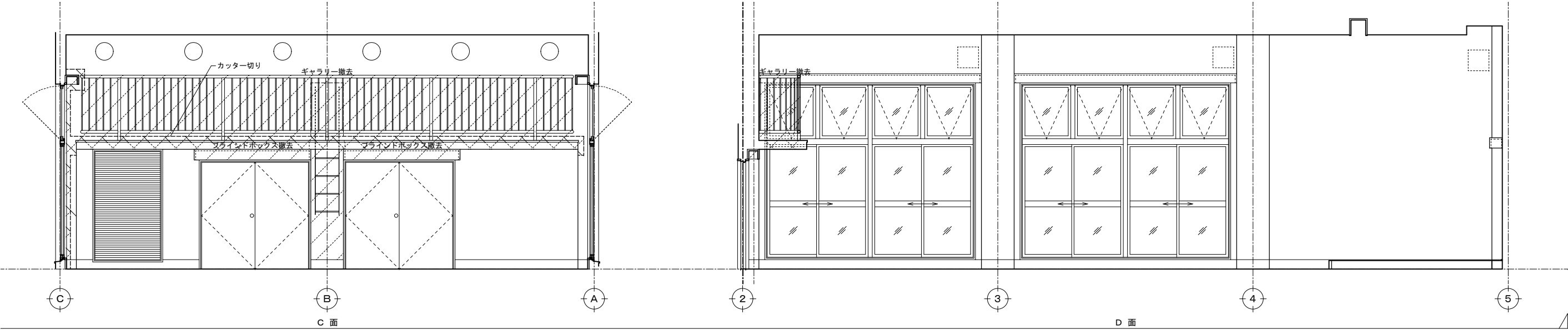
担当：

日付：

R 7 年

図番：

A - 44



展開図 1/50

- 凡 例
- 撤去部分
 - モルタル共撤去部分
 - 下地共撤去部分



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

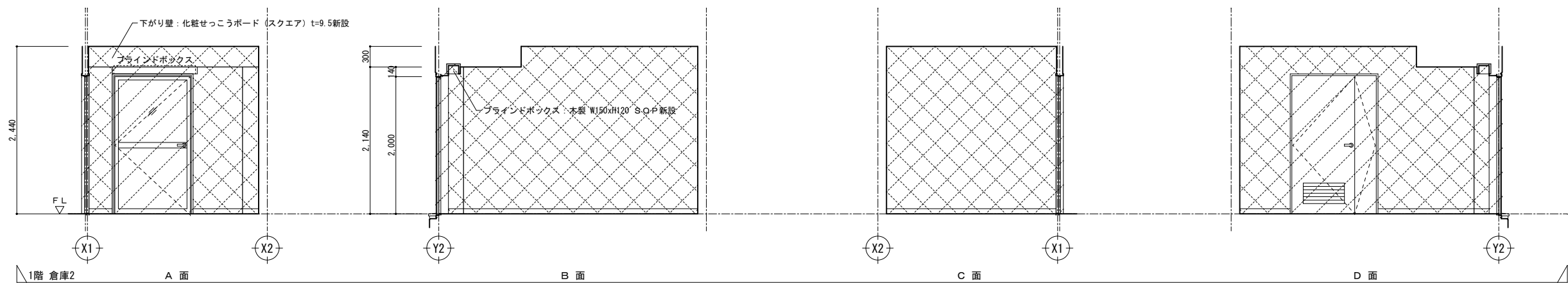
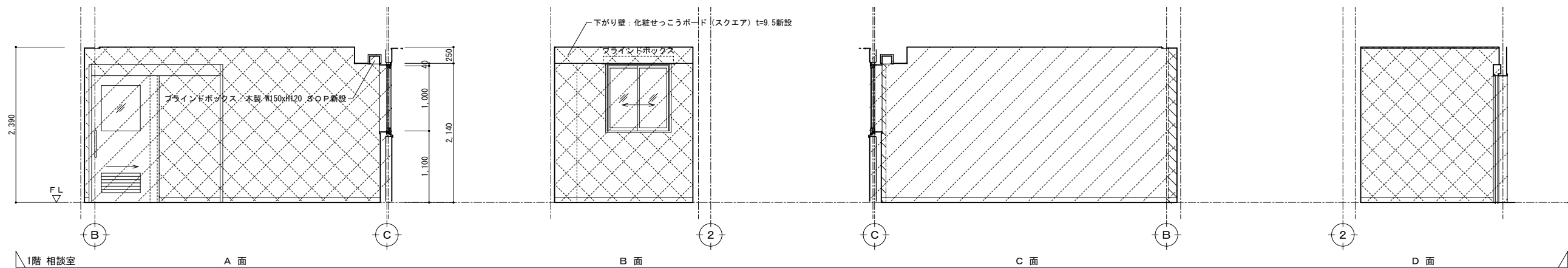
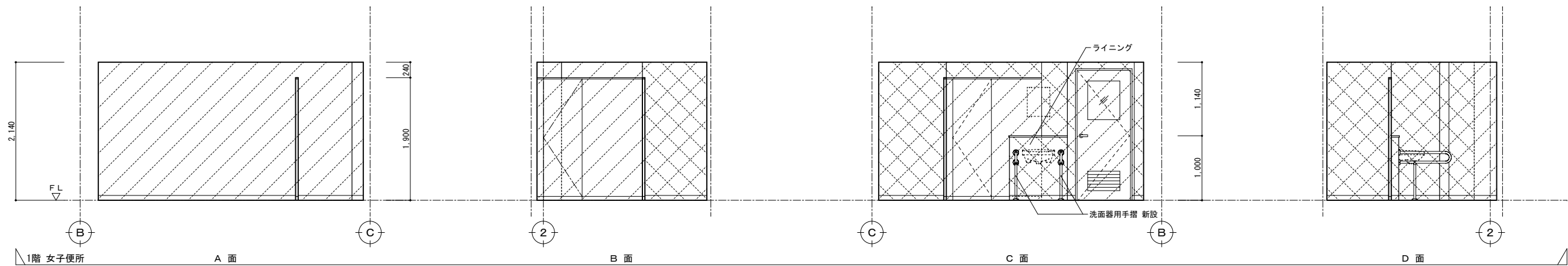
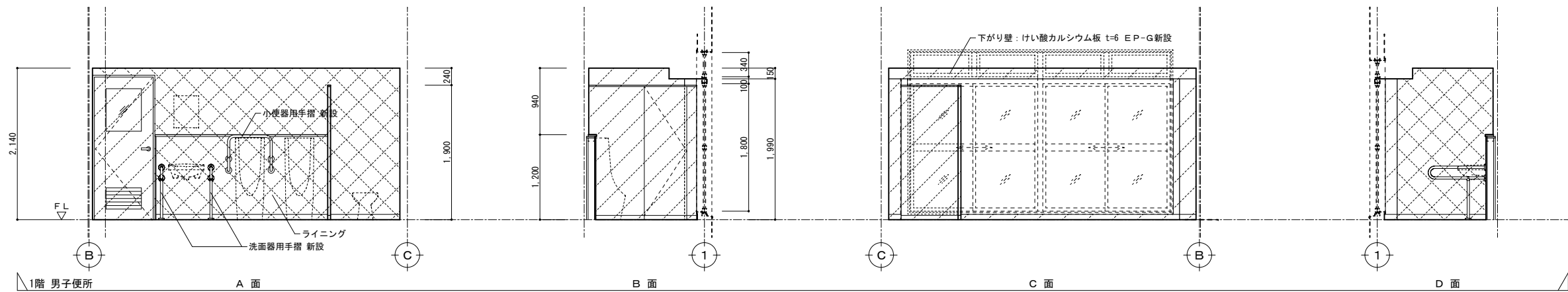
工事名： 本郷人権文化センター耐震改修等工事

図面名： 展開図 5 (改修前)

縮尺： 1/50
A2版：100%
A3版：71%

査図： 部長： 課長： 主任： 担当：

日付： R 7 年
図番： A - 45



- 凡 例
- 新設部分
 - モルタル共新設部分
 - 下地共新設部分

展開図 1/50



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名:

本郷人権文化センター耐震改修等工事

図面名:

展開図 2 (改修後)

縮尺:

1/50
A2版: 100%
A3版: 71%

査図:

部長:

課長:

主任:

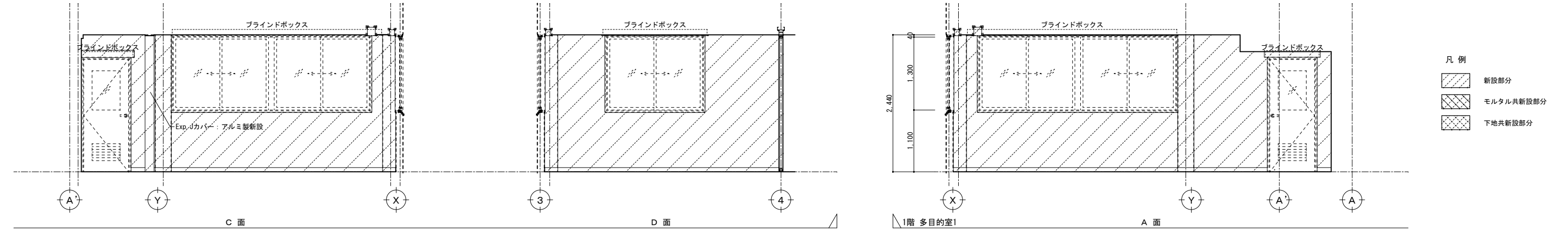
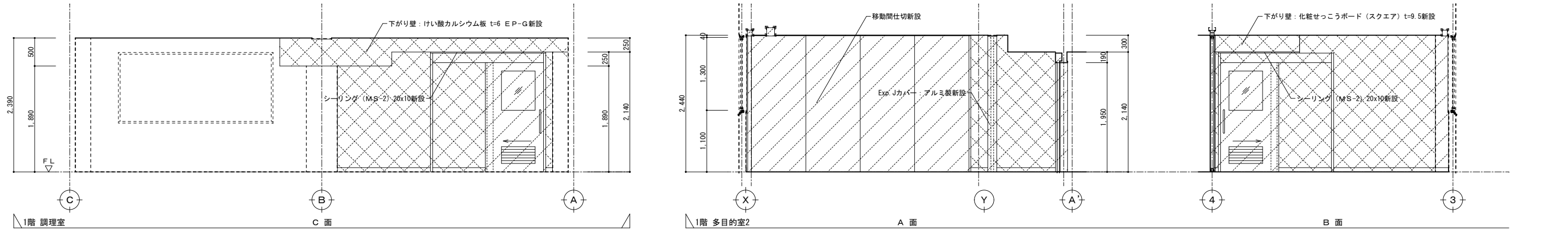
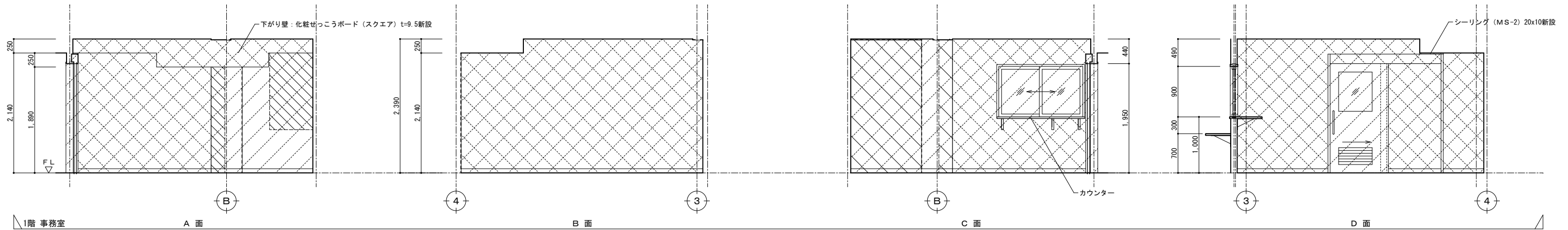
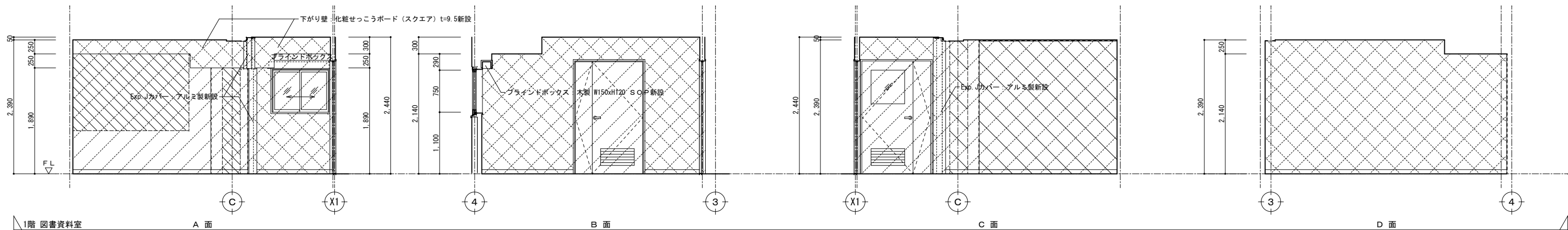
担当:

日付:

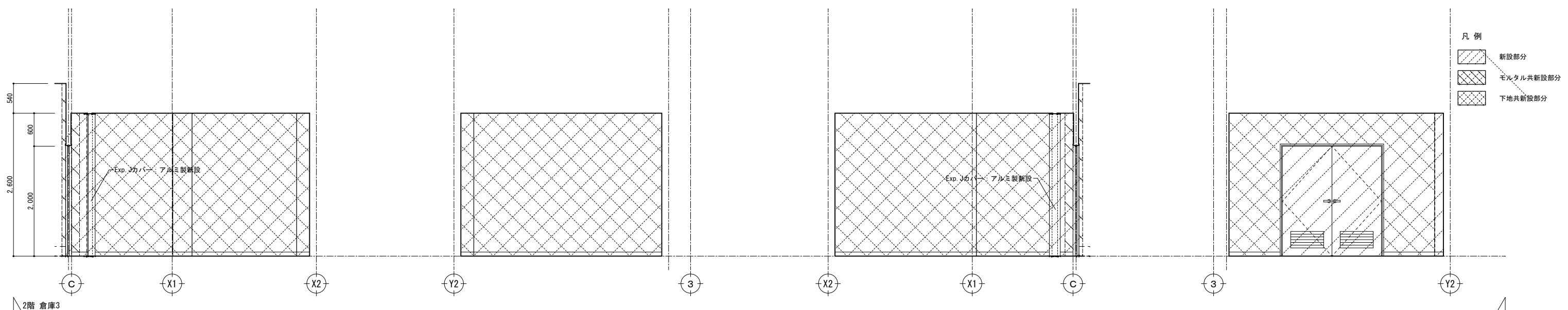
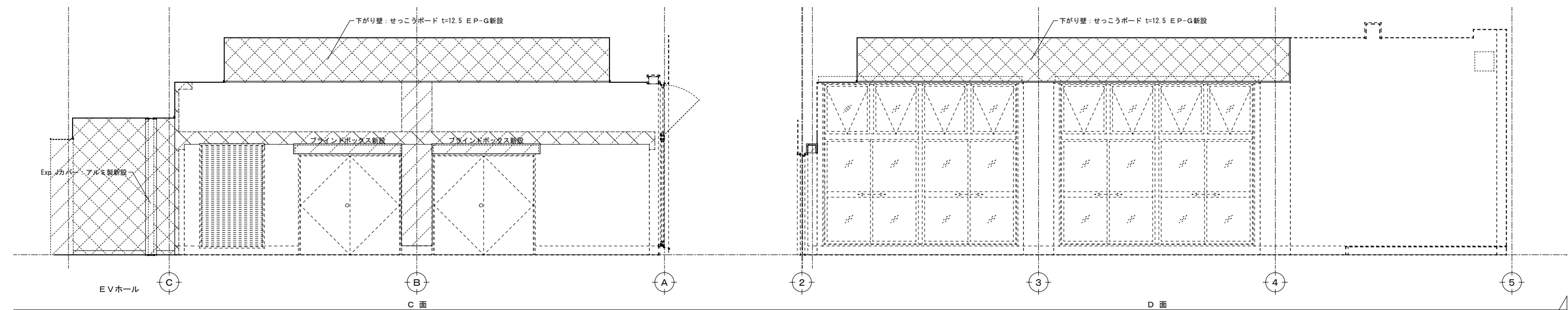
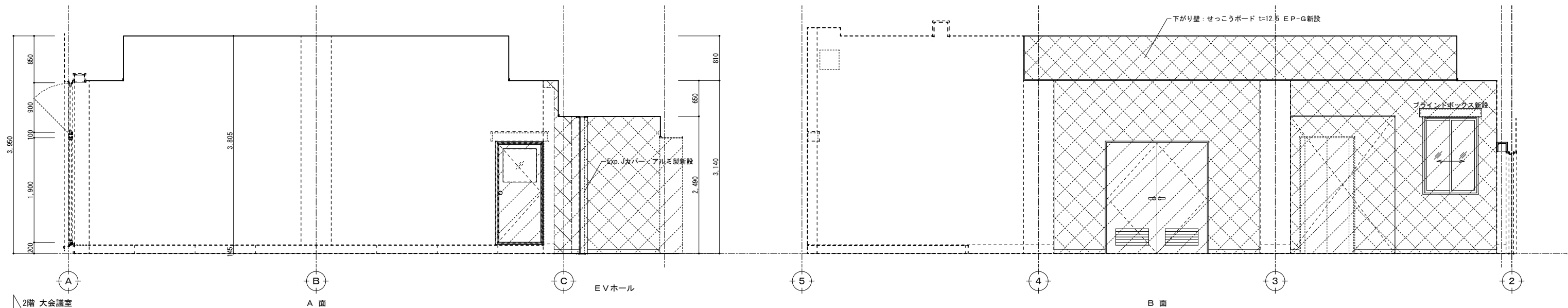
R 7 年

図番:

A - 47



展開図 1/50



展開図 1/50



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名:

本郷人権文化センター耐震改修等工事

図面名:

展開図 5 (改修後)

縮尺:

1/50
A2版: 100%
A3版: 71%

査図:

部長:

課長:

主任:

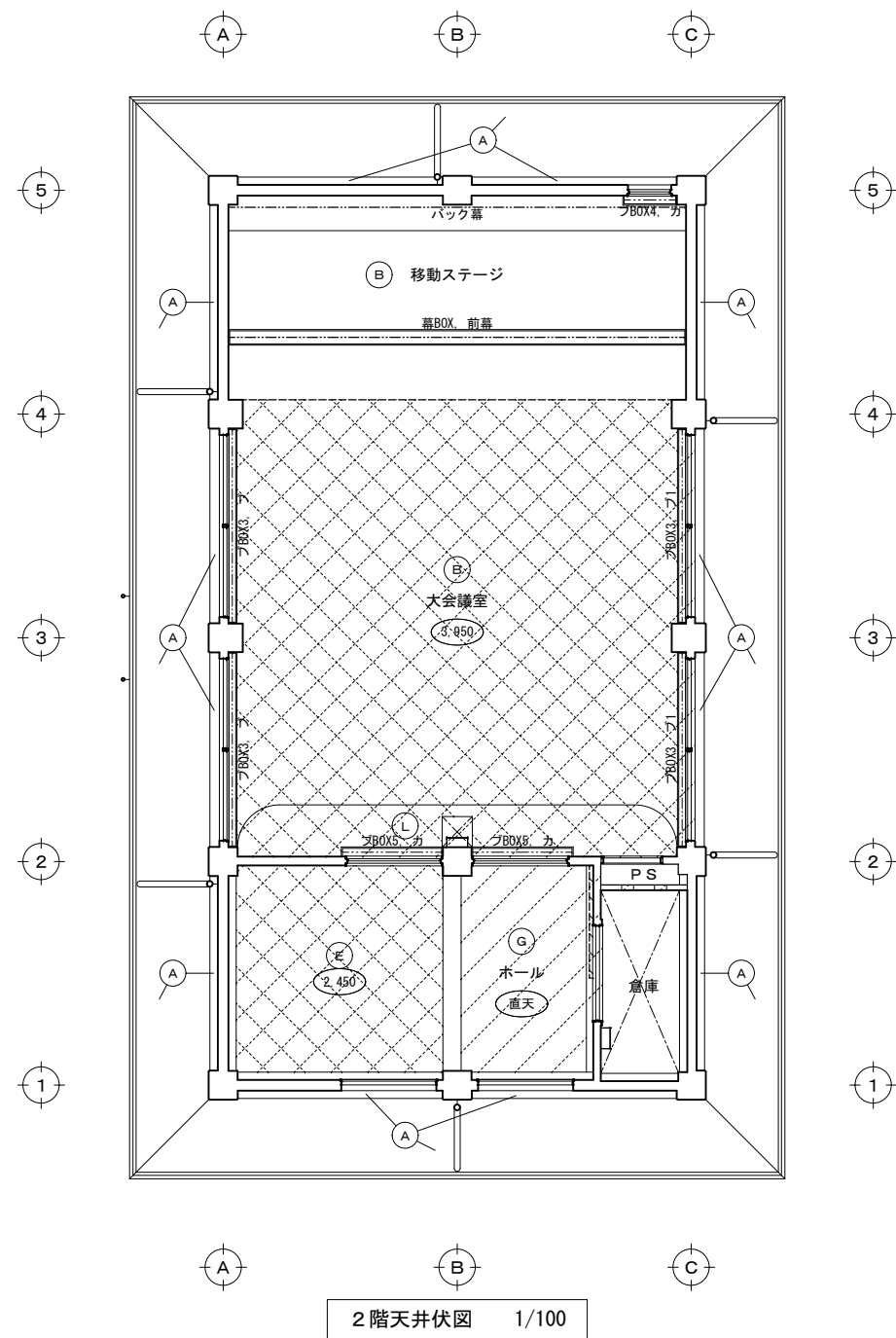
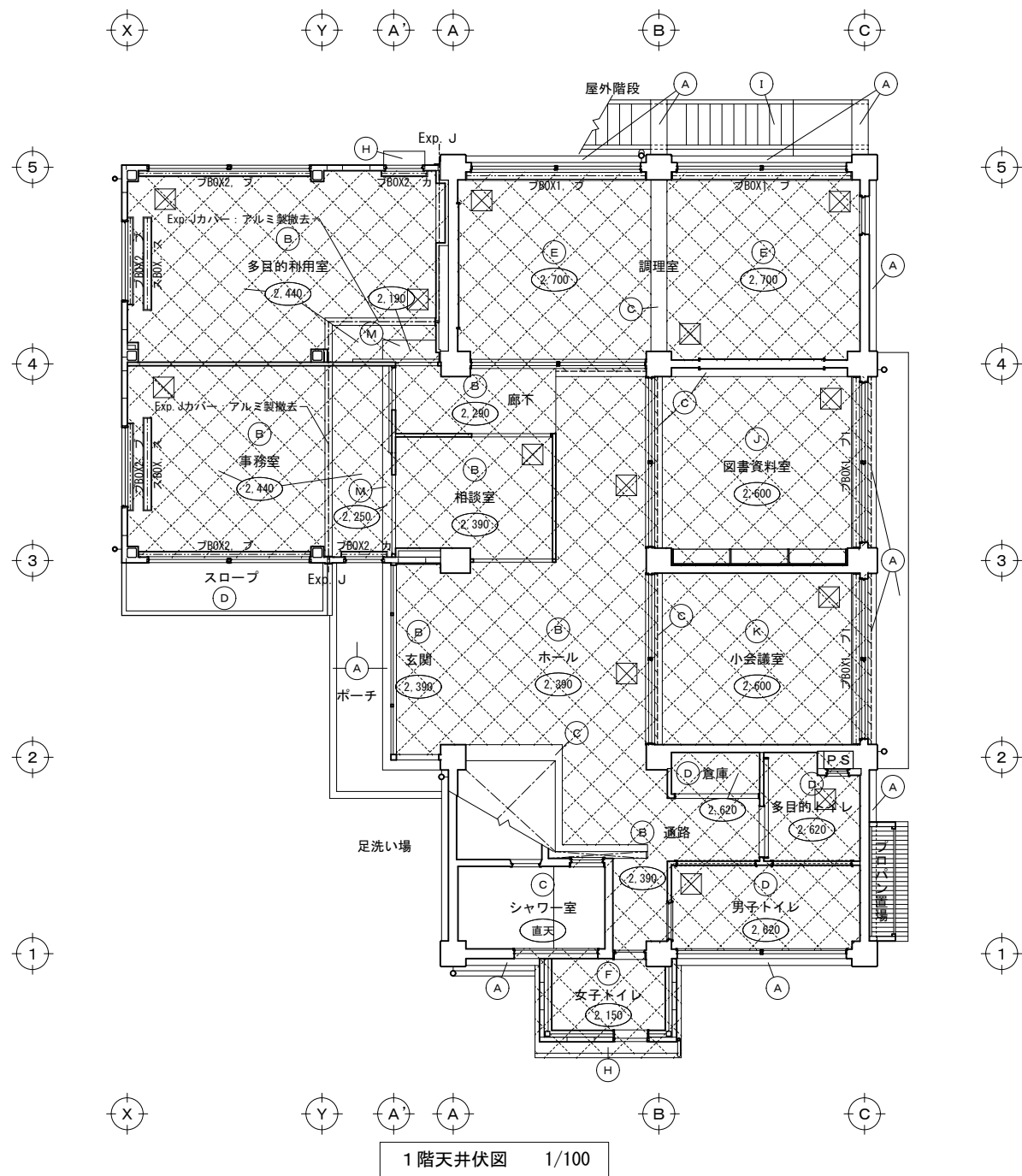
担当:

日付:

R 7 年

図番:

A - 50



凡例

(A)	コンクリート打放し仕上げの上 外装薄塗材 E	(J)	化粧せっこうボード (トラバーチン) t=9.5 (石綿含有)	ブBOX1	ブラインドボックス: 木製 W150xH120 S O P	...カ...	カーテン及びカーテンレール (シングル) 取外し		
(B)	化粧せっこうボード (トラバーチン) t=9.5	(K)	化粧せっこうボード (トラバーチン) t=9.5 (石綿含有) の上 E P	ブBOX2	ブラインドボックス: 木製 W100xH100 S O P	...カ1...	カーテン及びカーテンレール (シングル) 撤去		
(C)	モルタル V E	(L)	コンクリート打放し仕上げの上 複層塗材 E	ブBOX3	ブラインドボックス: 木製 W180xH130 S O P	...ブ...	ブラインド取外し		
(D)	けい酸カルシウム板 t=6 (目透し工法) V E	(M)	せっこうボード t=12.5の上 壁紙	ブBOX4	ブラインドボックス: 木製 W180xH150 S O P	...ブ1...	ブラインド撤去		
(E)	大平板 t=5 (目透し工法) E P			ブBOX5	ブラインドボックス: 木製 W150xH140 S O P	...ス...	スクリーン取外し		
(F)	スレートボード t=5 V E			スBOX	スクリーンボックス: 木製 W150xH150 S O P	...前幕...	前幕撤去		
(G)	コンクリート打放し仕上げの上 パーライト			幕BOX	ステージ幕ボックス: 木製 W250xH250 S O P	バック幕	バック幕撤去		
(H)	A L Cパネル t=100の上 外装薄塗材 E	○	F Lからの天井高						撤去部分
(I)	鉄骨等鉄部 S O P	⊠	アルミ製天井点検口 450x450						モルタル共撤去部分
									下地共撤去部分



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名:

本郷人権文化センター耐震改修等工事

図面名:

1・2階天井伏図 (改修前)

縮尺:

1/100
A2版: 100%
A3版: 71%

査図:

部長:

課長:

主任:

担当:

日付:

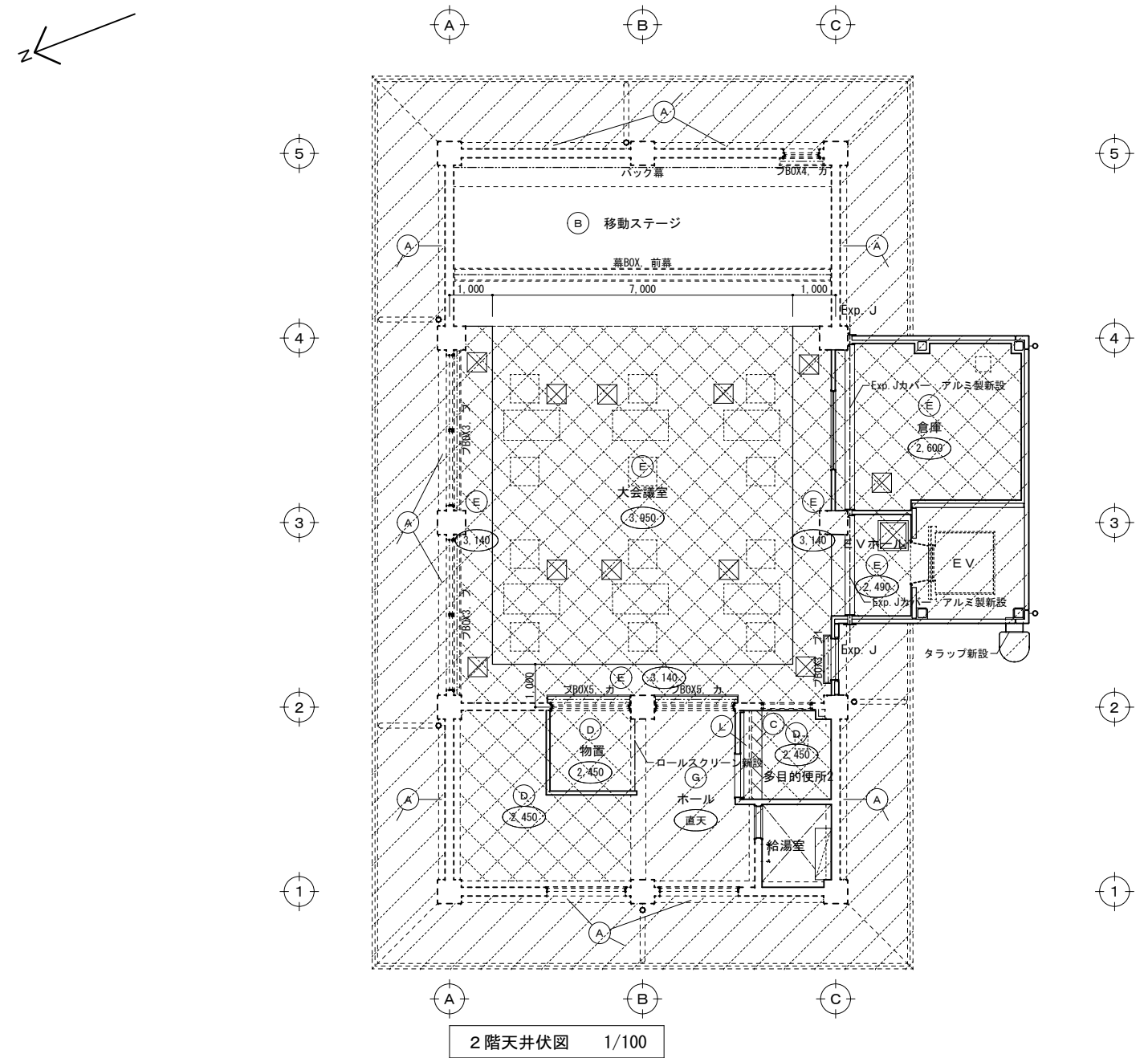
R 7 年

図番:

A - 51

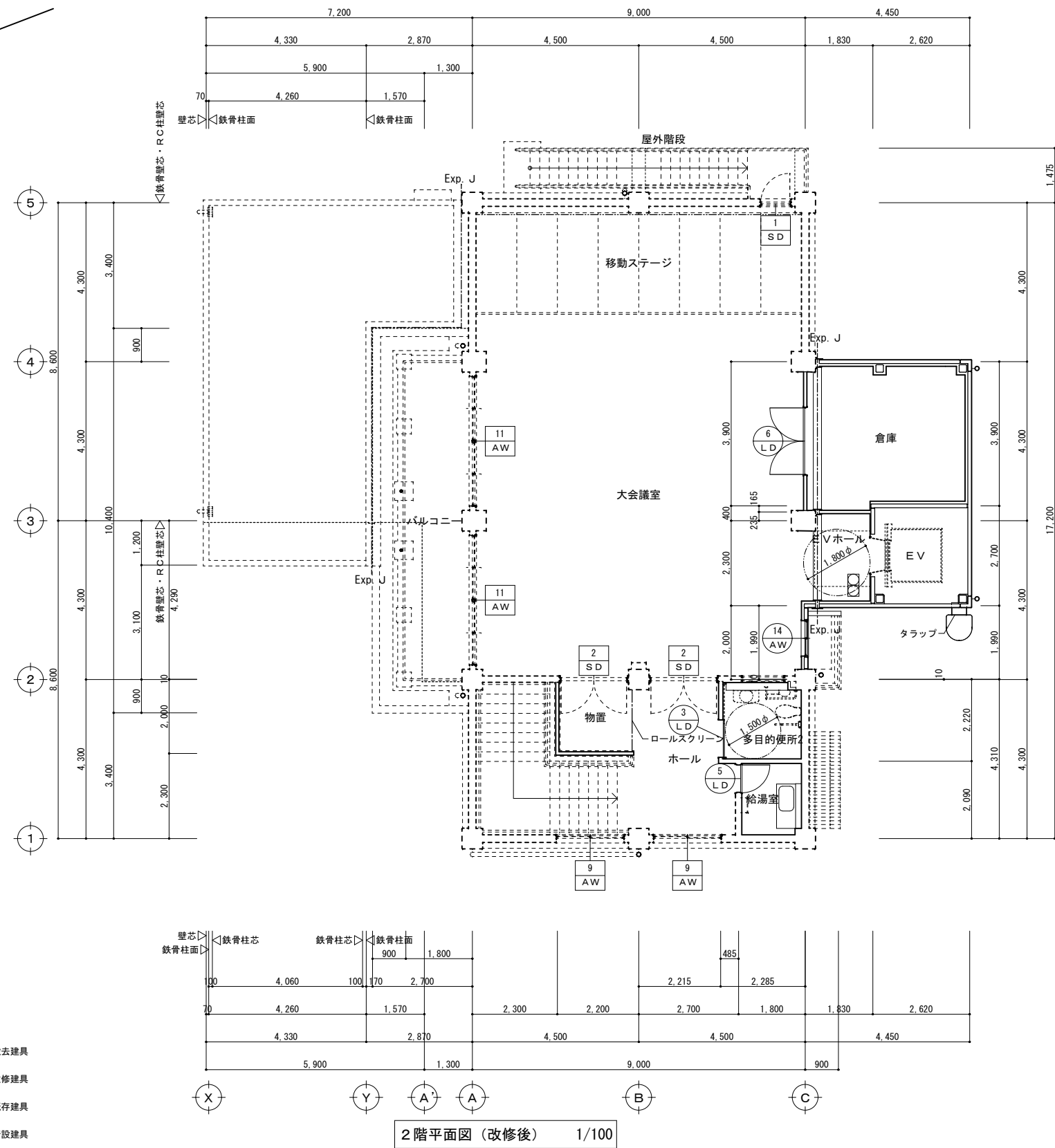
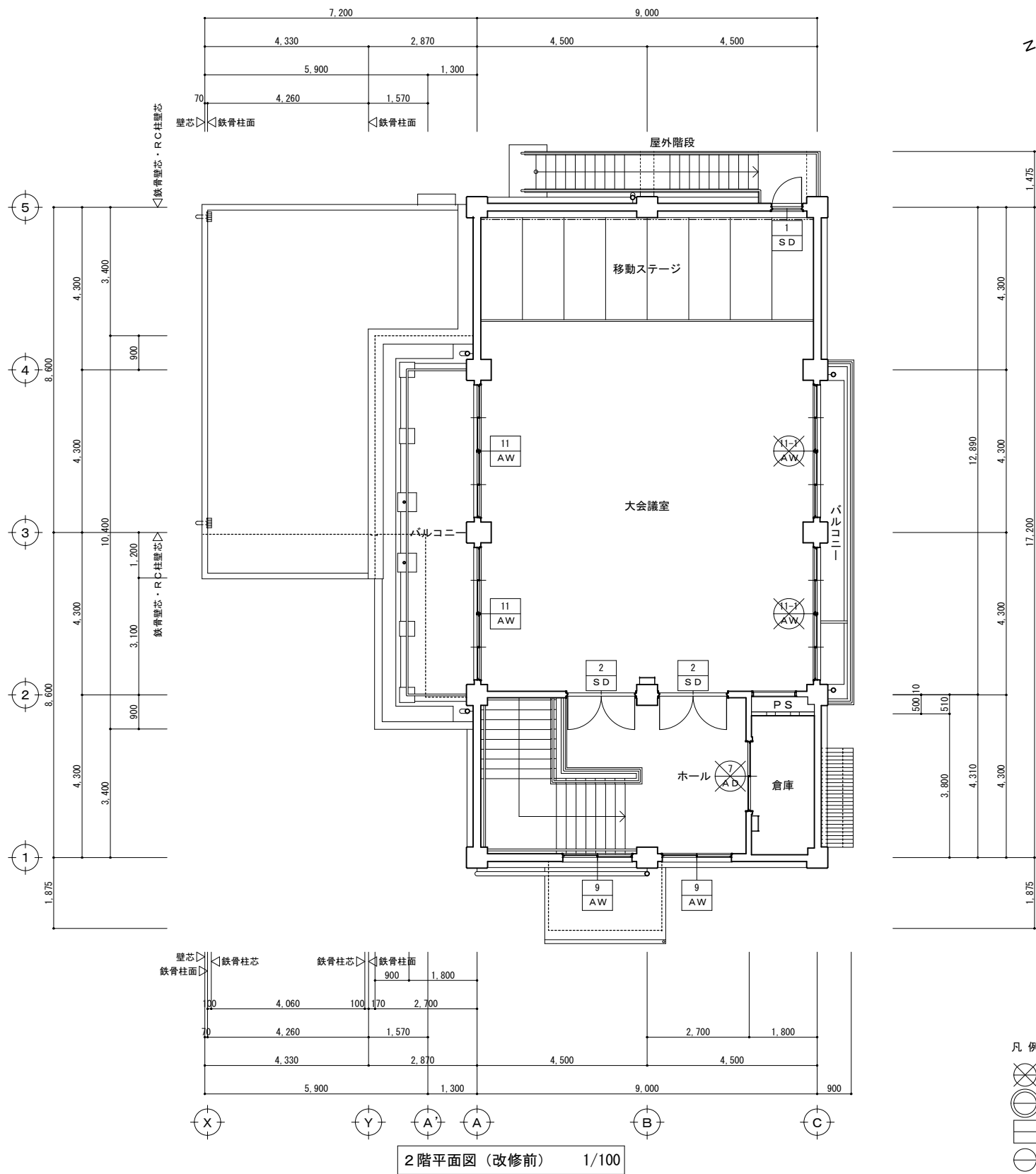


凡例									
(A)	コンクリート打放し仕上げの上 外装薄塗材 E	(L)	コンクリート打放し仕上げ E P-G	ブBOX1	ブラインドボックス：木製 W150xH120 SOP	...カ...	カーテン及びカーテンレール（シングル）再取付		
(B)	化粧せっこうボード（トラバーチン）t=9.5	(M)	せっこうボード t=12.5の上 壁紙	ブBOX2	ブラインドボックス：木製 W100xH100 SOP	...カ1...	カーテン及びカーテンレール（シングル）新設		
(C)	モルタル E P-G			ブBOX3	ブラインドボックス：木製 W180xH130 SOP	...ブ...	ブラインド再取付		
(D)	けい酸カルシウム板 t=6（目透し工法）E P-G			ブBOX4	ブラインドボックス：木製 W180xH150 SOP	...ブ1...	ブラインド新設		
(E)	化粧せっこうボード（スクエア）t=9.5			ブBOX5	ブラインドボックス：木製 W150xH140 SOP	...ス...	スクリーン再取付		
(F)	モルタルの上 壁紙			スBOX	スクリーンボックス：木製 W150xH150 SOP	...前幕...	前幕新設		
(G)	コンクリート打放し仕上げの上 内装薄塗材 E		FLからの天井高	幕BOX	ステージ幕ボックス：木製 W250xH250 SOP	バック幕	バック幕新設		
(H)	ALCパネル t=100の上 複層塗材 E		アルミ製天井点検口 450x450			...P...	ビクチャーレール新設		
(I)	鉄骨等鉄部 SOP		アルミ製天井点検口 600x600						新設部分
(J)	モルタル VE		吊戸棚						モルタル共新設部分
(K)	せっこうボード t=12.5の上 壁紙		設備の照明器具等を示す						下地共新設部分



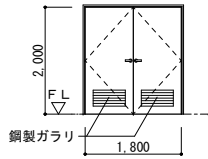
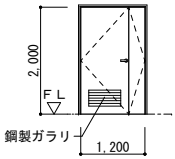
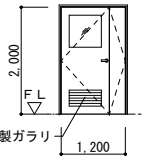
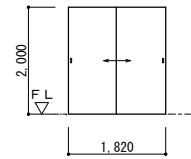
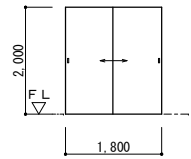
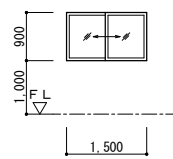
種 類	分 類	開口寸法（約）	個 数		
			1階	2階	計
照明器具用 （天井）	S下地	220 x 1,235	14	—	14
	S下地	639 x 639	4	12	16
空調・換気扇用 （天井）	S下地	250 x 250	1	—	1
	S下地	300 x 300	7	1	8
	S下地	320 x 320	2	—	2
	S下地	350 x 350	3	1	4
	S下地	500 x 500	4	—	4
	S下地	1,000 x 1,000	3	—	3
	S下地	1,300 x 700	—	6	6
	S下地	1,300 x 750	2	—	2
天井点検口	S下地	450 x 450	21	11	32
	S下地	600 x 600	—	1	1





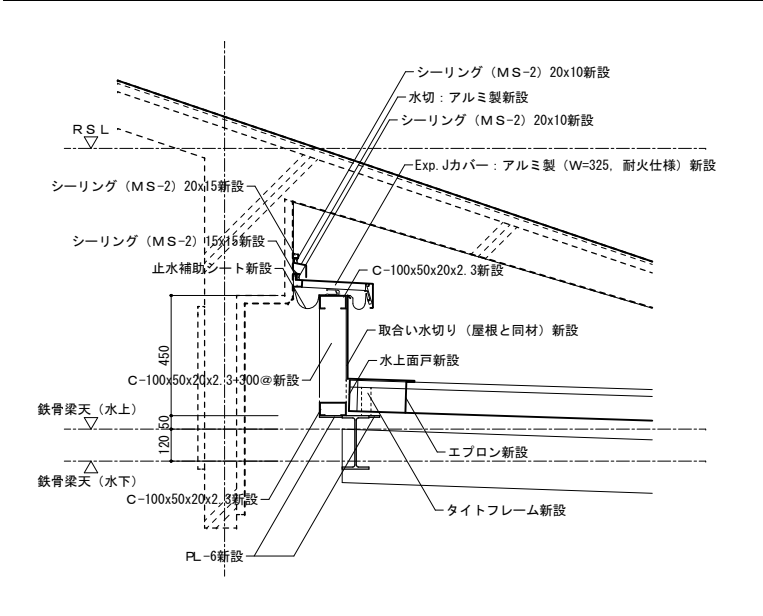
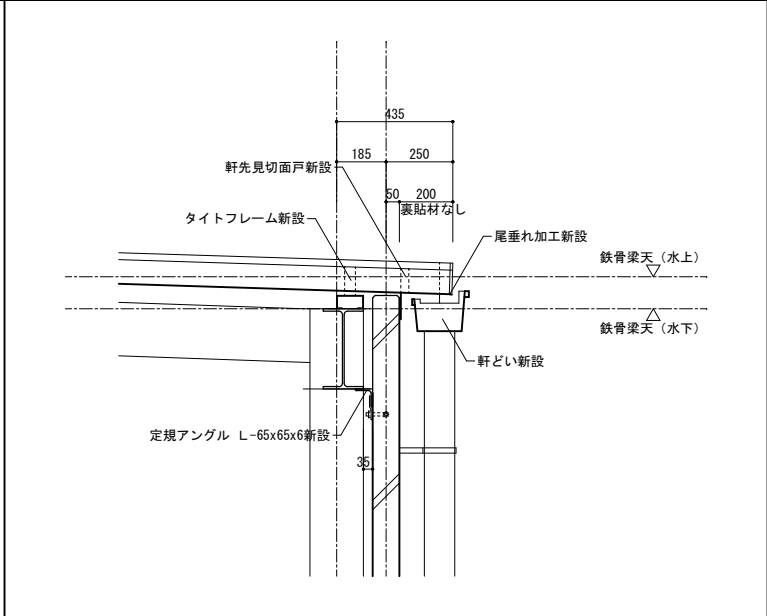
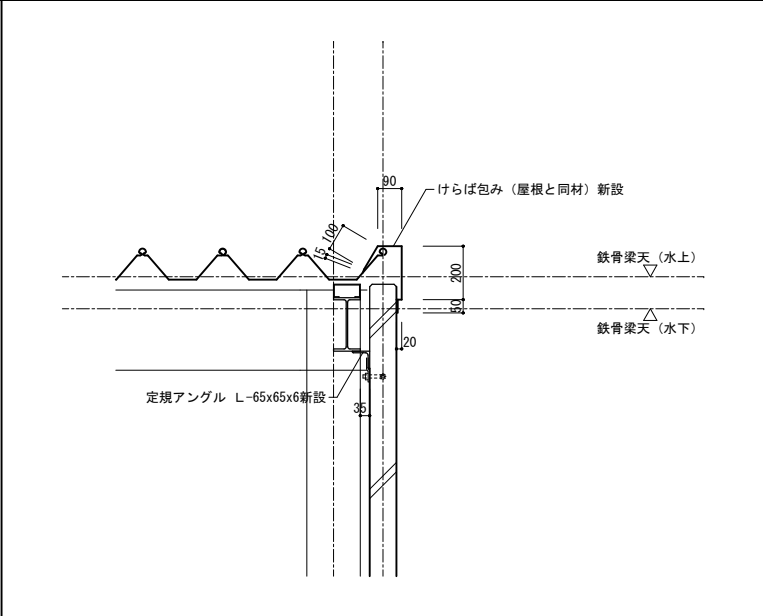
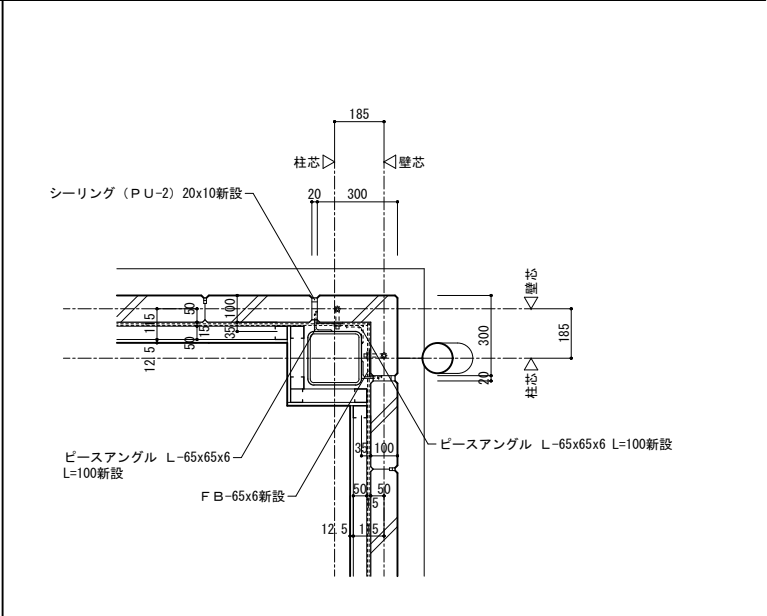
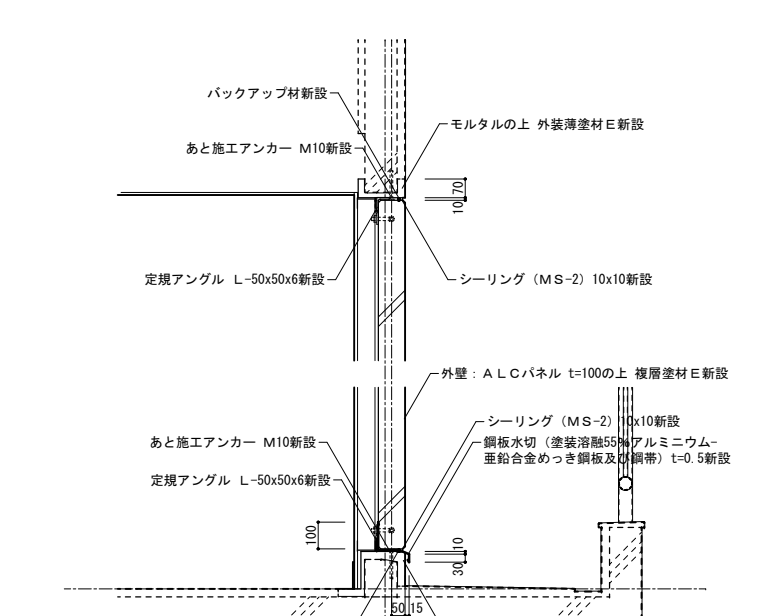
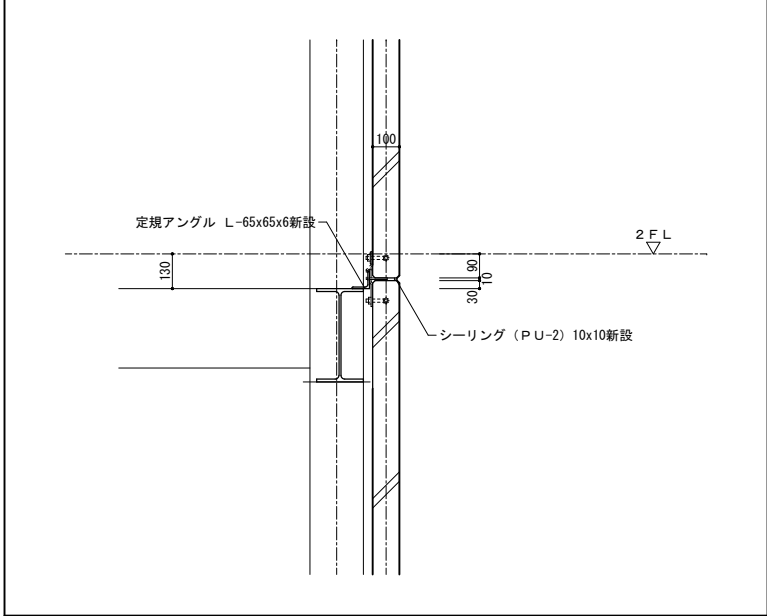
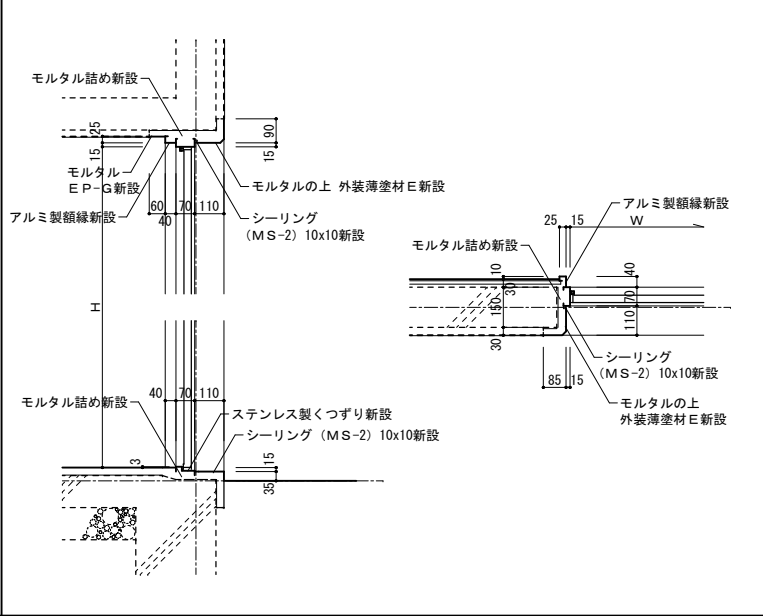
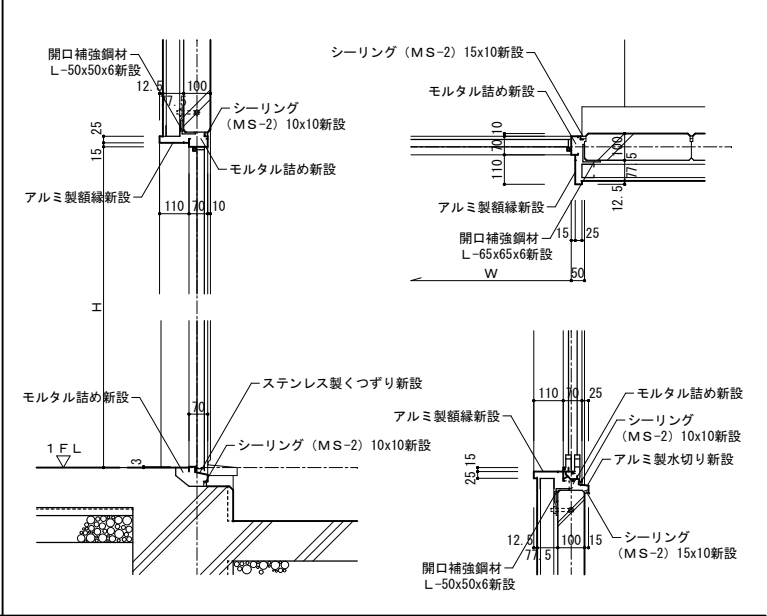
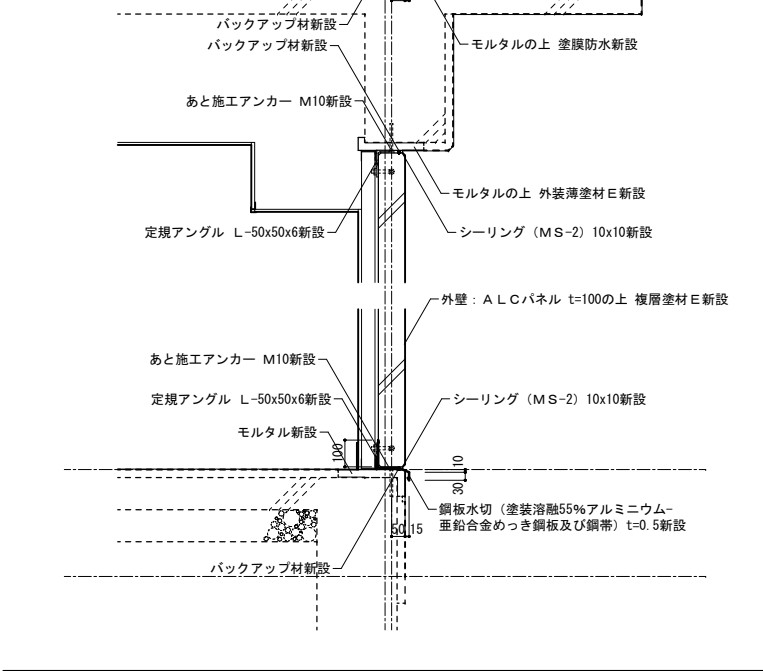
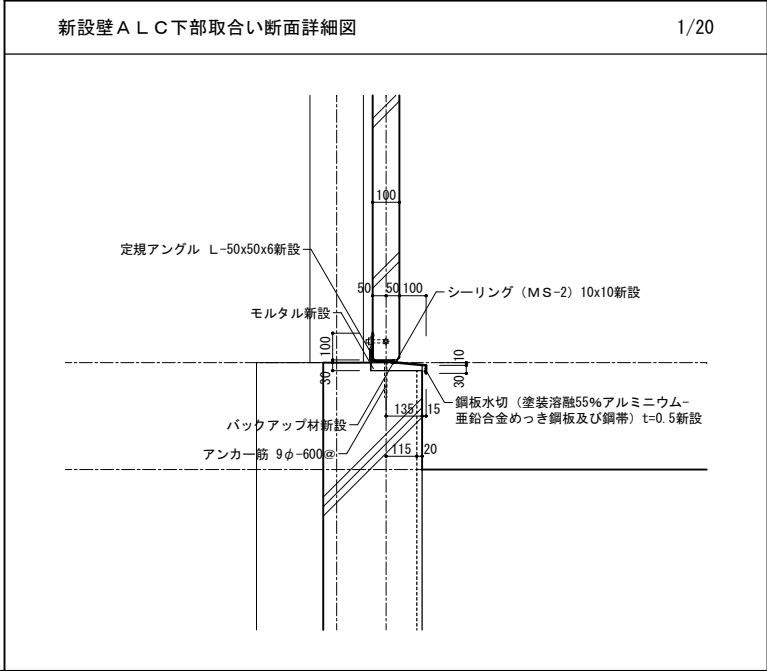
符号・名称	AD アルミ製引違いフラッシュ戸 (改修前) アルミ製引違いフラッシュ戸 (撤去)	AD アルミ製片開きフラッシュ戸 (改修前) アルミ製片開きフラッシュ戸 (撤去)	AD アルミ製片開きフラッシュ戸 (改修前・後) アルミ製片開きフラッシュ戸 (既存のまま)	AD アルミ製片開きフラッシュ戸 (改修前・後) アルミ製片開きフラッシュ戸 (既存のまま)	AD アルミ製片開きフラッシュ戸 (改修前) アルミ製引違いガラス戸 (撤去)	AD アルミ製引違いガラス戸 (改修前) アルミ製引違いガラス戸 (撤去)	AD アルミ製片開きガラス戸 (改修前) アルミ製片開きガラス戸 (改修前) (既存枠残しの上 カバー外付) (撤去)	AD アルミ製片開きガラス戸 (改修前) アルミ製片開きガラス戸 (改修前) (撤去)
姿 図								
位置・数量	1階調理室 1か所	1階男子便所 1か所	1階事務室 1か所	1階多目的利用室 1か所	1階小会議室 2か所	1階図書資料室 2か所	1階シャワー室 1か所	1階女子便所 1か所
材質・見込	アルミ製 70	アルミ製 70	アルミ製 70	アルミ製 70	アルミ製 70	アルミ製 70	アルミ製 既存枠 70の上 40	アルミ製 40
仕 上	BB-1	BB-1	BB-1	BB-1	BB-1	BB-1	BB-1	BB-1
金 物	引戸用錠、引手、標準金物一式	シリンダー箱錠（片面サムターン）、丁番、ドアクローザー（ストップ付）、標準金物一式	シリンダー箱錠（片面サムターン）、丁番、ドアクローザー（ストップ付）、標準金物一式	シリンダー箱錠（片面サムターン）、丁番、ドアクローザー（ストップ付）、標準金物一式	引戸用錠、引手、標準金物一式	引戸用錠、引手、標準金物一式	本締り付きモノロック、丁番、ドアクローザー（ストップ付）、標準金物一式	本締り付きモノロック、丁番、戸当り、ドアクローザー（ストップ付）、標準金物一式
硝 子	フロートガラス t=5	フロート板ガラス t=5	フロート板ガラス t=5 UV7444(新設)	網入磨板ガラス t=6.8 UV7444(新設)	フロート板ガラス t=5	型板ガラス t=4	型板ガラス t=4	型板ガラス t=4
備 考	ステンレス製（フラット）レール、3方アルミ製額縁（内外側共）、アルミがらり	ステンレス製くつずり、3方アルミ製額縁（内外側共）、アルミがらり	ステンレス製くつずり、3方アルミ製額縁（内側）、アルミがらり（ステンレス製防虫網付）	ステンレス製くつずり、3方アルミ製額縁（内側）、アルミがらり（ステンレス製防虫網付）	ステンレス製（フラット）レール、3方アルミアングル（内外側共）（木製額縁）	ステンレス製（フラット）レール、3方アルミアングル（内外側共）（木製額縁）	テラゾくつずり、3方アルミアングル（内外側共）（木製額縁）	（3方木製額縁）
符号・名称	AD 6 アルミ製片開きガラス戸（防火設備） (改修前・後) アルミ製片開きガラス戸 (既存のまま)	AD 7 アルミ製引違いガラス戸 (改修前) アルミ製引違いガラス戸 (撤去)	AD 8 アルミ製片開きガラス戸 (改修前・後) アルミ製片開きガラス戸 (既存のまま)	AD 9 アルミ製片開きフラッシュ戸 (改修後) アルミ製片開きフラッシュ戸 (新設)	AD 10 アルミ製片開きフラッシュ戸 (改修後) アルミ製片開きフラッシュ戸 (新設)		AW 1 アルミ製引違いガラス窓 (改修前・後) アルミ製引違いガラス窓 (既存のまま)	AW 1-1 アルミ製引違いガラス窓（防火設備） (改修前・後) アルミ製引違いガラス窓 (既存のまま)
姿 図								
位置・数量	1階調理室 1か所	2階倉庫 1か所	1階階段下倉庫 1か所	1階倉庫2 1か所	1階洗濯室 1か所		1階事務室 1か所	1階多目的利用室 1か所
材質・見込	アルミ製 70	アルミ製 70	アルミ製 70	アルミ製 70	アルミ製 70		アルミ製 70	アルミ製 70
仕 上	BB-1	BB-1	BB-1	BB-1	BB-1		BB-1	BB-1
金 物	本締り付きモノロック、丁番、ドアクローザー（ストップ無）、標準金物一式	標準金物一式	シリンダー箱錠（片面サムターン）、丁番、標準金物一式	シリンダー箱錠（片面サムターン）、丁番、ドアクローザー（ストップ付）、標準金物一式	シリンダー箱錠（片面サムターン）、丁番、ドアクローザー（ストップ付）、標準金物一式		標準金物一式	標準金物一式
硝 子	網入型板ガラス t=6.8 UV7444(新設)	型板ガラス t=4		型板ガラス t=4 UV7444(新設)	型板ガラス t=4 UV7444(新設)		フロート板ガラス t=5 UV7444(新設)	網入磨板ガラス t=6.8 UV7444(新設)
備 考	ステンレス製くつずり、3方アルミ製額縁（内側）、アルミがらり（防火ダンパー付）	ステンレス製レール、3方アルミアングル（内外側共）（木製額縁）	ステンレス製くつずり	ステンレス製くつずり、3方アルミ製額縁	ステンレス製くつずり、3方アルミ製額縁		アルミ製水切、4方アルミ製額縁、網戸付	アルミ製水切、4方アルミ製額縁、網戸付
符号・名称	AW 2 アルミ製引違いガラス窓 (改修前・後) アルミ製引違いガラス窓 (既存のまま)	AW 2-1 アルミ製引違いガラス窓（防火設備） (改修前・後) アルミ製引違いガラス窓 (既存のまま)	AW 3 アルミ製引違いガラス窓 (改修前) アルミ製引違いガラス窓 (撤去)	AW 4 アルミ製外倒し窓付き引違いガラス窓 (改修前・後) アルミ製外倒し窓付き引違いガラス窓 (既存のまま)	AW 4-1 アルミ製外倒し窓付き引違いガラス窓 (防火設備) (改修前・後) アルミ製外倒し窓付き引違いガラス窓 (ガラス改修)	AW 5 アルミ製引違いガラス窓（防火設備） (改修前) アルミ製引違いガラス窓 (撤去)	特記事項 ・建具製作にあたってはよく現地を調査し、施工図作成のうえ監督員の承諾を得た後製作すること。 ・引き違い建具は全て網戸レールを	

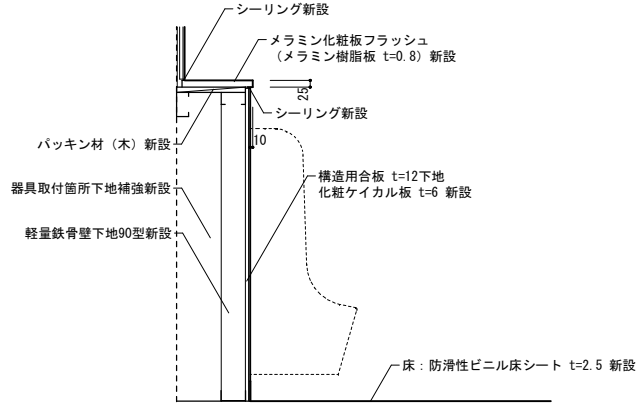
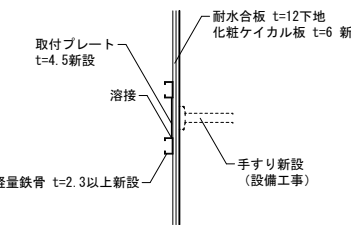
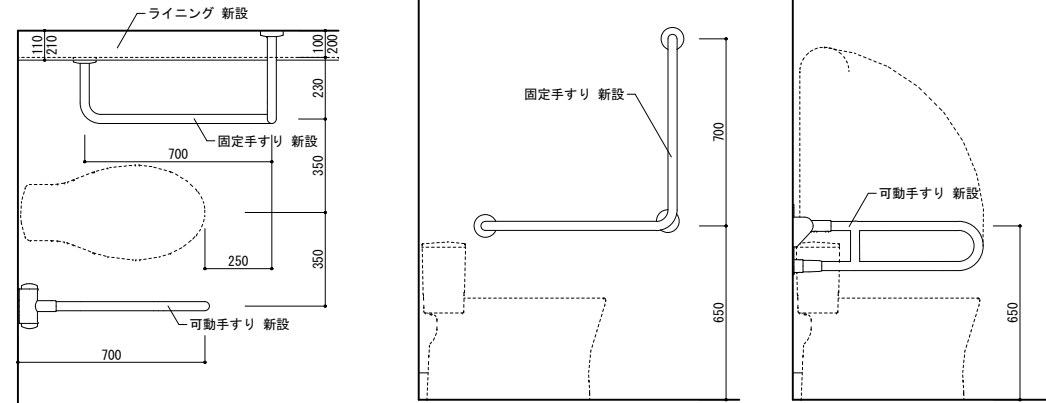
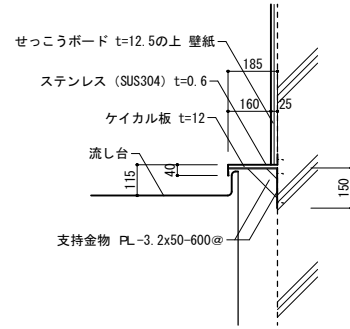
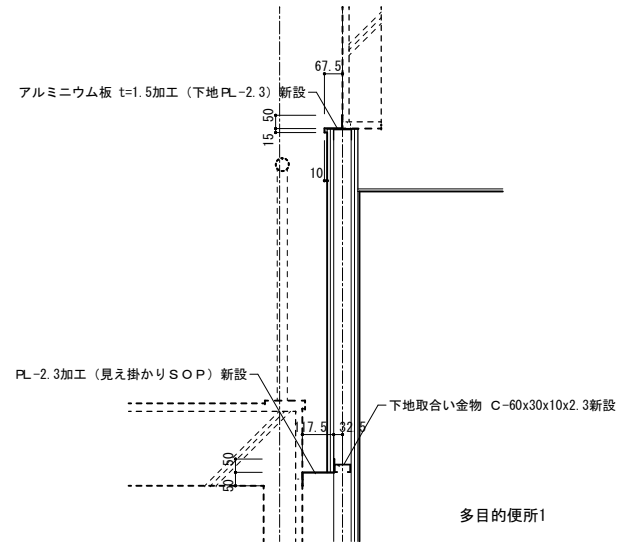
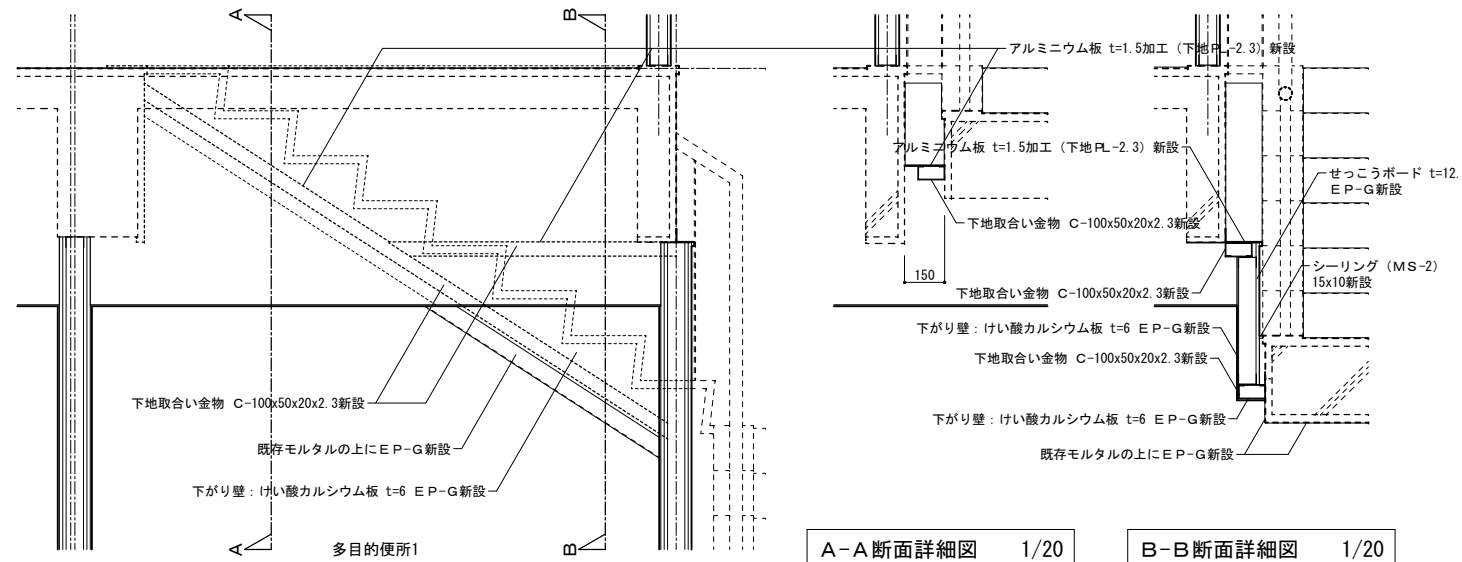
建具表 1/100													
符号・名称	6 AW アルミ製外倒し窓付き引違いガラス窓 (防火設備) (改修前・後) (既存のまま)	7 AW アルミ製外倒し窓付き引違いガラス窓 (防火設備) (改修前・後) (既存のまま)	8 AW アルミ製引違いガラス窓 (改修前) (撤去)	9 AW アルミ製引違いガラス窓 (防火設備) (改修前・後) (既存のまま)	10 AW アルミ製外倒し窓付き引違いガラス窓 (改修前・後) (ガラス改修)	11 AW アルミ製外倒し窓付き引違いガラス窓 (改修前・後) (既存のまま)	11 AW アルミ製外倒し窓付き引違いガラス窓 (改修前) (既存のまま)	12 AW アルミ製引違いガラス窓 (改修後) (新設)					
姿 図													
位置・数量	1階図書資料室 1か所	1階小会議室 1か所	1階シャワー室 1か所	2階ホール 2か所	1階男子便所 1か所	2階大会議室 2か所	2階大会議室 2か所	1階図書資料室 1か所					
材質・見込	アルミ製 70	アルミ製 70	アルミ製 70	アルミ製 70	アルミ製 70	アルミ製 70	アルミ製 70	アルミ製 70					
仕 上	B B-1	B B-1	B B-1	B B-1	B B-1	B B-1	B B-1	B B-1					
金 物	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式	標準金物一式					
硝 子	網入型板ガラス t=6.8	網入型板ガラス t=6.8	型板ガラス t=4	網入型板ガラス t=6.8 UV744M(新設)	型板ガラス t=4 既存のまま、らんま: フロート板ガラス t=5撤去の上 アルミパネル t=3新設 UV744M(新設)	型板ガラス t=4、フロート板ガラス t=3 UV744M(新設)	網入型板ガラス t=6.8、網入磨板ガラス t=6.8	型板ガラス t=4 UV744M(新設)					
備 考	アルミ製水切、3方アルミアングル (木製額縁)、網戸付	アルミ製水切、3方アルミアングル (木製額縁)、網戸付	アルミ製水切、3方アルミアングル (木製額縁)、網戸付	アルミ製水切、3方アルミアングル (木製額縁)、網戸付	アルミ製水切、3方アルミアングル (木製額縁)、網戸付	アルミ製水切、3方アルミアングル (木製額縁)、網戸付	アルミ製水切、3方アルミアングル (木製額縁)、網戸付	アルミ製水切、4方アルミ製額縁、網戸付					
符号・名称	13 AW アルミ製引違いガラス窓 (改修後) (新設)	14 AW アルミ製引違いガラス窓 (改修後) (新設)		1 SSD ステンレス製はめこし窓付き両引きガラス戸 (自動ドア) (改修前・後) (既存のまま)		1 SD 鋼製片開きフラッシュ戸 (改修前・後) (既存のまま)	2 SD 鋼製両開きフラッシュ戸 (改修前・後) (既存のまま)	3 SD 鋼製片開きフラッシュ戸 (改修前) (撤去)					
姿 図													
位置・数量	1階相談室 1か所	2階大会議室 1か所		1階玄関 1か所		2階大会議室 1か所	2階大会議室 2か所	1階多目的トイレ 1か所					
材質・見込	アルミ製 70	アルミ製 70		ステンレス製 120		鋼製 86	鋼製 86	鋼製 86					
仕 上	B B-1	B B-1		ヘアライン		S O P	S O P	S O P					
金 物	標準金物一式	標準金物一式		引戸用本締め錠 (片面サムターン)、標準金物一式		本締め付きモノロック、丁番、ドアクローザー (ストップ無)、標準金物一式	本締め付きモノロック、丁番、フランス落し、ドアクローザー (ストップ無)、標準金物一式	シリンダー本締め錠、ピボットヒンジ、標準金物一式					
硝 子	型板ガラス t=4 UV744M(新設)	フロート板ガラス t=5 UV744M(新設)		強化ガラス (透明) t=12 UV744M(新設)		網入型板ガラス t=6.8 UV744M(新設)							
備 考	アルミ製水切、4方アルミ製額縁、網戸付	アルミ製水切、4方アルミ製額縁、網戸付		自動ドア開閉装置		ステンレス製くつずり、3方鋼製アングル (木製額縁)	ステンレス製くつずり、3方鋼製アングル (内外側共) (木製額縁)	4方アルミ製額縁					
符号・名称	4 SD 鋼製片引きフラッシュ戸 (改修前) (撤去)		1 LD 鋼製軽量片引きフラッシュ戸 (改修後) (新設)	1-1 LD 鋼製軽量片引きフラッシュ戸 (改修後) (新設)	2 LD 鋼製軽量片引きフラッシュ戸 (改修後) (新設)	3 LD 鋼製軽量片引きフラッシュ戸 (改修後) (新設)	4 LD 鋼製軽量片開きフラッシュ戸 (改修後) (新設)	5 LD 鋼製軽量片開きフラッシュ戸 (改修後) (新設)					
姿 図													
位置・数量	1階多目的トイレ 1か所		1階多目的室1・2、調理室、事務室 4か所	1階相談室 1か所	1階多目的便所1 1か所	2階多目的便所2 1か所	1階男子便所、女子便所 2か所	2階給湯室 1か所					
材質・見込	鋼製 200		鋼製 枠210、扉40	鋼製 枠210、扉40	鋼製 枠215、扉40	鋼製 枠215、扉40	鋼製 枠140、扉36	鋼製 枠140、扉36					
仕 上	化粧鋼板		S O P	S O P	S O P	S O P	S O P	S O P					
金 物	引戸表示錠、ステンレス製取手、上吊車、振止め、標準金物一式		引戸錠、ステンレス製取手、上吊車、振止め、標準金物一式	引戸錠、ステンレス製取手、上吊車、振止め、標準金物一式	引戸錠、ステンレス製取手、上吊車、振止め、標準金物一式	引戸錠、ステンレス製取手、上吊車、振止め、標準金物一式	丁番、シリンダー箱錠 (片面サムターン)、ドアクローザー (ストップ付き)、標準金物一式	丁番、シリンダー箱錠 (片面サムターン)、ドアクローザー (ストップ付き)、標準金物一式					
硝 子	型板ガラス t=4		フロート板ガラス t=5	型板ガラス t=4	型板ガラス t=4	型板ガラス t=4	型板ガラス t=4	フロート板ガラス t=5					
備 考	自動閉鎖式、アルミ製ガラリ		ステンレス製くつずり、自動閉鎖式、鋼製ガラリ	ステンレス製くつずり、自動閉鎖式、鋼製ガラリ	ステンレス製くつずり、自動閉鎖式、鋼製ガラリ	ステンレス製くつずり、自動閉鎖式、鋼製ガラリ	ステンレス製くつずり、鋼製ガラリ	ステンレス製くつずり、鋼製ガラリ					
有限会社 元廣建築設計事務所 一級建築士登録 第 223245 号 一級建築士事務所広島県登録 23(1) 第 0951 号			工事名: 本郷人権文化センター耐震改修等工事		図面名: 建具表 (2)		総尺: 1/100 A2版: 100% A3版: 71%		査図: 部長: 課長: 主任: 担当:		日付: R 7 年	図番: A - 56	

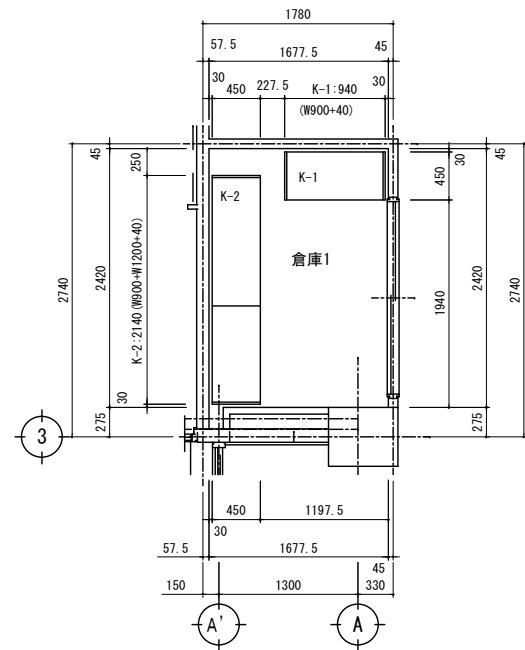
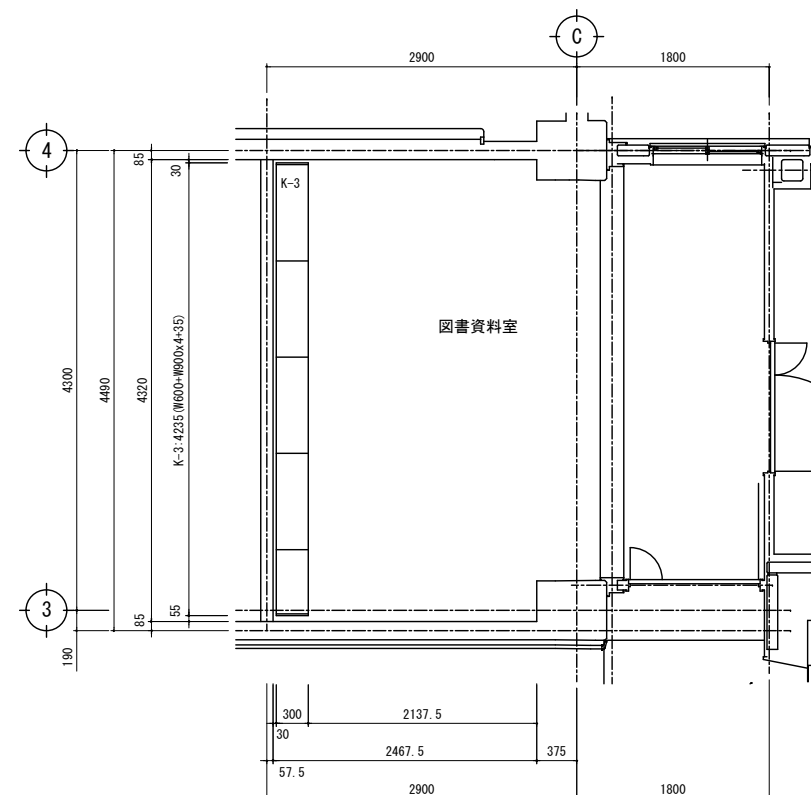
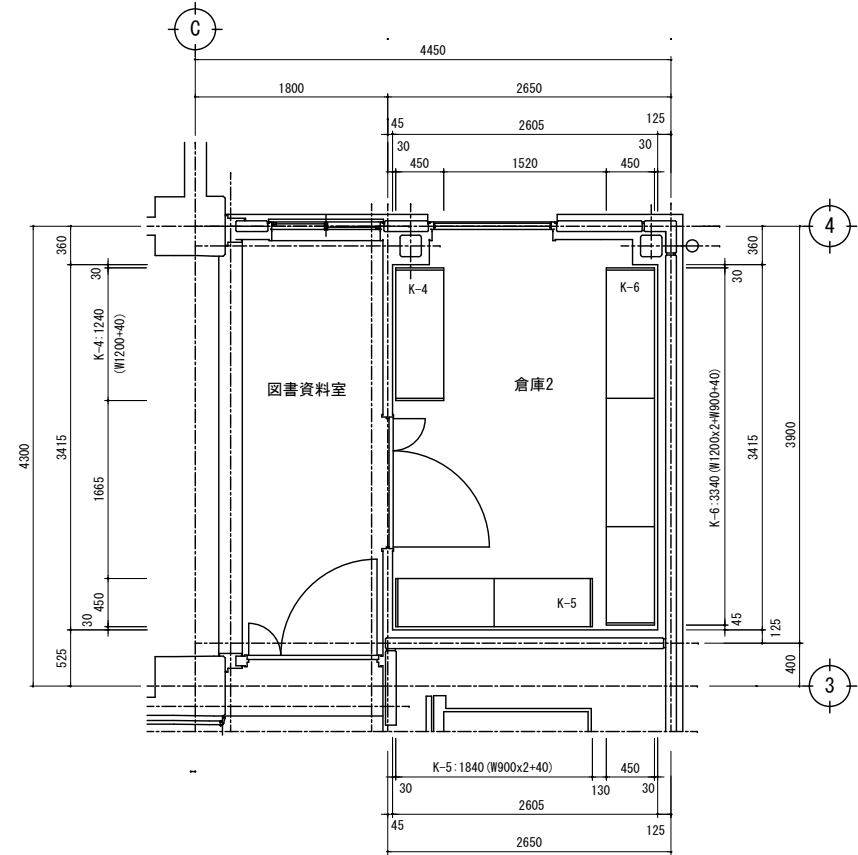
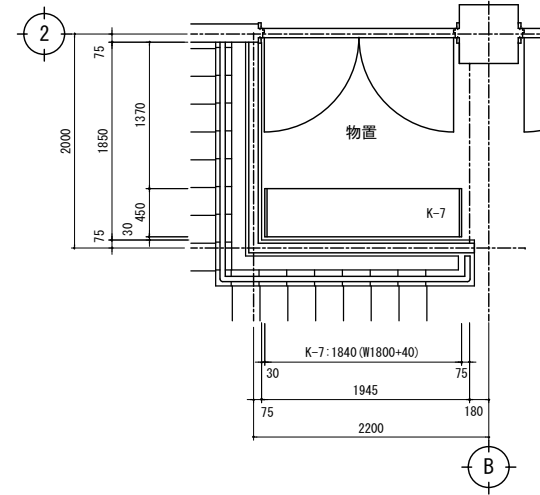
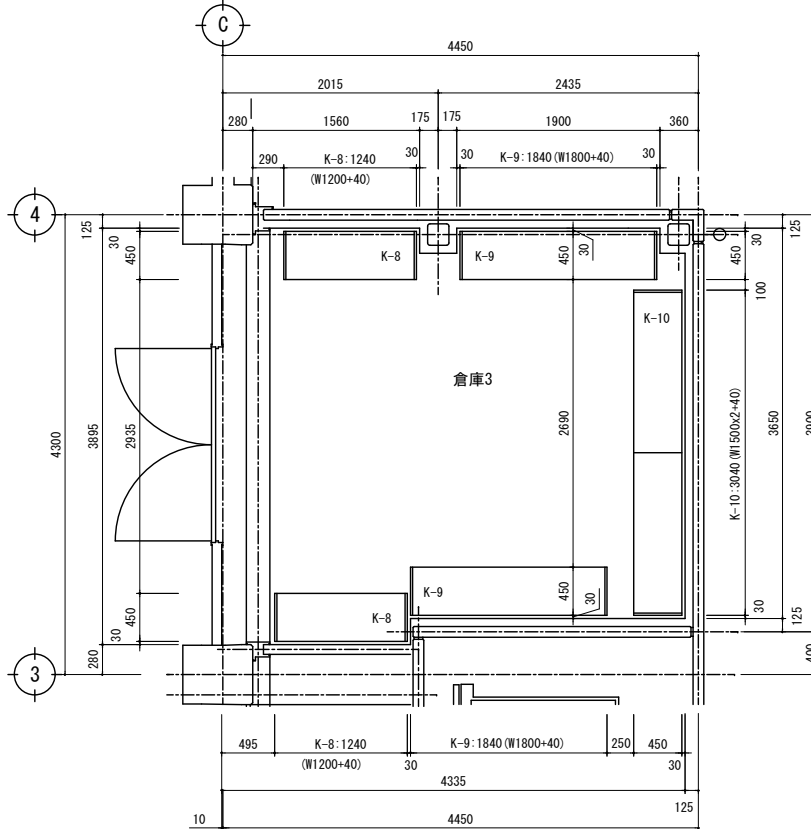
建具表 1/100											
符号・名称		6 LD 鋼製軽量両開きフラッシュ戸 (改修後) (新設)	7 LD 鋼製軽量親子開きフラッシュ戸 (改修後) (新設)	8 LD 鋼製軽量親子開きフラッシュ戸 (改修後) (新設)		1 WD 木製引違いフラッシュ戸 (改修前) (撤去)	2 WD 木製引違いフラッシュ戸 (改修後) (新設)		1 WW 木製引違いガラス窓 (改修後) (新設)		
姿 図											
位置・数量		2階倉庫 1か所	1階倉庫 1か所	1階図書資料室 1か所		1階倉庫 1か所	1階倉庫1 1か所		1階事務室 1か所		
材質・見込		鋼製 枠110, 扉36	鋼製 枠110, 扉36	鋼製 枠110, 扉36		木製 36	木製 36		木製 30		
仕 上		S O P	S O P	S O P		S O P	S O P		S O P		
金 物		丁番, シリンダー箱錠 (片面サムターン), フランス落としドアクローザー (ストップ付き), 標準金物一式	丁番, シリンダー箱錠 (片面サムターン), フランス落としドアクローザー (ストップ付き), 標準金物一式	丁番, シリンダー箱錠 (片面サムターン), フランス落としドアクローザー (ストップ付き), 標準金物一式		戸車, 引手, 標準金物一式	引違い錠, 戸車, 引手, 標準金物一式		戸車, 引手, シリンダー本締錠, 標準金物一式		
硝 子		————	————	型板ガラス t=4		————	————		フロート板ガラス t=5		
備 考		ステンレス製くつずり, 鋼製ガラリ	ステンレス製くつずり, 鋼製ガラリ	ステンレス製くつずり, 鋼製ガラリ		ステンレス製レール	ステンレス製レール		ステンレス製 (フラット) レール		
符号・名称											
姿 図											
位置・数量											
材質・見込											
仕 上											
金 物											
硝 子											
備 考											
符号・名称											
姿 図											
位置・数量											
材質・見込											
仕 上											
金 物											
硝 子											
備 考											
符号・名称											
姿 図											
位置・数量											
材質・見込											
仕 上											
金 物											
硝 子											
備 考											
工事名：				図面名：		縮尺：	査図：			日付：	図番：
本郷人権文化センター耐震改修等工事				建具表 (3)		1/100	部長：			R 7 年	A - 57
有限会社 元廣建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号				一級建築士登録 第 223245 号 元 廣 匡 伸		A2版：100% A3版： 71%	課長：				

階	室 名	床 面 積	採 光 面 積 計 算							換 気 面 積 計 算					排 煙 面 積 計 算					備 考		
			必要面積	有効面積					判定	必要面積	有効面積				判定	必要面積	有効面積				判定	
			1/20	対象建具	計算式		採光補正係数			有効	1/20	対象建具	計算式			有効	1/50	対象建具	計算式			有効
1階	多目的室1	7.2 x 4.3 = 30.96	1.54	AW1-1	1.7 × 1.3 × 2	採光補正係数は水平距離7m以上あり1.0とした		4.42	OK	1.54	AW1-1	(1.7 × 1/2) × 1.3 × 2	2.21	OK	0.61	AW1-1	(1.7 × 1/2) × 0.76 × 2	1.29	OK			
	多目的室2	5.75 x 4.3 = 24.72	1.23	AW1	1.7 × 1.3 × 2	採光補正係数は水平距離7m以上あり1.0とした		4.42	OK	1.23	AW1	(1.7 × 1/2) × 1.3 × 2	2.21	OK	0.49	AW1	(1.7 × 1/2) × 0.76 × 2	1.29	OK			
	調理室	9.0 x 4.3 = 38.70	1.93	AW4-1	1.8 × 1.1 × 2	採光補正係数は水平距離7m以上あり1.0とした		3.96	OK	1.93	AW4-1	(1.8 × 1/2) × 1.1 × 2	1.98	OK	0.77	AW4-1	0.865 × 0.35 × 3	0.90	OK			
	事務室	2.8 x 4.5175 = 12.64 1.6 x 4.49 = 7.18 計 19.82	0.99		(壁及び天井を不燃区画とする) 非常用照明設置		→	OK	0.99		機械換気による		→	OK	0.39		建設省告示第1436号1項四号へ (五) 適用		→	OK		
	図書資料室	2.9 x 4.49 = 13.02 1.8 x 4.065 = 7.31 計 20.33	1.01	AW12	0.985 × 0.75 × 1	10 / 8.0 × 6 - 1.4 = 6.10 (水平距離10m以上あり10mとして計算) 3.00採用		2.21	OK	1.01	AW12	(0.985 × 1/2) × 0.75 × 1 0.65㎡不足分は機械換気による	0.36 →	NG OK	0.40	AW12	(0.985 × 1/2) × 0.21 × 1 建設省告示第1436号1項四号へ (五) 適用	0.10 →	NG OK			
	相談室	4.7175 x 1.81 = 8.53 4.675 x 0.465 = 2.17 計 10.70	0.53	AW13	0.93 × 1.0 × 1	採光補正係数は水平距離7m以上あり1.0とした		0.93	OK	0.53	AW13	(0.93 × 1/2) × 1.0 × 1 0.07㎡不足分は機械換気による	0.46 →	NG OK	0.21	AW13	(0.93 × 1/2) × 0.51 × 1	0.23	OK			
2階	大会議室	9.0 x 12.89 = 116.01	5.80	AW11	1.7 × 1.9 × 4	採光補正係数は水平距離7m以上あり1.0とした		12.92	OK	5.80	AW11	(1.7 × 1/2) × 1.9 × 4	6.46	OK	2.32	AW11	建設省告示第1436号1項三号口適用 天井高 3.95 × 1/2 = 1.97 < 2.1 0.815 × 0.9 × 4	2.93	OK			

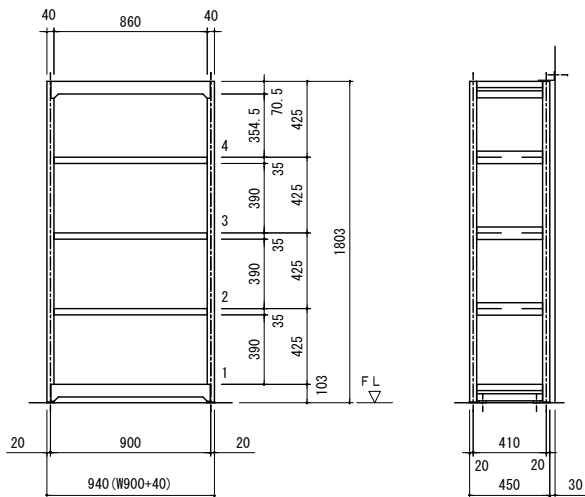
消防法の無窓階の判定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
階数	床面積	必要面積	有効面積				判定	階数	床面積	必要面積	有効面積				判定	階数	床面積	必要面積	有効面積				判定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
		1/30	対象建具	計算式		有効				1/30	対象建具	計算式		有効				1/30	対象建具	計算式		有効																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
1階	253.36	8.44	AW1	(1.7 × 1/2)	×	1.3	×	2	2.21	普通階	2階	184.17	6.13	AW11	(1.7 × 1/2)	×	1.9	×	4	6.46	普通階																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															</

既存・新設屋根取合い断面詳細図 1/20	新設屋根水下軒先断面詳細図 1/20	新設屋根けらば断面詳細図 1/20	新設壁A L Cコーナー部平面詳細図 1/20
			
既存壁撤去部・新設壁A L C部取合い断面詳細図 1/20	新設壁A L C中間部取合い断面詳細図 1/20	アルミ製建具 (既存建物部) 詳細図 1/20	アルミ製建具 (A L C新設部) 詳細図 1/20
			
	新設壁A L C下部取合い断面詳細図 1/20 		
 有限会社 元廣建築設計事務所 一級建築士事務所 23(1) 第 0951 号 元 廣 匡 伸 一級建築士登録 第 223245 号	工事名 : 本郷人権文化センター耐震改修等工事	図面名 : 部分詳細図 1	縮尺 : 1/20 A2版 : 100% A3版 : 71% 査図 : 部長 : 課長 : 主任 : 担当 : 日付 : R 7 年 図番 : A - 59

新設ライニング詳細図	1/20	新設手すり補強詳細図	1/20	新設手すり詳細図	1/20	流し上部水切り断面詳細図	1/20			
				 ※ 手摺は、樹脂被覆タイプ（34.0φ）とする						
階段取合い断面詳細図（踊り場～下部）	1/20	階段取合い断面詳細図（踊り場～上部）	1/20							
		 A-A 断面詳細図 1/20 B-B 断面詳細図 1/20								
 有限会社 元廣建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号		工事名： 本郷人権文化センター耐震改修等工事		図面名： 部分詳細図 2		縮尺： 1/20 A2版：100% A3版：71%		査図： 部長： 課長： 主任： 担当：	日付： R 7 年	図番： A - 60

1階 倉庫1 中軽量棚 配置図		S=1/50	1階 図書資料室 軽量棚 配置図		S=1/50	1階 倉庫2 中軽量棚 配置図		S=1/50					
													
2階 物置 中軽量棚 配置図		S=1/50	2階 倉庫3 中軽量棚 配置図		S=1/50								
													
 有限会社 元廣建築設計事務所 一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号 一級建築士登録 第 223245 号 元 廣 匡 伸		工事名： 本郷人権文化センター耐震改修等工事		図面名： 1階・2階 中軽量棚・軽量棚 配置図		縮尺： 1/50 A2版：100% A3版：71%		査図：部長：課長：主任：担当：		日付： R 7 年		図番： A - 61	

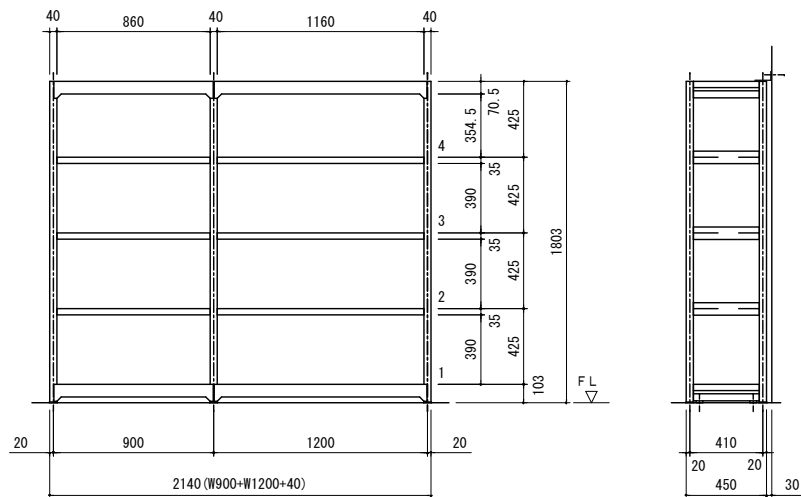
K-1	1階 倉庫1 スチールラック (中軽量棚)	金剛 株式会社	BLM 361-455SOR	1 台	S=1/30	K-2	1階 倉庫1 スチールラック (中軽量棚)	金剛 株式会社	BLM (361+461)-455SOR	1 台	S=1/30
-----	-----------------------	---------	----------------	-----	--------	-----	-----------------------	---------	----------------------	-----	--------



1階 倉庫1 中軽量棚 K-1 仕 様

参考型式	金剛株式会社製 BLM 361-455SOR
寸法	W940xD450xH1803 以上
固定	床固定・壁固定
棚構造	支柱・連ツナギ・側ツナギによるブレースを用いないボルトレス構造
棚板可動ピッチ	25mm

支柱	形状はC-40×40、複柱式とし、単式棚は2本柱
棚板積載条件	1段あたり 200kg/段
間口積載条件	1000kg/単式1連
塗装	ホワイト色 (F☆☆☆☆相当)
製作	ISO9001 及び ISO14001 認証取得工場

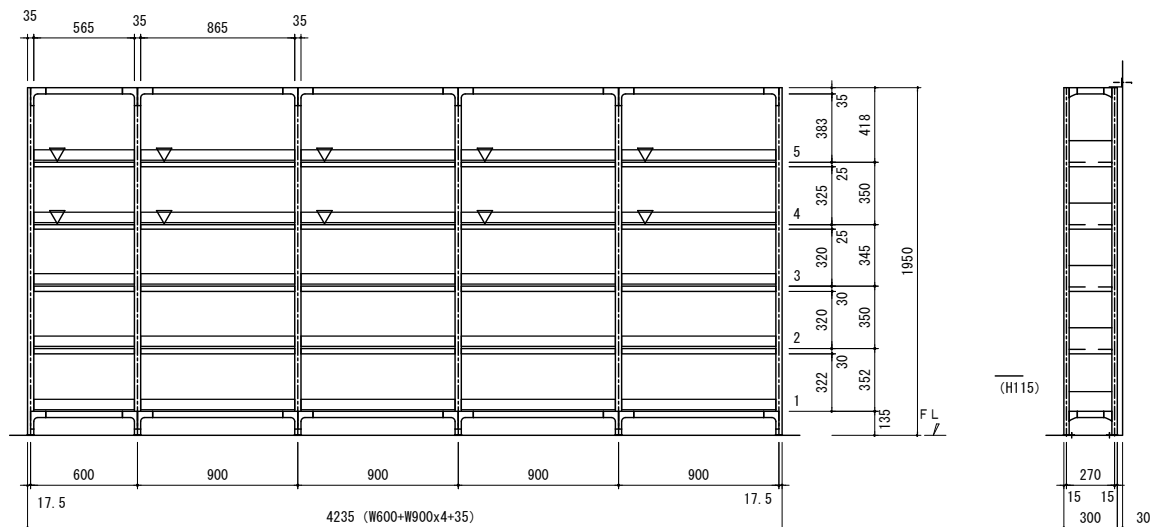


1階 倉庫1 中軽量棚 K-2 仕 様

参考型式	: 金剛株式会社製 BLM(361+461)~455SOR
寸法	: W2140xD450xH1803 以上
固定	: 床固定・壁固定
棚構造	: 支柱・連ツナギ・側ツナギによるブレースを用いないボルトレス構造
棚板可動ピッチ	: 25mm

支柱	形状はC-40×40、複柱式とし、単式棚は2本柱
棚板積載条件	1段あたり 200kg/段
間口積載条件	1000kg/単式1連
塗装	ホワイト色 (F☆☆☆☆相当)
製作	ISO9001 及び ISO14001 認証取得工場

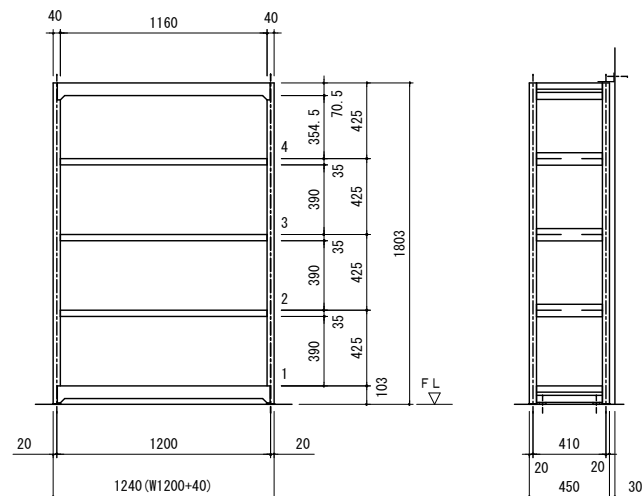
K-3	1階 図書資料室 スチールラック (軽量棚)	金剛 株式会社	KU (261+364)-306SOR/D2	1 台	S=1/30	K-4	1階 倉庫2 スチールラック (中軽量棚)	金剛 株式会社	BLM 461-455SOR	1 台	S=1/30
						K-8	2階 倉庫3 スチールラック (中軽量棚)	金剛 株式会社	BLM 461-455SOR	2 台	S=1/30



1階 図書資料室 軽量棚 K-3 仕 様

参考型式	金剛株式会社製 KU (261+364) -306SOR
寸法	W4235xD300xH1950 以上
附属品	背受、側受 (H115・最下段のみ)、傾斜スライド棚 (4~5段目)
固定	床固定・壁固定
棚構造	天地板、支柱によるフレーム構造とし、ブレースを用いない耐震ガセット方式
棚板可動ピッチ	25mm

支柱	形状はコ35×30、複柱式とし、単式棚は2本柱
棚板積載条件	1段あたり 40kg/段
間口積載条件	300kg/単式1連
塗装	ホワイト色 (F☆☆☆☆相当)
製作	ISO9001 及び ISO14001 認証取得工場



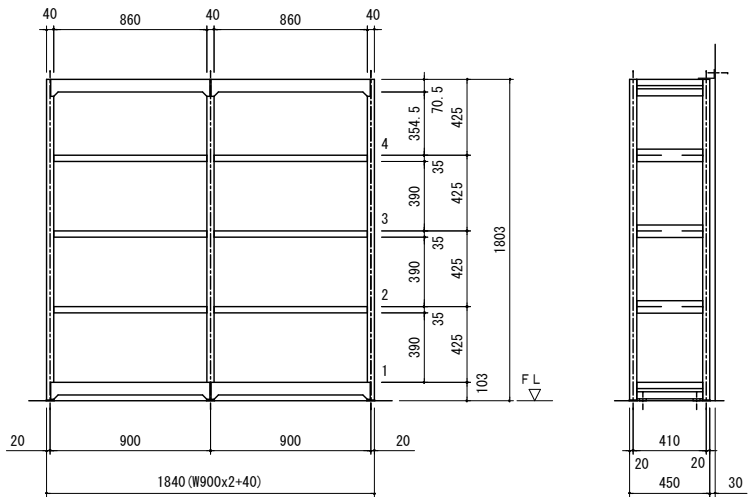
1階 倉庫2 中軽量棚 K-4・2階 倉庫3 中軽量棚 K-8 仕 様

参考型式	金剛株式会社製 BLM 461-455SOR
寸法	W1240xD450xH1803 以上
固定	床固定・壁固定
棚構造	支柱・連ツナギ・側ツナギによるブレースを用いないボルトレス構造
棚板可動ピッチ	25mm

支柱	形状はC-40×40、複柱式とし、単式棚は2本柱
棚板積載条件	1段あたり 200kg/段
間口積載条件	1000kg/単式1連
塗装	ホワイト色 (F☆☆☆☆相当)
製作	ISO9001 及び ISO14001 認証取得工場

 有限会社 元廣建築設計事務所 一級建築士事務所広島県登録 23(1) 第 0951 号	一級建築士登録 第 223245 号 元 廣 匡 伸	工事名： 本郷人権文化センター耐震改修等工事	図面名： 1階・2階 中軽量棚・軽量棚 姿図	縮尺： 1/30	査図： 部長： 課長： 主任： 担当：	日付： R 7 年	図番： A - 62
				A2版：100% A3版： 71%			

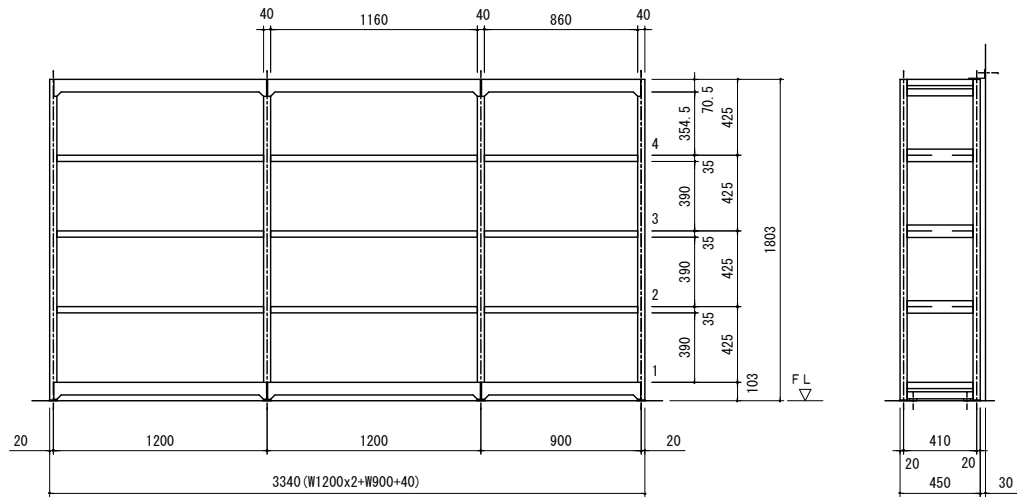
K-5	1階 倉庫2 スチールラック（中軽量棚）	金剛 株式会社	BLM 362-455SOR	1 台	S=1/30	K-6	1階 倉庫2 スチールラック（中軽量棚）	金剛 株式会社	BLM(462+361)-455SOR	1 台	S=1/30
-----	----------------------	---------	----------------	-----	--------	-----	----------------------	---------	---------------------	-----	--------



1階 倉庫2 中軽量棚 K-5 仕 様

参考型式	： 金剛株式会社製 BLM 362-455SOR
寸法	： W1840xD450xH1803 以上
固定	： 床固定・壁固定
棚構造	： 支柱・連ツナギ・側ツナギによるブレースを用いないボルトレス構造
棚板可動ピッチ	： 25mm

支柱	： 形状はC-40×40、複柱式とし、単式棚は2本柱
棚板積載条件	： 1段あたり 200kg／段
間口積載条件	： 1000kg／単式1連
塗装	： ホワイト色（F☆☆☆☆相当）
製作	： ISO9001 及び ISO14001 認証取得工場

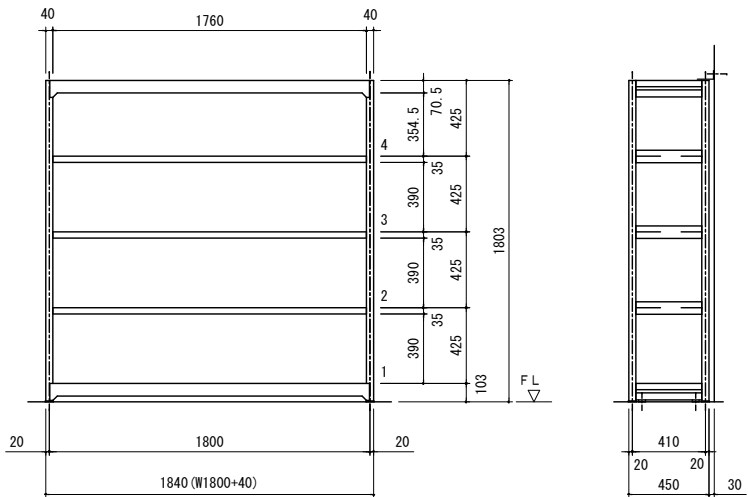


1階 倉庫2 中軽量棚 K-6 仕 様

参考型式	： 金剛株式会社製 BLM(462+361)-455SOR
寸法	： W3340xD450xH1803 以上
固定	： 床固定・壁固定
棚構造	： 支柱・連ツナギ・側ツナギによるブレースを用いないボルトレス構造
棚板可動ピッチ	： 25mm

支柱	： 形状はC-40×40、複柱式とし、単式棚は2本柱
棚板積載条件	： 1段あたり 200kg／段
間口積載条件	： 1000kg／単式1連
塗装	： ホワイト色（F☆☆☆☆相当）
製作	： ISO9001 及び ISO14001 認証取得工場

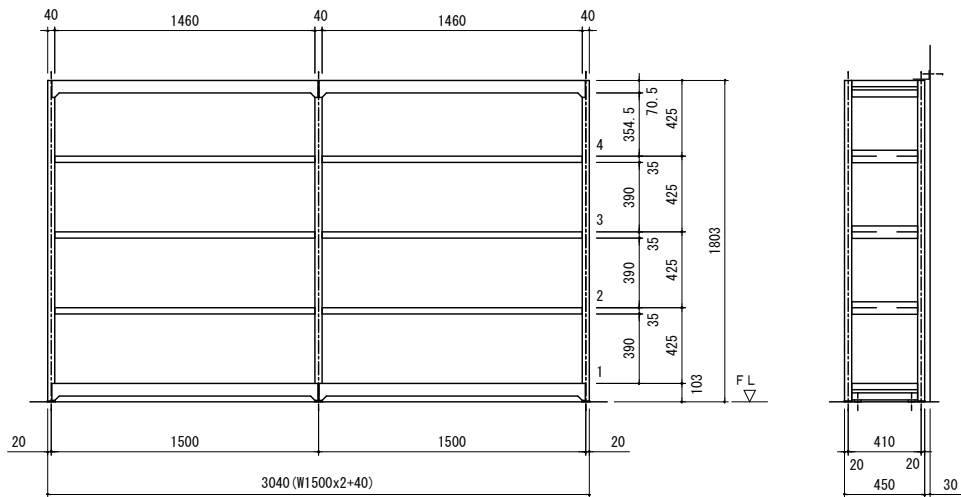
K-7	2階 物置 スチールラック（中軽量棚）	金剛 株式会社	BLM 661-455SOR	1 台	S=1/30	K-10	2階 倉庫3 スチールラック（中軽量棚）	金剛 株式会社	BLM 562-455SOR	1 台	S=1/30
K-9	2階 倉庫3 スチールラック（中軽量棚）	金剛 株式会社	BLM 661-455SOR	2 台	S=1/30						



2階 物置 中軽量棚 K-7・2階 倉庫3 中軽量棚 K-9 仕 様

参考型式	： 金剛株式会社製 BLM 661-455SOR
寸法	： W1840xD450xH1803 以上
固定	： 床固定・壁固定
棚構造	： 支柱・連ツナギ・側ツナギによるブレースを用いないボルトレス構造
棚板可動ピッチ	： 25mm

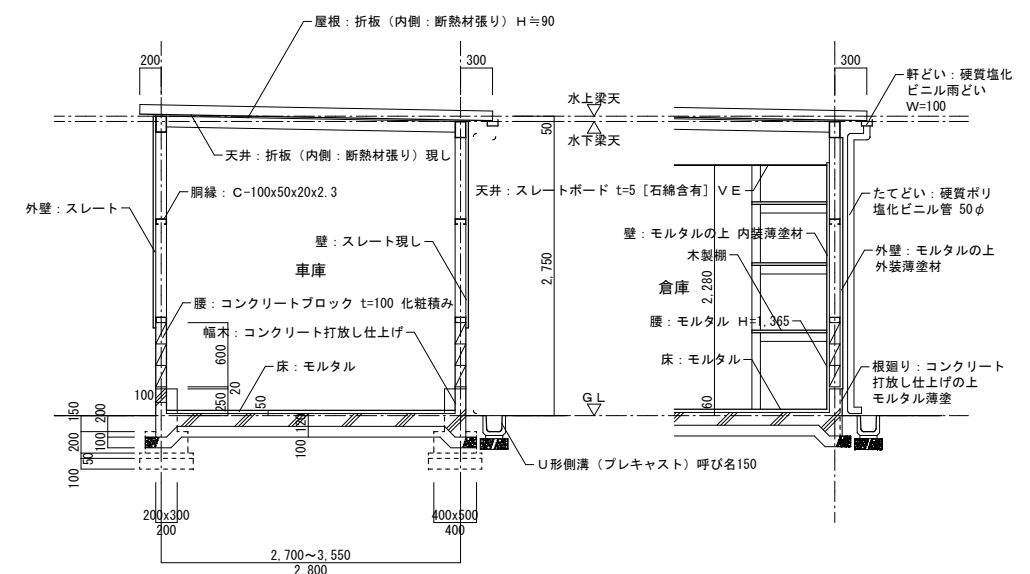
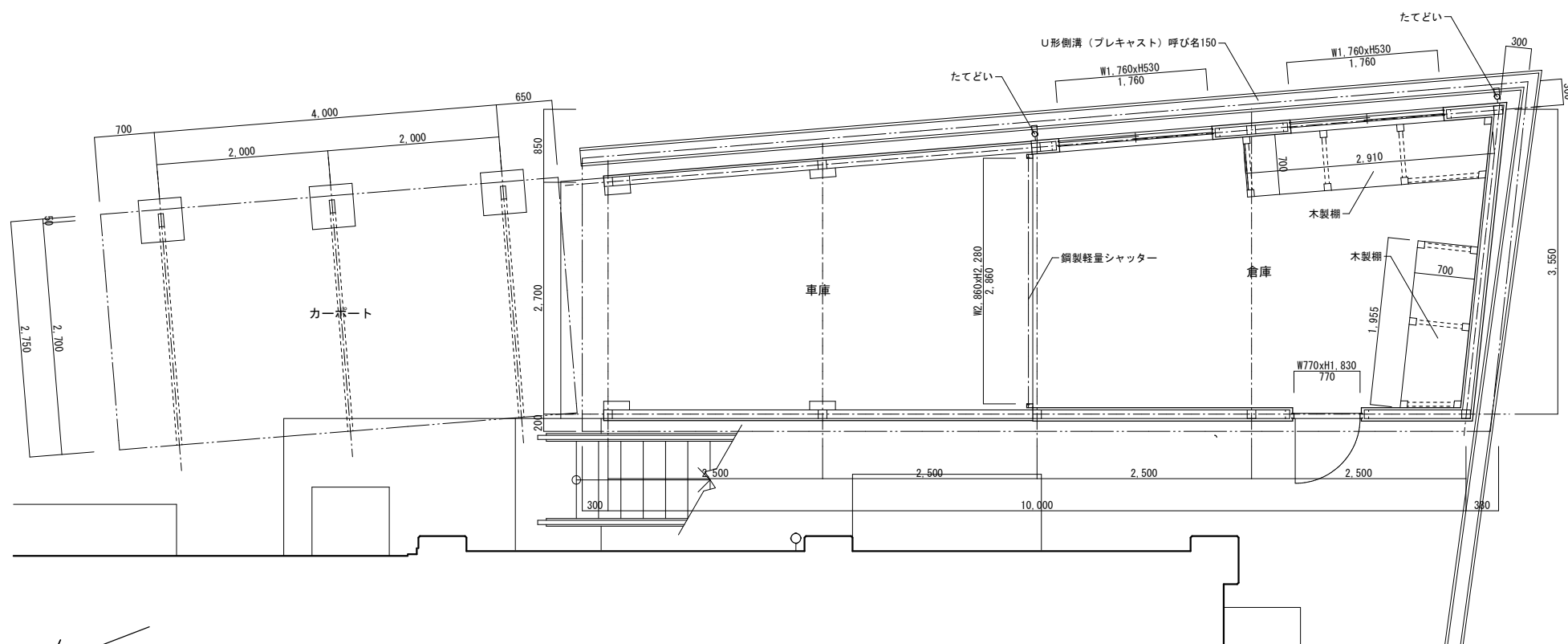
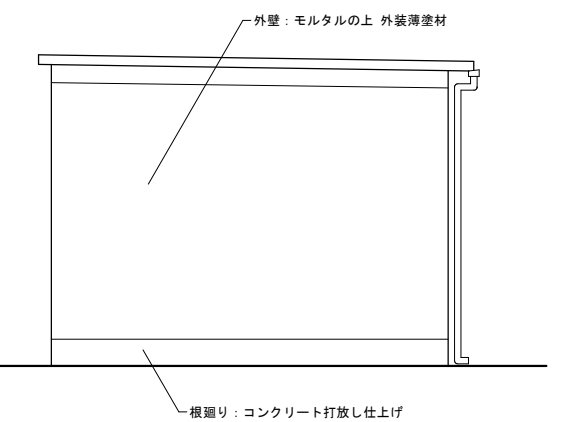
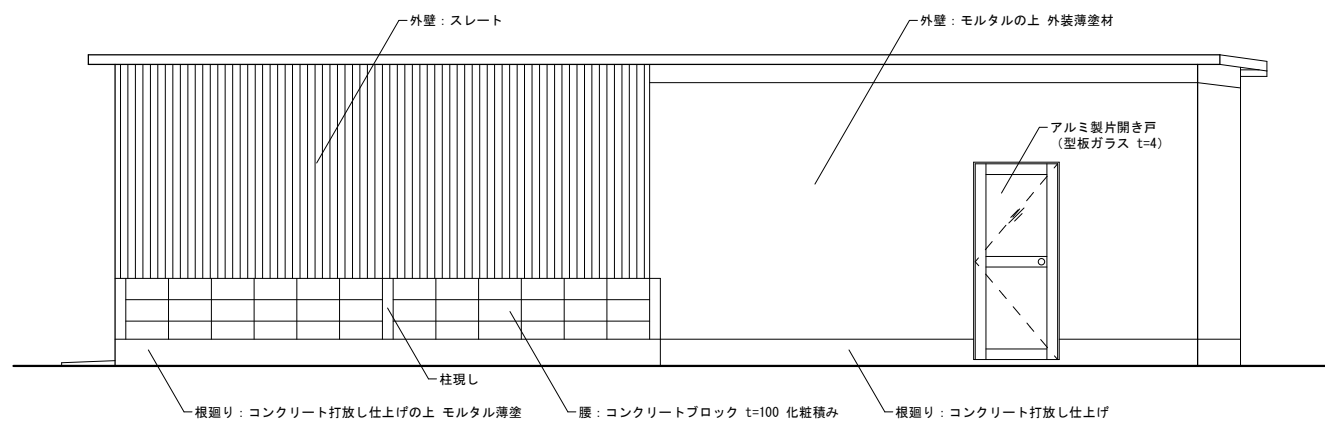
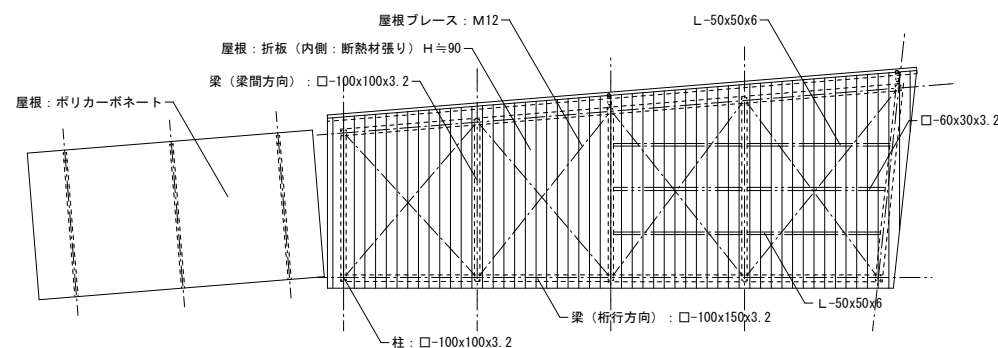
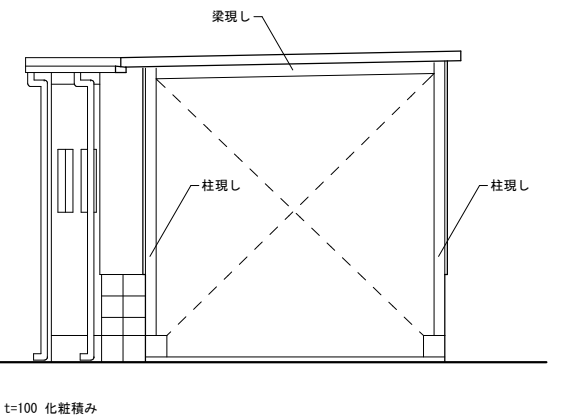
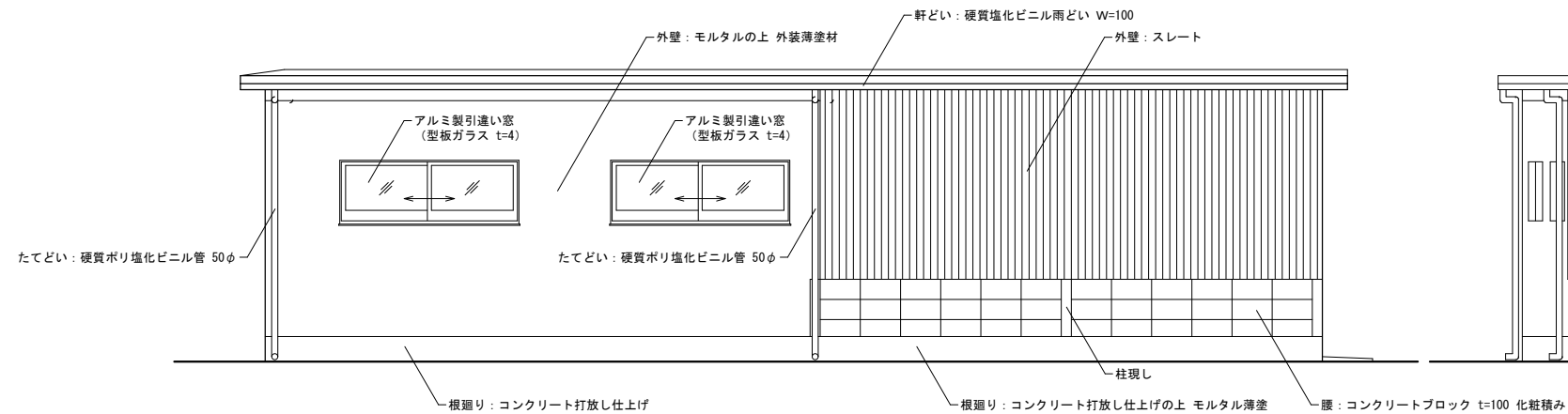
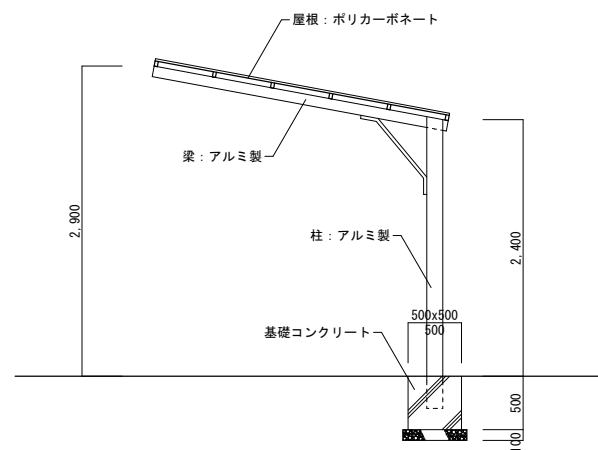
支柱	： 形状はC-40×40、複柱式とし、単式棚は2本柱
棚板積載条件	： 1段あたり 200kg／段
間口積載条件	： 1000kg／単式1連
塗装	： ホワイト色（F☆☆☆☆相当）
製作	： ISO9001 及び ISO14001 認証取得工場



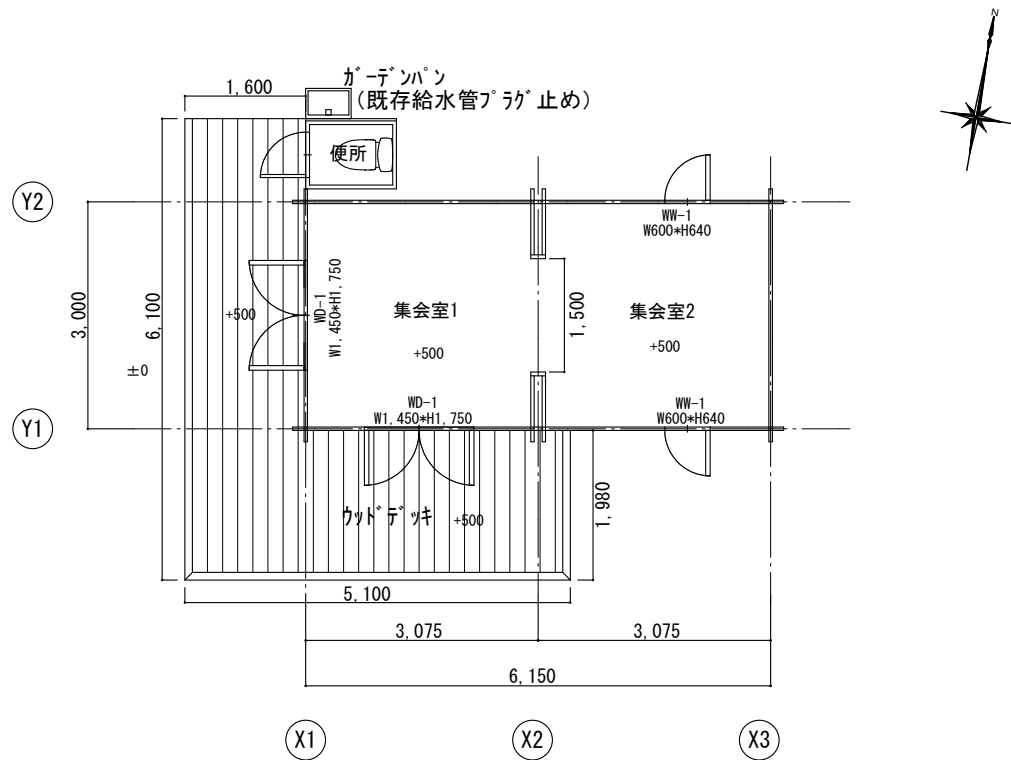
2階 倉庫3 中軽量棚 K-10 仕 様

参考型式	： 金剛株式会社製 BLM 562-455SOR
寸法	： W3040xD450xH1803 以上
固定	： 床固定・壁固定
棚構造	： 支柱・連ツナギ・側ツナギによるブレースを用いないボルトレス構造
棚板可動ピッチ	： 25mm

支柱	： 形状はC-40×40、複柱式とし、単式棚は2本柱
棚板積載条件	： 1段あたり 200kg／段
間口積載条件	： 1000kg／単式1連
塗装	： ホワイト色（F☆☆☆☆相当）
製作	： ISO9001 及び ISO14001 認証取得工場



解体対象建物：ほんごう子ども広場棟



平面図 1/100

解体撤去後、真砂土による埋め戻し・整地を行う

外部仕上表

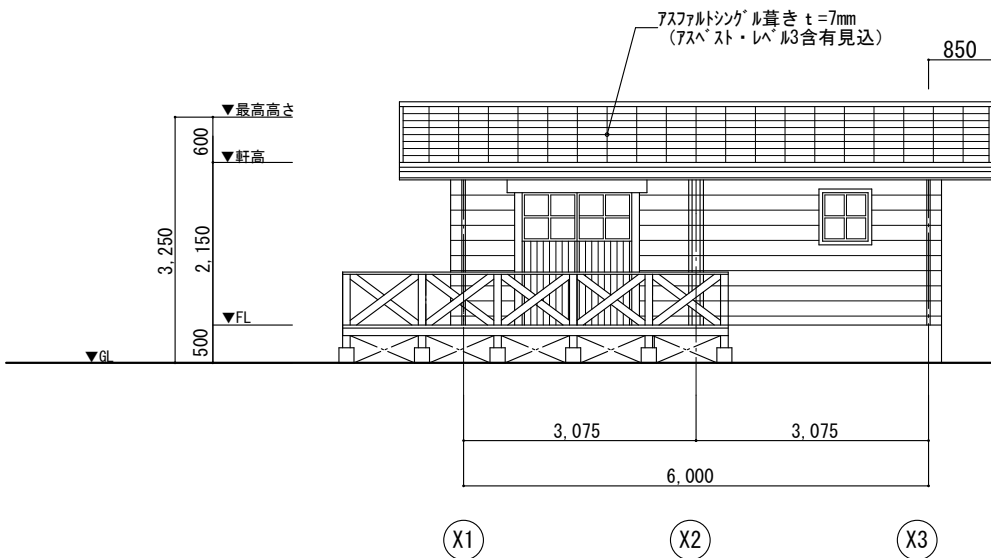
屋 根	アスファルトシングル葺き t=7mm、ゴムアスファルトシングル (アスベスト・レベール3含有見込)
軒 裏	—
外 壁	板材組 (松材・W45×H200mm・ロケ)
基礎	コンクリートべた基礎 もみり仕上げ
建 具	小窓付き木製建具 (ガラスFL4mm 600×600mm)
ガーデンパシ	流し600型、水栓柱

内部仕上表

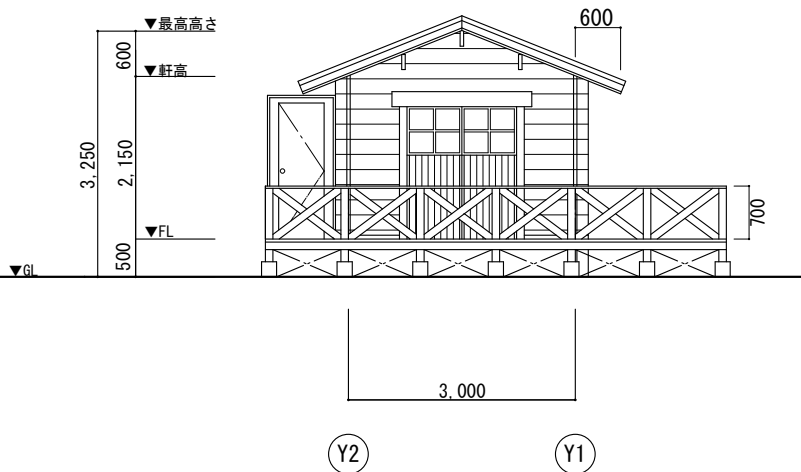
階	室 名	床	巾木・腰	壁	天井	天井高	備 考
1	集会室 1	フローリング 張り (ハイン材) t 45mm	木製巾木 H75mm	板材組 (松材・W45×H200mm・ロケ)	—	2.150 ～ 2.750	
	集会室 2	フローリング 張り (ハイン材) t 45mm	同 上	板材組 (松材・W45×H200mm・ロケ)	—	2.150 ～ 2.750	
	ユニット便所	—	—	—	—	1.900	洋便器 紙巻器

面積表

1階床面積	6.15×3.00=18.4500㎡	18.45㎡
延床面積	6.15×3.00=18.4500㎡	18.45㎡
建築面積	6.15×3.00=18.4500㎡	18.45㎡



南側立面図 1/100



西側立面図 1/100

三 原 市 役 所

三原市港町3丁目5番1号 T E L (0848) 64-2111

課長 係長 設計 校閲

付

日

工事名

本郷人権文化センター耐震改修等工事
(建築主体工事)

図面名称

解体建物詳細図
(ほんごう子ども広場棟)

準備

平面図 立面図
外・内部仕上表
面積表

尺

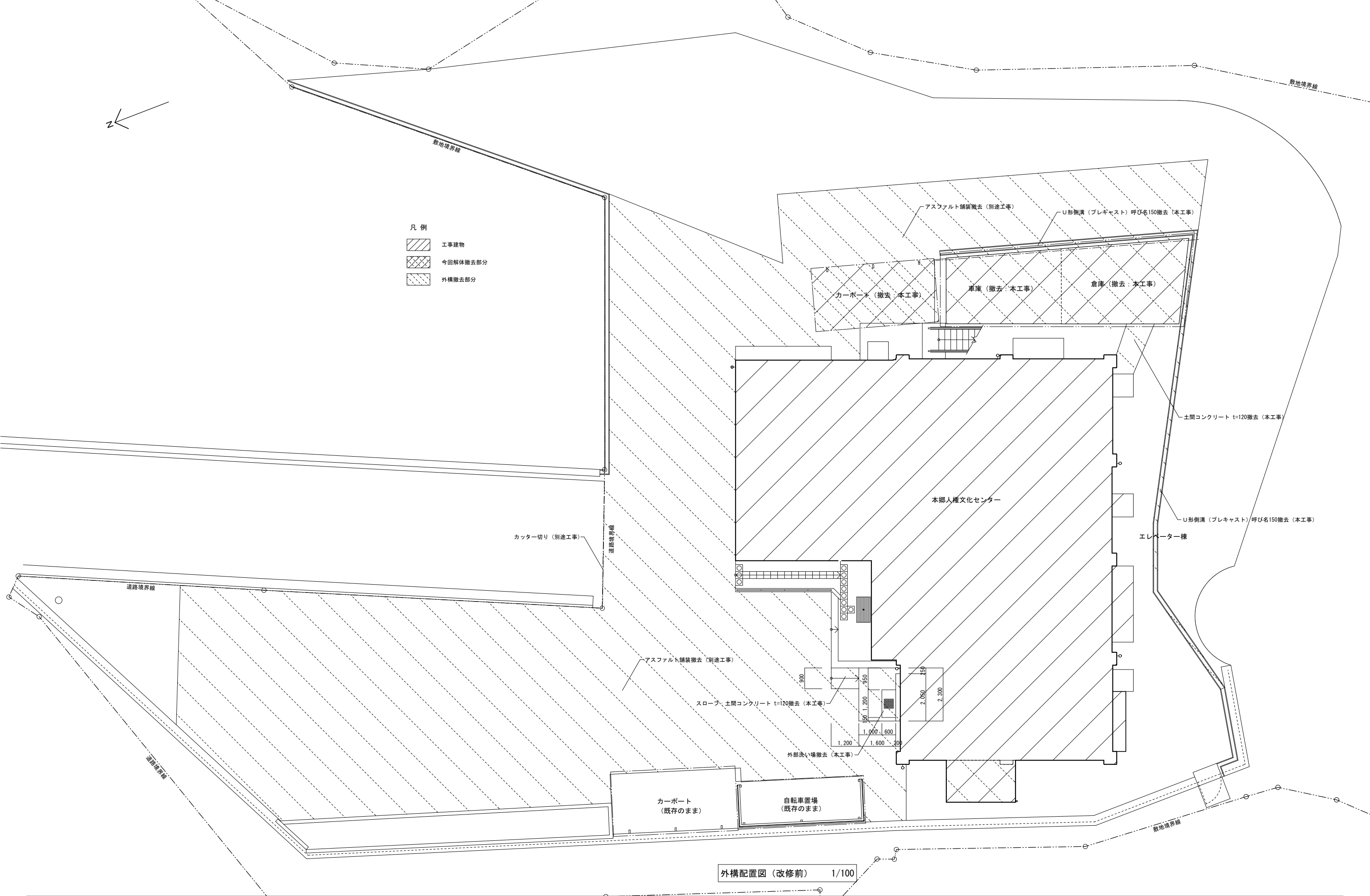
縮

1/100

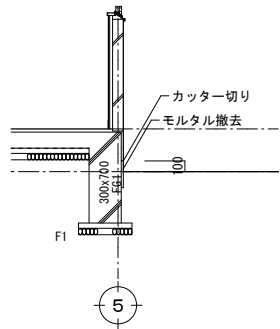
図

縮

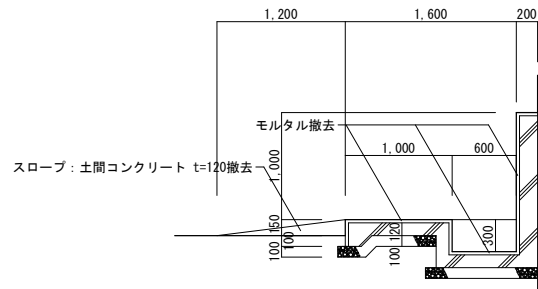
A-65



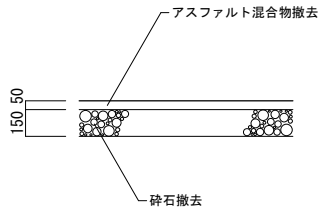
外構配置図（改修前） 1/100



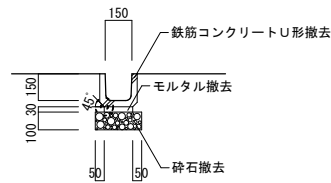
外部洗い流し新設部 撤去 断面詳細図 1/50
(本工事)



外部洗い場撤去断面詳細図 1/50
(本工事)

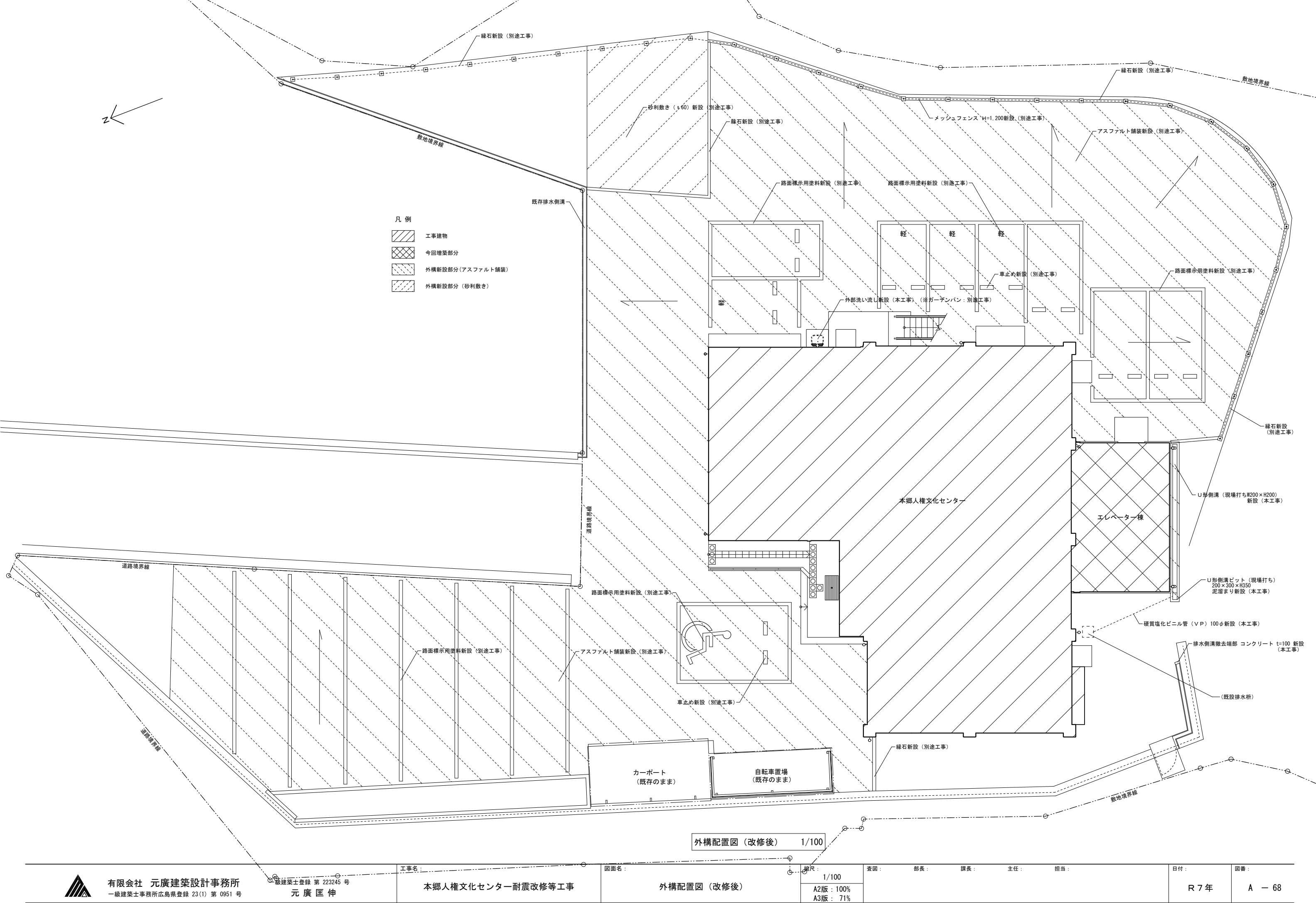


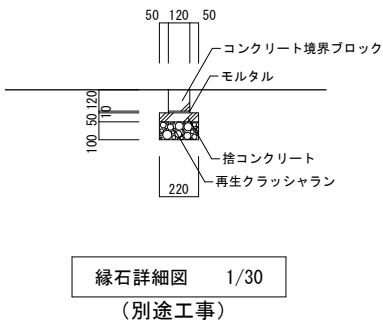
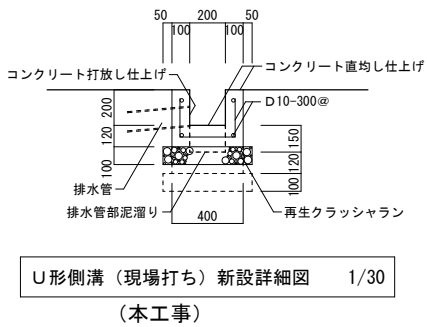
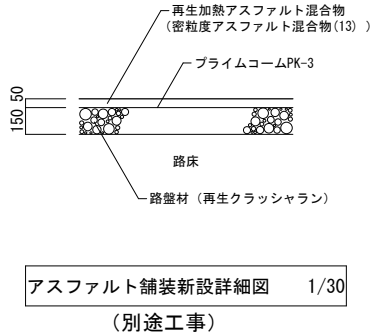
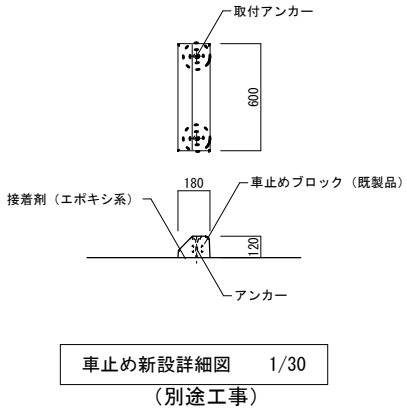
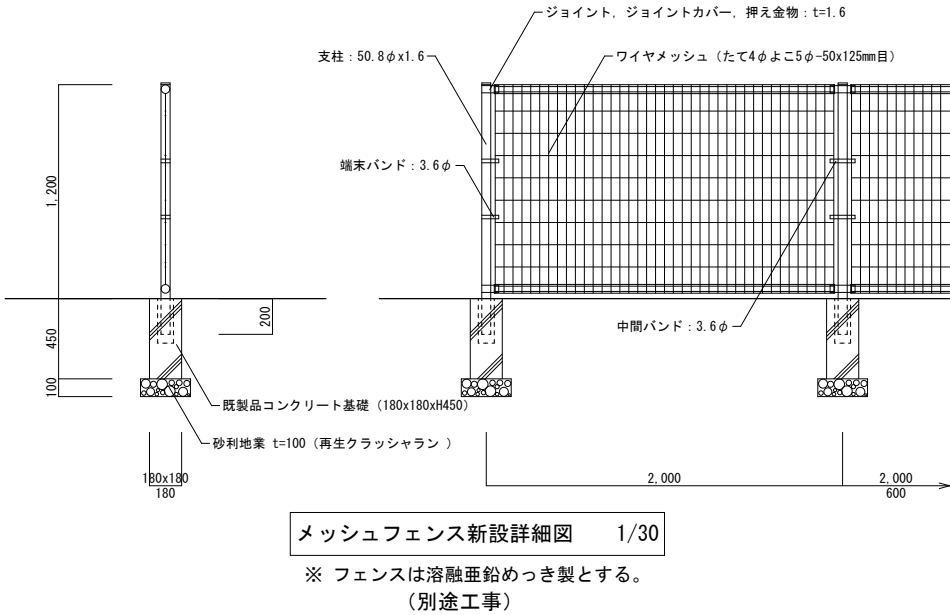
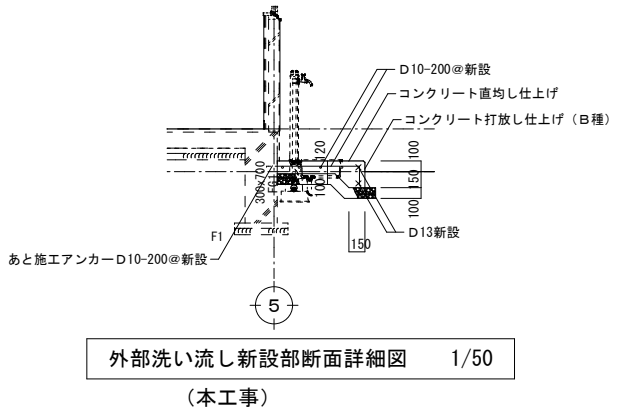
アスファルト舗装撤去詳細図 1/30
(※別途工事)



U形側溝 (プレキャスト) 撤去詳細図 1/30
(本工事)







鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）

１．一般事項

- （１）構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- （２）記号
- 標仕・・・『公共建築工事標準仕様書（H22年版）』
- d・・・異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D・・・直径
- @・・・間隔 r・・・半径 ϕ・・・中心線 ℓ・・・部材間の内法距離 h・・・部材間の内法高さ
- s t・・・あばら筋 HOOP・・・帯筋 S、HOOP・・・補強帯筋 ϕ・・・直径又は丸鋼

２．鉄筋加工、かぶり

（１）鉄筋の折曲げ形状及び寸法

折曲げ角度	図	折曲げ内法直径（D）		
		SD295A、SD295B、SD345		SD390
		D16以下	D19～D38	D19～D38
180°		3d以上	4d以上	5d以上
135°				
90°				
135°及び90°（幅止め筋）				

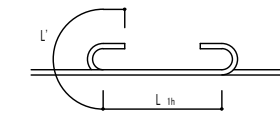
（注）片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フックまたは135°フックを用いる場合には、余長は4d以上とする。

（２）鉄筋の継手

- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする。
- 径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
- 主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、40dと下表の長さの大きい値とする。
- D19以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
- 鉄筋径の差が5mmを超える場合は、圧接としてはならない

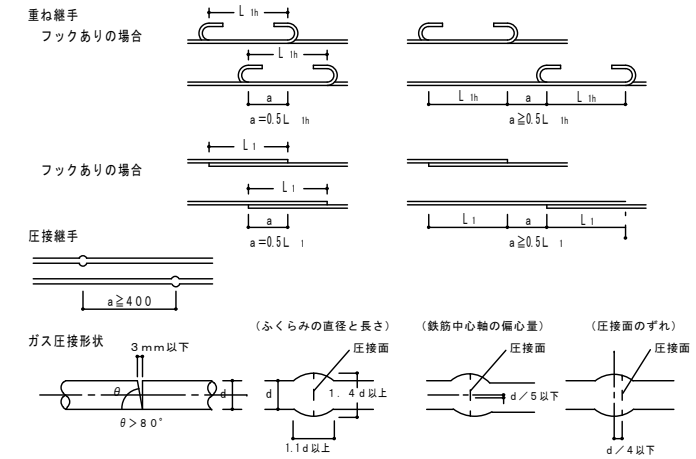
鉄筋の重ね継手の長さ			
鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度F _c (N/mm ²)	L ₁ (フックなし)	L _{1h} (フックあり)
SD295A、SD295B	21	40d	30d
	24, 27	35d	25d
	30, 33, 36	35d	25d
SD345	21	45d	30d
	24, 27	40d	30d
	30, 33, 36	35d	25d
SD390	21	50d	35d
	24, 27	45d	35d
	30, 33, 36	40d	30d

- （注）
- L₁、L_{1h}：重ね継手の長さ及びフックありの重ね継手の長さ
 - フックありの場合のL_{1h}は、フック部分l'を含まない。



- 軽量コンクリートの場合は、+5dとする。

隣り合う継手の位置（下図のいずれかとする）

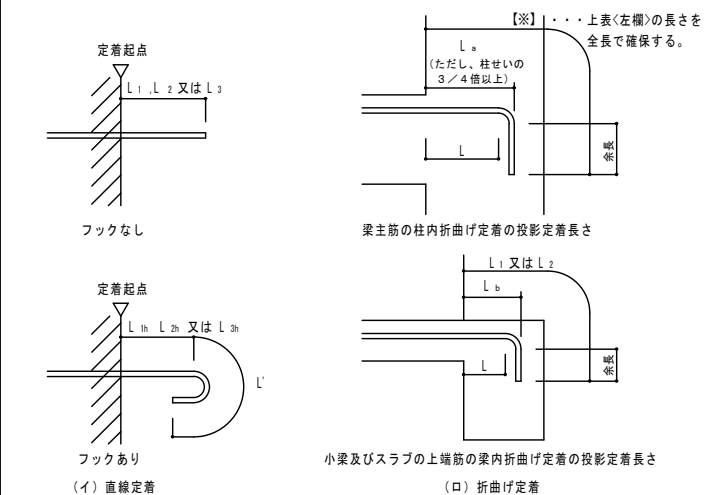


（３）鉄筋の定着

仕口内に縦に折り曲げて定着する鉄筋の定着長さl₁が、下表<左欄>のフックあり定着の長さを確保できない場合は、全長を<右欄>に示す直線定着の長さとし、かつ、余長を8d、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さを<右欄>に示す長さ（かつ、梁主筋の柱内定着においては、原則として、柱せいの3/4倍以上）をのみ込ませる。

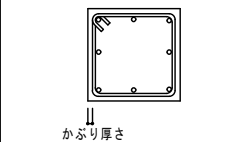
		＜左　欄＞ 鉄筋の定着の長さ								＜右　欄＞ 投影定着長さ	
鉄筋の種類	コンクリートの設計 基準強度F _c (N/mm ²)	フックなし				フックあり				L _a	L _b
		L ₁	L ₂	L ₃		L _{1h}	L _{2h}	L _{3h}			
				小梁	スラブ			小梁	スラブ		
SD295A SD295B	21	40d	35d	20d	10d かつ 150mm 以上	30d	25d	10d	—	15d	15d
	24, 27	35d	30d			25d	20d			15d	15d
	30, 33, 36	35d	30d			25d	20d			15d	15d
SD345	21	45d	35d	20d	10d かつ 150mm 以上	30d	25d	10d	—	20d	20d
	24, 27	40d	35d			25d	20d			15d	15d
	30, 33, 36	35d	30d			25d	20d			15d	15d
SD390	21	50d	40d	20d	10d かつ 150mm 以上	35d	30d	10d	—	20d	20d
	24, 27	45d	40d			35d	30d			20d	20d
	30, 33, 36	40d	35d			30d	25d			20d	15d

- （注）
- L₁、L_{1h}：2. 以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
 - L₂、L_{2h}：割裂破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
 - L₃：小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし、基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く。
 - L_{2h}：小梁の下端筋のフックあり定着の長さ
 - フックあり定着の場合はフック部分l'を含まない。また、中間部での折曲げは行わない。
 - L_a：梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ（基礎梁、片持ち梁及び片持ちスラブを含む。）
 - L_b：小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ（片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。）
 - 軽量コンクリートの場合は、+5dとする。



（４）かぶり厚さ

- ひびわれ誘発目地部など鉄筋の厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。
- 設計かぶり厚さは、最小かぶり厚さ+10とする。
- 柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。（D38以上注意）



（５）鉄筋のあき

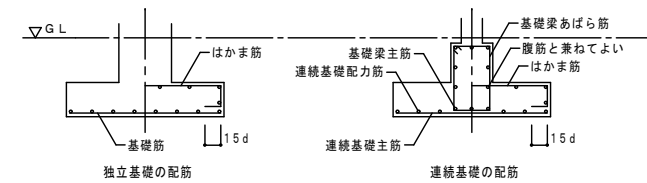
- 粗骨最大寸法の1.25倍
- 25mm
- 隣り合う鉄筋の平均径の1.5倍

（６）鉄筋のフック（a～hに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける）

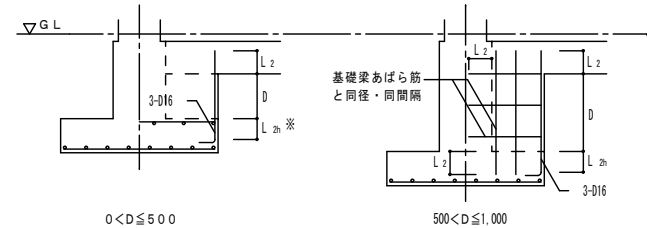
- a. 丸鋼 b. あばら筋、帯筋及び幅止め筋 c. 煙突の鉄筋
- d. 柱、梁（基礎梁は除く）の出すみ部分の鉄筋（右図参照）
- e. 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合
- f. 杭基礎のベース筋
- g. 単純梁の下端筋、先端荷重を受ける片持ち梁、片持ちスラブの先端
- h. その他、本配筋標準に記載する箇所

３．基礎及び基礎梁の配筋

（１）直接基礎の配筋

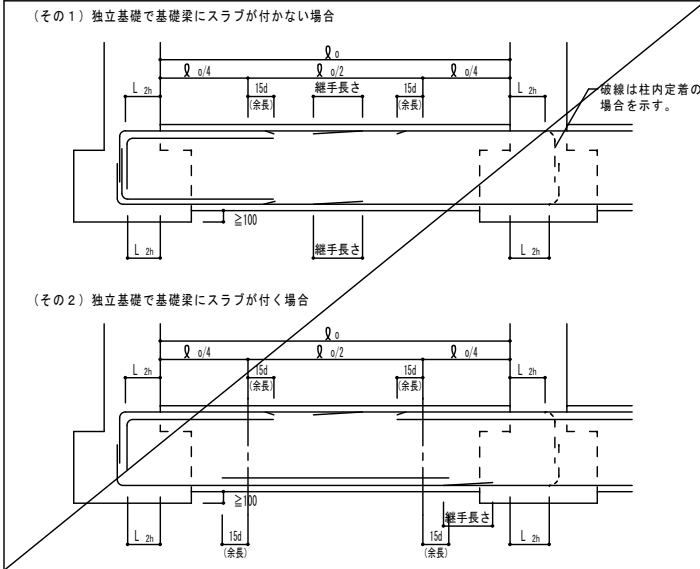


（２）基礎接合部の補強配筋

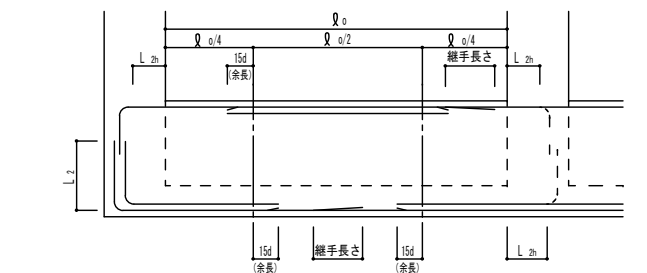


- （注）
- 打増し補強部の幅寸法は地中梁幅に同じとする。
 - L_{2h}が確保できない場合は標仕（5.3.4(d)(3)）によることができる。

（３）基礎梁主筋の継手、定着、及び余長



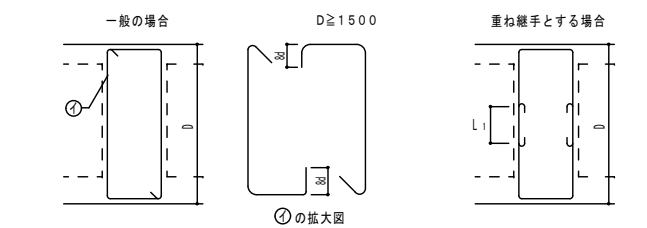
（その３）連続基礎及びべた基礎の場合



- （注）
- 図示のない事項は大量の項による。
 - L_{2h}が確保できない場合は標仕（5.3.4(d)(3)）によることができる。

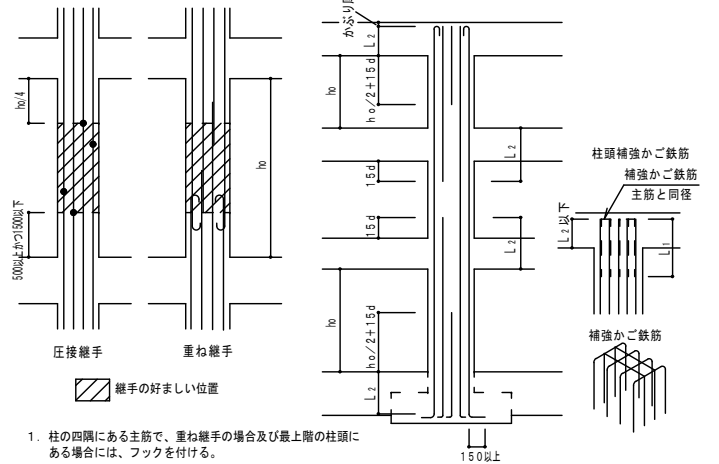
（４）基礎梁のあばら筋

あばら筋の組立及びフックの位置は後記による。ただし、梁の上下にスラブがつく場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は下図によることができる。



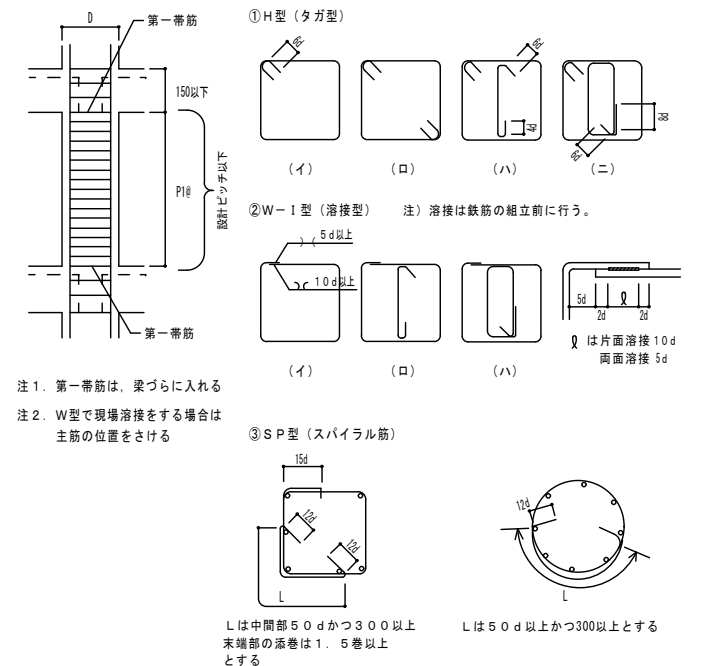
４．柱

（１）柱主筋の継手、定着及び余長



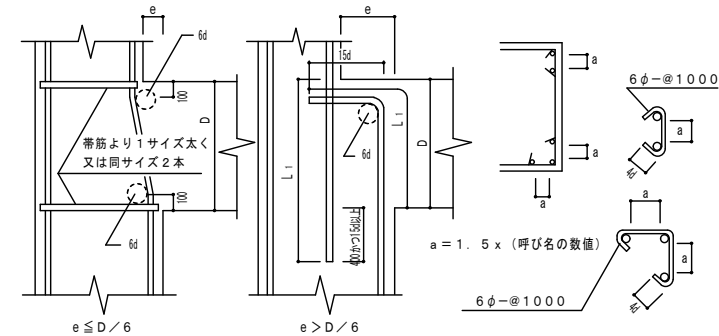
- 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合には、フックを付ける。
- 隣り合う継手の位置は、標仕（表5.3.3）による。

（２）帯筋



- 注1. 第一帯筋は、梁づらに入れる
- 注2. W型で現場溶接をする場合は主筋の位置をさける
- H型を標準とする。
 - フック及び継手の位置は交互とする。
 - 溶接する場合の溶接長さsは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とする。
 - S型において、柱頭及び柱脚の末端部は1.5巻き以上の添巻きを行う。
 - H型の135°曲げのフックが困難な場合は、W-I型とする。

（３）絞り



（４）二段筋の保持



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名：

本郷人権文化センター耐震改修等工事

図面名：

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）

縮尺：

A2版：100%
A3版：71%

査図：

部長：

課長：

主任：

担当：

構造設計者
構造設計一級建築士 交付番号 第 11165 号
藤田 慎之輔

日付：

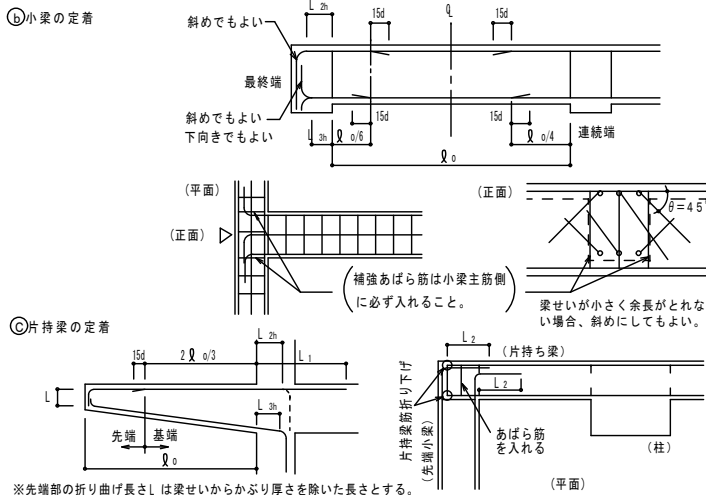
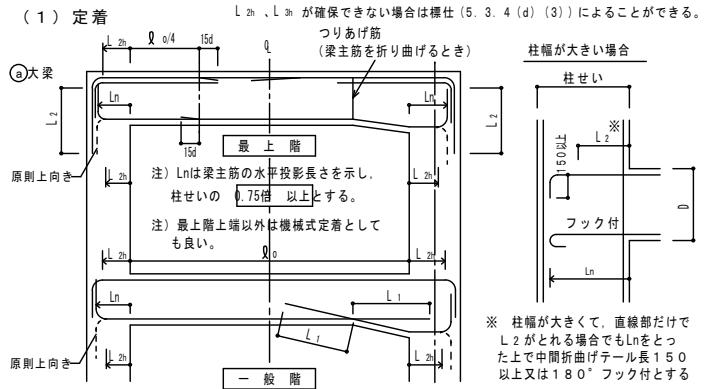
R7年

図番：

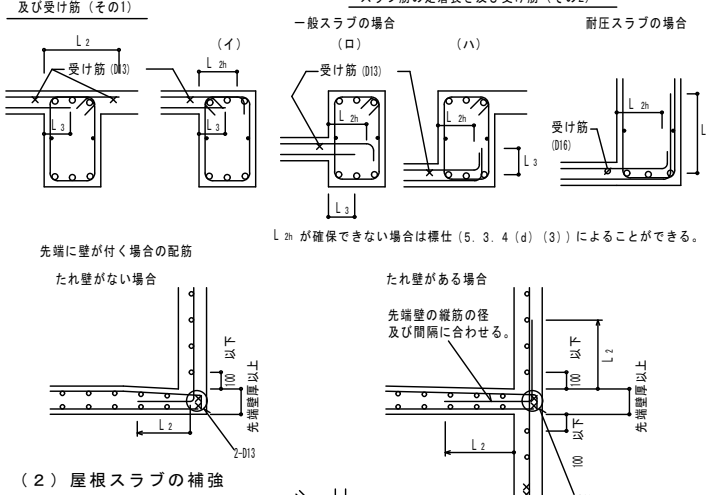
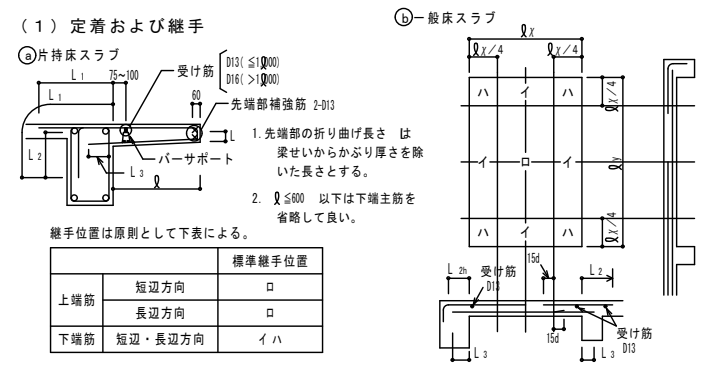
S - 2

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）

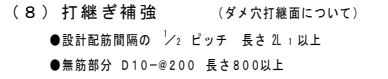
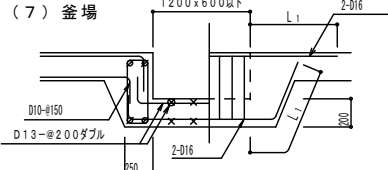
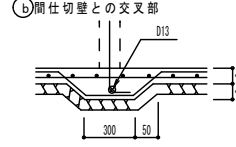
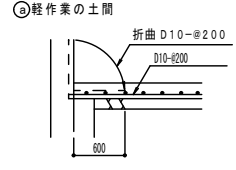
５．大梁、小梁、片持梁



６．床板



(5) 土間コンクリート



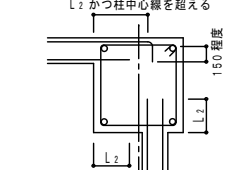
７．壁

(1) 定着

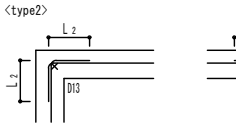
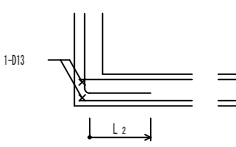
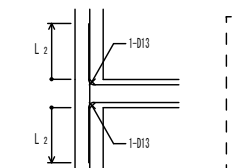
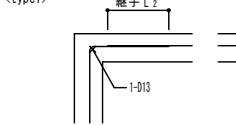
①梁に

- ・横筋の配置位置
- ・原則、柱及び梁内に継手は設けない。

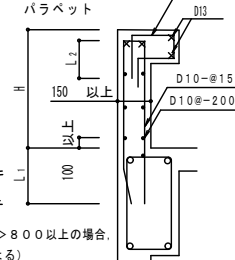
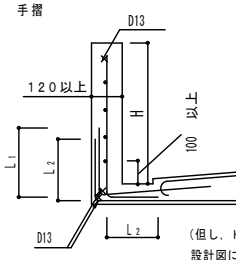
②柱に（平面図）



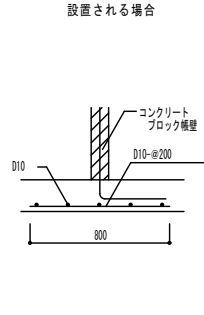
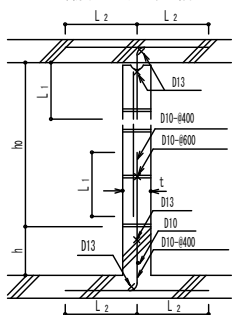
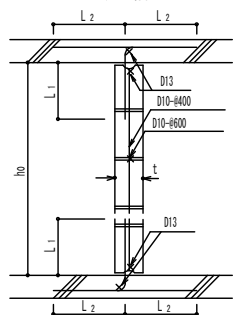
④壁と壁（平面図）



(2) 手摺、パラベット



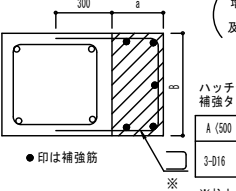
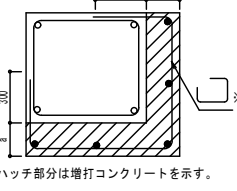
(3) コンクリートブロック帳壁



注) $h \leq 25t$ かつ 3500 以下とする。但し直交方向 $25t$ 以内に壁、又は柱がある場合は除く
注) h はコンクリートブロック段数調節寸法とする。但し、 $200 \leq h \leq 400$
注) 継手部は必ずモルタルをてん充すること

８．柱、梁、打増しコンクリート補強

(1) 柱

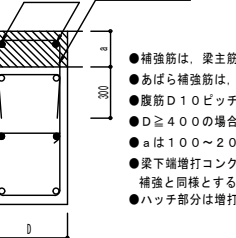
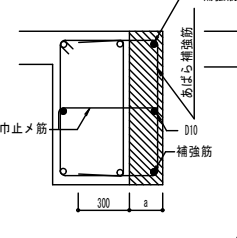


ハッチ部分の面積 $A \text{ cm}^2$ 補強タナ筋

A (300	500 ≤ A < 1000	1000 ≤ A < 1500
3-D16	4-D16	6-D16

※柱と同径、同ピッチとする。

(2) 梁



- 補強筋は、梁主筋の1段階し径（D16以上）とする。
- あばら補強筋は、梁と同径、同ピッチとする。
- 腹筋D10ピッチは、梁の腹筋と合せる。
- D ≥ 400の場合は補強筋を3本とする。
- aは100～200程度。
- 梁下端増打コンクリートの場合も上端増打コンクリート補強と同様とする。
- ハッチ部分は増打コンクリートを示す。

９．梁貫通孔補強

(1) 梁貫通孔補強

- (a) 梁貫通孔の補強は、下記の認定品または同等品とする。

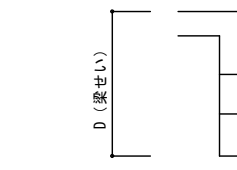
ダイヤレンNS コーリョー建販（株）
MAXウェブレんまたはI・II型ウェブレん
スーパーハリーZ 鋼業本鐵工所

- (b) 必ずメーカー仕様を確認しそれに従うこと。

- (c) 施工着手時にメーカーによる強度計算を行い、使用品番を決定すること。

- (d) 開孔径及び位置

- (1) 開孔の形状は円形とし、開孔径は梁せいの1/3以下かつ、メーカー仕様の範囲内とする。
- (2) 開孔中心間距離は、隣り合う開孔径の平均の3倍以上とする。
- (3) 柱際（及び直交する梁面）から開孔中心までの距離は、柱面（及び直交する梁面）から当該梁の梁せい以上離すこととする。（ただし、地中梁は1000以上とし、その他やむを得ず上記寸法が取れない場合は監理者及びメーカーと協議し、安全性に十分配慮した上で決定の事。）
- (4) ヘリあき（コンクリート面から開孔の外縁までの距離）は原則下記によるが、使用品番ごとのヘリあき寸法や2段階筋のかぶり厚さにも留意すること。



開孔径D	補強筋径d
500 ≤ D < 700	d ≥ 175
700 ≤ D < 900	d ≥ 200
900 ≤ D < 1250	d ≥ 250
1250 ≤ D	d ≥ 0.2D

- (5) 開孔径が梁せいの1/10かつ150未満は補強不要。



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名：

本郷人権文化センター耐震改修等工事

図面名：

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（２）

縮尺：

A2版：100%
A3版：71%

査図：

部長：

課長：

主任：

担当：

構造設計者
構造設計一級建築士 交付番号 第 11165 号
藤田 慎之輔

日付：

R7 年

図番：

S - 3

鉄骨構造標準図（１）

１．一般事項

（１）材料及び検査

- 構造設計仕様による
- 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
但し、ベースプレートの厚さは除く
- 社内検査結果の検査報告書には、溶接検査、鉄骨精度及びその他の結果を添付する

（２）工作一般

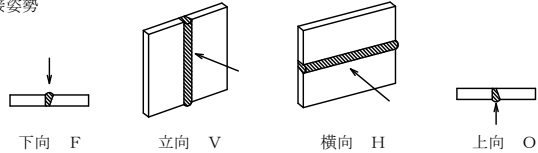
- 鉄骨制作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を作成する
- 鋼管部材の分岐継ぎ手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
- 高張力鋼のひずみきょう正は、冷間きょう正とする

（３）高力ボルト接合

- 本締めを使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない

（４）溶接接合

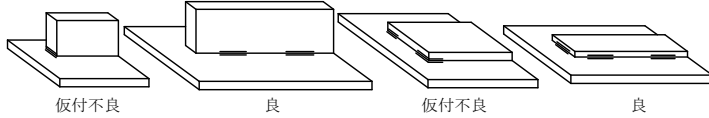
- 平成12年建設省告示第1464号第二号イ、ロによる、溶接部の性能、溶接金属の性能を満足すること。
- 溶接技能者
溶接技能者は施工する溶接に適應するJIS Z3801（手溶接）又はJIS Z3841（半自動溶接）の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
- 溶接機器
（イ）交流アーク溶接機 300A～500A （ニ）炭酸ガスアーク半自動溶接機
（ロ）アークエアーガウジング機（直流） （ホ）溶接電流を測定する電流計
（ハ）サブマージアーク溶接機一式 （ヘ）溶接棒乾燥器
- 溶接方法
アーク手溶接（MC） ガスシールドアーク半自動溶接（GC）
セルフ（ノンガス）シールドアーク半自動溶接（NGC） アークエアーガウジング（AAG）
- 溶接姿勢



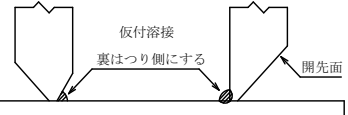
- 組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う

（イ）仮付位置

組立て溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける



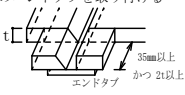
- 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



（ロ）完全溶込み

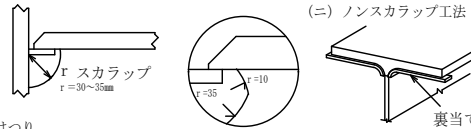
（イ）エンドタブ

- 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
- エンドタブの材質は溶接性に問題のない材質とする
- エンドタブの長さは、35mm以上かつ2 t以上とする
- 固形タブを使用する場合は、工場の実績を確認するとともに、溶接端部の品質確認を十分に行う



（ロ）裏あて金

- 溶接性に問題のない材質とし、厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする
- スカラップ半径は30～35mmと、10mmのダブルアールとする
但し梁成がD=150mm未満の場合のスカラップはr=20mmとする



（ホ）裏はつり

- 完全溶込み溶接における両面溶接は原則として裏はつりを行なう。
裏はつりで健全な溶着部分が見れるまではつり取った後、裏溶接を行なう
- 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部を傷めない様に養生を行う

（５）塗装

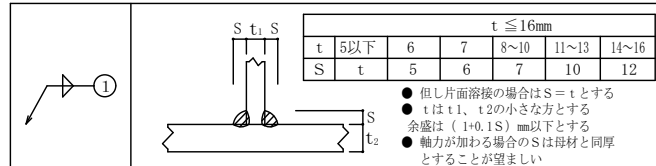
- 高力ボルト接合の摩擦面、コンクリートで被覆される部分およびロックワール吹き付け面は塗装しない。

２．溶接標準図

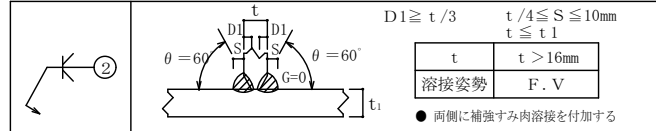
（注）f：余盛 G：ルート間隔 R：フェース S：脚長

（単位mm）

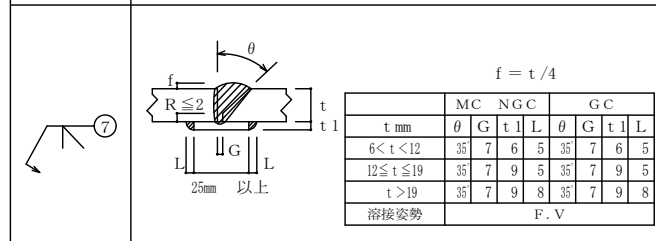
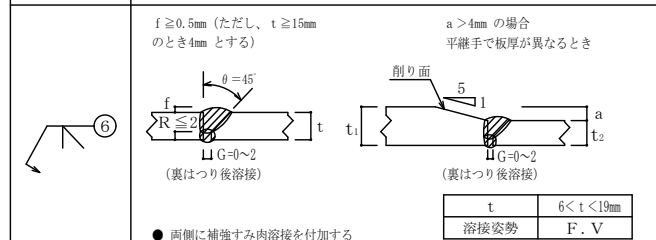
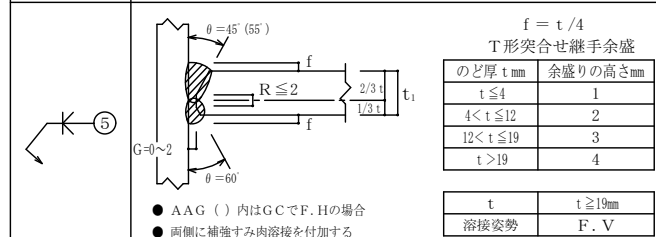
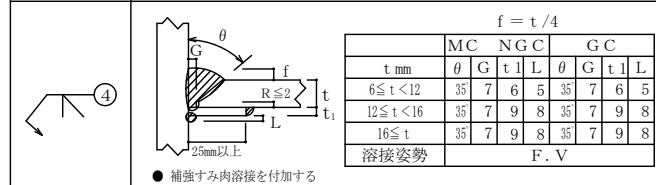
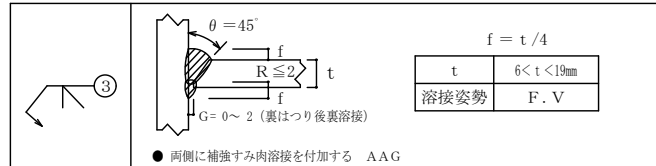
（１）スミ肉溶接



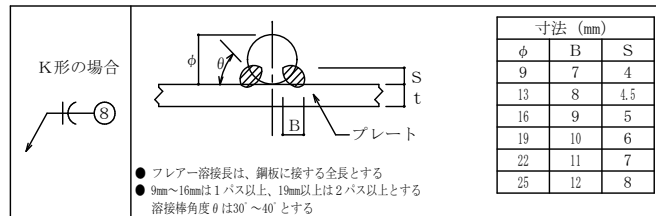
（２）部分溶け込み溶接（使用箇所）に注意）



（３）完全溶込み溶接（平継手 T形継手）

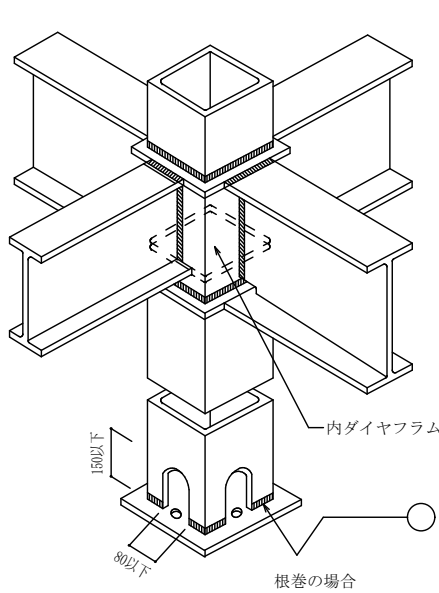


（４）フレアー溶接

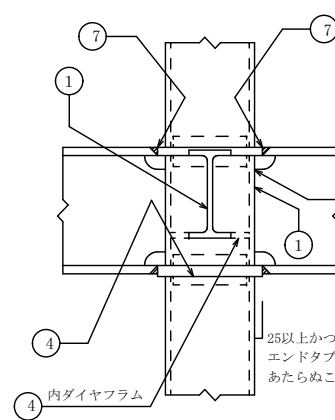


○ 溶接記号番号を ○中に記入のこと

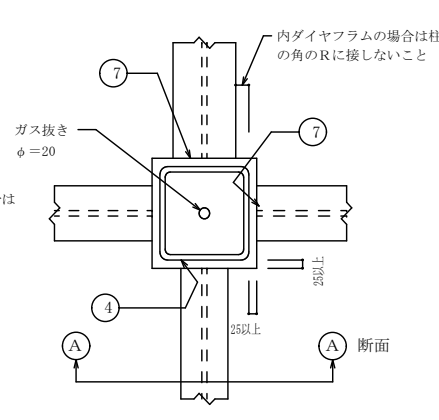
● BOX型（通しダイヤフラムの場合）



（Ａ）－Ａ（断面図）

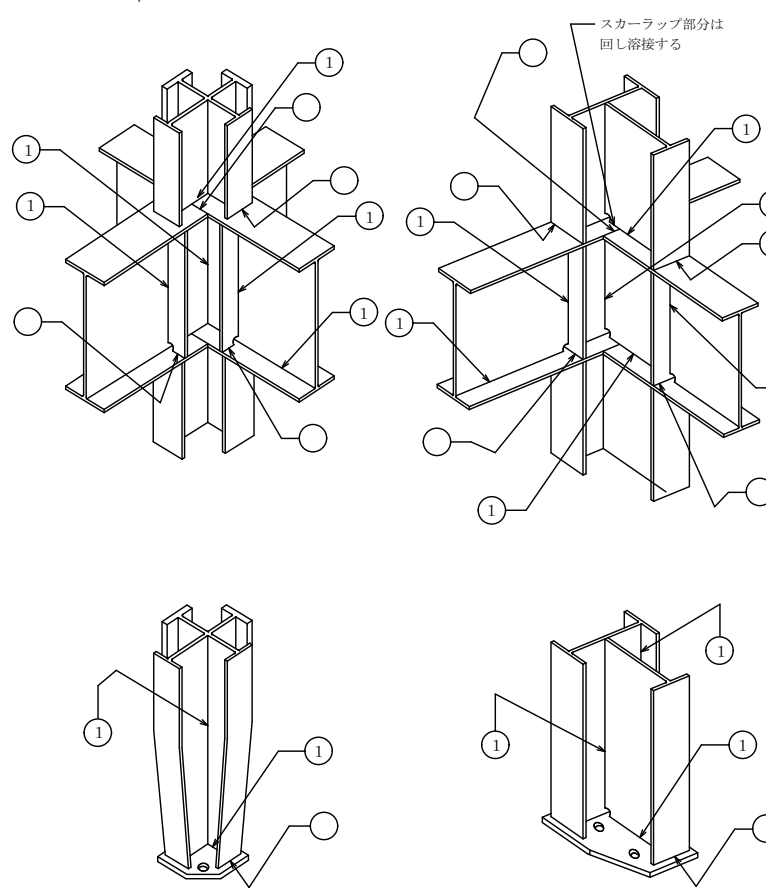


平面詳細

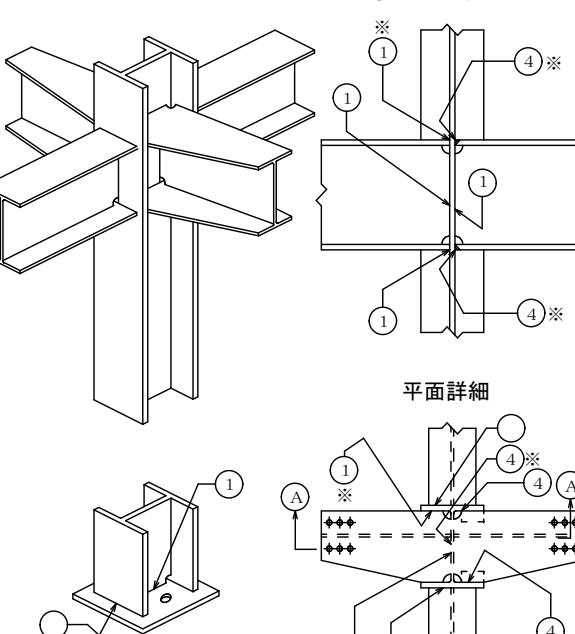


● 柱が途中で折れる場合及び梁成が異なる場合

● H型



● B.H方式



※ 全周すみ肉溶接又は完全溶込み（裏あて金付）



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名：

本郷人権文化センター耐震改修等工事

図面名：

鉄骨構造標準図（１）

縮尺：

A2版：100%
A3版：71%

查図：

部長：

課長：

主任：

担当：

構造設計者
構造設計一級建築士 交付番号 第11165号
藤田 慎之輔

日付：

R 7 年

図番：

S - 4

へーベル 外壁・間仕切壁《縦壁ロッキング構法》
縦壁HDR構法(一般用) 設計施工標準図

I ALCパネル仕様

1 ALCパネル仕様

JIS A 5416 軽量気泡コンクリートパネル (ALCパネル) に適合するもの

2 ALCパネル使用部位およびパネル厚

■ 外壁 平パネル	■ 100厚	□ 間仕切壁	□ 75厚
	□ 125厚		□ 100厚
	□ 150厚		□ 125厚
□ 外壁 意匠パネル	□ 100厚		□ 150厚
	□ 125厚		
	□ 150厚		

※150厚は一部の納まりが異なるため、別途専用の設計施工標準図をご用意いたします。

3 ALC外壁仕様

(1) パネル取付け構法

- 縦壁構法 □ 縦壁ロッキング構法 ■ 縦壁HDR構法 (一般用)
□ その他 ()

(2) 設計風圧力

1 階	~	2 階	正 1202	負 1001	[N/m ²]
階	~	階	正	負	[N/m ²]
階	~	階	正	負	[N/m ²]
階	~	階	正	負	[N/m ²]

※意匠図による

(3) パネル特殊仕様

- 特記: □ 意匠パネル ()
□ デザインパネル (表面に凹凸デザイン模様) ()
(特記: □ ジーファスパネル(岩肌調デザイン模様) ()
□ NCフリーデザイン(赤や緑の)のパターン加工 ()
□ Canvasパネル (表面にブラスト模様) ()
□ スタンダード 番号 ()
□ オリジナル()
□ アートミュール (工場下地処理+現場塗装) ()
□ デュアルウォール (金属仕上げパネル専用工法) ()
□ 下地処理済みパネル ()
□ SPパネル (表面にフィラー下地処理済み) ()
□ その他 ()
□ SIパネル (吸水性を抑えたパネル) ()
□ その他 ()

4 ALC間仕切壁仕様

(1) パネル取付け構法

- 縦壁構法 □ 縦壁ロッキング構法 □ 縦壁HDR構法 (一般用)
□ その他 ()

(2) パネル特殊仕様

(特記:)

※意匠図による

II 関連資材仕様

1 シーリング材 (ALCパネル間)

※モジュラスの低いもの (経年時の50%引張応力の値が0.3N/mm²以下) を選定 (JIS A 5758 に基づく耐久性区分)

(1) 種類

- ポリウレタン系 □ 耐久性区分 8020
□ 変成シリコン系 □ 耐久性区分 8020
□ 耐久性区分 9030
□ その他 () □ 耐久性区分 ()

(2) その他特記事項 (品名:)

2 耐火目地材

ロックウール保温板 (JIS A 9504) または
高温断熱ウールAESブランケット (JIS R 3311) 品質同等

3 防錆塗料 (ALC下地鋼材、開口部補強鋼材塗装用)

特記による ()

※意匠図による

III 内外装仕様

1 外装仕上げ

□ 仕上塗材仕上げ特記: ()

- 複層仕上塗材 (JIS A 6909) ()
□ 複層塗材E (アクリルタイル) ()
□ 複層塗材CE (セメント系吹付タイル) ()
□ 複層塗材Si (シリカタイル) ()
□ その他 ()

□ 薄付け仕上塗材 (JIS A 6909) ()

□ その他 ()

□ 厚付け仕上塗材 (JIS A 6909) ()

□ その他 ()

□ 張り仕上げ ()

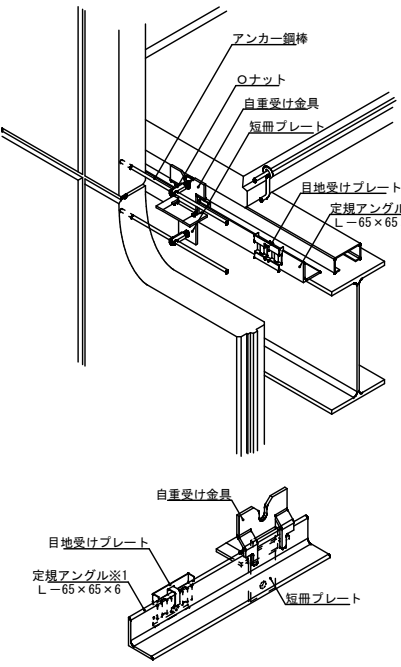
□ その他 ()

2 内装仕上げ

□ 仕上塗材仕上げ (特記:)

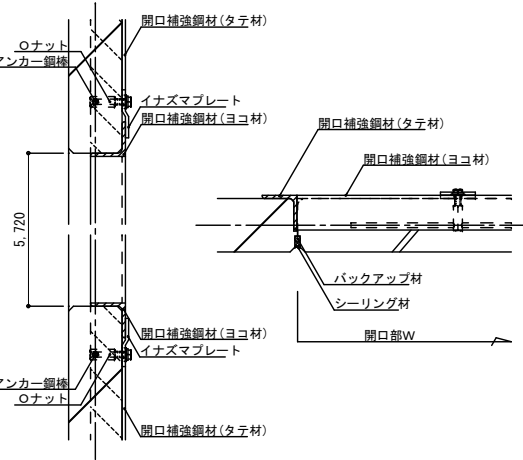
- ペイント塗り (特記:)
□ ボード仕上げ □ 変形追従型工法 (特記:)
□ その他 (特記:)

1. 構法概要 (縦壁HDR構法 (一般用))

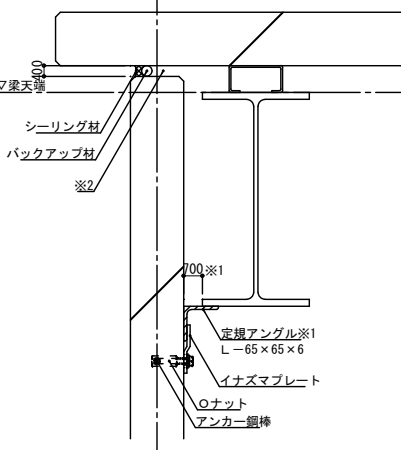


3. 開口部

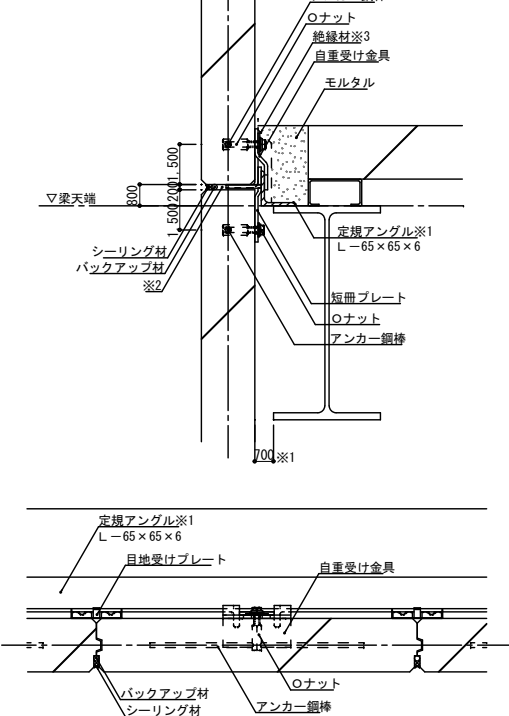
(1) Oナットを使用する場合



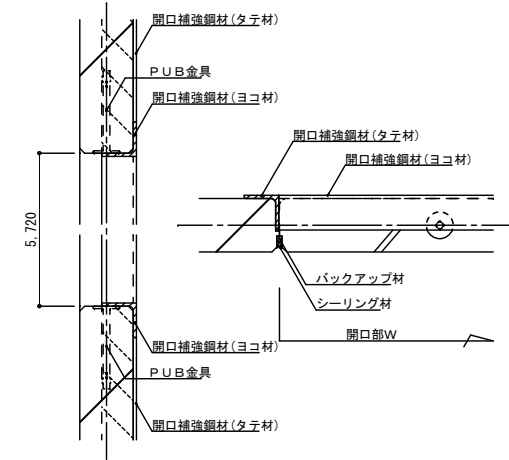
4. 軒先部



2. 一般部

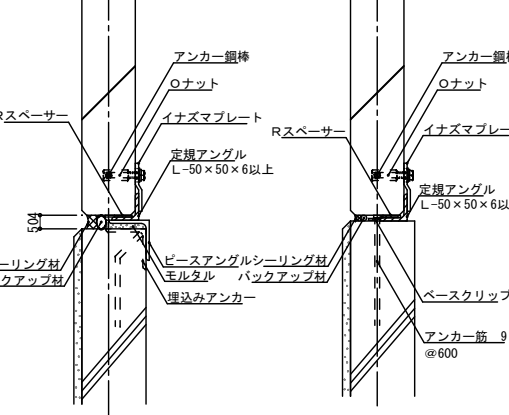


(2) PUB金具を使用する場合

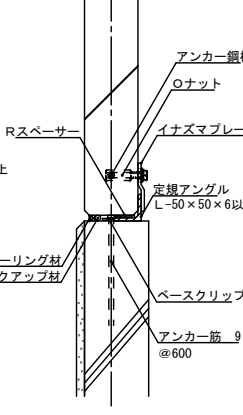


5. 布基礎部

(1) 埋込みアンカー仕様

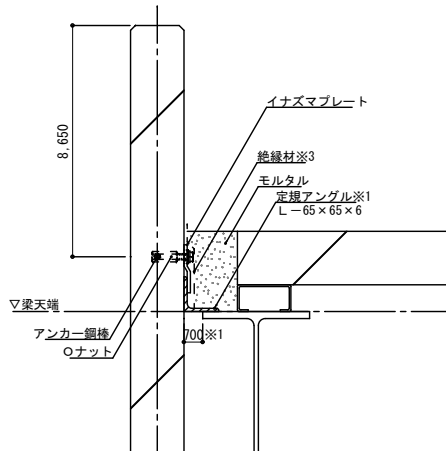


(2) ベースクリップ仕様

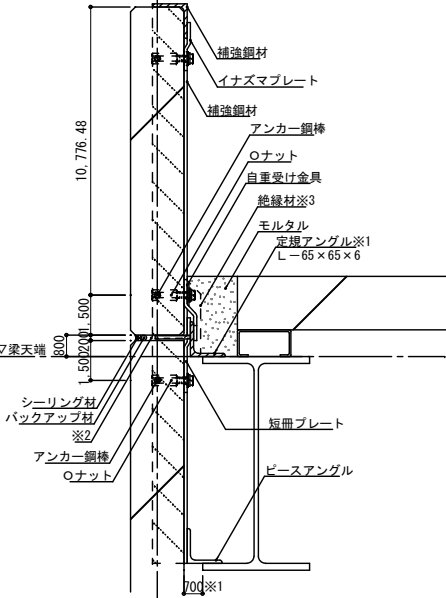


6. パラペット部

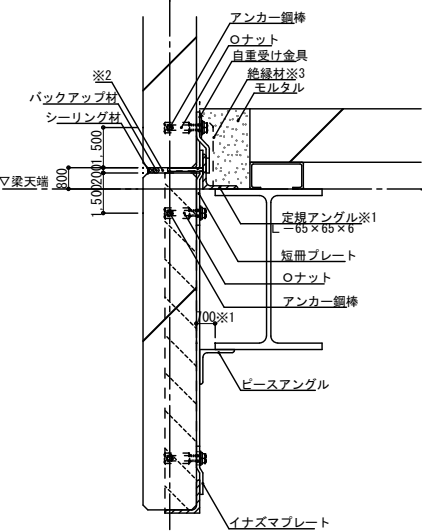
(1) はね出し寸法6D以下 D: パネル有効厚



(2) はね出し寸法6D超



7. 下がり壁部



※1 平パネル厚さ150mmの場合、自重受け金具を取り付ける定規アングルなどはL-75×75×6を使用する。またパネルと躯体とのクリアランスは45~50mmとする。
※2 耐火目地材: 横目地、出隅、入隅部、伸縮目地や軒まわりなどの目地で、耐火構造・断熱など必要な場合は、指定された耐火目地材を充てんする。
※3 絶縁材: 床取合い部では、モルタルがパネルのロッキングを拘束しないように、パネルとモルタルの間に全長にわたって絶縁材を設ける。



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名:

本郷人権文化センター耐震改修等工事

図面名:

HRC構法 設計施工標準図

縮尺:

A2版: 100%
A3版: 71%

査図:

部長:

課長:

主任:

担当:

構造設計者
構造設計一級建築士 交付番号 第 11165 号
藤田 慎之輔

日付:

R 7 年

図番:

S - 8

ボーリング位置図

KBM位置 (1FL大館)
(H=27.000m)

No. 1
KBM-0.26m
(TP=27.80m)
Dep=5.00m

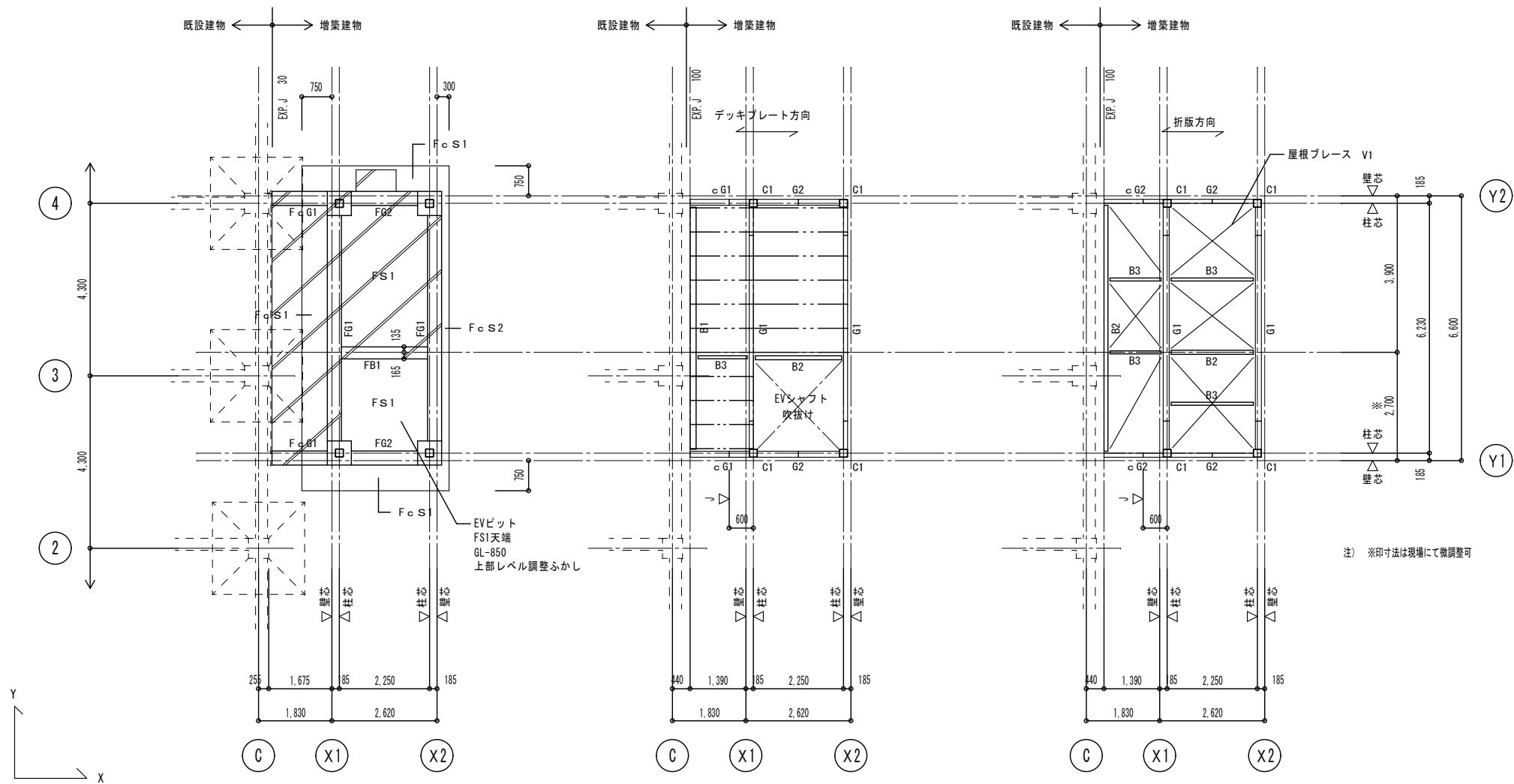
KBM	= 1FL 天端 (設計 GL ± 500)
-----	-----------------------------

[illegible]

シート No

ボーリング名	No. 1		調査位置		広島県三原市本郷北三丁目 地内							北 緯		34° 24' 41.44"						
発注機関	広島県三原市					調査期間		2024年 9月 26日 ~ 2024年 9月 26日					東 経		132° 59' 11.59"					
調査業者名	有限会社 元富建築設計事務所 電話 (0848-23-5306)					主任技師		大 廣 隆					ボーリング責任者		小 田 英 希					
孔口標高	KBM -0.26m		角			方			地盤勾配			使用機種	試錐機		東邦地下制 D1-C		ハンマー 落下用具		半自動シンケン	
総掘進長	6.00m		度			西 180° 南 90° 東			鉛直 0° 水平 0°			エンジン	ヤンマー製 KFD-12型		ポンプ		東邦地下制 BG3			

[illegible]



基礎伏図 1/100

1階柱2階梁床伏図 1/100

2階柱R階梁床伏図 1/100

特記なき限り下記による

- 基礎下端レベル GL-1200
- 地中梁・地中小梁天端レベル GL+125
-  土間CON ①150 砂利①100 を示す。
D10-②200 シングルクロス
土間CON下は十分転圧のこと。
土間CONレベルは仕上げにより調整の事。
- 既設建物ライン

特記なき限り下記による

- 梁天端レベルは FL-130
- 鉄骨継手は柱芯より 800 とする。
- スラブ天端レベル
2階床はDS1とする。
 FL±0

特記なき限り下記による

- 梁天端レベルは FL+120~+70~±0
折版を受けるB2は大梁天+50とする。
- 鉄骨継手は柱芯より 800 とする。

X Y 方向主筋の上下関係 (同面の場合)

《FG-FG》
上筋 - Y方向主筋を上側とする
下筋 - X方向主筋を下側とする



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名：

本郷人権文化センター耐震改修等工事

図面名：

伏図

縮尺：
1/100
A2版：100%
A3版：71%

査図：

部長：

課長：

主任：

担当：
構造設計者
構造設計一級建築士 交付番号 第11165号
藤田 慎之輔

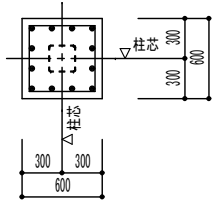
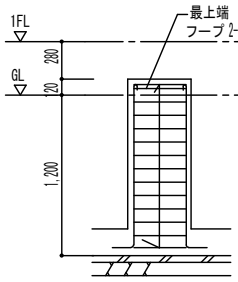
日付：

R 7 年

図番：

S - 1 0

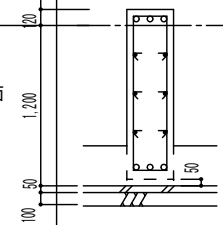
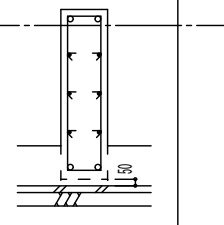
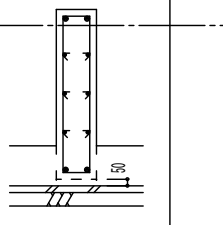
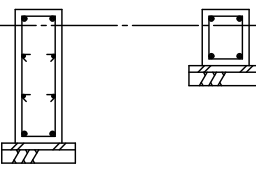
柱脚リスト 1/40

符 号	C1		一般柱脚	
断 面				
寸 法	600 x 600			
主 筋	12 -D 19			
帯 筋	□ - D 13 @ 100			
備 考				

基礎スラブリスト

記 号	スラブ厚	位 置	主 筋 (短 辺 方 向)		配 力 筋 (長 辺 方 向)		備 考
			端 部	中 央 部	端 部	中 央 部	
FS1	300	上	D16 - @200	└─┐	D13 - @200	└─┐	ベタ基礎
		下	D16 - @200	└─┐	D13 - @200	└─┐	
FcS1・2	300	上	D13 - @200	└─┐	D13 - @200	└─┐	ベタ基礎はね出し
		下	D16 - @200	└─┐	D13 - @200	└─┐	

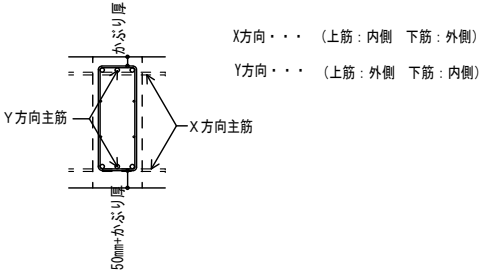
地中梁リスト 1/40 巾止め筋 D10-@1000

符 号	FG1	FG2		FB1		FcG1	
位 置	全断面	全断面		全断面		基 端	先 端
1FL GL 断 面							
寸 法	350 x 1 270	350 x 1 270		300 x 1 270		350 x 1 270 ~ 420	
上 端 筋	3 -D 22	2 -D 22		2 -D 19		2 -D 19	2 -D 19
下 端 筋	3 -D 22	2 -D 22		2 -D 19		2 -D 19	2 -D 19
あばら筋	□ - D 13 @ 200	□ - D 13 @ 200		□ - D 13 @ 200		□ - D 13 @ 200	
腹 筋	6 -D 10	6 -D 10		6 -D 10		4 -D 10	—
備 考							

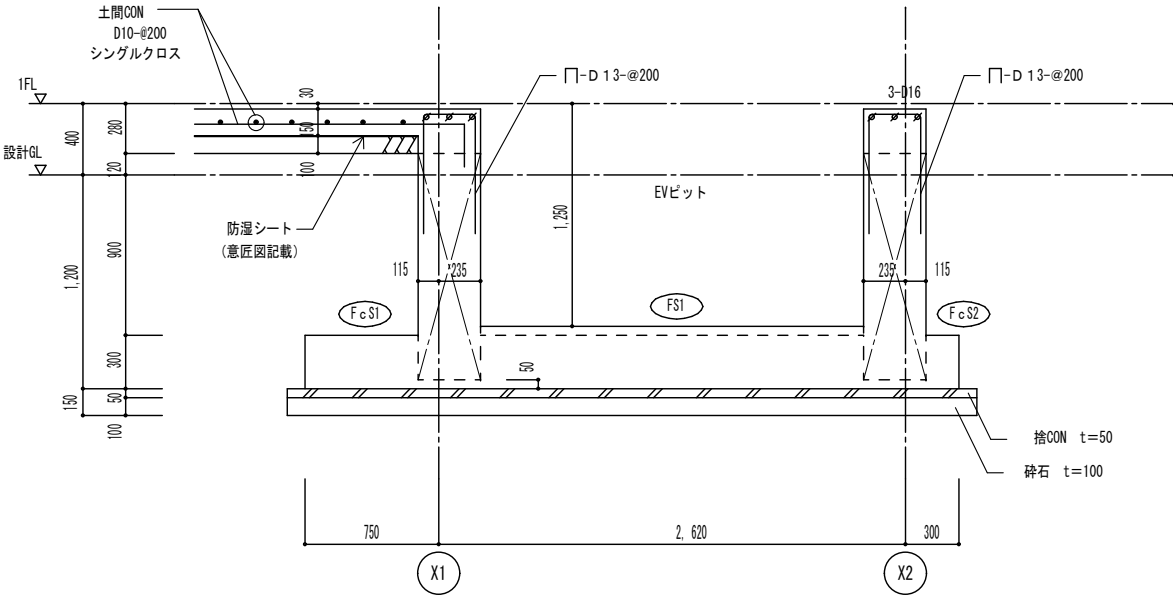
X・Y方向の梁天端・梁下端が共に同じ場合

梁の主筋優先方向（上・下位置）は原則として下記による

（地中梁に適用）



EVピット配筋図 1/30



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名： 本郷人権文化センター耐震改修等工事

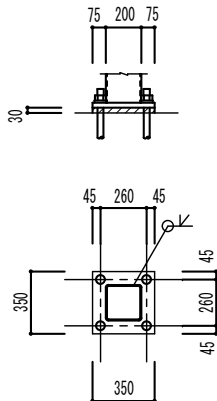
図面名： 柱脚リスト・地中梁リスト
基礎スラブリスト・EVピット配筋図

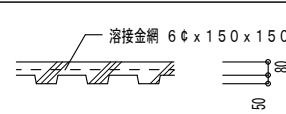
縮尺： 1/40・1/30
A2版：100%
A3版：71%

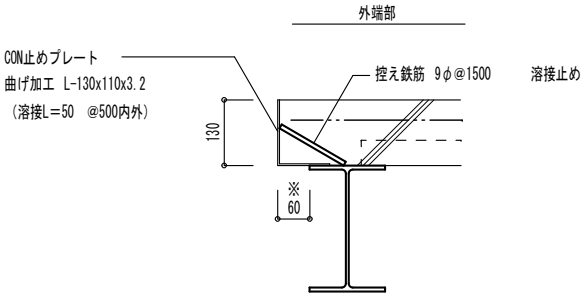
査図： 部長： 課長： 主任： 担当：
構造設計者
構造設計一級建築士 交付番号 第11165号
藤田 慎之輔

日付： R 7 年
図番： S - 1 2

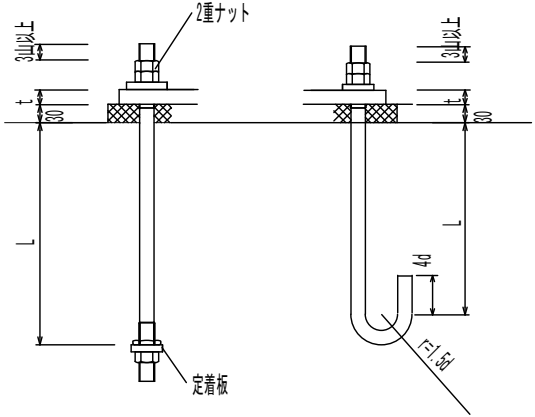
鉄 骨 リ ス ト				特記なき限り	鉄骨材質	SS400	H・T・B	S10T	▽は鉄骨継手リスト番号を示す。
記号		部材	鉄骨継手			備 考			
RG1		H - 300 × 150 × 6.5 × 9	フランジ	突合せ溶接	J.N 2				
RG2		H - 200 × 100 × 5.5 × 8	フランジ	突合せ溶接	J.N 3				
2G1		H - 350 × 175 × 7 × 11	フランジ	突合せ溶接	J.N 1				
2G2		H - 298 × 149 × 5.5 × 8	フランジ	突合せ溶接	J.N 2	X1・X2端部ハンチ付			
			ウェブ	すみ肉溶接					
cG1		H - 298 × 149 × 5.5 × 8	フランジ	突合せ溶接	J.N 2	端部ハンチ付			
cG2		H - 200 × 100 × 5.5 × 8	フランジ	突合せ溶接	J.N 3				
			ウェブ	すみ肉溶接					
B1		H - 298 × 149 × 5.5 × 8	GP-L9 3-M 20						
B2		H - 200 × 100 × 5.5 × 8	GP-L6 2-M 20						
B3		H - 150 × 75 × 5 × 7	GP-L6 2-M 20						
V1	M16	ターンバックル付	GP-L 9 羽子板 R- 6×56×160	1-M16 フレアー溶接	L=55	R附屋根ブレース			
折版受け		C - 100 × 50 × 20 × 2.3	溶 接 止 め						

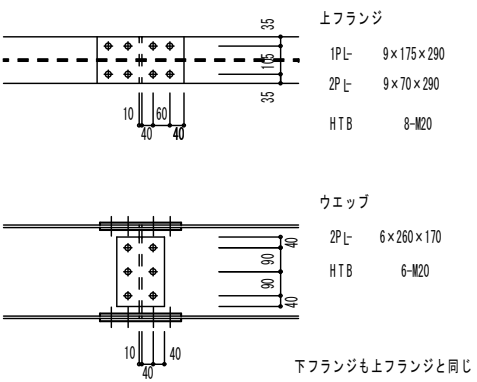
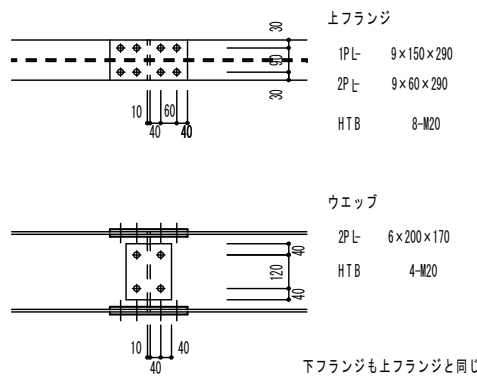
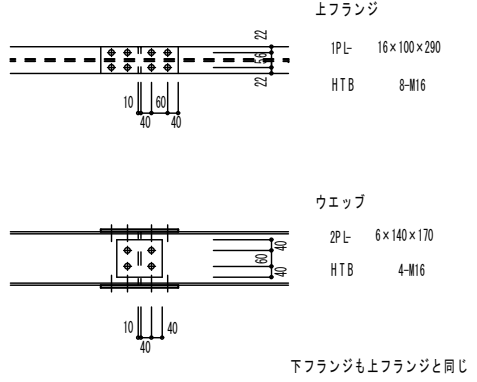
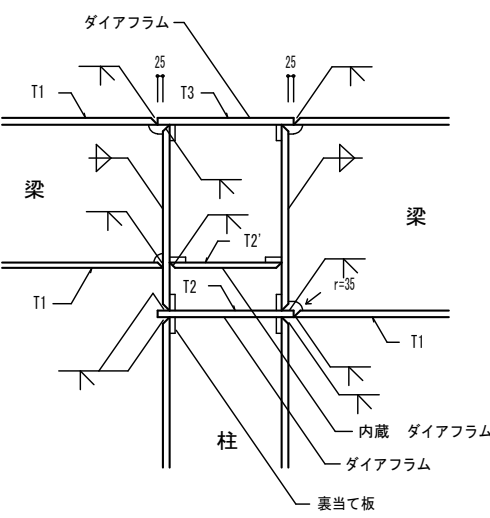
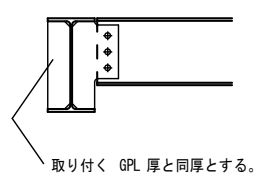
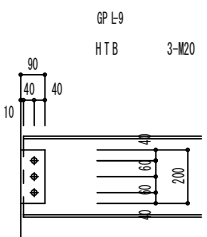
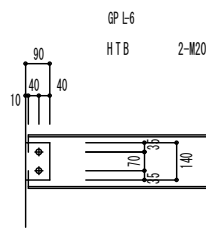
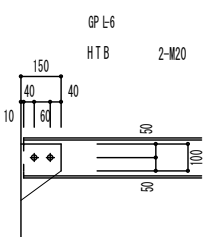
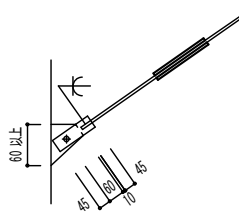
柱 リ ス ト		特記なき限り 鉄骨材質 SS400	ダイヤフラムは SN490C とする。	1/30
記 号		C1		
断面				
階	2F	□ - 200×200×6 (BCR295)		
	1F	□ - 200×200×9 (BCR295)		
柱脚	A Bolt	4-M24 (SNR400B) Wナット L=500		
	B. P. L	350×350×25 (SN490B)		
	定着板	定着板：P L-16×75×75		
備考				
λ	λmax	X 58.3 Y 57.6		

スラブリスト			
記号	部材	断面	備考
DS1 合成床 2階床	スーパーデッキ EZ50 t=1.0 大梁継手部はデッキ受 R- 65×9 取付け		焼き抜き栓溶接 @300 内外

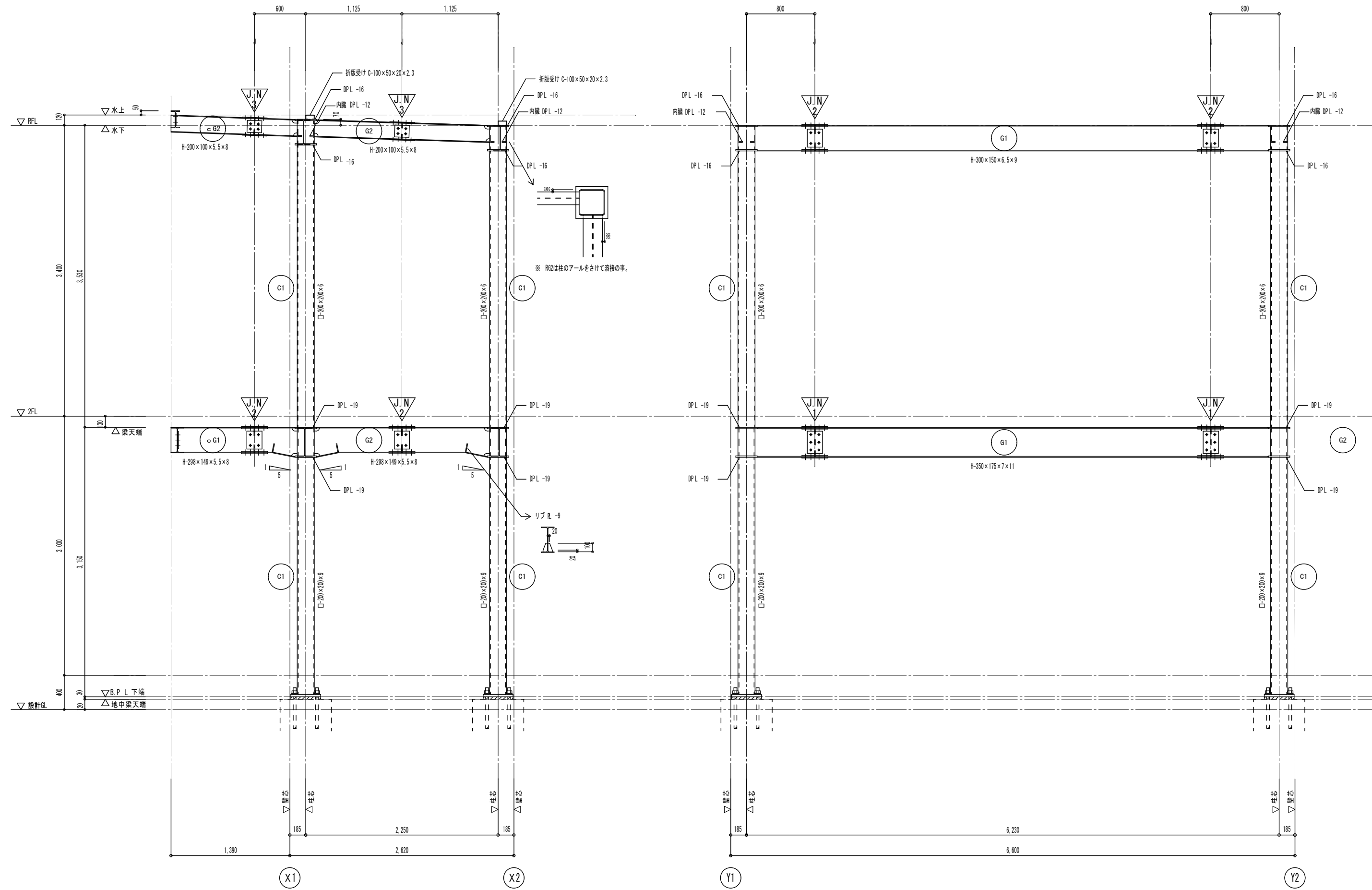


アンカーボルトのLは下記による



梁鉄骨継手 リスト 1/20		継手の材質は梁（中央部）の材質に準じること。					
J.N 1 H-350×175×7×11 		J.N 2 H-300×150×6.5×9 H-298×149×5.5×8 		J.N 3 H-200×100×5.5×8 		柱梁仕口取合図 （口型柱）  ※ ダイヤフラムは取付く梁フランジ厚以上のプレートを使用する。 T 2＝T 1 より 1 サイズUP 以上 T 3＝T 1 より 2 サイズUP 以上 T 2'＝T 1 と同サイズ以上	
H-298	H-200	H-150		M16 ブレース		リブプレート要領図 	
GPL-9 HTB 3-M20 	GPL-6 HTB 2-M20 	GPL-6 HTB 2-M20 		GPL-9 HTB 1-M16 L P -6×56×160 （切板） 又は FB -6×50×160 （平鋼）  ※既製品フルブレース使用可			





Y1・2通り鉄骨詳細図 1/30

X2通り鉄骨詳細図 1/30



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名 :
本郷人権文化センター耐震改修等工事

図面名 :
鉄骨詳細図

縮尺 :
1/30
A2版 : 100%
A3版 : 71%

査図 : 部長 : 課長 : 主任 : 担当 :
構造設計者
構造設計一級建築士 交付番号 第 111165 号
藤田 慎之輔

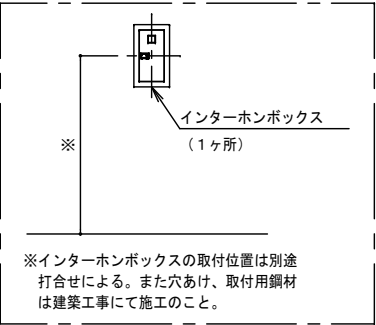
日付 :
R 7 年

図番 :
S - 15

分類	仕様項目	01号機
基本仕様	機種名称	機械室レスエレベーター
	用途	乗用（車いす用）
	制御方式	可変電圧可変周波数制御（回生なし）
	操作方式	乗合全自動方式（1C-2BC）
	積載量	750kg
	定員	11名
	定格速度	45m/min
	戸閉方式	2枚戸両引き（CO）
	出入口幅	800mm
	出入口高さ	2100mm
	かご室内法開口	1400mm
	かご室内法奥行	1350mm
	かご室内法高さ	2300mm
	出入口方式	一方向出入口
	正面側停止数	2停止（1-2階）
	動力用電源	AC3φ-210V-60Hz
その他仕様	照明用電源	AC1φ-100V-60Hz
	耐震設計施工指針耐震クラス	クラスA14
	公共建築工事標準仕様 適用年版	令和4年版
	敷居間隔	10mm
基本仕様	車いす仕様	制御機能付
	視覚障がい者対応仕様	あり
	地震時管制運転方式	P波+S波センサ付3段設定（普通級）
	停電時自動着床装置	あり
乗場仕様	乗場三方枠	大枠未広幕板なし 130mm～350mm 銅板塗装（メーカー標準色）（1-2階）
	乗場戸	銅板塗装（メーカー標準色）（1-2階）
	乗場敷居	アルミ製（1-2階）
	乗場インジケーター	メーカー標準仕様：樹脂フレーム付ステンレス（1-2階）
	乗場インジケーター一体形ボタン	メーカー標準仕様：抗ウイルス・抗菌コート（1-2階）
	乗場インジ運行表示灯1	休止表示
かご室仕様	車いす専用乗場ボタンプレート	一般用乗場ボタン連結取付：樹脂フレーム付ステンレス（1-2階）
	車いす専用乗場ボタン	メーカー標準仕様：抗ウイルス・抗菌コート（1-2階）
	乗場休止スイッチ	あり
	乗場休止スイッチ取付位置	乗場インジ組込
	天井	メーカー標準仕様（フラット：白色） 天井面材：銅板塗装（メーカー標準色）
	正面壁	化粧銅板
	側面壁	化粧銅板
	袖壁	ステンレスヘアライン
	出入口上板	化粧銅板
	かご室戸	化粧銅板
	巾木	アルミ製
	かご床	樹脂タイル：2mm
	かご室敷居	アルミ製 2枚戸両引き用
	かご操作盤タイプ	袖壁操作盤
	かご操作盤プレート	ステンレスヘアライン
	かごボタン	メーカー標準仕様：抗ウイルス・抗菌コート
	インターホンボタン乱用防止カバー	あり
	正操作盤インジケータータイプ	かご内液晶インジケーター（10.1インチ）
	かご操作盤液晶インジケーター表示言語	平常時（日英）、注意喚起（日英／中韓切替）、緊急時（日英中韓）
その他仕様	車いす専用かご操作盤	両側面 ステンレスヘアライン
	車いす専用正かご操作盤インジケータータイプ	メーカー標準仕様（橙色）
	車いす専用かごボタン	メーカー標準仕様：抗ウイルス・抗菌コート
	車いす専用インターホンボタン乱用防止カバー	あり
	かご室換気	脱臭機能付きウイルス抑制装置＋ファン
	かご室手すり	丸形（φ32）ステンレスヘアライン：三面取付（正面＋両側面） （端部ストレート プラケット：φ28）
	かご室鏡	ステンレス鏡面フルハイト（巾500）
	キックプレート	ステンレスヘアライン（ビスなし）高さ：床面より350mm
	壁保護幕	織石式（保護幕高さ標準：床面より上端まで1895mm）
	床保護マット	あり

分類	仕様項目	01号機
その他仕様	挟まれ防止ドアセンサ	あり
	セーフティシュー	片側（多光軸ドアセンサー 付き）
	自動戸閉促進・乗場前検知挟まれ防止	あり
	点字名板取付方法	接着
	インターホン呼び出しボタン応答灯（聴覚障がい者対応仕様）	あり
	おもり非常止め	なし
	冠水時管制運転	あり
	インターホン型式	6V1局
	乗場インターホンボックスタイプ	ステンレスヘアライン（埋め込み形）
	かご内アナウンス	かご内4ヵ国語アナウンス（通常時：日英、緊急時：日英中韓）
	かご室スピーカー	
	フェッシャープレート	エレベーター手配（標準品）（2階）
	レール支持方式	1フロア1ブラケット
	煙感知器点検スイッチ	正面側上部取付【標準】
	仮設動力電源	1式

外部連絡装置（インターホン親機）設置上の注意点
エレベーターかご内のインターホンは、常に外部のインターホン親機と連絡できるようにすること。 管理人室等に設置する場合は、24時間管理人が常駐する必要がある。 （建築基準法施行令第129条の10第3項第三号） もしも管理人が常駐しない場合は、以下のいずれかの措置が必要となる。 1. インターホン親機を共用部（エレベーターホールや廊下等）に設置する。 2. 管理人室内のインターホン親機の鳴動を共用部から確認できるように設置し、鳴動を確認した者が対応できるように、シールや名板で鳴動時の緊急連絡先等の対応方法を明示する。 3. 管理人不在時にはエレベーターを使えない状況にする。例えば営業時間内のみ管理人室等に管理人が常駐するならば営業時間外は建物を閉鎖する。



除外工事事項

（1）建築工事関係

- 昇降路の築造工事および各層出入口、インジケータ、押ボタン等の穴あけ工事（昇降路壁は5cm 辺り300Nの外力が作用した時に15mmを超える変形および塑性変形が生じない構造とすること）
- 鉄骨構造階のファスナー、立柱及び中間ビーム（必要の場合）並びに敷居受材の設置工事
- 鉄骨構造階の三方枠、インジケータ、押ボタン、ハンガーケース等の取付用鋼材設置工事
- 鉄骨構造階の敷居取付材設置工事（敷居への作用荷重に対して、たわみは1mm以下となる部材を設置すること）
- 鉄骨構造階の昇降路における鉄骨材の耐火処理工事及び乗場出入口廻りの耐火処理工事
- 各階乗場出入口枠周囲のロックウール詰め工事
- 乗場機器取付後の出入口廻りの壁及び床の仕上工事
- 昇降路頂部にエレベーター機器搬送用のフックまたはビームの設置工事（kN）／台
- 通過階がある場合の非常出口設置工事（かご敷居先端から125mm以下）
- ビット内防水仕上工事（必要の時は、排水設備工事含む）
- ビット床下部使用の場合の建築対策工事
- ビットが深い場合の埋め戻し・浅い場合はつり工事
- 段違いビット時のビット内保護柵工事（必要の場合）
- 昇降路内の騒音・振動が居室に伝播しないレイアウト及び各種防音・防振工事 ※居室への影響を検討の上、適切な防音・防振対策を行って下さい（対策例1）昇降路の壁（RC）を厚くする（200mm以上推奨）（対策例2）隣接居室内のボードや天井を、昇降路壁（RC）に直接接しない工法とする（対策例3）隣接居室内のボードに制振材（鉛板）、吸音材を貼付けする
- その他建築に関する工事

（2）設備工事関係

- 動力用電源、照明電源、接地線の受電端子までの引込工事（架ぎ込み工事含む）
- インターホン取付位置より昇降路までの配管配線工事（0.9φ×10本）／台
- 火報信号の昇降路より外部の配管配線工事
- 遮煙ドア採用の場合
遮煙ドア設置階乗降ロビーに火災感知器または煙感知器の設置工事
- エレベーター遠隔管理用配管配線工事（昇降路～最寄の電話中継室まで）
- 建設設備運動に必要な接点供給工事
- ビット内点検用コンセント設備工事（照明用AC100Vとは別系統）
- 昇降路頂部の煙感知器設備工事（外部より点検可能なこと）平成20年国土交通省告示第1454号第一号により、点検口の戸は錠付（工具を必要とするネジでも可）とし、戸が開いた時にはエレベーターを停止させる必要がある
- かご内TVカメラがある場合、かご内TVカメラ用配管配線工事（昇降路からモニター設置場所まで）・5C-2V同軸ケーブル
- かご室スピーカーがある場合、放送用配管配線の昇降路制御室までの引込工事（非常放送がある場合3線式とすること）
- 昇降路の換気設備工事（昇降路内温度40℃及び昇降路温度上昇7℃を超える場合、換気設備が必要になります）
発熱量：エレベーター駆動部（880W／1台）
- 監視壁電源の監視壁までの引込工事及び配管配線工事

（3）仮設工事関係

- つぎの事項を、弊社で用意・対応する場合は別途見積となります。
- 据付工事現場詰所及び材料置場
 - 据付工事用および試運転調整用電力、セメント、小石等
 - 据付工事用の仮設電源（本設電源と同じ電源仕様にて支給願います。）
 - 重量物の搬入に支障のない通路の確保
 - 重量物の搬入横引き距離は30m超
 - エレベーターシャフトが隣接する場合の落下物防止区画対策・安全対策（ネット等）
 - 安全柵の先行取付 ＊着工前、先行で取付た安全柵の管理も含む
 - 雇望用エレベーターの場合の施工時のガラス部分養生

エレベーターの工事使用に係る件

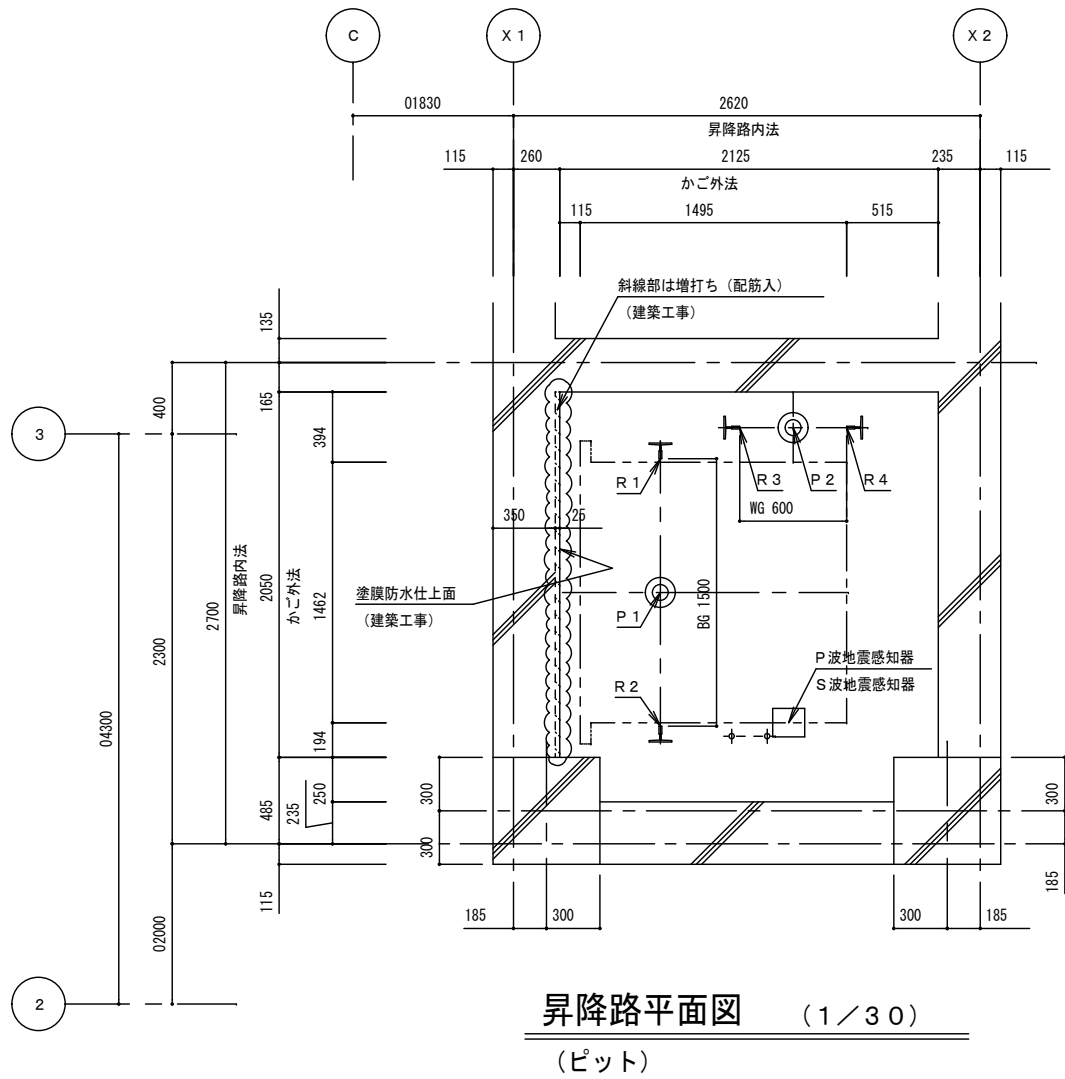
- エレベーターを工事に使用される場合は、別途契約が必要です。

工事関連事項

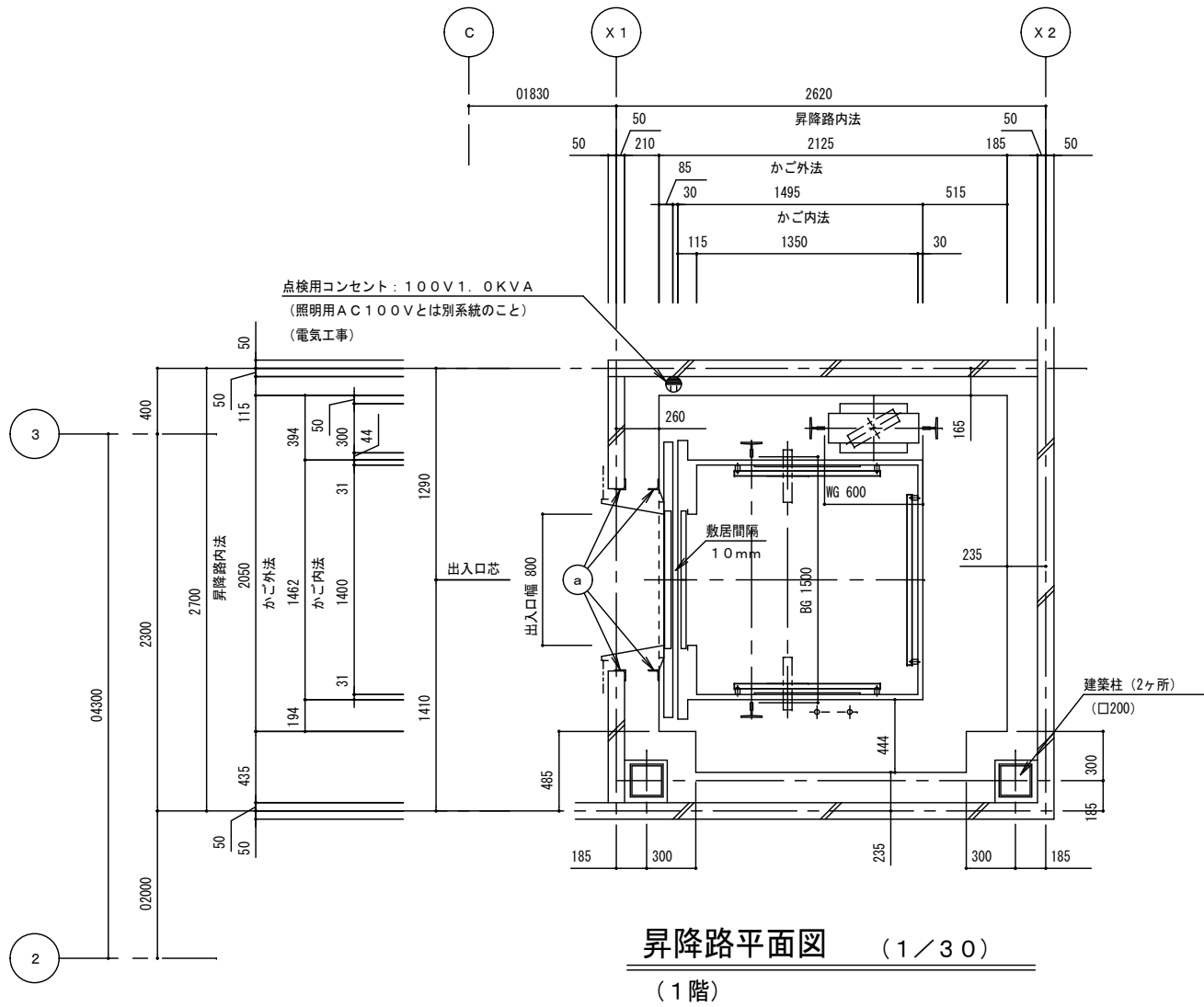
- 現場検査立会は、【完了検査】【引渡（施主）検査】の2回と致します。
- 乗場先行工事、多段階着工、他設備工事立会等、標準施工手順と異なる施工は本工事には含みません。
- 施工写真撮影は本工事には含みません。

注意事項

- 昇降路開口・奥行寸法は、昇降路全域（ビット底部から昇降路頂部まで）にわたり確保のこと
- コンクリート強度は21N/mm 以上のこと
- 電源電圧の変動は+5%～-10%以内、電圧不平衡率5%以内のこと
- 本エレベーター所定の性能維持のため、下記条件とすること
 - 昇降路内の温度は-5℃～40℃以内、湿度は月平均：90%・日平均：95%未満、かつ急激な温度変化等で水結・結露しないこと
 - 金属を損耗または腐食したり電気接点の接触障害の原因となるような塵及び化学的有害ガス及び爆発性ガスのないこと
①腐食性ガス：硫化水素ガス、亜硫酸ガス、塩素ガス、過酸化窒素ガス、アンモニアガスおよび海岸地区における潮風
※昇降路標準環境の基準例
硫化水素ガス…H2S=0.005 [ppm] 以下
亜硫酸ガス…SO2=0.01 [ppm] 以下
塩化水素ガス…HCl=0.05 [ppm] 以下
塩素ガス…Cl2=0.005 [ppm] 以下
アンモニアガス…NH3=0.1 [ppm] 以下
海岸地区における潮風…海岸より2km以上の地区
（プールサイドの場合上記塩素ガスCl2基準値以下）
※海岸より2km未満、プールサイドの場合は昇降路内に潮風
プール方向からの風が入らず、乗場が屋外に露出しないようなレイアウトとすること
②電気接点の接触障害となるもの：鉄粉、炭塵、化学工場における粉塵
③爆発性ガスまたは粉塵：メタン、石炭ガス、ボタン、ガソリン、アセチレン、水素、エーテル、炭塵、穀粉
- エレベーターの電気信号に影響をおよぼす電磁波がないこと
電磁波の電界強度が10V/m以下の環境とすること
（ひさし・風除室・水勾配・グレーチング・防潮板等）
（2）センサ誤動作防止、および乗場戸熱変形防止のため、屋外または屋内ガラス越しから乗場および駆動・制御装置（制御盤、秤装置等）に直射日光が当たらない対策を実施のこと
- 昇降路壁には電気・水道管の配管・器具を埋め込まないこと
- 昇降路内には他の用途の配管・ダクト等が露出しないようにすること（建築基準法施行令第129条の2の4第1項第三号）
- 遮断器はインバータ回線対応のものを使用すること
- 輸送可能な適温記憶率や台車などの重量物は250kg以下とすること
- 換気設備を設置する場合は昇降路外部より保守可能な位置とし、設置環境により雨水或いは防水対策を実施のこと
- エレベーターの保守・点検並びに緊急対応のため、外部階段等から最上階および最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること（個人宅など占有部を經由しないこと）
- エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより他の設備に影響を受ける恐れがあるため、次の対策をお勧めします。
 - エレベーター動力と通信機器・OA機器等弱電機器の電源線・通信線を1m以上分離する
 - エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・OA機器等弱電機器の電源トランスを分離する（エレベーター照明用電源は弱電機器のトランスと分離不要）
 - エレベーターを含む機器アース線と通信機器・OA機器等弱電機器のアース線の分離配線と接地極の分離をする
- 乗場壁へウレタン吹付けを行う場合は、乗場機器取付け後に施工する必要があります。乗場機器取付け前にウレタン吹付けを行うと、乗場機器取付け時の溶接の火花に引火する恐れがあります。昇降路内は不燃材もしくは難燃材（平122告1402号で定められた材料又は国土交通大臣の認定を受けたもの）とする必要があります。
※法定のオーバーヘッド寸法確保やドア装置取付に支障が無いが、施工範囲と厚みを昇降機担当へ連絡し問題ないことを確認ください。
- 乗場に向かって強風が吹く場合には、防風対策（建築工事）を行うこと
風圧により乗場の戸が閉まらない恐れがあります。
- 製品の検査は各規格に準じた社内基準にて行います。
電動機（巻上機・駆動機）：JEC-2110、2130、JISC-4034-1
制御盤：JEM1021、1460
尚、電動機の温度上昇試験・負荷特性試験は型式試験結果です。
- かごの内装デザイン等が別途工事の場合、品質保証（変色、はがれ、劣化等の外観変化）対象外となります。
また、昇降機保守対象外となります材質、構造等は以下を順守のこと
材質：不燃または難燃認定品
構造：装飾品（鏡等含む）には、エレベーター非常止め作動時または緩衝器衝突時は4G（縦方向）、地震時は1G（横方向）相当の加速度が発生する可能性があるためそれに耐え、かつ接着固定による劣化を考慮した取付構造とすること
照度：かごの床面で50ルクス（乗用、乗合用以外では25ルクス）以上の照度とすること。建築用途と使用環境の違いにより、早期に寿命を迎えることがあります。
・かご照明の自動休止機能により、照明のON/OFF回数が多い
・かごの昇降による振動がある
- 施工作業時間条件：月曜日～土曜日 8：00～17：00
尚、施工作業期間の内「4週6休」就労をさせていただきます。



昇降路平面図 (1/30)
(ピット)



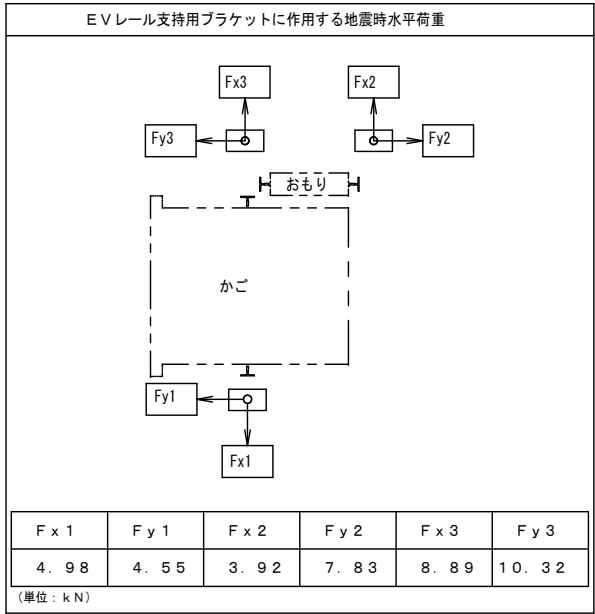
昇降路平面図 (1/30)
(1階)

レール下端部荷重 (長期荷重)			
R 1 (kN)	R 2 (kN)	R 3 (kN)	R 4 (kN)
3. 6	2 3. 4	4 3. 4	1 9. 8

ピット荷重 (短期荷重)	
P 1 (kN)	P 2 (kN)
7 5. 2	6 3. 5

ブラケット取付のため、
ピット内の壁または梁は
最下階 F L 面まで立ち上
げて下さい (建築工事)

昇降路機器はピット底面・側面、梁・壁 (コンクリートの場合)
にあと施工アンカーにより取付を行います



注: 上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が5mm以下
となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付ること。

部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方棒取付銅材 (壁取付金物の昇降路内への突出不可)	L-65×65×6	建築工事



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所 広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名:

本郷人権文化センター耐震改修等工事

図面名:

昇降機設備図 (2)

縮尺:

1/30
A2版: 100%
A3版: 71%

査図:

部長:

課長:

主任:

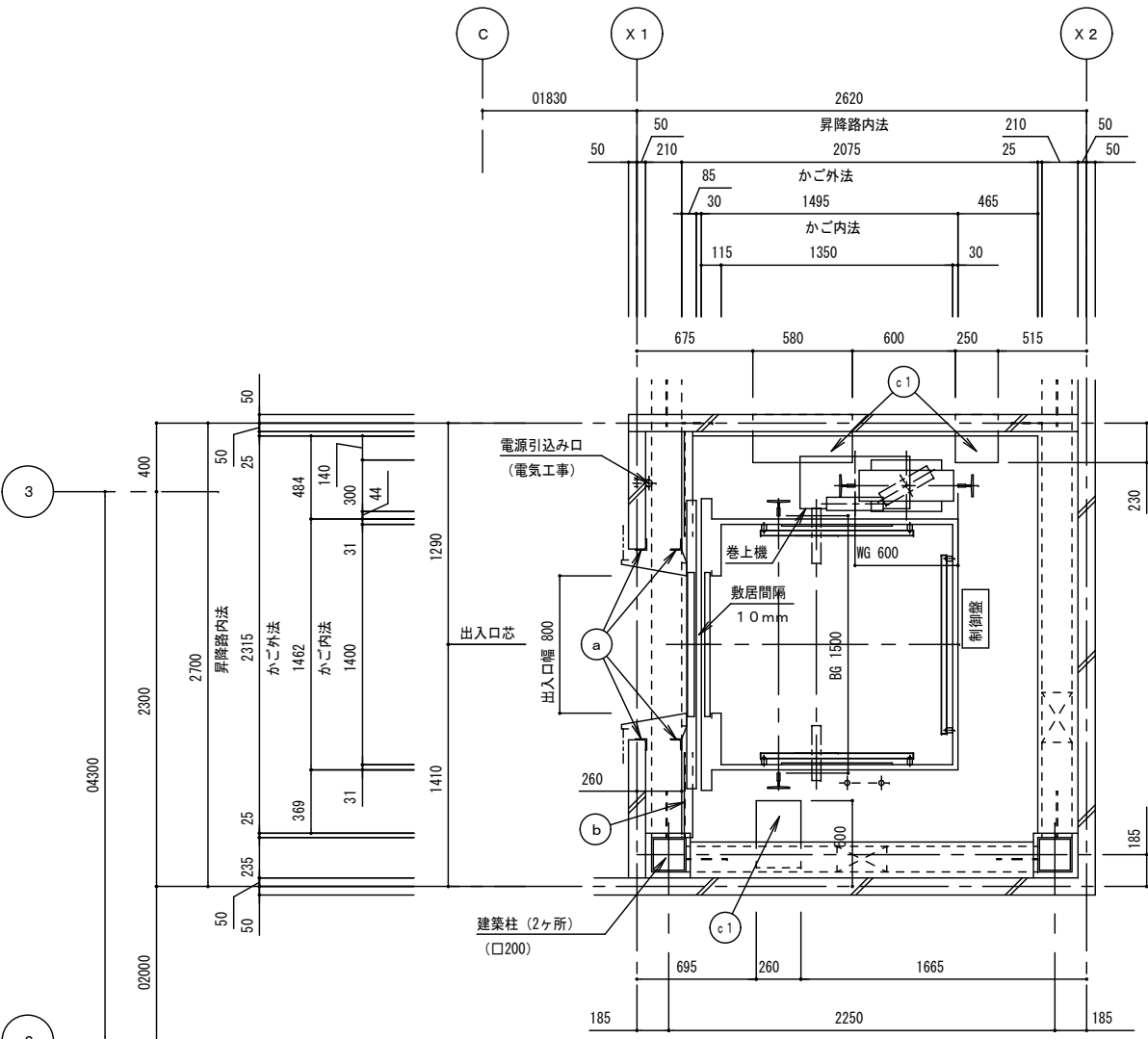
担当:

日付:

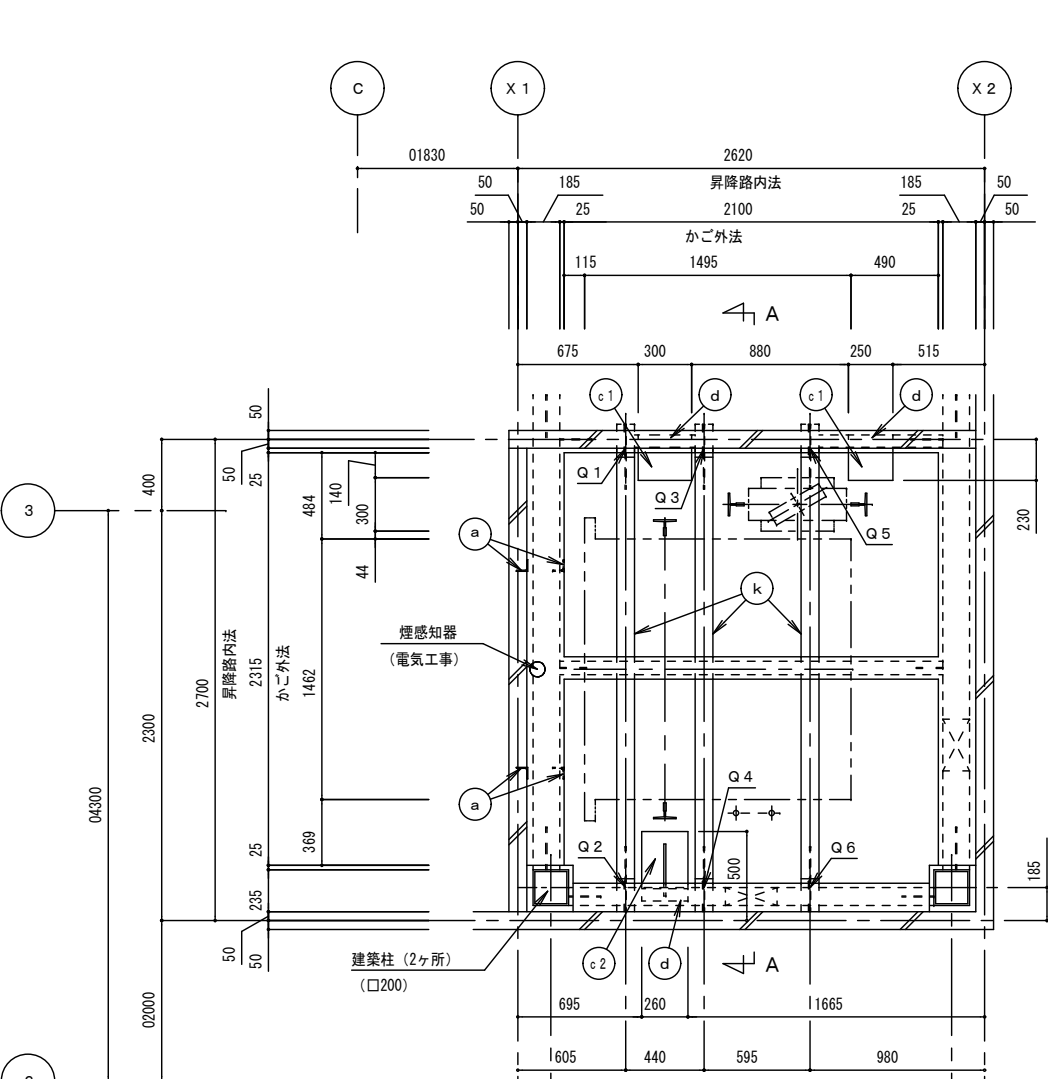
R 7 年

図番:

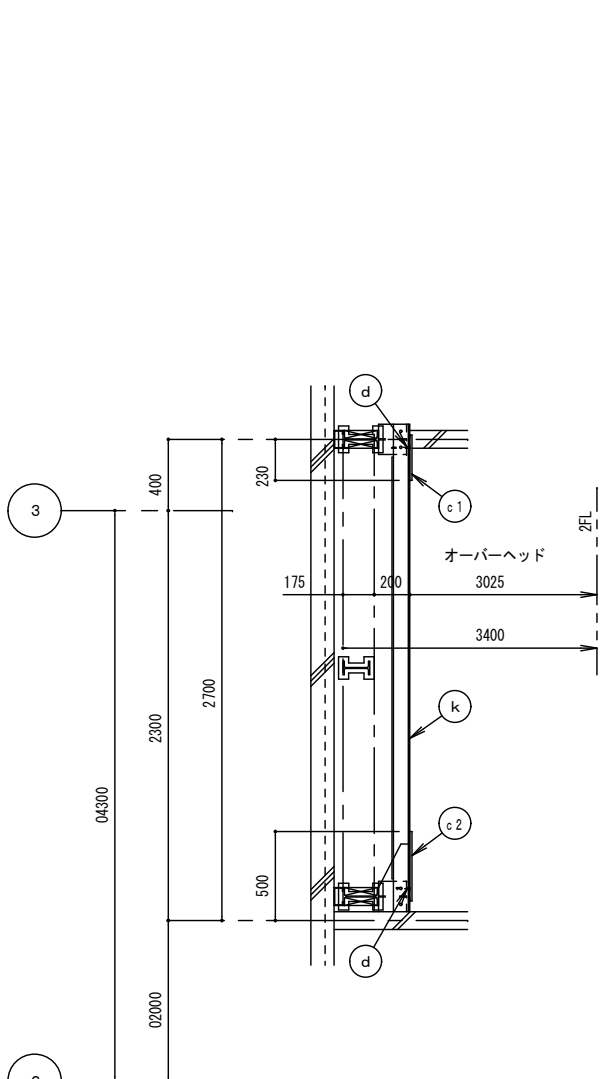
E V - 2



昇降路平面図 (1/30)
(2階)



昇降路平面図 (1/30)
(頂部)



昇降路頂部断面図 (1/30)
断面A-A

動力電源設備 (C-V-T電線使用時)							(*) 電源側に漏電遮断器を設置する場合	
号機名	電動機容量	設備容量	電源側NF容量	感度電流値 動作時間	電線サイズ		接地線サイズ	
O 1	3. 8 kW	4 kVA	4 0 A T	1 0 0 mA以上 0. 2 秒以上	8 2 mまで 1 4 2 mまで 2 1 6 mまで	8 mm ² 1 4 mm ² 2 2 mm ²	3. 5 mm ²	

照明用電源AC1φ-100V-60Hz (設備容量: 1 kVA/台・電源側NF容量: 2 0 A T/台)

電源引込み口 (昇降路頂部)
動力用: AC3φ-210V-60Hz
照明用: AC1φ-100V-60Hz
D種接地工事
電源線引出し長さ: 1 0 5 0 0 mm
(電気工事)

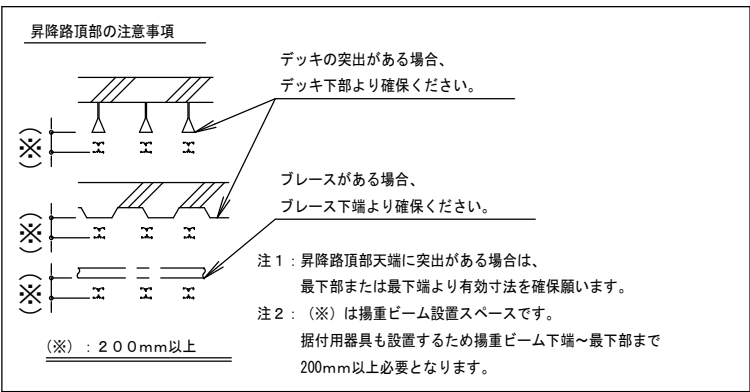
揚重ビームに掛かる荷重 [kN]					
Q 1	Q 2	Q 3	Q 4	Q 5	Q 6
6. 0	2. 0	8. 0	10. 0	16. 0	11. 0

Q 1～Q 6はE V据付時に作用する

高調波対策（高調波流出電流計算値）																	
高調波対策内容		機器名称	定格容量 (kVA)	台数	合計容量 P i (kVA)	回路分類 細分No.	6パルス 換算係数 (K i)	6パルス等価 容量 [K i×P i] (kVA)	機器最大 稼働率 (%)	基本電流に対する高調波電流発生率 I n (%)							
										5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
○	ノイズフィルタのみ （標準）	O 1号機 (750kg-45m/min)	4. 8	1	4. 8	31	3. 4	16. 2	25	65	41	8. 5	7. 7	4. 3	3. 1	2. 6	1. 8
	DCリアクトル追加 (K i=1. 8相当)					33	1. 8	8. 6	25	30	13	8. 4	5	4. 7	3. 2	3	2. 2

高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策を求められます。

※ 各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。
各次数毎の高調波流出電流量 (mA) = $\frac{\text{合計容量 } P_i \text{ (kVA)}}{\text{受電電圧 (kV)} \times \sqrt{3}} \times 10^{-3} \times \text{各次数毎の発生率 } I_n \text{ (\%)} \times \text{機器最大稼働率 } k \text{ (\%)}$



部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材 (壁取付金物の昇降路内への突出不可)	L-65×65×6	建築工事
b	敷居取付材	[100×50×5×7. 5	建築工事
c 1	レールブラケット取付用ファスナー	PL-t 12	建築工事
c 2	レールブラケット取付用ファスナー	PL-t 12 (リブ補強付)	建築工事
d	頂部ファスナー取付材	L形鋼	建築工事
k	揚重ビーム	H-100×100×6×8	建築工事

煙感知器（電気工事）

- ・外部より点検可能な構造として下さい
- ・雨水浸入が無い様配慮下さい
- ・EV連動スイッチ付（EV工事）
- ・煙感知器はかご投影面にかからない位置として下さい
- ・点検口は下記①または②として下さい

①EV昇降路専用品（スイッチ取付台座付き）（１）～（４）のいずれか

（１）ホーチキ KUS-1C

（２）能美防災 FXSJ001A-HU

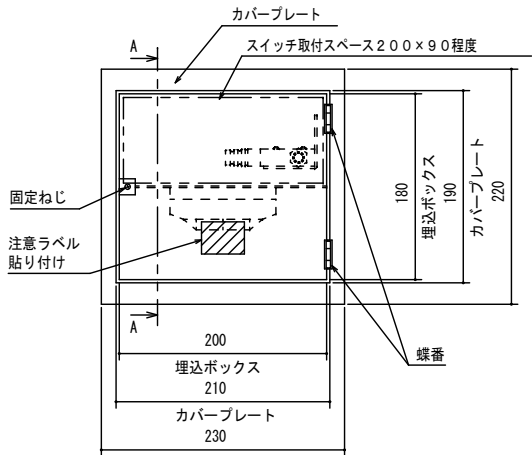
（３）ニッタン NID-T-G

（４）パナソニック BV95351（BOX）+BV95381H（扉）

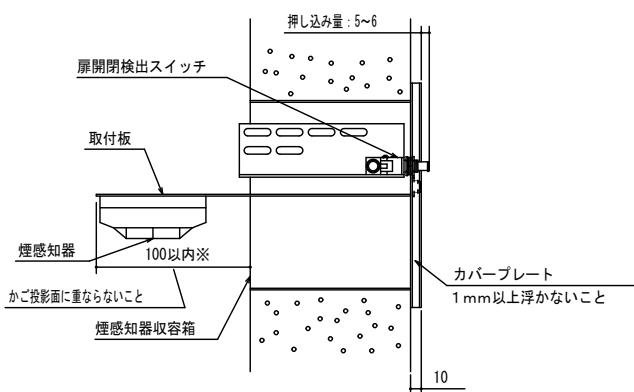
②以下２項目を満足する点検口 ～「煙感知器・点検ボックス（参考例）」参照

（１）スイッチ取付スペース200×90程度確保できる。

（２）錠付または工具を必要とするネジ付きの蓋で、1mm以上浮かないこと。

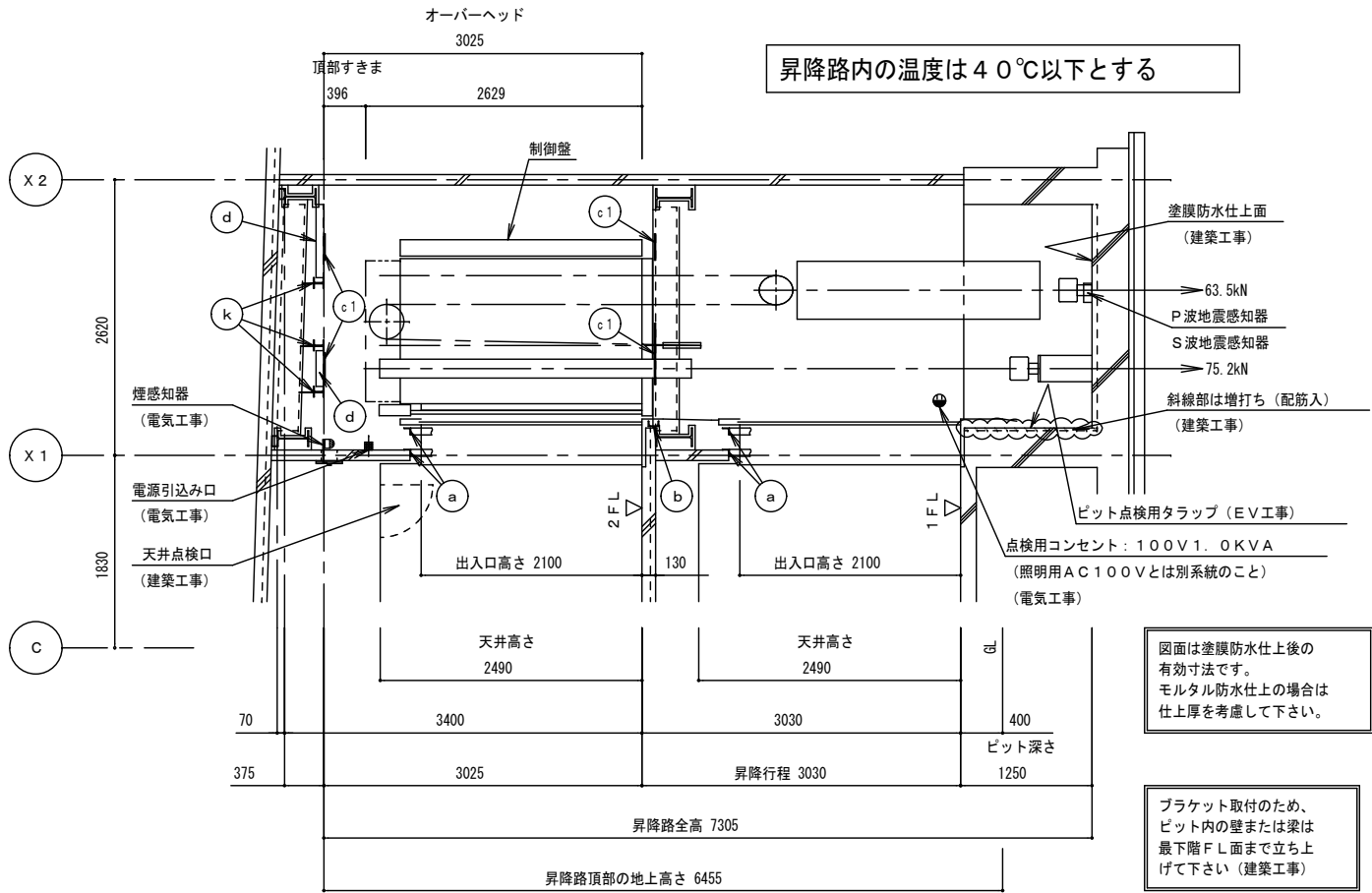


煙感知器・点検ボックス（参考例）



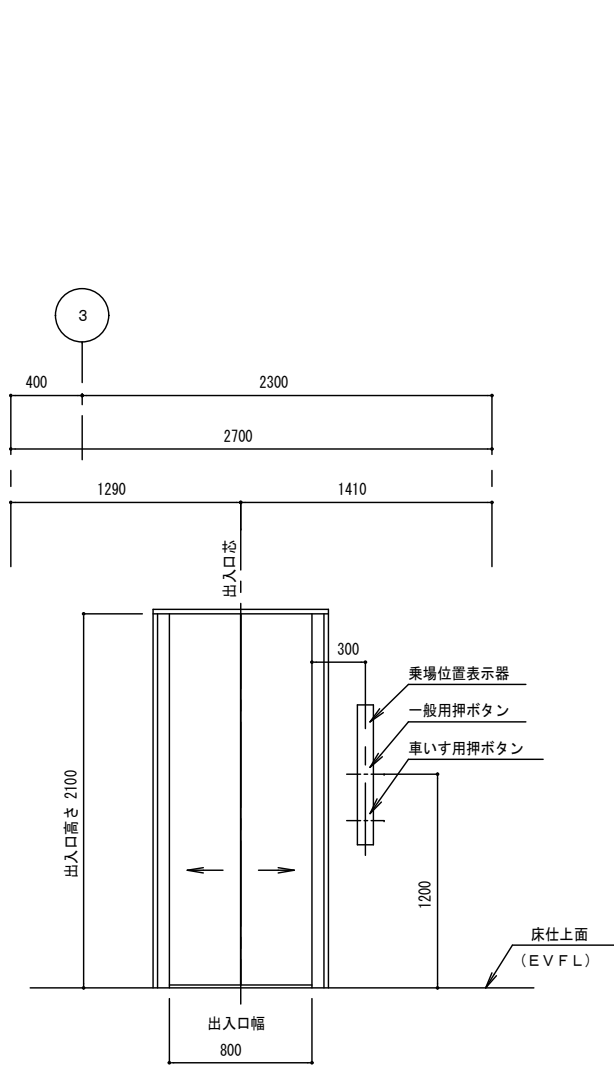
※B形枠の場合は30以内

矢視A-A

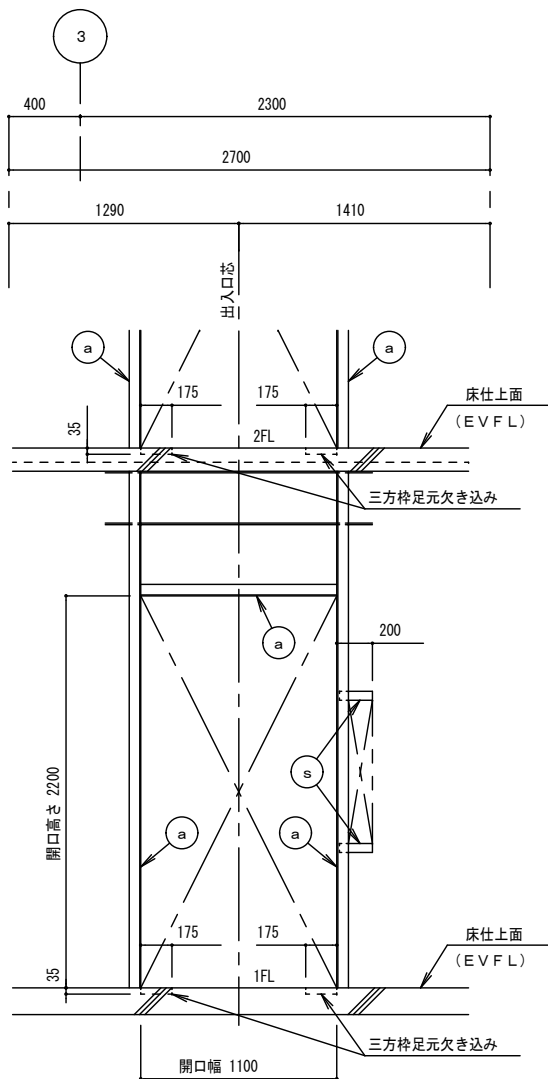


昇降路断面図（1／50）

部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材 （壁取付金物の昇降路内への突出不可）	L-65×65×6	建築工事
b	敷居取付材	[-100×50×5×7.5	建築工事
c1	レールブラケット取付用ファスナー	PL-t12	建築工事
d	頂部ファスナー取付材	L形鋼	建築工事
k	揚重ビーム	H-100×100×6×8	建築工事

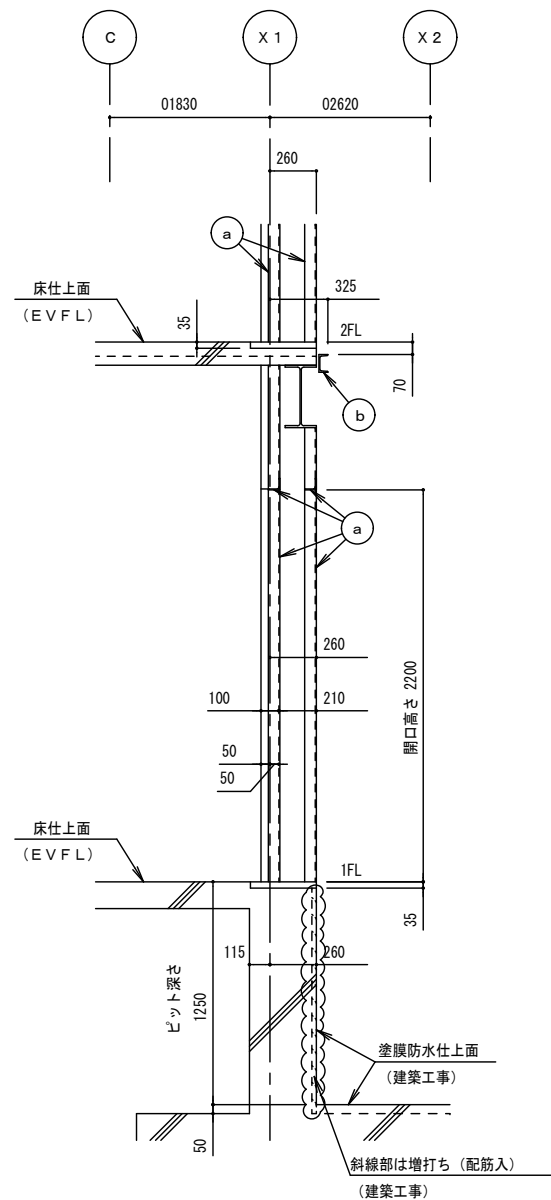


乗場正面図 (1/30)
(1, 2階)

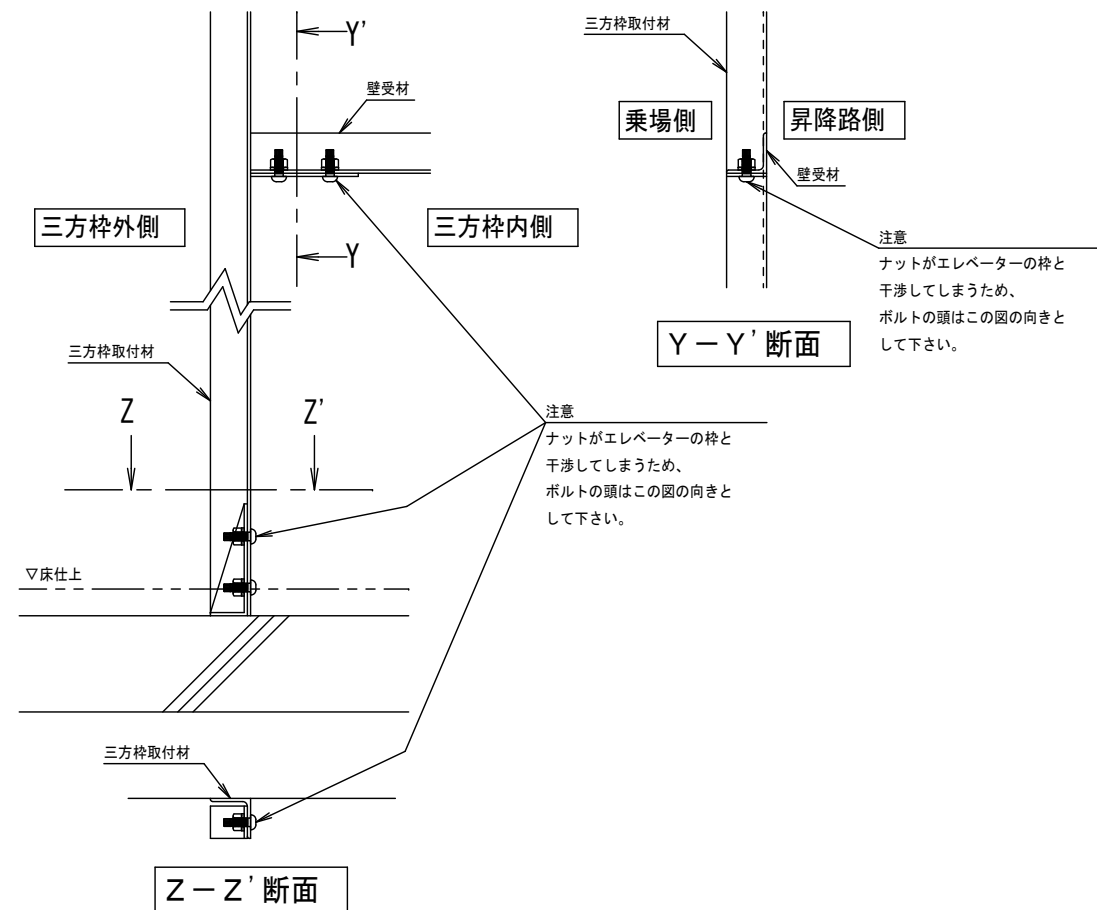


乗場穴あけ図 (1/30)
(1, 2階) ※三方枠取付材は強固に固定のこと

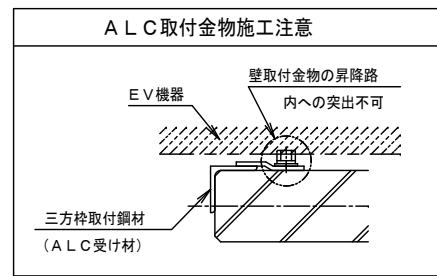
部材 記号	名 称	部 材	工事区分
a	三方枠取付鋼材 (壁取付金物の昇降路内への突出不可)	L-65×65×6	建築工事
b	敷居取付材	[-100×50×5×7.5	建築工事
s	インジケーター取付材	PL-t3.2	建築工事



断面図 (1/30)



ボルト向き詳細図



有限会社 元廣建築設計事務所
一級建築士事務所所広島県登録 23(1) 第 0951 号

一級建築士登録 第 223245 号
元 廣 匡 伸

工事名：

本郷人権文化センター耐震改修等工事

図面名：

昇降機設備図 (5)

縮尺：

1/30
A2版：100%
A3版：71%

査図：

部長：

課長：

主任：

担当：

日付：

R 7 年

図番：

E V - 5

参 考 数 量 書

工 事 名 称 本郷人権文化センター耐震改修等工事（建築主体工事）

工 事 場 所 三原市本郷北三丁目

[工 事 概 要]

用途、構造、面積	人権文化センター、鉄筋コンクリート造3階建て一部鉄骨造2階建て、床面積451.04㎡（内、今回増築床面積58.74㎡）	
工 事 範 囲	改修工事一式（建築主体工事）	
別 途 発 注 工 事	本郷人権文化センター耐震改修等工事（電気設備工事）、本郷人権文化センター耐震改修等工事（機械設備工事）、三原市・本郷人権文化センター舗装改修工事	
工 期	契約締結日の翌日 ～ 令和9年2月25日	
一 般 事 項		
《 工事予算内訳 》	合 計 金 額	¥ 1 3 9 , 5 9 0 , 0 0 0 -
〈内 訳〉		
区 分	金 額	概 要
設 計 金 額	1 2 6 , 9 0 0 , 0 0 0	
消 費 税 額	1 2 , 6 9 0 , 0 0 0	
合 計 金 額	1 3 9 , 5 9 0 , 0 0 0	

工事費内訳

名 称		数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費					
建築工事		1	式		
昇降機設備工事		1	式		
計					
共通費					
共通仮設費		1	式		
現場管理費		1	式		
一般管理費等		1	式		
計					
工事価格		1	式		
消費税等相当額		1	式		消費税率 10 %
工事費		1	式		

建築工事 種目別内訳

[illegible]

昇降機設備工事 種目別内訳

[illegible]

建築工事 科目別内訳

エレベーター棟増築

名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
直接仮設		1		式					
土工		1		式					
地業		1		式					
鉄筋		1		式					
コンクリート		1		式					
型枠		1		式					
鉄骨		1		式					
既製コンクリート		1		式					
防水		1		式					
屋根及びとい		1		式					
金属		1		式					
左官		1		式					
建具		1		式					
塗装		1		式					
内外装		1		式					

建築工事 科目別内訳

エレベーター棟増築

[illegible]

建築工事 科目別内訳

人権文化センター改修

[illegible]

建築工事 科目別内訳

付属棟解体

[illegible]

建築工事 科目別内訳

外構撤去

[illegible]

建築工事 科目別内訳

外構撤去あと整備

[illegible]

建築工事 科目別内訳

発生材処理

[illegible]

昇降機設備工事 科目別内訳

エレベーター棟増築

[illegible]

建築工事 細目別内訳

エレベーター棟増築		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(一般仮設)						
遣方	小規模	29.4	m ²			
墨出し	小規模 S造 地上階	58.7	m ²			
養生	小規模 S造 地上階	58.7	m ²			
整理清掃 後片付け	小規模 S造 地上階	58.7	m ²			
(内・外部足場)						
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 RC造標準日数 修理費含む 12m未満 2階建 建築面積 300m ²	130	m ²			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 RC造標準日数 修理費含む 建築面積 300m ²	18.7	m			
内部仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 転用数 1	44.6	m ²			
シャフト内足場	RC造標準日数 修理費含む	14.1	m ²			
(災害防止)						
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 I 類 RC造標準日数 修理費含む 2階建 建築面積 300m ²	130	m ²			
(仮設材運搬)						
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	130	m ²			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	18.7	m			

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

エレベーター棟増築		鉄筋		躯体		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(材料費)						
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10	0.26	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D13	1.22	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D16	0.55	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD345 D19	0.24	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD345 D22	0.4	t			
鉄筋スクラップ	H2	▲0.08	t			
(施工費)						
鉄筋加工組立	RCラーメン構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純	2.56	t			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	2.56	t			
鉄筋ガス圧接	D22 -D22	12	か所			
溶接金網敷	径6.0 150×150	19.7	m ²			
計						

建築工事 細目別内訳

エレベーター棟増築		コンクリート		躯体		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(材料費)						
普通コンクリート	JIS A5308 FC=24 S15 粗骨材20	17.4	m3			
普通コンクリート	JIS A5308 FC=21 S15 粗骨材20	5.3	m3			
普通コンクリート	JIS A5308 FC=21 S15 粗骨材20	2.1	m3			
構造体強度補正		1	式			別紙 00-0001
(施工費)						
コンクリート打設手間	基礎部 ポンプ打設 S15～S18 - 圧送費、基本料別途	17.4	m3			
コンクリート打設手間	土間 ポンプ打設 S15～S18 - 圧送費、基本料別途	5.3	m3			
コンクリート打設手間	S造スラブ ポンプ打設 S15～S18 - 圧送費、基本料別途	2.1	m3			
コンクリートポンプ 圧送	基本料金別途加算	17.4	m3			
コンクリートポンプ 圧送	基本料金別途加算	5.3	m3			
コンクリートポンプ 圧送	基本料金別途加算	2.1	m3			
コンクリートポンプ 圧送 基本料金		2	回			
コンクリートポンプ 圧送 基本料金		1	回			
コンクリートポンプ 圧送 基本料金		1	回			

エレベーター棟増築

コンクリート

躯体

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

エレベーター棟増築		鉄骨		本体鉄骨		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(材料費)						
鋼材費 (BCR295)	□-200*200*9	0.67	t			
鋼材費 (BCR295)	□-200*200*6	0.53	t			
鋼材費 (SS400)	H-350*175*7*11	0.62	t			
鋼材費 (SS400)	H-300*150*6.5*9	0.46	t			
鋼材費 (SS400)	H-298*149*5.5*8	0.44	t			
鋼材費 (SS400)	H-200*100*5.5*8	0.38	t			
鋼材費 (SS400)	H-150*75*5*7	0.13	t			
鋼材費 (SS400)	H-100*100*6*8	0.15	t			
鋼材費 (SS400)	[-100*50*5*7.5	0.02	t			
鋼材費 (SS400)	L-65*65*6	0.09	t			
鋼材費 (SSC400)	C-100*50*20*2.3	0.14	t			
鋼材費 (SS400)	RB-16 φ	0.04	t			
鋼材費 (SS400)	PL-16	0.03	t			
鋼材費 (SS400)	PL-12	0.07	t			

建築工事 細目別内訳

エレベーター棟増築		鉄骨		本体鉄骨		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼材費 (SS400)	PL-9	0.18	t			
鋼材費 (SS400)	PL-6	0.13	t			
鋼材費 (SS400)	PL-3.2	1	単位kg			
鋼材費 (SN490C)	PL-16	0.07	t			
鋼材費 (SN490C)	PL-19	0.08	t			
鋼材費 (SN490B)	PL-25	0.09	t			
鉄骨スクラップ	H2	▲0.22	t			
高力ボルト (S10T)	M20 (L=60)	200	組			
高力ボルト (S10T)	M20 (L=50)	62	組			
高力ボルト (S10T)	M20 (L=45)	6	組			
高力ボルト (S10T)	M20 (L=40)	42	組			
高力ボルト (S10T)	M16 (L=50)	67	組			
高力ボルト (S10T)	M16 (L=45)	17	組			
高力ボルト (S10T)	M16 (L=40)	46	組			
アンカーボルト (材料費)	(SNR400B) M24 (L=500) ワット ★ 定着板: PL-16*75*75 共	16	組			

建築工事 細目別内訳

エレベーター棟増築		鉄骨		本体鉄骨		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(施工費)						
鉄骨工場加工組立	既製コラム	4	t			
鉄骨工場溶接	半自動(すみ肉6mm換算)	191	m			
鉄骨工場錆止め 塗料塗り	JIS K5621又はJIS K5622(2回塗り) 素地C種	117	m ²			
鉄骨現場建方	低層(標準) 建方機械別途	4	t			
トルシア形 高力ボルト締付け	ビル鉄骨 1,000本未満 施工手間含む	422	本			
鉄骨建方機械		1	式			
軽量鉄骨加工 ・組立	母屋. 胴縁の類 一 般 普通ボルト締共	0.13	t			
鉄骨運搬	6t車	4.13	t			
超音波探傷試験	工場(第3者試験)	15	か所			
床デッキプレート敷き (材工共)	スーパーEデッキ(EZ50 厚1.0) ★焼き抜き栓溶接@300内外	19.7	m ²			
デッキコンクリート止めプ レート(材工共)	(H=130)曲げ加工L-130*110*3.2(溶 接L=50@500内外)控え鉄筋φ@150 0溶接止め	20.7	m			
デッキ受け金物 (材工共)	大梁継手部(PL-65*9取付け)	8	か所			
アンカーボルト埋込み (B種)	径22～25(主柱) 取付手間	16	本			

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

エレベーター棟増築		既製コンクリート		外部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ALCハネル(外壁)	厚100(フラット)縦張りA種	88	m ²			
ALCハネルコーナー(外壁)	厚100(300*300)	13	m			
ALC受け金物	下部RC取合(定規L-50*50*6)	13.7	m			
ALC受け金物	上部鉄骨取合(定規L-65*65*6)	14.8	m			
ALC受け金物	中間部鉄骨取合(定規L-65*65*6)	14.8	m			
ALCコーナーハネル受け金物	鉄骨柱取合(FB-65*6+ヒールス(L-65*65*6L=100)*2列)	13	m			
ALC開口補強金物	縦方向(L-65*65*6)	11.6	m			
ALC開口補強金物	横方向(L-50*50*6)	3.1	m			
耐火目地材(ALC端部)	コーナーハネル(ALC+ALC取合)	25.9	m			
耐火目地材(ALC端部)	下部(ALC+RC取合)	13.7	m			
耐火目地材(ALC端部)	中間部(ALC+ALC取合)	14.8	m			
計						

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

エレベーター棟増築		屋根及びとい		外部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
折板葺き(はぜ締め形)	山高≒90(塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)(厚0.8) 裏張り断熱材(厚5)共	28.5	m ²			
水下尾垂れ加工	山高≒90	6.7	m			
タトフレーム	山高≒90	20.1	m			
タトフレーム(けらば用)	山高≒90	8.5	m			
軒先見切り面戸	山高≒90	6.7	m			
水上面戸	山高≒90(シール共)	6.7	m			
水上雨押さえ	屋根同材(糸100+300+250)程度 ★エプソン付	6.7	m			
けらば包み	屋根同材(W=345程度)	8.5	m			
鋼板水切り (ALCパネル+根廻り)	(塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)(厚0.8)(厚0.5)D=200	14.5	m			
軒樋	硬質塩化ビニル雨とい(角(前高)型) 【W=150】受け金物共	6.7	m			
集水器	塩化ビニル製(カラー)150角用	2	か所			
硬質ポリ塩化ビニル管とい(カラー)	径100	13.5	m			
同上竖樋エルボ	径100用	4	か所			
計						

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

エレベーター棟増築		金属		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300	24.6	m ²			
軽量鉄骨壁下地	50形 下地張りなし @300	51.7	m ²			
軽量鉄骨壁下地	50形 下地張りなし @300	5.4	m ²			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1800×2000mm程度	1	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1200×2000mm程度	2	か所			
軽鉄胴縁開口補強	50形	8.6	m			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 インサート別途	38.1	m ²			
軽量鉄骨下がり壁 下地	19形(屋内) H300～500程度	3.1	m			
軽量鉄骨下がり壁 下地	19形(屋内) H250程度	2.1	m			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) ボード等切込み共	1	式			別紙 00-0002
天井インサート	デッキ用	38.1	m ²			
天井廻縁	塩化ビニル製	52.3	m			
下り壁見切縁	アルミ製	5.5	m			
くつずり	ステンレス製 厚さ2.0 幅40	5.4	m			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 600角	1	か所			

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

エレベーター棟増築		内外装		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ビニル床タイル	厚さ2.0 コンポ ションビニル床タイルKT 一般床 -	6.6	m ²			
ビニル床シート	マーブル 厚さ2.0 複層ビニル床シートFS 一般床 熱溶接工法 -	34.1	m ²			
誘導用及び 注意喚起用床材	点字ブロック 塩化ビニル製 300×300	0.4	m ²			
ビニル幅木	高さ75	40.4	m			
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付けV目地 -	69.4	m ²			
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 -	17.2	m ²			
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 RC、CB直張り 突付けV目地 -	1	m ²			
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 RC、CB直張り 継目処理 -	8	m ²			
壁紙張り(材工共)	壁 プラスチック程度 ボード面 素地B種 接着剤 2種1号	22.4	m ²			
壁紙張り(材工共)	壁 プラスチック程度 モルタル面 素地B種 接着剤 2種1号	4.4	m ²			
天井 化粧 せっこうボード 張り (GB-D)	厚 9.5 不燃 (スクエア)	38.1	m ²			
天井下がり 化粧 せっこうボード 張り (GB-D)	厚 9.5 不燃 (スクエア)H=900以下	0.6	m ²			
天井下がり 化粧 せっこうボード 張り (GB-D)	厚 9.5 不燃 (スクエア)H=300以下	1	m ²			
ボード出隅		17.7	m			
計						

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

人権文化センター改修		直接仮設		外部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(一般仮設)						
墨出し(外壁改修)	タイル・モルタル塗替等 一般	14.2	m ²			
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	366	m ²			
養生(外壁改修)		140	m ²			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	366	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		140	m ²			
(外部足場)						
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 修理費含む 12m未満 2階建 【損料30日】撤去のみ	60.1	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 修理費含む 12m未満 2階建 【損料120日】撤去+改修	500	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 修理費含む 12m未満 2階建 【損料120日】撤去+改修(内側2重)	120	m ²			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 修理費含 【損料30日】撤去のみ	7.9	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 修理費含 【損料120日】撤去+改修	87.7	m			
単管本足場	基本料 修理費含む 10m未満 【損料120日】撤去+改修 (内側2重階段部分)	31.1	m ²			
外部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場 塗装塗替え程度 既存塗膜の除去有り	38.1	m ²			
(災害防止)						

建築工事 細目別内訳

人権文化センター改修		直接仮設		外部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 I 類 修理費含む 2階建 【損料90日】改修のみ	500	m ²			
防音シート張り	修理費含む 2階建 【損料30日】撤去のみ	560	m ²			
(仮設材運搬)						
仮設材運搬 (桢組本足場) (手すり先行方式)	建桢幅900(二枚布)	560	m ²			
仮設材運搬 (桢組本足場) (手すり先行方式)	建桢幅600	120	m ²			
仮設材運搬 (安全てすり)	桢組本足場用(手すり先行方式)	95.6	m			
仮設材運搬 (単管本足場)		31.1	m ²			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	2階建	38.1	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		500	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		560	m ²			
計						

建築工事 細目別内訳

人権文化センター改修		直接仮設		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(一般仮設)						
墨出し(内部改修)	複合改修	334	m ²			
養生(内部改修)	複合改修	334	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	334	m ²			
(内部足場)						
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場 一般	322	m ²			
内部階段仕上足場	修理費含む【損料60日】	11.7	m ²			
(仮設材運搬)						
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	2階建	322	m ²			
仮設材運搬 (内部階段 仕上足場)		11.7	m ²			
計						

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

人権文化センター改修		防水改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(2F事務所屋根)						
改質アスファルトシート防水(床面)	(AS-J1工法)	49.3	m ²			
改質アスファルトシート防水(立上り面)	(AS-J1工法)	6.7	m ²			
既存下地の補修及び処置(床面)	改質アスファルトシート防水下地 (既設シート防水撤去あと) (既設ALC面)	49.3	m ²			
既存下地の補修及び処置(立上り面)	改質アスファルトシート防水下地 (既設シート防水撤去あと) (既設ALC面)	6.7	m ²			
既設E xp. j金物取外し再取付	アルミ製(W=400)	12.3	m			
既設アルミ笠木取外し再取付	アルミ製(W=150)	21	m			
改修用トレン	75φ(横型用)	2	か所			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10	3.9	m			
(RF屋根)						
塗膜防水(屋根)	(X-2H)	269	m ²			
塗膜防水(笠木・立上り)	(X-2H)	42.3	m ²			
既存下地の補修及び処置(床面)	塗膜防水下地 (既設シート防水撤去あと) (既設モルタル面)	269	m ²			
既存下地の補修及び処置(立上り面)	塗膜防水下地 (既設シート防水撤去あと) (既設モルタル面)	42.3	m ²			
硬質ポリ塩化ビニル管とい(カラー)	径100	0.3	m			

建築工事 細目別内訳

人権文化センター改修		防水改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
同上堅樋エルボ [°]	径100用	1	か所			
(南/北ハ [°] ルコニー)						
塗膜防水(笠木・立上り)	(X-2工法)南ハ [°] ルコニー立上り新設部	0.2	m ²			
塗膜防水(床面)	(X-2工法)	25.6	m ²			
塗膜防水(笠木・立上り)	(X-2工法)	17.6	m ²			
既存下地の補修及び処置(床面)	塗膜防水下地 (既設塗膜防水撤去あと) (既設モルタル面)	25.6	m ²			
既存下地の補修及び処置(立上り面)	塗膜防水下地 (既設塗膜防水撤去あと) (既設モルタル面)	17.6	m ²			
手摺笠木モルタル塗り	金ごて 糸幅200	0.9	m			
壁モルタル塗り	金ごて 外壁 厚25	0.2	m ²			
太陽光架台基礎ハ [°] ース金物	(非断熱)	36	か所			
計						

建築工事 細目別内訳

人権文化センター改修		外壁改修		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄骨躯体解体 (1F女子トイレ)	集積共	0.11	t			
屋根ALCハﾟﾙ撤去 (1F女子トイレ)	集積共(厚100)	6.2	m ²			
屋根スレート瓦撤去 (1F女子トイレ)	集積共	6.2	m ²			
屋根水切り撤去 (1F女子トイレ)	集積共(鋼板(厚0.4)糸300程度)	3.2	m			
外壁ALCハﾟﾙ撤去 (1F女子トイレ)	集積共(厚100)	15.1	m ²			
軒どい撤去	集積共(硬質塩ビ製半丸100φ)	2.5	m			
たてどい撤去	VP管 集積共	11	m			
養生管	集積共(SGP125A H=2000)	1	本			
CB撤去(2F南ハﾟﾙコニｰ)	集積共(H100*D60*L770程度)	1	か所			
床モルタル・床人研ぎ 撤去	集積共	1.2	m ²			
壁モルタル・ﾌﾟﾗｽﾀｰ 撤去	集積共	6.7	m ²			
カッター入れ	モルタル面 厚さ20～30mm	36.1	m			
既設ハﾟﾙコニｰ手摺一 部撤去(南ハﾟﾙコニｰ)	集積共(鋼製H=1100)	7.6	m			
旗用ﾎｰﾙ撤去 (2F北ハﾟﾙコニｰ)	集積共(60φ L=7000)	1	本			
計						

建築工事 細目別内訳

人権文化センター改修		外壁改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(既製コンクリート)						
ALCパネル(外壁)	厚100(フラット)縦張りA種	7.1	m ²			
ALC受け金物	下部既設RC取合(定規L-50*50*6+ネコ(あと施工アンカー))	3.4	m			
ALC受け金物	上部既設RC取合(定規L-50*50*6+ネコ(あと施工アンカー))	3.4	m			
ALC開口補強金物	縦方向(L-65*65*6)	11.1	m			
ALC開口補強金物	横方向(L-50*50*6)	3.7	m			
耐火目地材 (ALC端部)	下部(ALC+既設RC取合)	3.4	m			
耐火目地材 (ALC端部)	上部(ALC+既設RC取合)	3.4	m			
耐火目地材 (ALC端部)	縦方向(ALC+既設RC取合)	5.6	m			
(防水)						
シーリング [※]	一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10	3.4	m			
シーリング [※]	一般部 ポリウレタン系(PU-2) 20×10	8.9	m			
蹴上げタイル張り (スロープ 足洗い場撤去あと補修)	一般床タイル張 I 類 無ゆう 150mm角 下地モルタル別途	0.5	m ²			
(屋根・金属)						
鋼板水切り (ALCパネル+根廻り)	(塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき 鋼板及び鋼帯)(厚0.8)(厚0.5)D=160	3.4	m			

建築工事 細目別内訳

人権文化センター改修		外壁改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
既設バルコニー手摺撤去あと補修(南バルコニー)	(鋼製H=1100)小口塞ぎPL-1.2新設(48.6φ*2か所)	1	式			
(左官・吹付)						
施工数量調査(外壁改修)	タイル・モルタル塗替改修	283	m ²			
施工数量調査(外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	125	m ²			
施工数量調査(外壁改修)	ALC面・仕上塗材改修	55	m ²			
壁モルタル塗り	金ごて 厚25 外壁	6.3	m ²			
蹴上げモルタル塗り(スロープ 足洗い場撤去あと補修)	木ごて 一般タイル下地 厚37	0.5	m ²			
均しモルタル塗り	ALCパネル下部(W=170程度)	3.4	m			
複層塗材 E	ALCパネル面 凹凸状 吹付け アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費別途	7.1	m ²			
下地調整費	ALCパネル面 屋外 C-1	7.1	m ²			
外装薄塗材 E	モルタル面 砂壁状 吹付け 下地調整費別途	4.3	m ²			
下地調整費	モルタル面 屋内外	4.3	m ²			
複層塗材E吹替え(外壁)	既設ALCパネル面 凹凸状 吹付け アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費別途	55	m ²			
外装薄塗材E吹替え(外壁)	既設モルタル面 砂壁状 吹付け 下地調整費別途	283	m ²			
外装薄塗材E吹替え(外壁)	既設RC面 砂壁状 吹付け 下地調整費別途	26.2	m ²			

建築工事 細目別内訳

人権文化センター改修		外壁改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
外装薄塗材E吹替え(軒天)	既設RC面 砂壁状 吹付け 下地調整費別途	98.9	m ²			
既存塗膜等の除去(外壁)	既設モルタル面【サnder工法】	283	m ²			
既存塗膜等の除去(外壁)	既設RC面【サnder工法】	26.2	m ²			
既存塗膜等の除去	既設RC面【サnder工法】	98.9	m ²			
下地調整材(外壁)	既設ALC ^ハ 珪面	55	m ²			
下地調整材(外壁)	既設モルタル面	283	m ²			
下地調整材(外壁)	既設RC面	26.2	m ²			
下地調整材(軒天)	既設RC面	98.9	m ²			
水洗い清掃(床面)		15.8	m ²			
水洗い清掃(根廻り)		19.2	m ²			
(その他)						
外部洗い流し新設	(W1000*D800)土間CON厚120 D10@200シングル/端部D13 ★(カーデション設備工事)	1	か所			
計						

建築工事 細目別内訳

人権文化センター改修		建具改修		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アルミ製建具撤去 (AD-1)	集積共(W*H)3780*1800/枠共	1	か所			
アルミ製建具撤去 (AD-2)	集積共(W*H)800*2000/枠共	1	か所			
アルミ製建具撤去 (AD-3)	集積共(W*H)3670*1800/枠共	1	か所			
アルミ製建具撤去 (AD-3-1)	集積共(W*H)3670*1800/枠共	1	か所			
アルミ製建具撤去 (AD-4)	集積共(W*H)700*1700/枠共	1	か所			
アルミ製建具撤去 (AD-5)	集積共(W*H)650*1700/枠共	1	か所			
アルミ製建具撤去 (AD-7)	集積共(W*H)1800*1800/枠共	1	か所			
アルミ製建具撤去 (AW-3)	集積共(W*H)1700*370/枠共	2	か所			
アルミ製建具撤去 (AW-5)	集積共(W*H)700*560/枠共	1	か所			
アルミ製建具撤去 (AW-6)	集積共(W*H)3670*1550/枠共	1	か所			
アルミ製建具撤去 (AW-7)	集積共(W*H)3670*1550/枠共	1	か所			
アルミ製建具撤去 (AW-8)	集積共(W*H)1800*580/枠共	1	か所			
アルミ製建具撤去 (AW-11-1)	集積共(W*H)3470*2900/枠共	2	か所			
鋼製建具撤去 (SD-3)	集積共(W*H)450*600/枠共	1	か所			
鋼製建具撤去 (SD-4)	集積共(W*H)1110*2000/枠共	1	か所			

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

人権文化センター改修		建具改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 10×10	151	m			
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 15×10	33.8	m			
木製建具枠 (WD-2)	(W*H) 1800*2000	1	か所			
木製建具枠 (WW-1)	(W*H) 1500*900	1	か所			
建具周囲防水 モルタル充填	外部建具	13.5	m			
WD-2 (引違いフラッシュ戸)	(W*H) 1800*2000/建具金物共 ★SUSレール共	1	か所			
WW-1 (引違いガラス窓)	(W*H) 1500*900/建具金物共 ★SUS (フラット)レール共	1	か所			
運搬費	木製建具	1	式			
取付調整費	木製建具	1	式			
AD-10 (引違いガラス窓)	(W*H) 700*1820/建具金物共 ★SUS沓摺・アルミ額縁3方共	1	か所			
AW-13 (引違いガラス窓)	(W*H) 930*1000/建具金物共 ★水切り・アルミ額縁・網戸共	1	か所			
AW-14 (引違いガラス窓)	(W*H) 930*1350/建具金物共 ★水切り・アルミ額縁・網戸共	1	か所			
AW-4, 10 (らんま:外倒しガラス窓)	アルミパネル (W*H) 865*340*5枚	1	式			
運搬費	アルミ製建具	1	式			
取付調整費	アルミ製建具	1	式			

建築工事 細目別内訳

人権文化センター改修		建具改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
L D-1 (片引きフラッシュ戸)	(W*H)1010*1950/建具金物共 ★SUS沓摺・自動閉鎖式・鋼製ｶﾞﾗｼ共	4	か所			
L D-1-1 (片引きフラッシュ戸)	(W*H)1010*1950/建具金物共 ★SUS沓摺・自動閉鎖式・鋼製ｶﾞﾗｼ共	1	か所			
L D-2 (片引きフラッシュ戸)	(W*H)1010*1950/建具金物共 ★SUS沓摺・自動閉鎖式・鋼製ｶﾞﾗｼ共	1	か所			
L D-3 (片引きフラッシュ戸)	(W*H)1010*1800/建具金物共 ★SUS沓摺・自動閉鎖式・鋼製ｶﾞﾗｼ共	1	か所			
L D-4 (片開きフラッシュ戸)	(W*H)800*2000/建具金物共 ★SUS沓摺・鋼製ｶﾞﾗｼ共	2	か所			
L D-5 (片開きフラッシュ戸)	(W*H)740*1800/建具金物共 ★SUS沓摺・鋼製ｶﾞﾗｼ共	1	か所			
運搬費	鋼製軽量建具	1	式			
取付調整費	鋼製軽量建具	1	式			
フロント板ｶﾞﾗｽ	厚さ5 特寸 2.18㎡以下 ｶﾞﾗｽとめ材別途 清掃別途	4.6	㎡			
型板ｶﾞﾗｽ	厚さ4 特寸 2.18㎡以下 ｶﾞﾗｽとめ材別途 清掃別途	2.7	㎡			
ｶﾞﾗｽとめ(シーリング) (両面)	シリコン 1成分形 SR-1 ｶﾞﾗｽ規格2.18㎡以下	7.2	㎡			
ｶﾞﾗｽ清掃		7.2	㎡			
UVﾌｨﾙﾑ張り	清掃共 (硝子)	68.2	㎡			
S O P塗り	鋼製建具面 - 塗料1種 錆止別途	54	㎡			
錆止め塗料塗り	鋼製建具面(屋内外) 工程A種 塗料A種 現場2回目 1回目別途	54	㎡			

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

人権文化センター改修		内装改修		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
CB撤去	コンクリートブレイカ 集積共	1.1	m ³			
床タイル撤去	下地モルタル共 集積共	0.8	m ²			
タイル幅木撤去	集積共 (H=60)	7.6	m			
壁タイル撤去	下地モルタル共 集積共	13.3	m ²			
床モルタル・床人研ぎ撤去	集積共	9.9	m ²			
壁モルタル・ブラスター撤去	集積共	9.6	m ²			
天井モルタル撤去	集積共 (梁下共)	1.4	m ²			
ライニング 面台撤去	集積共 (みかげ石)	7.6	m			
カッター入れ	コンクリート面 厚さ20～30mm	20.4	m			
カッター入れ	モルタル面 厚さ20～30mm	165	m			
壁下地撤去	集積共	46.9	m ²			
天井下地撤去	集積共	280	m ²			
ビニル床シート撤去	集積共	124	m ²			
木製幅木撤去	集積共	7.9	m			
壁クロス撤去	集積共	100	m ²			

建築工事 細目別内訳

人権文化センター改修		内装改修		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
天井合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	14.4	m ²			
天井廻縁撤去	集積共(塩ビ製)	250	m			
トイレブース撤去	集積共	12.6	m ²			
可動間仕切撤去	集積共(鋼製)	46.2	m ²			
ガラス撤去	集積共(可動間仕切のガラス)	7.4	m ²			
窓下戸棚撤去 (1F小会議室)	集積共(W*D*H)3760*400*800	1	か所			
窓下戸棚撤去 (1F図書資料室)	集積共(W*D*H)3950*400*800	1	か所			
戸棚撤去 (1F図書資料室)	集積共(W*D*H)3960*380*2370	1	か所			
木製棚撤去 (1Fシャワー室)	集積共(W*D*H)915*315*485	1	か所			
黒板撤去 (1F図書資料室)	集積共(W*H)2700*1200	1	か所			
ブラインドBOX1撤去 (1F調理/小会議/ 図書資料室)	集積共(木製W150*H120)	15.4	m			
ブラインドBOX2撤去 (1F多目的利用室)	集積共(木製W100*H100)	1	m			
ブラインドBOX3撤去 (2F大会議室)	集積共(木製W180*H130)	7.5	m			
ブラインドBOX5撤去 (2F大会議室)	集積共(木製W150*H140)	4	m			
ステージ前幕撤去	集積共(W8810*H3805)	1	張り			

建築工事 細目別内訳

人権文化センター改修		内装改修		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ステージ後幕撤去	集積共(W8810*H3955)	1	張り			
カーテンレール撤去	集積共(シングル)	1.9	m			
Expij金物撤去 (内部壁・天井)	集積共(アルミ製クリアランス50)	12.3	m			
手摺撤去	集積共(木製34φ)	4.8	m			
キャットウォーク手摺撤去 (2F大会議室)	集積共(鋼製H=1100)	8.8	m			
キャットウォーククランプ撤 (2F大会議室)	集積共(鋼製W400*H2150程度)	1	か所			
既設手摺一部撤去 (2F階段ホール)	集積共(鋼製H=1100)	4.1	m			
天井点検口撤去	集積共	13	か所			
室名札撤去	集積共(平付け型アクリル板250*50)	8	か所			
ビクトクグラフ撤去	集積共(平付け型アクリル板200*200)	4	か所			
便所補助手摺撤去	集積共	8	か所			
階段昇降機撤去	集積共	1	式			
(アスベスト撤去)						
ビニル床タイル撤去 (階段)	石綿含有 集積共	14.3	m ²			
ビニル床タイル撤去	石綿含有 集積共	51.6	m ²			

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

人権文化センター改修		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(床改修)						
くつずり	ステンレス製 厚さ2.0 幅40	0.9	m			
床モルタル塗り	金ごて ビニル系床材下地 厚28	37.3	m ²			
階段ビニル床タイル	厚さ2.0 コンポジションビニル床タイルKT	14.3	m ²			
階段ケレン清掃	ビニル系床材下地	14.3	m ²			
ビニル床タイル	厚さ2.0 コンポジションビニル床タイルKT 一般床 -	31.3	m ²			
ビニル床シート	マーブル 厚さ2.0 複層ビニル床シートFS 一般床 熱溶接工法 -	130	m ²			
防滑性ビニル床シート 張り	厚2.5(耐水工法)	29.1	m ²			
誘導用及び 注意喚起用床材	点字ブロック 塩化ビニル製 300×300	2	m ²			
床ケレン清掃	ビニル系床材下地	155	m ²			
(壁改修)						
木製幅木	H=175	0.5	m			
壁普通合板張り	厚12(1類)	9.7	m ²			
軽量鉄骨壁下地	90形 下地張りなし @300	9.7	m ²			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300	23	m ²			

建築工事 細目別内訳

人権文化センター改修		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	114	m ²			
軽量鉄骨壁下地	50形 下地張りなし @300	12.8	m ²			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1800×2000mm程度	1	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1200×2000mm程度	7	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 900×2000mm程度	2	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 ｸﾞｯﾄ等四方補強 1500× 900mm程度	1	か所			
軽量鉄骨壁下地	50形 下地張りなし @300	8.8	m ²			
軽鉄胴縁開口補強	50形	8.4	m			
間仕切壁受け金物	C-100*50*20*2.3(L=1670程度)	1	か所			
壁モルタル塗り	金ごて 内壁 厚20	23.8	m ²			
梁型モルタル塗り	金ごて 厚20	2.5	m ²			
ビニル幅木	高さ75	178	m			
壁 シｰｼﾞﾝｸﾞ せっこうボード 張り (GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地張り 下張GB-S 厚12.5共	62.6	m ²			
壁 シｰｼﾞﾝｸﾞ せっこうボード 張り (GB-S)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 下地張り - -	5.8	m ²			
壁 シｰｼﾞﾝｸﾞ せっこうボード 張り (GB-S)	厚12.5 不燃 RC、CB直張り 下地張り - -	33.3	m ²			

建築工事 細目別内訳

人権文化センター改修		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地張り 下張GB-R 厚12.5共	31.1	m ²			
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付けV目地 下張GB-R 厚12.5共	14.2	m ²			
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 下張GB-R 厚12.5共	112	m ²			
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付けV目地 - -	33	m ²			
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 - -	24	m ²			
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	厚12.5 不燃 RC、CB直張り 継目処理 - -	8.8	m ²			
ボード出隅		25.9	m			
壁紙張り (材工共)	壁 プラスチック程度 ボード面 素地B種 接着剤 2種1号	139	m ²			
壁紙張り (材工共)	壁 プラスチック程度 モルタル面 素地B種 接着剤 2種1号	10.5	m ²			
壁紙張替え (材工共)	壁 プラスチック程度 既設モルタル面 下地調整RB種 接着剤 2種1号	41.6	m ²			
壁紙張替え (材工共)	壁 プラスチック程度 既設ボード面 下地調整RB種 接着剤 2種1号	33.8	m ²			
壁紙張り (材工共)	移動間仕切り プラスチック程度 鋼板面	19	m ²			
壁化粧ケイカル板張り	厚6	91.7	m ²			
化粧ケイカル板出隅		22.7	m			
化粧ケイカル板端部見 切り (1FSKの上部)	化粧ケイカル板とビニルクロスの見切り	2.4	m			

建築工事 細目別内訳

人権文化センター改修		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
壁ペイント清掃	ビニル幅木下地	3.2	m ²			
(天井改修)						
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) 1.5m以上3.0m未満 下地張りなし @225	47.4	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225	164	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) 1.5m以上3.0m未満 下地張りなし @300	18.7	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @300	53.4	m ²			
軽量鉄骨下がり壁 下地	19形(屋内) H810程度	24	m			
軽量鉄骨下がり壁 下地	19形(屋内) H300～500程度	12.4	m			
軽量鉄骨下がり壁 下地	19形(屋内) H250程度	18.1	m			
軽量鉄骨下がり壁 下地	19形(屋内) H150程度	4.4	m			
軽量鉄骨天井下地 振止め補強加算	ふところ高1.5～3.0m	66.1	m ²			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) ポート等切込み共	1	式			別紙 00-0003
天井インサート	あと施工アンカー	284	m ²			
天井廻縁	塩化ビニル製	360	m			
下り壁見切縁	アルミ製	63.3	m			

建築工事 細目別内訳

人権文化センター改修		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	28	か所			
天井モルタル塗り	金ごて 内壁 厚20	0.1	m ²			
内装薄塗材E吹替え(天井)	既設RC面 砂壁状 吹付け 下地調整費共	8.9	m ²			
天井 化粧 せっこうボード 張り(GB-D)	厚 9.5 不燃 (スクエア)	211	m ²			
天井下がり 化粧 せっこうボード 張り(GB-D)	厚 9.5 不燃 (スクエア)H=900以下	20.9	m ²			
天井下がり 化粧 せっこうボード 張り(GB-D)	厚 9.5 不燃 (スクエア)H=300以下	5.1	m ²			
天井 けい酸 カルシウム板張り	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚 6 目透かし	72	m ²			
天井下がり けい 酸カルシウム板張り	タイプ2(ノアス)0.8FK 厚 6 目透かし	3.6	m ²			
天井裏既設ガラスウ ール取外し再取付	厚100	46.5	m ²			
(その他改修)						
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 10×10	1.4	m			
E xp. j金物 (内壁用)	アルミ製(クリアランス50)	7.3	m			
E xp. j金物 (内壁コーナー用)	アルミ製(クリアランス50)	2.4	m			
E xp. j金物 (内部天井用)	アルミ製(クリアランス50)	7.2	m			
E xp. j金物 (内部天井コーナー用)	アルミ製(クリアランス50)	0.3	m			

建築工事 細目別内訳

人権文化センター改修		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
間仕切り上部笠木 (1F階段)	アルミウム板(厚1.5)加工(下地PL-2.3) 【W=135程度】	1.6	m			
ささら隙間塞ぎ (1F階段)	アルミウム板(厚1.5)加工(下地C-100*50 *20*2.3)【W=150程度】	2.1	m			
ささら隙間塞ぎ (1F階段)	鋼板(厚2.3)加工(下地C-60*30*10*2 .3)【W=220程度】	2.3	m			
手摺(1F廊下(南))	(壁付)半硬質樹脂二層成形 34φ	5	m			
自動ドア用保護柵 (1F玄関)	【W=950程度】 JIS A 4722対応	2	か所			
既設手摺撤去あと 補修(2F階段ホール)	(鋼製H=1100)小口塞ぎPL-1.2新設 (48.6φ*1か所)	1	式			
受付カウンター (1F玄関ホール側)	【W1550*D455程度】	1	か所			
受付カウンター (1F事務室側)	【W1550*D555程度】	1	か所			
プラントボックス1	木製(W150*H120)	7.9	m			
プラントボックス2	木製(W100*H100)	1	m			
プラントボックス3	木製(W180*H130)	1.1	m			
プラントボックス5	木製(W150*H140)	4	m			
ベネシアブラインド	スラット幅25 横型ギア式 アルミ製	1.6	m ²			
ベネシアブラインド 取 外し再取付		39.8	m ²			
ロールスクリーン(2F物置)	合成・天然繊維製/チェーン式 (W1685*H1995程度)	1	か所			

建築工事 細目別内訳

人権文化センター改修		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ステージ 前幕 (2F大会議室)	(W8810*H3805程度)	1	張り			
ステージ 後幕 (2F大会議室)	(W8810*H3955程度)	1	張り			
移動間仕切り(材 料費)(1F多目的室)	二方向移動式(手動式)厚60/鋼板 (W3900*H2440程度)★仕上げ別途	1	か所			
移動間仕切り 取付費	(W3900*H2440程度)	1	式			
トイレブース(材料費) (1FSK)	メラミン樹脂系化粧板(幅木タイプ) (L=885)*H1900程度	1	か所			
トイレブース(材料費) (1F女子便所)	メラミン樹脂系化粧板(幅木タイプ) (L=1480)*H1900程度	1	か所			
トイレブース(材料費) (1F女子便所)	メラミン樹脂系化粧板(幅木タイプ) (L=1635)*H1900程度	1	か所			
トイレブース(材料費) (1F男子便所)	メラミン樹脂系化粧板(幅木タイプ) (L=1525+805)*H1900程度	1	か所			
トイレブース(材料費) (1F男子便所)	メラミン樹脂系化粧板(幅木タイプ) (L=750)*H1900程度	1	か所			
運搬費	トイレブース	1	式			
取付調整費	トイレブース	1	式			
ライニング 面台 (1F多目的便所1)	メラミン樹脂系化粧板 【D=410】L=860/450程度(台形) 小口無し	1	か所			
ライニング 面台 (2F多目的便所2)	メラミン樹脂系化粧板 【D=210】L=1685程度 片側小口有り	1	か所			
ライニング 面台 (1F多目的便所1)	メラミン樹脂系化粧板 【D=185】L=370程度 片側小口有り	1	か所			
ライニング 面台 (1F女子便所)	メラミン樹脂系化粧板 【D=125】L=910程度 片側小口有り	1	か所			

建築工事 細目別内訳

人権文化センター改修		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ライニング 面台 (1F男子便所)	メラミン樹脂系化粧板 【D=110】L=2440程度 両側小口有り	1	か所			
ライニング 面台 (1F多目的便所1)	メラミン樹脂系化粧板 【D=110】L=1010程度 片側小口有り	1	か所			
ライニング 面台 (1FSK)	メラミン樹脂系化粧板 【D=110】L=885程度 小口無し	1	か所			
流し台	W1200*D550*H800	1	台			
吊戸棚	W1200*D365*H700	1	か所			
流し台水切り小口 塞ぎ	(D150*H900程度) LGS50+GBR12.5+壁紙	1	か所			
流し上部水切り	ステンレス製 (L=1200)	1	か所			
吊戸棚受け木下地	(W1200*D150*H400程度)	1	か所			
消火器	ABC10型(ステッカー共)	3	か所			
掲示板	枠アルミ製 塩ビ 発泡シート張り 900×1800	2	か所			
室名札(平付け型)	アクリル板(250*50)UV印刷	12	か所			
ビジュアルグラフィック(平付け 型)	アクリル板(200*200)UV印刷	8	か所			
ビジュアルチェア	アルミ製 ホワイト 天井埋込みタイプ ボート厚 9.5	10.5	m			
スチールラック(中軽量棚) (K-1)	(W940*D450*H1803) 【金剛(株):BLM 361-455SOR同等】	1	台			
スチールラック(中軽量棚) (K-2)	(W2140*D450*H1803) 【金剛(株):BLM(361+461)-455SOR同等】	1	台			

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

人権文化センター改修		塗装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(外部)						
S O P 塗り 改修仕様	鉄鋼面 工程B種 塗料1種 錆止工程C塗料A(鉛・クロムフリー1種) 下地RB種(塗替え面)	22.4	m ²			
S O P 塗り 改修仕様	鉄鋼面 工程B種 塗料1種 錆止工程C塗料A(鉛・クロムフリー1種) 下地RB種(塗替え面)	21.7	m ²			
S O P 塗り改修仕様 (養生管)	亜鉛めっき鋼面 工程B種 塗料1種 錆止工程C 下地RB種(塗替え面)	12	m			
D P 塗り改修仕様 (縦樋)	塩ビ管 1級 下地RB種(塗替え面)	38.3	m			
E P - G 塗り 改修仕様	けい酸カルシウム板面 工程B種(見上) 下地調整RB種(塗替え面)	4.5	m ²			
(内部)						
S O P 塗り	木部 工程B種 塗料1種 素地A種(屋内)	8.3	m ²			
S O P 塗り (糸幅300mm以下)	鉄鋼面 工程B種 錆止現場1回共	2.3	m			
S O P 塗り (糸幅300mm以下)	木部 工程B種(屋内) 素地A種	0.5	m			
E P - G 塗り	モルタル面 工程B種(一般) 素地B種	14.5	m ²			
E P - G 塗り	ポーター面 工程B種(一般) 素地B種	47.2	m ²			
E P - G 塗り	けい酸カルシウム板面 工程B種(一般) 素地B種	3.6	m ²			
E P - G 塗り	モルタル面 工程B種(見上) 素地B種	0.7	m ²			
E P - G 塗り	けい酸カルシウム板面 工程B種(見上) 素地B種	72	m ²			

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

人権文化センター改修		耐震（躯体）改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
砂利地業	再生切込碎石	2.7	m3			
砂地業	(土間下)	0.8	m3			
床下防湿層敷き	ポリエチレンフィルム 厚0.15	27.3	m ²			
普通コンクリート	JIS A5308 FC=21 S15 粗骨材20	4.2	m3			
普通コンクリート	JIS A5308 FC=24 S15 粗骨材20	0.4	m3			
構造体強度補正		1	式			別紙 00-0004
コンクリート打設手間	土間 ポンプ打設 50m3/回程度 S15～S18 － 圧送費、基本料別途	4.2	m3			
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15～S18 －	0.4	m3			
コンクリートポンプ 圧送	30m3以上 50m3/回未満 基本料金別途加算	4.2	m3			
コンクリートポンプ 圧送 基本料金	30m3以上 50m3/回未満	1	回			
型枠	普通合板型枠 － 基礎部 －	0.9	m ²			
型枠	普通合板型枠 ラーメン構造 地上軸部 階高2.8m程度	5.5	m ²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	6.4	m ²			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10	0.2	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D13	0.01	t			

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

人権文化センター改修		環境配慮改修		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(直接仮設)						
単管一本足場 (壁隔離シート用)	基本料 修理費含む 10m未満 【損料30日】(運搬共)	10.6	m ²			
単管一本足場 (天井隔離シート用)	基本料 修理費含む 10m未満 【損料30日】(運搬共)	24.7	m ²			
養生フィルム貼り (床面)	(厚0.15mm)二重張り・隔離シート	31.5	m ²			
養生フィルム貼り (壁面)	(厚0.08mm)一重張り・隔離シート	124	m ²			
養生フィルム貼り (天井面)	(厚0.08mm)一重張り・隔離シート	29.3	m ²			
整理清掃片付け		31.5	m ²			
(アスベスト除去)						
外装薄塗材撤去 (1F外壁)	(アスベスト含有材)ALC面、泡噴出・集じん装置付き湿式ディスクライナー・ゲテン工法とする。	55	m ²			
粉じん飛散抑制剤 吹付(湿潤化用)	除去面	55	m ²			
専用機器損料	運搬・設置・解体・発電機・コンプレッサー共	1	式			
消耗品	手袋・マスク	1	式			
粉塵濃度測定	作業中2点,作業後2点	1	式			
除去石綿処理	密封処理(二重梱包)	0.3	m ³			
除去石綿処理	密封処理(二重梱包)(養生フィルム)	0.8	m ³			

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

付属棟解体						
カーポート解体						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(直接仮設)						
単管一本足場	基本料 修理費含む 10m未満 【損料10日】	18	m ²			
防音シート張り	修理費含む【損料10日】	18	m ²			
仮設材運搬 (単管一本足場)		18	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		18	m ²			
(全解体)						
RC造建物解体 基礎コンクリート解体	大型ブレーカー・圧砕機併用	0.4	m ³			
鉄筋切断	集積共	0.4	m ³			
地業とりこわし	集積・積込み共	0.1	m ³			
カーポート上屋解体	(アルミ製)鋼材量8.6kg/m ² 程度 人力機械併用(鉄骨カッター主体) ★屋根共	10.8	床m ²			
とりこわし機械 運搬 (ベースマシン,バックホウ)	排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.5m ³	1	往復			
計						

建築工事 細目別内訳

付属棟解体						
車庫倉庫解体						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(直接仮設)						
単管一本足場	基本料 修理費含む 10m未満 【損料10日】	62	m ²			
内部仕上足場	修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 【損料10日】	17.3	m ²			
防音シート張り	修理費含む【損料10日】	62	m ²			
仮設材運搬 (単管一本足場)		62	m ²			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	17.3	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		62	m ²			
(全解体)						
RC造建物解体 上部躯体解体	地上からの解体 圧砕機主体	0.5	m ³			
RC造建物解体 基礎コンクリート解体	大型ブレーカー・圧砕機併用	0.7	m ³			
土間コンクリート解体	大型ブレーカー・圧砕機併用	4.6	m ³			
鉄筋切断	集積共	5.7	m ³			
地業とりこわし (捨てコンクリート)	集積共	0.2	m ³			
地業とりこわし	集積・積み込み共	4.1	m ³			
S造建物上屋解体	鋼材量3.4kg/m ² 程度 人力機械併用(鉄骨カッター主体) ★屋根・外壁共	31.8	床m ²			

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

付属棟解体 ほんごう子ども広場棟解体						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
単管一本足場	基本料 修理費含む 10m未満 【損料10日】	85.5	m ²			
防音シート張り	修理費含む【損料10日】	85.5	m ²			
仮設材運搬 (単管一本足場)		85.5	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		85.5	m ²			
木造建物基礎解体	有筋 手こわし併用機械解体 積込み共	18.5	m ²			
木造建物上屋解体	住宅程度 手こわし併用機械解体 積込み共	18.5	m ²			
照明器具 撤去	直付蛍光灯(逆富士型) FL20W×2 処分共	2	個			
とりこわし 発生材運搬★	(がれき類)	5.8	m ³			
とりこわし 発生材運搬★	(ガラス・陶磁器屑)	0.1	m ³			
とりこわし 発生材運搬★	(廃プラスチック)	0.3	m ³			
とりこわし 発生材運搬	(再生木材)ダンプトラック 4t積級 バックホ0.28m3 木材類 DID区間有り 7.0km以下	9.7	m ³			
とりこわし 発生材運搬★	アスベスト含有材(その他建材) スレートボード・大平板	1.1	m ³			
とりこわし 発生材処分★	がれき類	5.8	m ³			
とりこわし 発生材処分★	ガラス・陶磁器屑	0.1	m ³			
とりこわし 発生材処分★	廃プラスチック	0.3	m ³			

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

発生材処理		発生材処理		運搬		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生材積込み	コンクリート類 人力	42.3	m3			
発生材積込み	ボード・木材類 人力	7.9	m3			
とりこわし 発生材運搬	(砕石)ダンプトラック 4t積級 バックホウ0.28m3 土砂 DID区間有り 3.0km以下	10.4	m3			
とりこわし 発生材運搬	(再生コンクリート)ダンプトラック 4t積級 バックホウ0.28m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 3.5km以下	18.8	m3			
とりこわし 発生材運搬	(がれき類)ダンプトラック 4t積級 バックホウ0.28m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 27.0km以下	12.6	m3			
とりこわし 発生材運搬	(ガラス・陶磁器屑)ダンプトラック 4t積級 バックホウ0.28m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 27.0km以下	0.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	(廃プラスチック)ダンプトラック 4t積級 バックホウ0.28m3 石こうボード類 DID区間有り 27.0km以下	1.3	m3			
とりこわし 発生材運搬	(再生木材)ダンプトラック 4t積級 バックホウ0.28m3 木材類 DID区間有り 7.0km以下	0.7	m3			
とりこわし 発生材運搬	(可燃物)ダンプトラック 4t積級 バックホウ0.28m3 木材類 DID区間有り 27.0km以下	2.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	アスベスト含有材(廃プラスチック) ダンプトラック 2t積級 人力積込 石こうボード類 DID区間有り 23.0km以下	0.2	m3			
とりこわし 発生材運搬	アスベスト含有材(その他建材) スレートボード・大平板 ダンプトラック 2t積級 人力積込 石こうボード類 DID区間有り 23.0km以下	0.4	m3			
とりこわし 発生材運搬	アスベスト含有材(石膏ボード) ダンプトラック 2t積級 人力積込 石こうボード類					

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

発生材処理		発生材処理		処分		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
とりこわし 発生材処分	砕石	10.4	m3			
とりこわし 発生材処分	再生コンクリート	44.2	単位 t			
とりこわし 発生材処分	がれき類	12.6	m3			
とりこわし 発生材処分	ガラス・陶磁器屑	0.5	m3			
とりこわし 発生材処分	廃プラスチック	1.3	m3			
とりこわし 発生材処分	再生木材	0.7	m3			
とりこわし 発生材処分	可燃物	2.5	m3			
とりこわし 発生材処分	アスベスト含有材(廃プラスチック)	0.2	m3			
とりこわし 発生材処分	アスベスト含有材(その他建材) スレートボード・大平板	0.4	m3			
とりこわし 発生材処分	アスベスト含有材(石膏ボード)	2.8	m3			
スクラップ	鉄屑(H2)	▲0.89	t			
スクラップ	鉄屑(H3)	▲3.38	t			

建築工事 細目別内訳

[illegible]

昇降機設備工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 別紙明細

[illegible]

建築工事 別紙明細

[illegible]

建築工事 別紙明細

人権文化センター改修		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) ホ-ト等切込み共	1	式			別紙 00-0003
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 1300× 750mm程度 ホ-ト等切込み共	2	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 1300× 700mm程度 ホ-ト等切込み共	6	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 1000×1000mm程度 ホ-ト等切込み共	3	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 639× 639mm程度 ホ-ト等切込み共	16	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 500× 500mm程度 ホ-ト等切込み共	4	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 350× 350mm程度 ホ-ト等切込み共	3	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 320× 320mm程度 ホ-ト等切込み共	2	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 300× 300mm程度 ホ-ト等切込み共	7	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 250× 250mm程度 ホ-ト等切込み共	1	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 220×1235mm程度 ホ-ト等切込み共	14	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内) 450× 450mm程度 ホ-ト等切込み共	28	か所			
計						

建築工事 別紙明細

[illegible]

共通仮設費(積上) 明細

[illegible]

現場管理費(積上) 明細

[illegible]